

# The 74th National Convention of IPSJ

平成24年



## 第74回全国大会 —日常のICT・非日常のICT— 大会案内 / プログラム

会期：2012.3.6(火) ▶ 8(木)

会場：名古屋工業大学 御器所キャンパス

愛知県名古屋市昭和区御器所町

《大会会期中連絡先(大会本部)》

Tel (080)5690-5336

第74回全国大会 ゴールドスポンサー



株式会社とめ研究所



ヤフー株式会社



株式会社メガチップス



株式会社エデックリンセイシステム

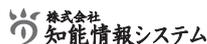


有限会社来栖川電算



株式会社ディー・エヌ・エー

第74回全国大会 スタンダードスポンサー



株式会社知能情報システム



グリー株式会社



アイシン・インフォテックス株式会社



ツース・テクノロジー株式会社



株式会社マクシス・シントー



株式会社デンソー



富士機械製造株式会社



有限会社ホーリーマイン



名古屋工業大学 梅崎研究室



合同会社3 Dragons



株式会社トヨタデジタルクルーズ



株式会社メイテツコム



共立出版株式会社

共催：国立大学法人名古屋工業大学 後援：愛知県

# Ohmsha books information!



● WebアプリケーションフレームワークRailsによる開発のすべて、待望の第4版!

## RailsによるアジャイルWebアプリケーション開発 第4版

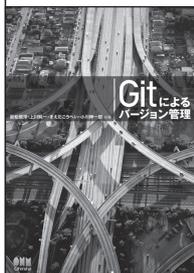
Sam Ruby・Dave Thomas・David Heinemeier Hansson, et al. 共著／前田修吾 監訳  
B5変判／440頁／定価3,360円(税込)

多様かつ高度なWebアプリケーションを迅速に開発するフレームワークとして、定番となったRuby on Rails。本書はRailsの開発者自身が執筆に参加した原書Agile Web Development with Rails 4th Edition (2011年3月発行)を翻訳したものです。日本語版ではRails3.1に対応しています。

● 基本的な使い方から少し進んだ使いこなしまで解説!

## Gitによるバージョン管理

岩松信洋・上川純一・  
まえだこうへい・小川伸一郎 共著  
A5判／320頁／定価2,940円(税込)



バージョン管理ツールGitは、高機能な反面、望みどおりの結果を得るには少し慣れが必要です。本書は、Gitを使っていて実際によく遭遇する状況やワークフローを例に、基本的な使い方からその先の応用まで、場面に応じた使い方を解説します。

● アーキテクチャの最新の技術を取り込んだ改訂3版!

## コンピュータアーキテクチャ 改訂3版

馬場敬信 著  
A5判／432頁／定価3,885円(税込)



コンピュータの動作原理から最新のアーキテクチャまでを、図・例題を多く取り入れ、わかりやすくまとめました。マルチコア、GPU、低消費電力コンピュータといった最新技術の情報を加えており、アーキテクチャの最新技術を学ぶことができます。大学教科書としてはもちろん、実務者の学習書・企業研修のテキストとしても最適です。

● 情報ネットワークの基礎をコンパクトにまとめた!

## 新インターユニバーシティ 情報ネットワーク

佐藤健一 編著  
A5判／164頁／定価2,415円(税込)



電気電子情報系の大学学部向け2単位のテキストです。主に工学部電気・電子・情報系学科の教科書として、ネットワーク機能の実現法から、プロトコル、インターネットの実際、広域ネットワークの構成技術までを解説します。また、ネットワークの基礎となる待ち行列理論についても解説し、ネットワークの性能評価ができることを目指します。

● 情報を扱う上での素養を身につける教科書!

## IT Text (一般教育シリーズ) 情報とネットワーク社会

駒谷昇一・山川修・中西通雄・北上 始  
佐々木整・湯瀬裕昭 共著  
A5判／196頁／定価2,310円(税込)



情報処理学会教科書シリーズです。大学初年級の学生を対象とし、情報活動が主に人間や社会に関わる側面について、コミュニケーションの基礎知識や実際の情報システム、倫理や法律などから学べる教科書です。高校指導要領の改訂を踏まえ、大学一般教養課程や文系での情報処理の必須知識として現代的な視点を加えてまとめました。



オーム社

〒101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1 <http://www.ohmsha.co.jp/>  
TEL 03(3233)0853 FAX 03(3233)3440 定価(税込)は変更する場合があります。

# プログラム目次

インフォメーション	1
会場案内図	2
名古屋工業大学 御器所キャンパス図	3
館内案内図	4
タイムテーブル	8
講演論文集分類と内容	13
全国大会イベント企画のご案内	14
全国大会会場別プログラム	15
全国大会招待講演企画イベント企画の概要	18
展示会のご案内	44
一般/学生/デモ セッションプログラム詳細	47

## (第1分冊 アーキテクチャ)

1A	クラウド・大規模ネットワーク	47
2A	ストレージシステム	47
3A	システムソフトウェア	47
4A	コンピュータ・アーキテクチャ	47
1J	マイクロアーキテクチャ	47
2J	予測と投機	47
3J	ストレージ・ネットワーク	47
4J	FPGA とアクセラレータ	48
5J	システムソフトウェア	48
6J	設計支援と評価	48
1K	ハイパフォーマンスコンピューティング	48
2K	仮想化技術	48
3K	組込みシステム	48
4K	GPU	49
5K	マルチコアと通信	49

## (第1分冊 ソフトウェア科学・工学)

5A	プログラムの開発・検証	49
6A	レビュー・テスト	49
1B	数理モデル化と問題解決 (1)	49
2B	アルゴリズム	49
3B	数理モデル化と問題解決 (2)	50
4B	要求・プロジェクト管理	50
6K	数理モデル化と問題解決 (3)	50
1L	開発支援 (1)	50
2L	開発支援 (2)	50
3L	テスト・リポジトリ	50
4L	アーキテクチャ	50
5L	要求	51
6L	業務・システム分析	51
1M	アルゴリズム (1)	51
2M	プログラミング	51
3M	アルゴリズム (2)	51
4M	数理モデル化と問題解決 (1)	52
5M	数理モデル化と問題解決 (2)	52
4ZJ	システム評価	52

## (第1分冊 データベースとメディア)

5B	情報抽出	52
6B	情報統合	52
1C	情報検索・情報推薦	52
2C	センサデータ・DB 技術一般	52
6M	自然言語処理とソーシャルネットワーク解析	53
1N	並列処理・ミドルウェア	53
2N	Linked Data・Semantic Web	53
3N	トラストフィルタリング	53
4N	時系列データ	53
5N	情報推薦	53
6N	マルチメディア	54
1P	検索システム	54
2P	情報システム	54
3P	Web アプリケーション	54
4P	ソーシャル Web	54

## (第2分冊 人工知能と認知科学)

3C	音声・音楽・ゲーム	55
4C	画像処理・一般	55
5C	自然言語処理	55
6C	ロボットビジョン	55
1D	エージェントと学習	55
2D	知識表現と推論	55
3D	複雑系と遺伝的アルゴリズム	55
5P	ニューラルネット	55
6P	人工生命	56
1Q	映像・画像の生成と編集	56
2Q	ゲーム	56
3Q	映像と学習・ユーザビリティ	56
4Q	生体情報処理と認知モデル	56
5Q	対話	56
6Q	画像検索と圧縮・伝送	57
1R	検査と監視のための画像処理	57
2R	三次元復元及び医療	57
3R	自然言語処理・応用	57
4R	機械翻訳・解析	57
5R	強化学習・学習応用	58
6R	機械学習	58
1S	音楽検索	58
2S	演奏支援	58
3S	作曲・編曲	58
4S	音楽認識・推定	58
5S	一般物体認識	59
6S	映像による行動理解	59
1T	人工知能応用システム	59
2T	エージェントモデル	59
3T	マルチエージェントシステム (1)	59
4T	マルチエージェントシステム (2)	60
5T	ロボットビジョン	60
6T	検索・分類	60
2U	遺伝的アルゴリズムとファジー理論	60
3U	推論・探索	60
4U	耐雑音・音源分離・音源定位	61
5U	音声合成・感情・韻律一般	61
6U	音声認識・音声言語処理	61
1V	要約・言い換え	61
2V	情報抽出・質問応答	61
3ZJ	人物画像処理	61

## (第3分冊 ネットワーク)

4D	モバイルコンピューティングと移動体通信	63
5D	移動支援とウェアラブルデバイス	63
6D	道路交通と車載ネットワーク	63
1E	災害時通信	63
2E	マルチメディア通信と分散処理	63
3E	ネットワーク制御・管理	63
4E	位置推定・位置情報サービス	64
3V	災害時通信 (1)	64
4V	災害時通信 (2)	64
5V	スマートフォン・タブレット端末応用 (1)	64
6V	スマートフォン・タブレット端末応用 (2)	64
1W	コンシューマ・デバイス & システム	64
2W	安全運転支援	65
3W	アドホックネットワーク	65
4W	ハンドオーバー・モビリティ	65
5W	ネットワーク	65
6W	近距離無線・センサネットワーク	65
1X	センサネットワーク	66
2X	マルチメディア符号化	66
3X	歩行者ナビゲーションと観光	66
4X	ネットワーク管理・運用	66
5X	ホームネットワーク・情報家電	66
6X	ウェアラブル・ライフログ	66
1Y	ライフログ	67
2Y	P2P ネットワーク	67
3Y	マルチメディア通信と分散処理	67
4Y	センサネットワーク・ロボットシステム・通信	67
5Y	コンテキストウェアネス	67

6Y	位置情報検索・行動支援	68	1ZH	地域情報の高度利用	80
1Z	車載機器とネットワーク	68	2ZH	学習支援	80
2Z	Web システム	68	3ZH	バイオメディカルインフォマティクス	81
3Z	移動体ネットワークプロトコル	68	4ZH	モバイルエンタテインメント	81
4Z	地図情報	68	5ZH	医療支援システム	81
5Z	省電力・センサネットワーク	69	6ZH	教師支援システム	81
			1ZJ	医療 IT システム	81

(第3分冊 セキュリティ)

5E	不正アクセス検知・対策	69
6E	セキュリティマネジメントと社会	69
1F	システムセキュリティ (1)	69
6Z	不正アクセス検知・対策	69
1ZA	暗号・プロトコル	69
2ZA	システムセキュリティ (2)	70
3ZA	認証	70

(第4分冊 インタフェース)

2F	入出力インタフェース	71
3F	インタフェースの分析・評価	71
4F	かたちの制御	71
4ZA	生体情報活用インタフェース	71
5ZA	ロボットインタラクション	71
6ZA	入出力インタフェースその他	71
1ZB	汎用グラフィクス処理	71
2ZB	リアリティモデリング	72
3ZB	時系列CGと可視化	72
4ZB	アニメーション	72
5ZB	樹木とアート	72
6ZB	画像利用	72
1ZC	学習・作業支援	72
2ZC	Web と SNS	73
3ZC	コミュニケーション支援 (1)	73
4ZC	コミュニケーション支援 (2)	73
5ZC	プレゼンテーション支援	73
6ZC	協調基盤	73
1ZD	3D インタフェース	74
2ZD	AR	74
3ZD	携帯端末活用インタフェース	74
4ZD	計算機システムのインタフェース	74
5ZD	知的インタフェース	74
2ZJ	インタフェースの分析・評価	75

(第4分冊 コンピュータと人間社会)

5F	産業応用	75
6F	プログラミング教育	75
1G	情報教育 (手法)	75
2G	教育用システム (1)	75
3G	情報教育 (調査・分析)	75
4G	公共システム	75
5G	安心と環境	76
1H	語学教育	76
2H	バイオ・医療・社会のためのシステム	76
3H	プロジェクト学習	76
4H	社会システム	76
5H	展示とガイド	76
6H	学習用システム	77
6ZD	e-learning	77
1ZE	システム開発	77
2ZE	災害対策システム	77
3ZE	教育支援システム	77
4ZE	農業支援システム	78
5ZE	CAI	78
6ZE	SNS 分析・応用	78
1ZF	交通・情報システム	78
2ZF	地域観光支援システム	78
3ZF	エンタテインメントシステム	78
4ZF	エンタテインメントの評価	79
5ZF	プログラミング教育	79
6ZF	動作解析応用	79
1ZG	企業の意思決定	79
2ZG	医療・福祉システム	79
3ZG	情報教育	79
4ZG	電力・エネルギー	80
5ZG	教育システム	80
6ZG	画像応用	80

## ーインフォメーションー

### ■総受付（インフォメーションコーナー）1号館 1F ロビー

受付時間：6日（火）8:30-17:00 7日（水）8:30-17:00 8日（木）8:30-15:30  
各種受付、講演論文集・DVD-ROM販売、各種問合せ窓口

### ■大会本部・手荷物預かり 52・53号館 1F 5214

臨時電話 080-5690-5336（通話可能期間 6日（火）8:30～8日（木）16:30）

### ■大会イベント企画聴講参加費【プログラム・大会イベント企画聴講参加章付き】（無料）

第1～3イベント会場で開催するイベントおよび展示会場のみ聴講参加できます。

\*一般セッション・学生セッションの聴講はできませんのでご注意ください。

### ■大会共通聴講参加費【プログラム・大会共通聴講参加章付き】（税込）

正会員：3,000円 正会員（DVD-ROM付）：8,000円 一般非会員：6,000円

学生：無料（会員非会員問わず）

\*大会で開催される全てのイベント企画、展示、一般セッション、学生セッションを聴講できます。

### ■講演論文集・DVD-ROM（税込）\*DVD-ROMには一般講演全論文とプログラム収録

講演論文集セット（全論文集・DVD-ROM・カバー付き）：61,000円

講演論文集各分冊：13,000円

講演論文集 DVD-ROM（個人）：8,000円

講演論文集 DVD-ROM（法人）：55,000円

講演論文集 DVD-ROM（学生割引会場販売）：4,000円

### ■懇親会

日時：3月7日（水）18:15-20:15

会場：名古屋ビール園 浩養園 \*大会会場北門から徒歩でおよそ6分

参加費（税込）：一般（社会人）：5,000円 学生：3,000円

### ■その他お知らせ事項

#### 【連絡掲示板】

大会会場での周知および伝言等は、総受付前に設置する「掲示板」に掲示しますのでご注意ください。

各会場への個別の連絡や館内アナウンス等は致しません。

#### 【インターネット接続サービス（無線LAN）】

利用可能エリア：キャンパス内全て。

ご希望の方は、大会総受付に利用申込書がございますので必要事項をご記入のうえ総受付に提出してください。利用申込書と引き換えにアカウントとパスワードを記載した用紙をお渡し致します。また、イベント会場では大学間無線LAN ローミング eduroam も利用できます。

#### 【お弁当販売・食堂・売店】

食堂（軽食）は規模が小さいのでお弁当販売またはイオンタウン千種 1F レストラン街・2F フードコートをご利用下さい。

大学キャンパス外の他の昼食場所は会場配布するランチマップをご参照下さい。

・お弁当販売：52・53号館 1F 渡り廊下 / 講堂内 1F ロビー（販売時間 11:00-13:00）

・食堂（軽食）：14・16号館の間 2F（営業時間 11:00～15:00 座席数 45席程度 \*小規模）

・コンビニ：14・16号館の間 1F（営業時間 8:30-18:30） / 講堂内 1F（営業時間 10:00-17:30）

・イオンタウン千種 1F レストラン街・2F フードコート（北門から徒歩でおよそ5分）

#### 【昼食会場・休憩室】

・23号館 1F 2311・2312 / 52・53号館 1F 5217・5218（お弁当はこちらの部屋でおとり頂けます）

#### 【喫煙について】

キャンパス内での喫煙場所は、キャンパス図（P3）をご確認ください。

指定の場所以外は、キャンパス内は全て禁煙です。

#### 【ゴミ処理について】

ゴミは各自でお持ち帰り頂きますようお願いいたします。

#### 【最寄り駅】

JR 鶴舞駅（JR 中央本線）徒歩 5分 / 地下鉄 鶴舞駅（地下鉄鶴舞線）徒歩 6分

### ■今後の全国大会・FIT 情報（予定）

FIT2012 第11回情報科学技術フォーラム [<http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2012/>]

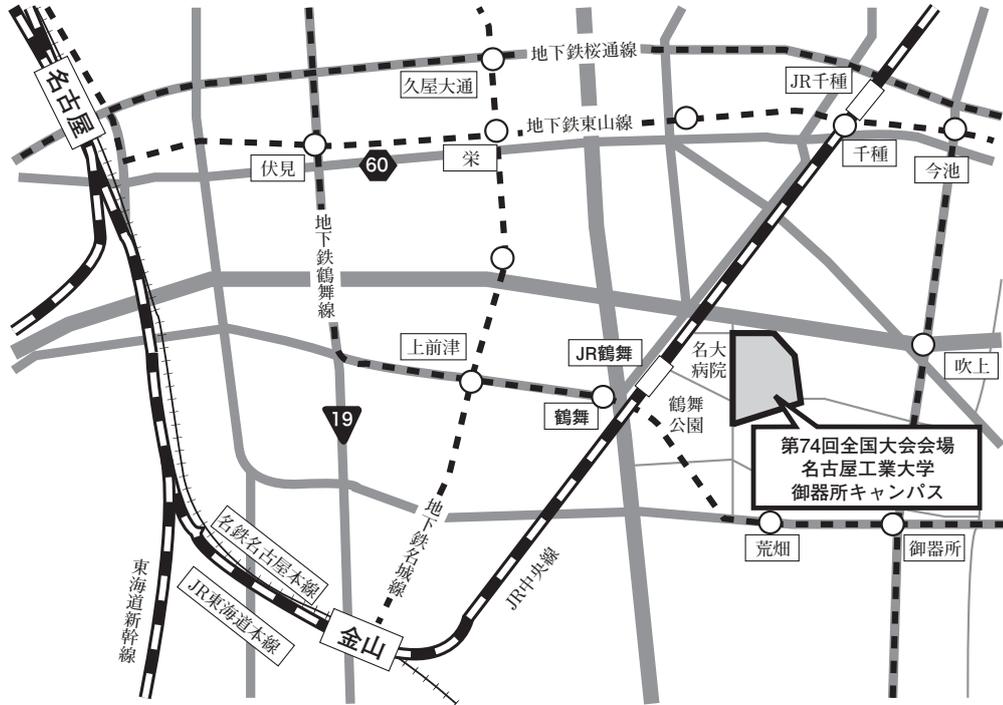
会期：2012年9月4日（火）～6日（木） 会場：法政大学 小金井キャンパス

情報処理学会 第75回全国大会 [<http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/75/>]

会期：2013年3月6日（水）～8日（金） 会場：東北大学 川内キャンパス

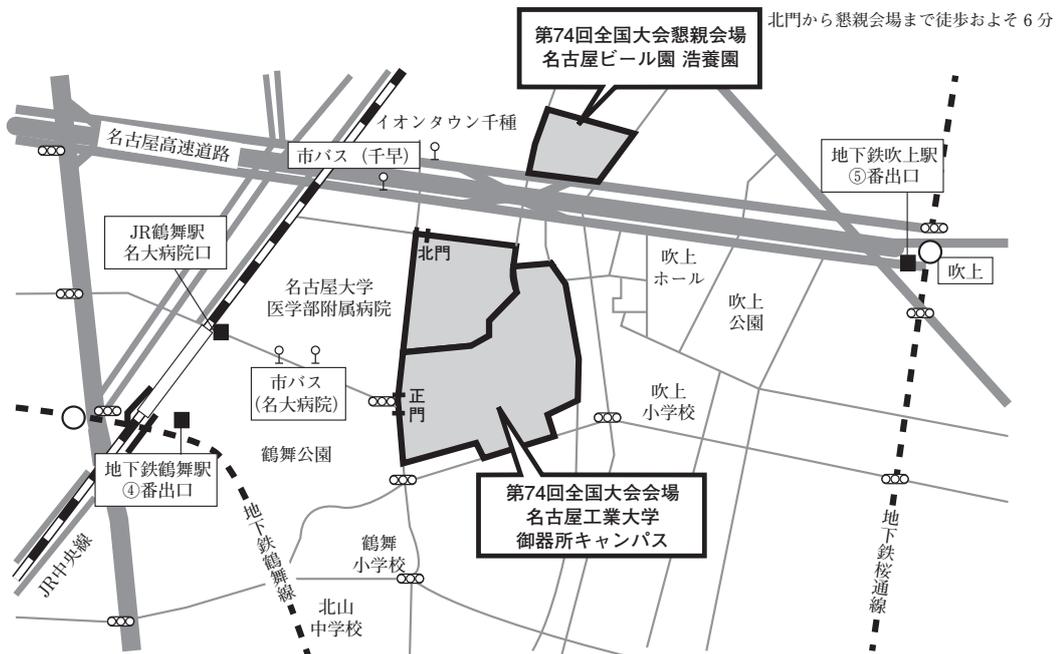
# 会場案内図

(広域地図)



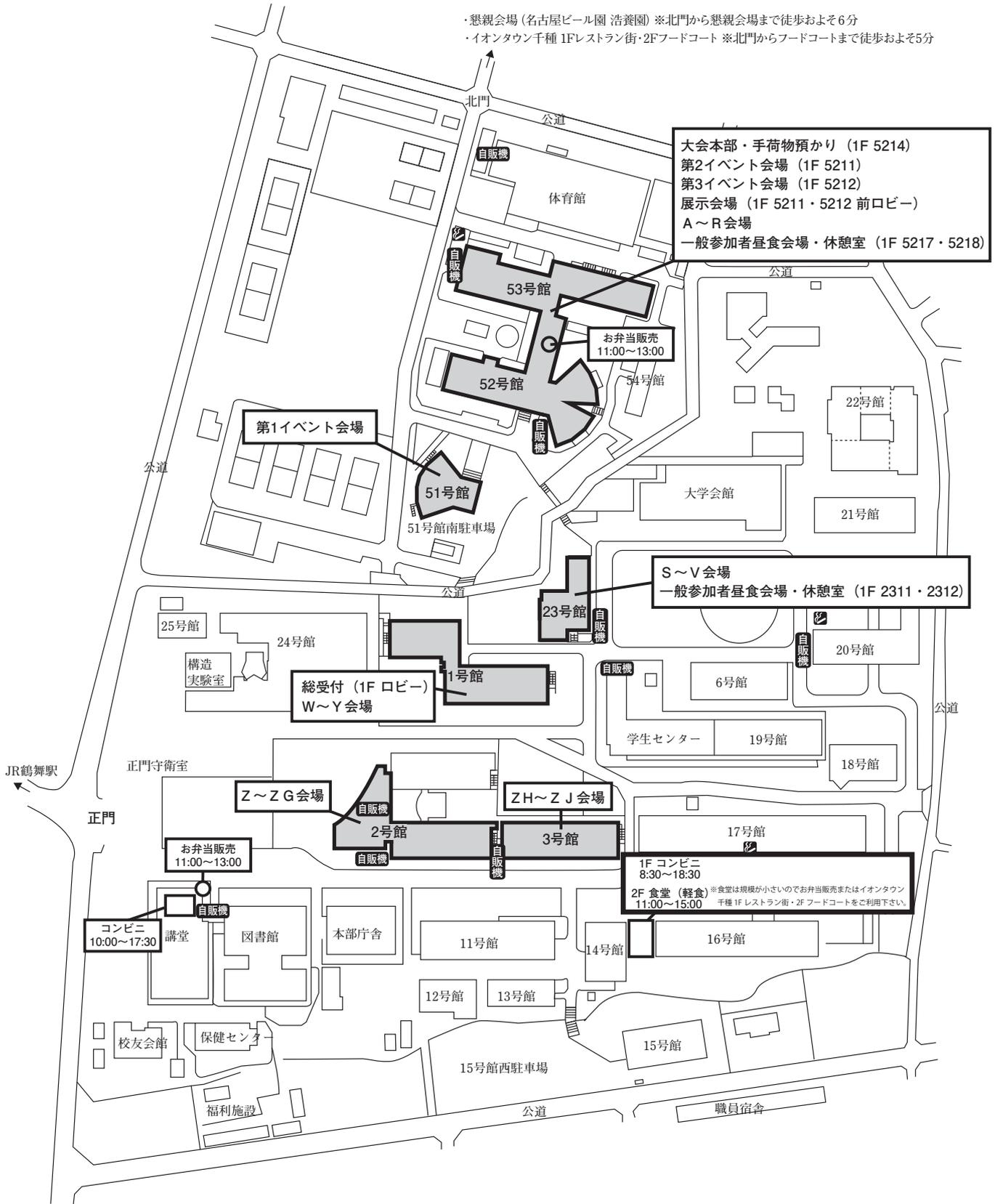
名古屋駅からおよそ15分	
JR 東海	中央本線 鶴舞駅下車 (名大病院口から東へ約400m)
地下鉄	鶴舞線 鶴舞駅下車 (4番出口から東へ約500m)
	桜通線 吹上駅下車 (5番出口から西へ約900m)
市バス	栄18 名大病院下車 (東へ約200m)

(詳細地図)



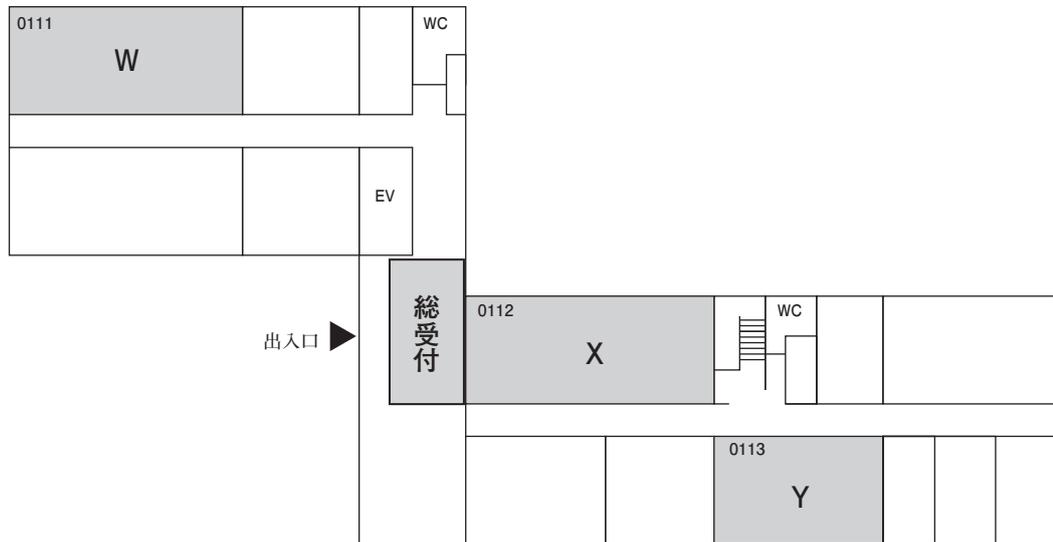
# 名古屋工業大学 御器所キャンパス

- ・懇親会場 (名古屋ビール園 浩養園) ※北門から懇親会場まで徒歩およそ6分
- ・イオンタウン千種 1Fレストラン街・2Fフードコート ※北門からフードコートまで徒歩およそ5分

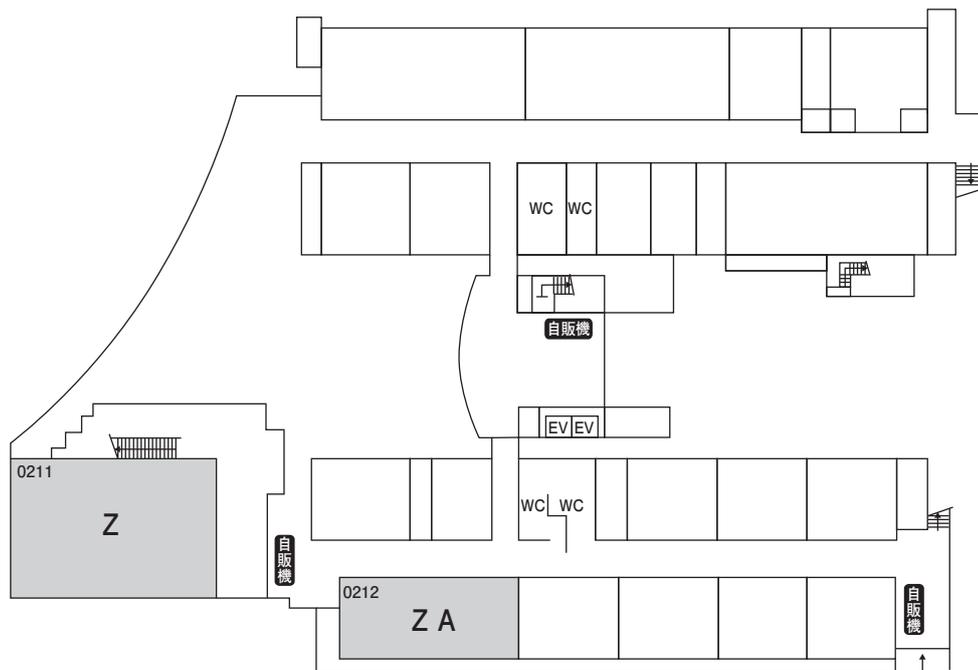


# 館内案内図

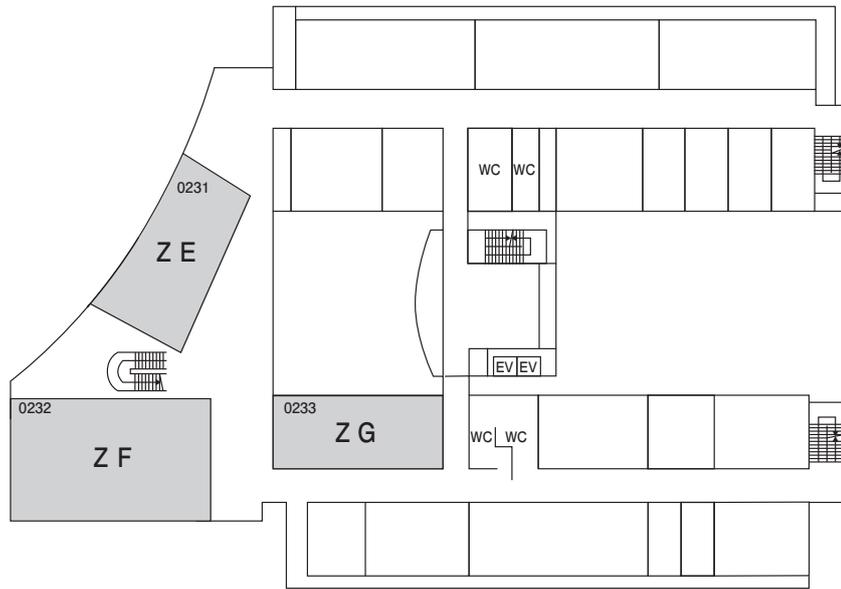
## 1号館 1F



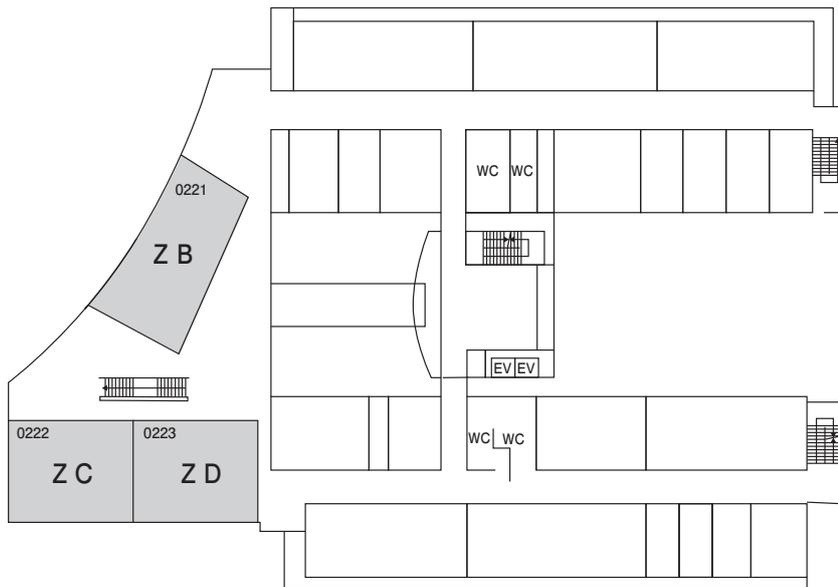
## 2号館 1F



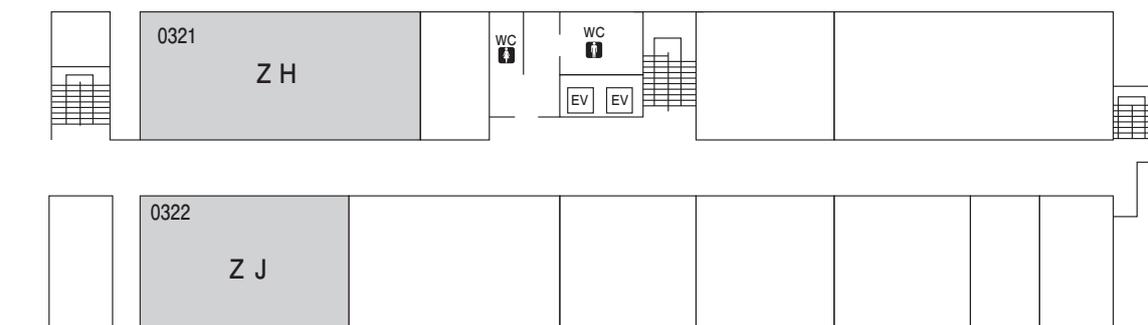
### 2号館 3F



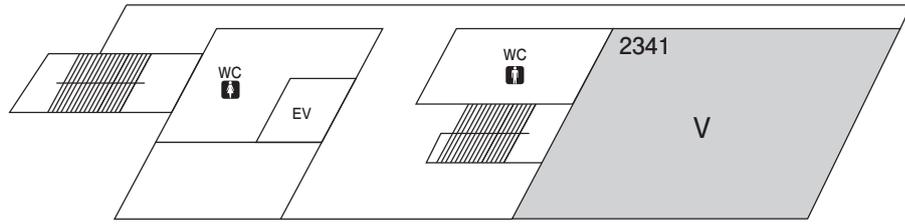
### 2号館 2F



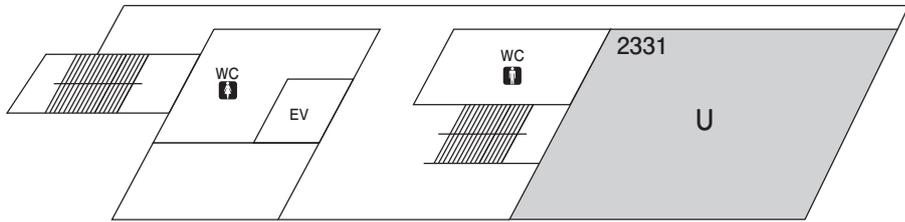
### 3号館 2F



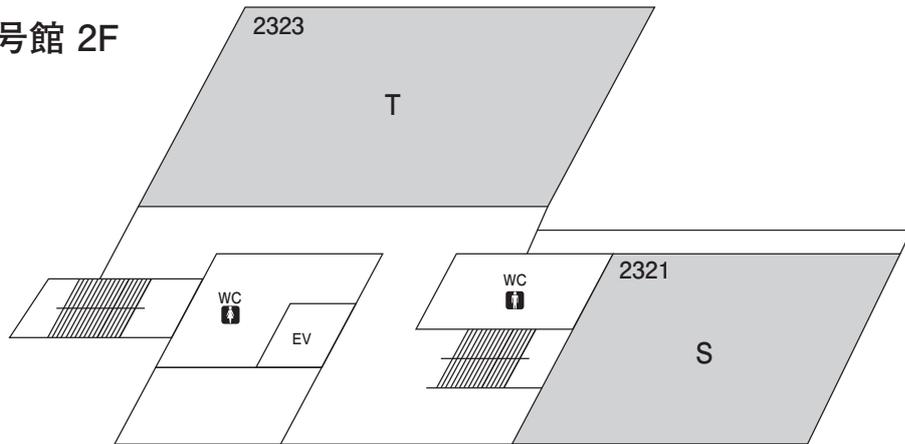
23号館 4F



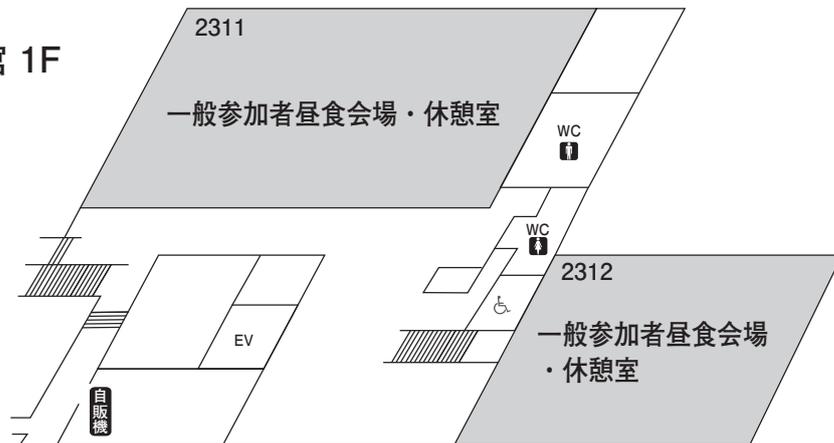
23号館 3F



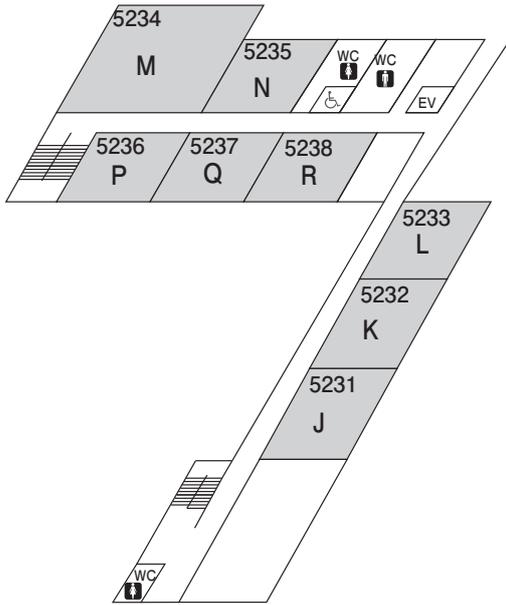
23号館 2F



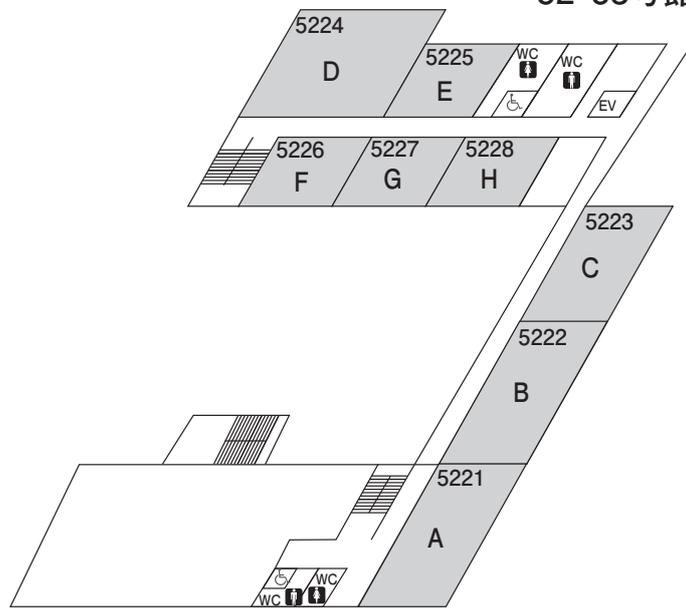
23号館 1F



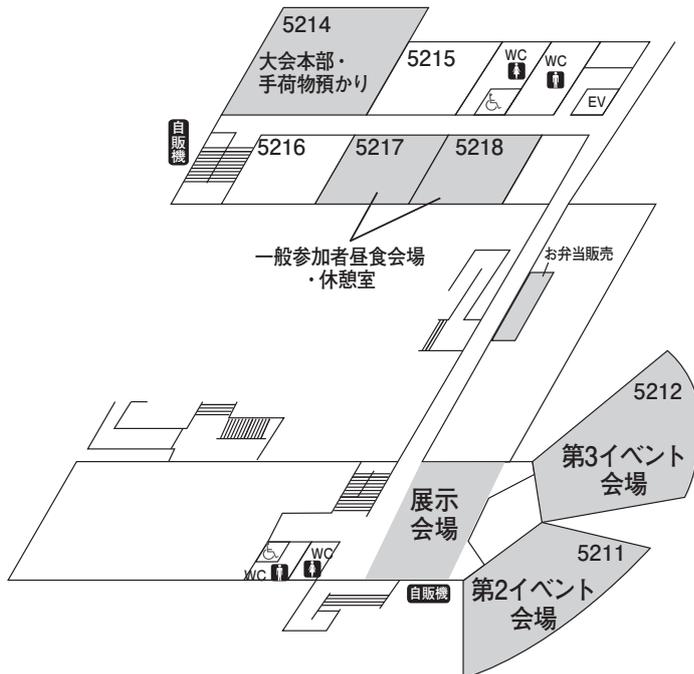
### 52・53号館3F



### 52・53号館2F



### 52・53号館1F



日	会場	第1イベント会場	第2イベント会場	第3イベント会場	展示会場
	時間	51号館 1F 5111	52・53号館 1F 5211	52・53号館 1F 5212	52・53号館 1F 5211・5212 前ロビー
3月6日 (火)	9:30	情報処理技術遺産認定式 9:30-10:10  私の詩と真実 10:20-12:30	実世界自然言語処理への 挑戦	教育ビジョン2011： 変わらなくちゃ、 情報処理学会	展示 (14件) 9:30-17:00
	12:00	19	26	36	
	13:30	招待講演 (1) Engineering coordinated behavior across socio-economic systems David C. Parkes (Harvard University)			
	14:45	18			
3月7日 (水)	15:00	サステナブルな 次世代社会情報メカニズム	エクサスケール コンピューティングへ 向けたソフトウェア 技術開発ロードマップ	教育活動は「つけ足し」でいいのか？ ～情報処理学会における 教育活動～	展示 (14件) 9:30-17:00
	17:30	20	29	37	
	9:30	大学認証基盤の運用経験 から見えてきた効用と課題	論文必勝法 ～傾向と対策～	次世代eラーニング研究 シンポジウム 10:00-12:00	
	12:00	22	31	39	
3月7日 (水)	13:30	大会挨拶  表彰式  認証式			展示 (14件) 9:30-17:00
	14:10				
	14:15	招待講演 (2) Reducing the risk in software engineering products and services John Walz (IEEE Computer Society)			
	15:15	18			
3月8日 (木)	15:30	デジタルプラクティス論文を書いてよ かった！！	コンピュータ将棋は まだ止まらない	クラウドコンピューティングがもたらす遠隔 教育の革新	展示 (14件) 9:30-15:00
	17:30	24	33	40	
3月8日 (木)	9:30	震災復興 デザインコンテスト 10:00-12:00	スパコンアプリ開発最前線	産業界からの 学会活動活性化に向けて ～コンシューマ・デバイス&システム研究会 の取り組みと期待される今後の活動～	展示 (14件) 9:30-15:00
	12:00	25	34	42	
	13:15	招待講演 (3) 日常のITS、非日常のITS 渡邊 浩之 (ITS Japan)			
	14:15	19			
3月8日 (木)	14:30	多言語・マルチユース時代のドキュメン ト 作成技術システム	私的勉強会と学会の未来 [パネル討論]		展示 (14件) 9:30-15:00
	16:30	25	35		

※表中の右下の数字は当プログラム冊子の詳細掲載ページ番号です。

※表中の○囲み数字は講演論文集の掲載分冊番号です。また、右下の数字は当プログラム冊子の詳細掲載ページ番号です。

タイムテーブル

一般セッション A 52・53号館 2F 5221	一般セッション B 52・53号館 2F 5222	一般セッション C 52・53号館 2F 5223	一般セッション D 52・53号館 2F 5224	一般セッション E 52・53号館 2F 5225	一般セッション F 52・53号館 2F 5226	一般セッション G 52・53号館 2F 5227	一般セッション H 52・53号館 2F 5228	学生セッション J 52・53号館 3F 5231
クラウド・大規模ネットワーク  浅原 理人 (NEC)  ① 47	数理モデル化と問題解決 (1)  小林 聡 (電通大)  ① 49	情報検索・情報推薦  奥 健太 (立命館大)  ① 52	エージェントと学習  大沢 英一 (はこだて未来大)  ② 55	災害時通信  佐藤 永欣 (岩手県大)  ③ 63	システムセキュリティ (1)  毛利 公一 (立命館大)  ③ 69	情報教育 (手法)  和田 勉 (長野大)  ④ 75	語学教育  高岡 詠子 (上智大)  ④ 76	マイクロアーキテクチャ  甲斐 康司 (パナソニック)  ① 47
ストレージシステム  廣津 登志夫 (法大)  ① 47	アルゴリズム  松前 進 (佐賀大)  ① 49	センサデータ・DB技術一般  川島 英之 (筑波大)  ① 52	知識表現と推論  長尾 確 (名大)  ② 55	マルチメディア通信と分散処理  重安 哲也 (県立広島大)  ③ 63	入出力インタフェース  志築 文太郎 (筑波大)  ④ 71	教育用システム (1)  未代 誠仁 (桜美林大)  ④ 75	バイオ・医療・社会のためのシステム  佐藤 賢二 (金沢大)  ④ 76	予測と投機  青木 秀貴 (日立)  ① 47
システムソフトウェア  毛利 公一 (立命館大)  ① 47	数理モデル化と問題解決 (2)  小林 聡 (電通大)  ① 50	音声・音楽・ゲーム  奥乃 博 (京大)  ② 55	複雑系と遺伝的アルゴリズム  鈴木 麗壘 (名大)  ② 55	ネットワーク制御・管理  長谷川 輝之 (KDDI 研)  ③ 63	インタフェースの分析・評価  杉原 太郎 (北陸先端大)  ④ 71	情報教育 (調査・分析)  辰己 丈夫 (農工大)  ④ 75	プロジェクト学習  兼宗 進 (大阪電通大)  ④ 76	ストレージ・ネットワーク  宮澤 元 (南山大)  ① 47
コンピュータ・アーキテクチャ  杉原 真 (九大)  ① 47	要求・プロジェクト管理  野中 誠 (東洋大)  ① 50	画像処理・一般  高橋 桂太 (電通大)  ② 55	モバイルコンピューティングと移動体通信  深澤 佑介 (NTT ドコモ)  ③ 63	位置推定・位置情報サービス  上坂 大輔 (KDDI 研)  ③ 64	かたちの制御  柿本 正憲 (シリコンスタジオ)  ④ 71	公共システム  白井 靖人 (静岡大)  ④ 75	社会システム  刀川 眞 (室蘭工大)  ④ 76	FPGA とアクセラレータ  松谷 宏紀 (慶大)  ① 48
プログラムの開発・検証  林 晋平 (東工大)  ① 49	情報抽出  鈴木 優 (名大)  ① 52	自然言語処理  佐藤 理史 (名大)  ② 55	移動支援とウェアラブルデバイス  梅津 高朗 (阪大)  ③ 63	不正アクセス検知・対策  朴 美娘 (神奈川工科大)  ③ 69	産業応用  児玉 公信 (情報システム総研)  ④ 75	安心と環境  畑山 満則 (京大)  ④ 76	展示とガイド  鈴木 卓治 (国立歴史民俗博物館)  ④ 76	システムソフトウェア  早川 栄一 (拓大)  ① 48
レビュー・テスト  阿萬 裕久 (愛媛大)  ① 49	情報統合  藤原 真二 (日立)  ① 52	ロボットビジョン  鈴木 剛 (電機大)  ② 55	道路交通と車載ネットワーク  梅津 高朗 (阪大)  ③ 63	セキュリティマネジメントと社会  高田 哲司 (電通大)  ③ 69	プログラミング教育  長 慎也 (明星大)  ④ 75	学習用システム  西田 知博 (大阪学院大)  ④ 77	設計支援と評価  佐藤 寿倫 (福岡大)  ① 48	

日	時間	会場	学生セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション	
			K 52・53号館 3F 5232	L 52・53号館 3F 5233	M 52・53号館 3F 5234	N 52・53号館 3F 5235	P 52・53号館 3F 5236	Q 52・53号館 3F 5237	R 52・53号館 3F 5238	S 23号館 2F 2321
3月6日 (火)	9:30		ハイパフォーマンス コンピューティング 須田 礼仁 (東大)	開発支援 (1) 早瀬 康裕 (筑波大)	アルゴリズム (1) 日吉 久礎 (青学大)	並列処理・ ミドルウェア 平手 勇宇 (楽天)	検索システム 正田 備也 (長崎大)	映像・画像の生成と 編集 田村 仁 (日本工大)	検査と監視のため の画像処理 石橋 豊 (名工大)	音楽検索 松島 俊明 (東邦大)
	12:00		① 48	① 50	① 51	① 53	① 54	② 56	② 57	② 58
	13:30									
	14:45									
3月7日 (水)	15:00		仮想化技術 市川 昊平 (阪大)	開発支援 (2) 鷺崎 弘直 (早大)	プログラミング 横山 哲郎 (南山学)	Linked Data・ Semantic Web 齋藤 ひとみ (愛知教育大)	情報システム 天笠 俊之 (筑波大)	ゲーム 伊藤 毅志 (電通大)	三次元復元及び医療 齊藤 剛 (電機大)	演奏支援 糸山 克寿 (京大)
	17:30		① 48	① 50	① 51	① 53	① 54	② 56	② 57	② 58
	9:30		組込みシステム 本田 晋也 (名大)	テスト・リポジトリ 高木 智彦 (香川大)	アルゴリズム (2) 吉川 大弘 (名大)	トラストフィルタ リング 波多野 賢治 (同志社大)	Web アプリケーション 平手 勇宇 (楽天)	映像と学習・ ユーザビリティ 安川 博 (愛知県大)	自然言語処理・応用 東中 竜一郎 (NTT)	作曲・編曲 伊藤 彰則 (東北大)
	12:00		① 48	① 50	① 51	① 53	① 54	② 56	② 57	② 58
3月8日 (木)	13:30									
	14:10									
	14:15									
	15:15									
3月8日 (木)	15:30		GPU 福嶋 慶繁 (名工大)	アーキテクチャ 松浦 佐江子 (芝浦工大)	数理モデル化と 問題解決 (1) 鈴木 麗壘 (名大)	時系列データ 渡辺 陽介 (東工大)	ソーシャル Web 岡 瑞起 (東大)	生体情報処理と 認知モデル 光松 秀倫 (名大)	機械翻訳・解析 井佐原 均 (豊橋技科大)	音楽認識・推定 大石 康智 (NTT CS研)
	17:30		① 49	① 50	① 52	① 53	① 54	② 56	② 57	② 58
	9:30		マルチコアと通信 尾崎 敦夫 (三菱)	要求 中鉢 欣秀 (産業技術大)	数理モデル化と 問題解決 (2) 堀田 一弘 (名城大)	情報推薦 奥 健太 (立命館大)	ニューラルネット 工藤 博章 (名大)	対話 徳久 良子 (豊田中研)	強化学習・学習応用 八谷 大岳 (東工大)	一般物体認識 長名 優子 (東京工科大)
	12:00		① 49	① 51	① 52	① 53	② 55	② 56	② 58	② 59
3月8日 (木)	13:15									
	14:15									
	14:30		数理モデル化と 問題解決 (3) 北 栄輔 (名大)	業務・システム分析 野田 夏子 (NEC サービスプラ ットフォーム研究所)	自然言語処理と ソーシャルネット ワーク解析 大塚 真吾 (神奈川工科大)	マルチメディア 堀 幸雄 (香川大)	人工生命 長尾 確 (名大)	画像検索と圧縮・伝送 桜井 優 (名工大)	機械学習 佐々木 裕 (豊田工業大)	映像による行動理解 本谷 秀堅 (名工大)
	16:30		① 50	① 51	① 53	① 54	② 56	② 57	② 58	② 59

※表中の右下の数字は当プログラム冊子の詳細掲載ページ番号です。

※表中の○囲み数字は講演論文集の掲載分冊番号です。また、右下の数字は当プログラム冊子の詳細掲載ページ番号です。

# タイムテーブル

学生セッション T 23号館 2F 2323	学生セッション U 23号館 3F 2331	学生セッション V 23号館 4F 2341	学生セッション W 1号館 1F 0111	学生セッション X 1号館 1F 0112	学生セッション Y 1号館 1F 0113	学生セッション Z 2号館 1F 0211	学生セッション ZA 2号館 1F 0212	学生セッション ZB 2号館 2F 0221
人工知能応用システム  渡邊 豊英 (名大)  ② 59		要約・言い換え  松原 茂樹 (名大)  ② 61	コンシューマ・デバイス&システム  美原 義行 (NTT)  ③ 64	センサネットワーク  村松 茂樹 (KDDI 研)  ③ 66	ライフログ  横山 浩之 (KDDI 研)  ③ 67	車載機器とネットワーク  孫 為華 (奈良先端大)  ③ 68	暗号・プロトコル  北澤 繁樹 (三菱)  ③ 69	汎用グラフィクス処理  安藤 英俊 (山梨大)  ④ 71
エージェントモデル  藤田 桂英 (東大)  ② 59	遺伝的アルゴリズムとファジー理論  有田 隆也 (名大)  ② 60	情報抽出・質問応答  佐々木 裕 (豊田工業大)  ② 61	安全運転支援  木谷 友哉 (静岡大)  ③ 65	マルチメディア符号化  高木 幸一 (KDDI 研)  ③ 66	P2P ネットワーク  松垣 博章 (電機大)  ③ 67	Web システム  熊本 忠彦 (千葉工大)  ③ 68	システムセキュリティ (2)  菊池 浩明 (東海大)  ③ 70	リアリティモデリング  水野 慎士 (愛知工大)  ④ 72
マルチエージェントシステム (1)  伊藤 孝行 (名工大)  ② 59	推論・探索  加藤 昇平 (名工大)  ② 60	災害時通信 (1)  藤田 茂 (千葉工大)  ③ 64	アドホックネットワーク  松垣 博章 (電機大)  ③ 65	歩行者ナビゲーションと観光  田 学軍 (愛知県大)  ③ 66	マルチメディア通信と分散処理  佐藤 永欣 (岩手県大)  ③ 67	移動体ネットワークプロトコル  藤崎 智宏 (NTT)  ③ 68	認証  西垣 正勝 (静岡大)  ③ 70	時系列 CG と可視化  竹島 由里子 (東北大)  ④ 72
マルチエージェントシステム (2)  大沢 英一 (はこだて未来大)  ② 60	耐雑音・音源分離・音源定位  藤本 雅清 (NTT)  ② 61	災害時通信 (2)  横山 輝明 (サイバー大)  ③ 64	ハンドオーバー・モビリティ  木村 成伴 (筑波大)  ③ 65	ネットワーク管理・運用  山井 成良 (岡山大)  ③ 66	センサネットワーク・ロボットシステム・通信  岩本 健嗣 (富山県大)  ③ 67	地図情報  内山 彰 (阪大)  ③ 68	生体情報活用インタフェース  田村 弘昭 (神戸大)  ④ 71	アニメーション  益子 宗 (楽天技術研究所)  ④ 72
ロボットビジョン  澤野 弘明 (愛知工大)  ② 60	音声合成・感情・韻律一般  坂野 秀樹 (名城大)  ② 61	スマートフォン・タブレット端末応用 (1)  深澤 佑介 (NTT ドコモ)  ③ 64	ネットワーク  北形 元 (東北大)  ③ 65	ホームネットワーク・情報家電  野一色 裕人 (KDDI 研)  ③ 66	コンテキストウェアネス  岩本 健嗣 (富山県大)  ③ 67	省電力・センサネットワーク  石原 進 (静岡大)  ③ 69	ロボットインタラクション  港 隆史 (ATR)  ④ 71	樹木とアート  青野 雅樹 (豊橋技科大)  ④ 72
検索・分類  秋葉 友良 (豊橋技科大)  ② 60	音声認識・音声言語処理  李 見伸 (名工大)  ② 61	スマートフォン・タブレット端末応用 (2)  横田 英俊 (KDDI 研)  ③ 64	近距離無線・センサネットワーク  神崎 映光 (阪大)  ③ 65	ウェアラブル・ライフログ  伊藤 貴之 (お茶の水女子大)  ③ 66	位置情報検索・行動支援  大内 一成 (東芝)  ③ 68	不正アクセス検知・対策  土井 洋 (情報セキュリティ大)  ③ 69	入出力インタフェースその他  鈴木 優 (京産大)  ④ 71	画像利用  藤代 一成 (慶大)  ④ 72

情報処理学会 第74回全国大会 タイムテーブル

日	時間	会場	学生セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション
		ZC 2号館 2F 0222	ZD 2号館 2F 0223	ZE 2号館 3F 0231	ZF 2号館 3F 0232	ZG 2号館 3F 0233	ZH 3号館 2F 0321	ZJ 3号館 2F 0322	
3月6日 (火)	9:30		学習・作業支援	3Dインタフェース	システム開発	交通・情報システム	企業の意思決定	地域情報の高度利用	医療ITシステム
	1		小倉 加奈代 (北陸先端大)	梶 克彦 (名大)	伊藤 一成 (青学大)	屋代 智之 (千葉工大)	原田 要之助 (情報セキュリティ大)	湯瀬 裕昭 (静岡県大)	大川 剛直 (神戸大)
	12:00		④ 72	④ 74	④ 77	④ 78	④ 79	④ 80	④ 81
	13:30								
14:45									
2	15:00	WebとSNS	AR	災害対策システム	地域観光支援システム	医療・福祉システム	学習支援	インタフェースの分析・評価	
		郷 健太郎 (山梨大)	高田 英明 (NTT)	原田 要之助 (情報セキュリティ大)	児玉 公信 (情報システム総研)	阪田 治 (山梨大)	井上 仁 (九大)	和氣 早苗 (同志社女子大)	
	17:30	④ 73	④ 74	④ 77	④ 78	④ 79	④ 80	④ 75	
3月7日 (水)	9:30	コミュニケーション支援 (1)	携帯端末活用インタフェース	教育支援システム	エンタテインメントシステム	情報教育	バイオメディカルインフォマティクス	人物画像処理	
	3	吉野 孝 (和歌山大)	真鍋 宏幸 (NTTドコモ)	中山 泰一 (電通大)	高田 明典 (フェリス女学院大)	田中 規久雄 (阪大)	加藤 毅 (群馬大)	原 隆一郎 (モルフォ)	
	12:00	④ 73	④ 74	④ 77	④ 78	④ 79	④ 81	② 61	
	13:30								
	14:10								
	14:15								
15:15									
4	15:30	コミュニケーション支援 (2)	計算機システムのインタフェース	農業支援システム	エンタテインメントの評価	電力・エネルギー	モバイルエンタテインメント	システム評価	
		西田 健志 (神戸大)	澤田 秀之 (香川大)	神沼 靖子 (フェロー)	高田 明典 (フェリス女学院大)	辻 秀一 (東海大)	倉本 到 (京都工芸繊維大)	櫻庭 健年 (日立)	
	17:30	④ 73	④ 74	④ 78	④ 79	④ 80	④ 81	① 52	
3月8日 (木)	9:30	プレゼンテーション支援	知的インタフェース	CAI	プログラミング教育	教育システム	医療支援システム		
	5	大内 一成 (東芝)	木村 朝子 (立命館大)	長瀧 寛之 (岡山大)	角田 博保 (電通大)	阿部 圭一 (愛知工大)	田部井 靖生 (東工大)		
	12:00	④ 73	④ 74	④ 78	④ 79	④ 80	④ 81		
	13:15								
14:15									
6	14:30	協調基盤	e-learning	SNS分析・応用	動作解析応用	画像応用	教師支援システム		
		中道 上 (南山大)	一戸 信哉 (敬和学園大)	金子 格 (東京工芸大)	恩田 憲一 (尚美学園大)	田中 雅章 (鈴鹿短大)	渡辺 博芳 (帝京大)		
	16:30	④ 73	④ 77	④ 78	④ 79	④ 80	④ 81		

※表中の右下の数字は当プログラム冊子の詳細掲載ページ番号です。

※表中の○囲み数字は講演論文集の掲載分冊番号です。また、右下の数字は当プログラム冊子の詳細掲載ページ番号です。

## 第 74 回全国大会講演論文集の分類と内容 (括弧内はセッション会場名)

### ●第 1 分冊

- ・アーキテクチャ  
計算機アーキテクチャ, システムソフトウェアとオペレーティングシステム, ハイパフォーマンスコンピューティング,  
エレクトロニクス用設計自動化・CAD  
(1A～4A, 1J～6J, 1K～5K)
- ・ソフトウェア科学・工学  
アルゴリズム, 数理モデル化と問題解決, ソフトウェア工学, プログラミング, システム評価  
(5A～6A, 1B～4B, 6K, 1L～6L, 1M～5M, 4ZJ)
- ・データベースとメディア  
データベース, 情報検索, メディアと情報開発・共有・流通  
(5B～6B, 1C～2C, 6M, 1N～6N, 1P～4P)

### ●第 2 分冊

- ・人工知能と認知科学  
人工知能, 自然言語処理, 音声言語情報処理, 視覚情報処理, 音楽情報科学, ゲーム  
(3C～6C, 1D～3D, 5P～6P, 1Q～6Q, 1R～6R, 1S～6S, 1T～6T, 2U～6U, 1V～2V, 3ZJ)

### ●第 3 分冊

- ・ネットワーク  
マルチメディア通信と分散処理, インターネットと分散システム運用技術, マルチメディア符号化,  
モバイルコンピューティング, ユビキタスコンピューティング, ITS, コンシューマ・デバイス&システム  
(4D～6D, 1E～4E, 3V～6V, 1W～6W, 1X～6X, 1Y～6Y, 1Z～5Z)
- ・セキュリティ  
セキュリティ基盤技術, ネットワークセキュリティ, システムセキュリティ, セキュリティと社会,  
危機管理とリスク管理, 信頼性  
(5E～6E, 1F, 6Z, 1ZA～3ZA)

### ●第 4 分冊

- ・インタフェース  
ヒューマンコンピュータインタラクション, グループウェア, グラフィクスと CAD, バーチャルリアリティ  
(2F～4F, 4ZA～6ZA, 1ZB～6ZB, 1ZC～6ZC, 1ZD～5ZD, 2ZJ)
- ・コンピュータと人間社会  
情報システム, コンピュータと教育・学習, コンピュータと社会, 医療分野への応用, 企業活動への応用,  
バイオ情報学, エンタテインメントコンピューティング, 標準化  
(5F～6F, 1G～5G, 1H～6H, 6ZD, 1ZE～6ZE, 1ZF～6ZF, 1ZG～6ZG, 1ZH～6ZH, 1ZJ)

## ー全国大会イベント企画のご案内ー

### ■招待講演 (1) 6日 (火) 13:30-14:45

第1 イベント会場 (51号館 1F 5111)

[Engineering coordinated behavior across socio-economic systems]

David C. Parkes (Harvard University School of Engineering and Applied Science Professor)

### ■招待講演 (2) 7日 (水) 14:15-15:15

第1 イベント会場 (51号館 1F 5111)

[Reducing the risk in software engineering products and services]

John Walz (IEEE Computer Society President)

### ■招待講演 (3) 8日 (木) 13:15-14:15

第1 イベント会場 (51号館 1F 5111)

[日常のITS、非日常のITS]

渡邊 浩之 (ITS Japan 会長)

### ■大会挨拶・表彰式・認定式 7日 (水) 13:30-14:10

第1 イベント会場 (51号館 1F 5111)

### ■イベント企画

第1 イベント会場 (51号館 1F 5111)

- ・6日 (火) 9:30-12:30 情報処理技術遺産認定式・私の詩と真実
- ・6日 (火) 15:00-17:30 サステナブルな次世代社会情報メカニズム
- ・7日 (水) 9:30-12:00 大学認証基盤の運用経験から見えてきた効用と課題
- ・7日 (水) 15:30-17:30 デジタルプラクティス論文を書いてよかった!!
- ・8日 (木) 10:00-12:00 震災復興デザインコンテスト
- ・8日 (木) 14:30-16:30 多言語・マルチユース時代のドキュメント作成技術システム

第2 イベント会場 (52・53号館 1F 5211)

- ・6日 (火) 9:30-12:00 実世界自然言語処理への挑戦
- ・6日 (火) 15:00-17:30 エクサスケールコンピューティングへ向けたソフトウェア技術開発ロードマップ
- ・7日 (水) 9:30-12:00 論文必勝法～傾向と対策～
- ・7日 (水) 15:30-17:30 コンピュータ将棋はまだ止まらない
- ・8日 (木) 9:30-12:00 スパコンアプリ開発最前線
- ・8日 (木) 14:30-16:30 私的勉強会と学会の未来

第3 イベント会場 (52・53号館 1F 5212)

- ・6日 (火) 9:30-12:00 教育ビジョン2011：変わらなくちゃ、情報処理学会
- ・6日 (火) 15:00-17:30 教育活動は「つけ足し」でいいのか？～情報処理学会における教育活動～
- ・7日 (水) 10:00-12:00 次世代eラーニング研究シンポジウム
- ・7日 (水) 15:30-17:30 クラウドコンピューティングがもたらす遠隔教育の革新
- ・8日 (木) 9:30-12:00 産業界からの学会活動活性化に向けて  
～コンシューマ・デバイス&システム研究会の取り組みと期待される今後の活動～

### ■大会スポンサー展示・各種展示 6日 (火)～8日 (木) 9:30-17:00 \* 8日 (木) は 15:00 まで

展示 (52・53号館 1F 5211・5212 前ロビー)

- 株式会社とめ研究所 (大会ゴールドスポンサー)
- ヤフー株式会社 (大会ゴールドスポンサー)
- 株式会社エデックリンセイシステム (大会ゴールドスポンサー)
- 有限会社来栖川電算 (大会ゴールドスポンサー)
- 株式会社ディー・エヌ・エー (大会ゴールドスポンサー)
- 株式会社マクシス・シントー (大会スタンダードスポンサー)
- 法政大学スマートクラウド研究室
- 共立出版株式会社 (大会スタンダードスポンサー)
- 株式会社 JCC ギミック
- 三精システム株式会社
- 株式会社アイキューブテクノロジー
- 名古屋工業大学 梅崎研究室 (大会スタンダードスポンサー)
- 合同会社 3Dragons (大会スタンダードスポンサー)
- 株式会社日経 BP 社 日経 BP マーケティング

- 全国大会 会場別プログラム -

【第1 イベント会場 (51 号館 1F 5111)】		
日	時間	内 容
6 日 (火)	<b>情報処理技術遺産認定式</b>	
	9:30-10:10	情報処理技術遺産と分散コンピュータ博物館の認定
	<b>私の詩と真実</b>	
	10:20-11:20	講演 (1) : コンパイラの最適化を追求して 中田 育男 (筑波大)
	11:30-12:30	講演 (2) : 質と量 福村 晃夫 (名大/中京大)
	13:30-14:45	<b>招待講演 (1) : Engineering coordinated behavior across socio-economic systems</b> David C. Parkes (Harvard University Professor)
	<b>サステナブルな次世代社会情報メカニズム</b>	
	15:00-15:10	ご挨拶 (名古屋工業大学グリーンコンピューティング研究所のご紹介) 伊藤 孝行 (名工大)
	15:10-15:40	特別講演 (1) : スマートシティにおけるマルチエージェントシミュレーションの力 中島 秀之 (公立はこだて未来大)
	15:40-16:00	講演 (1) : 活動・交通行動シミュレーションによる次世代交通システムの評価 金森 亮 (名工大)
16:00-16:20	講演 (2) : 環境負荷・減災と快適性の評価に基づく都市計画 松尾 徳朗 (山形大/名工大/セントラルミシガン大/中国上海大)	
16:20-16:40	講演 (3) : 消費者のグリーン社会貢献活動への試み 桑原 英人 (ARCHES)	
16:40-17:10	特別講演 (2) : 超高齢社会のための ICT 技術とその応用 秋山 昌範 (東大)	
17:10-17:30	講演 (4) : 音声韻律・脳血流情報を用いた認知症の早期スクリーニングをめざして 加藤 昇平 (名工大)	
7 日	<b>大学認証基盤の運用経験から見てきた効用と課題</b>	
	9:30-9:55	講演 (1) : 名古屋工業大学における PKI・IC カード認証の運用 5 年間の経験から 内匠 逸 (名工大)
	9:55-10:20	講演 (2) : 認証統合を起点とした情報基盤整備 : 佐賀大学の事例 只木 進一 (佐賀大)
	10:20-10:45	講演 (3) : 岡山大学における生涯 ID と Gmail サービスの開発と運用 稗田 隆 (岡山大)
	10:45-11:10	講演 (4) : 名古屋工業大学における統一データベースの開発と運用 齋藤 彰一 (名工大)
	11:10-12:00	パネル討論 司 会 : 松尾 啓志 (名工大) パネリスト : 内匠 逸 (名工大), 只木 進一 (佐賀大), 稗田 隆 (岡山大), 齋藤 彰一 (名工大)
(水)	<b>大会挨拶・表彰式・認証式</b>	
	14:15-15:15	<b>招待講演 (2) : Reducing the risk in software engineering products and services</b> John Walz (IEEE Computer Society President)
	<b>デジタルプラクティス論文を書いてよかった!!</b>	
	15:30-16:00	講演 : デジタルプラクティスで自分の仕事を再評価する? サービスサイエンスによるコールセンター改革 関戸 隆明 (オムロンフィールドエンジニアリング)
16:05-17:30	パネル討論 司 会 : 土井美和子 (東芝) パネリスト : 関戸 隆明 (オムロンフィールドエンジニアリング), 永瀬 秀彦 (ジェイアール東日本メカトロニクス), 河口 信夫 (名大), terurou (東海地方のメタコミュニティ「DSTokai」の管理人/コスモルート)	
8 日 (木)	<b>震災復興デザインコンテスト</b>	
	10:00-10:10	震災復興デザインコンテストの審査結果について
	10:10-10:30	最優秀発表
	10:30-10:50	優秀発表
	11:00-12:00	特別講演 : 被災一年後の提言 白鳥 則郎 (東北大)
	13:15-14:15	<b>招待講演 (3) : 日常の ITS、非日常の ITS</b> 渡邊 浩之 (ITS Japan 会長)
<b>多言語・マルチユース時代のドキュメント作成技術システム</b>		
14:30-15:30	講演 : 特許文書を対象とした情報検索と機械翻訳の研究動向 藤井 敦 (東工大)	
15:30-16:30	パネル討論 : グローバル時代のドキュメント作成技術動向と課題 司 会 : 高橋 慈子 (ハーティネス) パネリスト : 藤井 敦 (東工大), 嶋田 正裕 (特定非営利活動法人 STC 東京), 林口 英治 (DITA コンソーシアムジャパン)	

【第2 イベント会場 (52・53号館 1F 5211)】			
日	時間	内	容
6 日	<b>実世界自然言語処理への挑戦</b>		
	9:30-9:40	オープニング	乾 孝司 (筑波大)
	9:40-9:55	講演 (1) : 不自然言語処理全体	萩原 正人 (楽天)
	9:55-10:10	講演 (2) : ANPL_NLP	村上 浩司 (楽天)
	10:10-10:20	講演 (3) : 新しい語・崩れた表記	鍛冶 伸裕 (東大)
	10:20-10:30	講演 (4) : 新しい語・崩れた表記	笹野 遼平 (東工大)
	10:30-10:40	講演 (5) : テキスト世界は必ずしも現実世界を反映しない	荒牧 英治 (東大)
	10:40-10:50	講演 (6) : SNS と文化財	橋本 泰一 (東工大)
	10:50-11:00	講演 (7) : 情報の流れからみるウェブのマッシュアップデータ	岡 瑞起 (東大)
	11:00-11:10	講演 (8) : twitter からの震災情報	榊 剛史 (東大)
11:10-11:20	講演 (9) : 世の中を捉えるための言語処理技術	岡野原大輔 (Preferred Infrastructure)	
6 日	11:20-12:00	パネル討論 司 会 : 乾 孝司 (筑波大) パネリスト : 萩原 正人 (楽天), 村上 浩司 (楽天), 鍛冶 伸裕 (東大), 笹野 遼平 (東工大), 荒牧 英治 (東大), 橋本 泰一 (東工大), 岡 瑞起 (東大), 榊 剛史 (東大), 岡野原大輔 (Preferred Infrastructure)	
	<b>エクサスケールコンピューティングへ向けたソフトウェア技術開発ロードマップ</b>		
(火)	15:00-15:25	講演 (1) : エクサスケール時代の計算科学	富田 浩文 (理研)
	15:25-15:50	講演 (2) : エクサスケールシステムに向けたアーキテクチャのロードマップ	近藤 正章 (電通大)
	15:50-16:15	講演 (3) : システムソフトウェアのロードマップ	野村 哲弘 (東工大)
	16:15-16:40	講演 (4) : エクサスケール時代のプログラミング	丸山 直也 (東工大)
	16:40-17:05	講演 (5) : アプリケーションで働く小人を見つけられるか? ～数値計算ライブラリによる抽象化の挑戦～	片桐 孝洋 (東大)
	17:05-17:30	パネル討論 : スパコンにもっとソフトウェアを! 司 会 : 須田 礼仁 (東大) パネリスト : 富田 浩文 (理研), 近藤 正章 (電通大), 野村 哲弘 (東工大), 丸山 直也 (東工大), 片桐 孝洋 (東大)	
7 日	<b>論文必勝法 ～傾向と対策～</b>		
	9:30-10:15	講演 (1) : 一流論文誌に採択される研究戦略と論文執筆	鷲尾 隆 (阪大)
	10:15-11:00	講演 (2) : アプリケーション論文の難しさとその攻略法	宗森 純 (和歌山大)
	11:00-12:00	パネル討論 : 論文誌編集の立場からの論文の書き方と査読の仕方 司 会 : 横田 治夫 (東工大) パネリスト : 齋藤 孝道 (明治), 定兼 邦彦 (国立情報学研), 笹嶋 宗彦 (阪大), 佐藤 誠 (東芝)	
(水)	<b>コンピュータ将棋はまだ止まらない</b>		
	15:30-15:35	オープニング	松原 仁 (公立はこだて未来大)
	15:35-15:55	講演 (1) : コンピュータ将棋の近年の動向	伊藤 毅志 (電通大)
	15:55-16:15	講演 (2) : 人間はコンピュータとどこまで戦えるか	古作 登 (大阪商業大)
	16:15-16:35	講演 (3) : コンピュータ将棋の不思議	篠田 正人 (奈良女子大)
	16:35-17:30	パネル討論 司 会 : 松原 仁 (公立はこだて未来大) パネリスト : 伊藤 毅志 (電通大), 古作 登 (大阪商業大), 篠田 正人 (奈良女子大)	
8 日	<b>スパコンアプリ開発最前線</b>		
	9:30-10:30	講演 (1) : 京速コンピュータ「京」について	横川三津夫 (理研)
	10:30-11:15	講演 (2) : 実空間密度汎関数法プログラムの開発とナノ構造物質の電子状態計算	岩田 潤一 (東大)
	11:15-12:00	講演 (3) : スーパーコンピュータによる大規模遺伝子ネットワーク推定	玉田 嘉紀 (東大)
(木)	<b>私的勉強会と学会の未来 [パネル討論]</b>		
	14:30-16:30	司 会 : 木村 俊也 (ミクシィ) パネリスト : 佐藤 敏紀, 奥野 陽, 里 洋平 (ディー・エヌ・エー), 大原 一輝 (サイバーエージェント), 濱田 晃一 (ディー・エヌ・エー), 井上 敬浩	

【第3 イベント会場 (52・53 号館 1F 5212)】		
日	時間	内 容
6 日	教育ビジョン 2011：変わらなくちゃ、情報処理学会	
	9:30-9:50	講演 (1)：教育ビジョン 2011 の紹介 笥 捷彦 (早大)
	9:50-10:10	講演 (2)：未来世代から学ぶ～電子情報通信学会における試み～ 原島 博 (東大)
	10:10-10:30	講演 (3)：企業人から社会人へ 斎藤富士夫 (NPO 法人湖南ネットしが)
	10:30-12:00	パネル討論：情報処理学会が世の中に貢献するためには 司 会：久野 靖 (筑波大) パネリスト：笥 捷彦 (早大), 原島 博 (東大), 斎藤富士夫 (NPO 法人湖南ネットしが), 寺田 真敏 (日立), 児玉 公信 (情報システム総研)
(火)	教育活動は「つけ足し」でいいのか？～情報処理学会における教育活動～	
	15:00-15:20	講演 (1)：専門教育カリキュラムと J07 フォローアップ 掛下 哲郎 (佐賀大)
	15:20-15:40	講演 (2)：一般情報教育の問題と情報処理学会の役割 河村 一樹 (東京国際大)
	15:40-16:00	講演 (3)：初等中等情報教育の問題と情報処理学会の役割 久野 靖 (筑波大)
	16:00-17:30	パネル討論：情報処理学会はもっと本腰を据えて教育に取り組むべきでは？ 司 会：笥 捷彦 (早大) パネリスト：掛下 哲郎 (佐賀大), 河村 一樹 (東京国際大), 久野 靖 (筑波大), 神沼 靖子 (情報処理学会フェロー), 駒谷 昇一 (NTT データ)
7 日	次世代 e ラーニング研究シンポジウム	
	10:00-10:40	講演 (1)：知的基盤としての e ラーニングの将来性 白井 克彦 (放送大)
	10:40-11:20	講演 (2)：クラウドとモバイルコンピューティングがもたらす e ラーニングの進化と可能性 川原 洋 (サイバー大)
	11:20-12:00	講演 (3)：大学教育における e ラーニングへの期待 國井 秀子 (リコー IT ソリューションズ)
	(水)	クラウドコンピューティングがもたらす遠隔教育の革新
15:30-15:45		講演 (1)：クラウド基盤を支える仮想化と e ラーニングに代表される教育について 高野 徳己 (富士通)
15:45-16:00		講演 (2)：変わりゆくネット環境と e ラーニングシステム 喜多 敏博 (熊本大)
16:00-16:15		講演 (3)：企業研修にみられる e ラーニングのユーティリティ化 北川 徹 (ソフトバンク BB)
16:15-16:30		講演 (4)：DaaS とモバイル e ラーニング 中澤 真 (会津大)
(木)	16:30-16:45	講演 (5)：クラウド環境における電子教科書の効用と課題 黒須 正明 (放送大)
	16:45-17:30	パネル討論：クラウドコンピューティングがもたらす遠隔教育の革新 司 会：川原 洋 (サイバー大) パネリスト：高野 徳己 (富士通), 喜多 敏博 (熊本大), 北川 徹 (ソフトバンク BB), 中澤 真 (会津大), 黒須 正明 (放送大)
	産業界からの学会活動活性化に向けて ～コンシューマ・デバイス&システム研究会の取り組みと期待される今後の活動～	
8 日	9:30-10:05	基調講演：CDS 研究会設立の背景と今後の活動方針 石川 憲洋 (駒澤大)
	10:05-10:40	講演 (1)：災害に強いグリーン指向ネットワーク 白鳥 則郎 (東北大)
	10:40-11:15	講演 (2)：IEEE Consumer Electronics Society からの CDS 研究会への期待 長谷 智弘 (龍谷大)
	11:15-11:50	講演 (3)：ホーム IT システムの現状と将来 一色 正男 (神奈川工科大/慶大)
	11:50-12:00	全体質疑

【一般セッション：A～H 会場 (8 会場)】 52・53 号館	
【学生セッション：J～ZJ 会場 (25 会場)】 52・53 号館, 23 号館, 1 号館, 2 号館, 3 号館	
6 日	[9:30～12:00, 1500～17:30], 7 日 [9:30～12:00, 15:30～17:30], 8 日 [9:30～12:00, 14:30～16:30]

【大会スポンサー展示・各種展示会場】 52・53 号館 1F 5211・5212 前ロビー	
6 日～8 日 [9:30-17:00] * 8 日は 15:00 まで	

【懇親会会場】 名古屋ビール園 浩養園	
7 日 [18:15～20:15]	

# 全国大会 招待講演企画・イベント企画の概要

## 招待講演 1 「Engineering coordinated behavior across socio-economic systems」 3月6日（火）13:30-14:45 [第1 イベント会場（51号館 1F 5111）]

David C. Parkes (Harvard University School of Engineering and Applied Science Professor)

[講演概要]

By adjusting the methods of allocation, the rules of behavior, and the forms of information sharing, we can promote desirable outcomes in computer-mediated, socio-economic systems. We seek to engineer coordinated behavior despite the myriad challenges related to distributed information, diverse abilities, and possibly misaligned incentives. In this talk, I first consider electronic markets, the role of incentive compatibility, and the challenges of scaling to dynamic and intractable problems. Second, I consider the emerging domains of crowd-sourcing and collaborative consumption, and discuss the methods of reward sharing, task routing, and contribution-accounting systems, along with the broader role of computational intelligence.



[略歴]

David C. Parkes is the Gordon McKay Professor of Computer Science in the School of Engineering and Applied Sciences at Harvard University. He was the recipient of the NSF Career Award, the Alfred P. Sloan Fellowship, the Thouron Scholarship, the Harvard University Roslyn Abramson Award for Teaching and named as one of Harvard Class of 2010 Favorite Professors. Parkes received his Ph.D. degree in Computer and Information Science from the University of Pennsylvania in 2001, and an M.Eng. (First class) in Engineering and Computing Science from Oxford University in 1995. At Harvard, Parkes founded the Economics and Computer Science research group and teaches classes in artificial intelligence, machine learning, optimization, multi-agent systems, and Econ-CS. His research interests include computational mechanism design, electronic commerce, stochastic optimization, preference elicitation, market design, bounded rationality, computational social choice, networks and incentives, multi-agent systems, crowd-sourcing and social computing. Parkes currently serves as Editor of Games and Economic Behavior, the Chair of the ACM Special Interest Group in Electronic Commerce (SIGecom), and on the boards of Journal of Autonomous Agents and Multi-agent Systems, the ACM Transactions on Economics and Computation, and the INFORMS Journal of Computing. Parkes has previously served as Program Chair of ACM EC'07 and AAMAS'08, and General Chair of ACM EC'10. <http://www.eecs.harvard.edu/~parkes>

イベント協賛：「内閣府最先端・次世代研究開発プロジェクト「環境社会最適化シミュレーションを可能にする社会最適化アルゴリズム創出とその応用（研究代表者：伊藤孝行）」

## 招待講演 2 「Reducing the risk in software engineering products and services」 3月7日（水）14:15-15:15 [第1 イベント会場（51号館 1F 5111）]

John Walz (IEEE Computer Society President)

[講演概要]

This talk is divided into two sections of software engineering products and services, first the risk during the product development and second the risk during product usage. Software Engineering (SwE) product development is divided into three sub-sections, where risks are managed and mitigated by a balance of:

- 1) Well defined processes,
- 2) Staffed and conducted by talented people,
- 3) operating within a project management using technology.

The desired attributes during development are full functional products, delivered on-time with excellent quality. The Product quality model, from ISO/IEC 25010 System and Software Quality Models, has two levels, where the first level of eight attributes includes: Functional suitability, Performance efficiency, Compatibility, Usability, Reliability, Security, Maintainability, and Portability.

Complete SwE processes are defined from standards and instantiated by the organization for the SwE project. The web of SwE processes are designed into a SwE Life Cycle Model, showing relationships of processes and their shared Information products. These process model dependencies and information products are reflected in the project management plan. SwE processes minimum outcomes and tasks are defined in IEEE 12207 SwE Life Cycle Processes. For those SwE projects that support system projects, additional system engineering (SE) processes are defined in IEEE 15288 System Engineering Life Cycle Processes. The project life cycle Information Products minimum structure are defined in IEEE 15289 Software and System Engineering (S2E) Life Cycle Information Products. The information products are either customer deliverables or the internal products, sometimes called process artifacts for purposes of project communication and assessments for maturity and capability.

For optimum development risk avoidance, the project life cycle should include the risk management process, whose minimum requirements are in IEEE 16085 Systems and software engineering Risk management process. Along with risk management process, many of software and system engineering (S2E) processes have more detailed defined process definitions in standards. Important supporting processes include the upcoming IEEE 730 Software Quality Assurance Process and IEEE 1012 S2E Verification & Validation Process.

The next sub-section covers talented people conducting the well defined processes.

Project staff should be knowledgeable and follow the ACM / IEEE Software Engineering Code of Ethics and Professional Practice. Staff attributes include education, training, and experience. While university degrees and job history are useful, the objective measurable personnel attributes is attainment of IEEE Certified Software Development Professional (CSDP). The CSDP is based on the Software Engineering Body of Knowledge (SWEBOK). The bachelor degree should be acquired from a university or college whose curriculum as been assessed against the ACM / IEEE Software Engineering (SE2004) curriculum guide. Graduate degree should be acquired from a university or college whose curriculum has Curriculum Guidelines for Graduate Degree Programs in Software Engineering (GSWE2009). The SwE project staff should use standard vocabulary from IEEE Software and Systems Engineering (S2E) Vocabulary. For software intensive systems projects, the System Engineering (SE) Body of Knowledge is under development and Version 0.5 is available to the public for comment. SEBOK will be supported by future training offerings similar to SWEBOK knowledge area training courseware. At a later date, staff credentials can be confirmed by certification schemes. For optimum development risk avoidance, the project life cycle should include the human resource process, whose minimum outcomes and tasks are described in both IEEE 12207 and 15288.

The third development sub-section is the project management. The technical management team should rely on the Guide to the Project Management Body of Knowledge (PMBOK Guide). PMBOK presents a set of standard terminology and guidelines for project management. Both PMI and IEEE experts are working together on developing the software extension to PMBOK. Other reference sources for Software Project Management is using IEEE 1058.1 Software Project Management Plans. Lean and agile management techniques are important, some are planned to be added to PMBOK. Project manager qualifications can be demonstrated by achievement of the Project Manager Professional (PMP) certification by PMI. The second and last section is reducing the risk in using software engineering products and services.



**【略歴】**

John Walz retired from Lucent / AT&T with over 20 years of management/coaching experience, covering positions in hardware and software engineering, quality planning and auditing, standards implementation, and strategic planning. John has co-authored three books covering the use of IEEE Software Engineering Standards to support CMMI®, ISO 9001, and Lean Six Sigma. He is also a contributor to the CS ReadyNotes products and industry webinar programs.

Walz has served IEEE Computer Society as the Vice President of Technical and Conferences Activities Board and on the Board of Governors. Previously he was Standards Activities Vice President. John also served on the Computer Society's committees on History, Technology & Conferences New Practitioners, Awards, Membership, Software & Systems Engineering Standards (S2ESC), and the Computer Software Applications Conference (COMPSAC).

Walz held leadership positions in national and international industry and professional organizations, including the U.S. Technical Advisory Group for ISO committee working ISO 9001, American Society for Quality (ASQ) Electronics and Communications Division, ASQ Sarbanes-Oxley Forum, Quality Excellence for Suppliers of Telecommunications (QuEST) Forum, and Information Integrity Coalition.

Walz participated in the IEEE Computer Society Distinguished Visitor Program and is a recipient of the IEEE Computer Society Golden Core, Distinguished Service, and Meritorious Service Awards. He received a Masters of Science in Electrical Engineering from Ohio State University.

## 招待講演 3 「日常の ITS、非日常の ITS」 3月8日（木）13:15-14:15 [第1 イベント会場（51号館 1F 5111）]

渡邊 浩之 (ITS Japan 会長)

**【講演概要】**

ITS (Intelligent Transport Systems) は、情報通信技術や電子制御技術を活用して交通の諸課題を解決するとともに、生活の質的向上と経済発展を促進すべく、産官学が連携して取り組んできた。東日本大震災の救援・復旧活動にも、通行実績および通行止め情報をいち早く配信し貢献することができた。さらに、情報ネットワークの利用が事業活動ばかりでなく日常生活にも急速に浸透し、多様な情報に高いリアリティーをもって常に接することができるようになってきた。これが、人やモノのモビリティのあり方にも変革をもたらすことが期待される。その大きな可能性と健全な発展を阻害しうる要因について述べる。



**【略歴】**

1967年九州大学大学院工学研究科修士課程修了、04年九州大学より博士号（工学）を取得。67年トヨタ自動車工業株式会社入社、96年同社取締役就任、主にプリウス、燃料電池の開発、海外サービスなどに携わる。99年同社常務取締役就任、主に商品企画、R&D全般を担当。01年同社専務取締役就任、主に技術開発分野、商品企画、ITS、品保、環境等を担当。05年同社技監就任（現在に至る）。主な兼職:07年内閣府総合科学技術会議専門委員就任、09年特定非営利活動法人 ITS Japan 会長就任（現在に至る）

## 情報処理技術遺産認定式 3月6日（火）9:30-10:10 [第1 イベント会場（51号館 1F 5111）]

**【セッション概要】**

情報処理技術遺産と分散コンピュータ博物館の認定を今年も行います。4回目となる今回もわが国の貴重な技術遺産の所有者および貴重な技術遺産を保存、展示しているコレクションの責任者をお招きして情報処理学会会長から認定証をお渡します。



司会: 和田 英一 (株) IJ イノベーションインスティテュート 研究顧問

**【略歴】**

1955年東京大学理学部物理学科卒業。1957年修士課程終了。1957年～1964年小野田セメント調査部統計課。1964年～1992年東京大学工学部計数工学科。1992年～2002年富士通研究所。2002年～IJ 技術研究所。IFIP WG2.1 メンバー、WIDE プロジェクトメンバー、情報処理学会プログラミング・シンポジウム委員会運営委員長、情報処理学会会誌編集長などを歴任。

## 私の詩と真実

3月6日(火) 10:20-12:30 [第1 イベント会場 (51号館 1F 5111)]

### [セッション概要]

情報処理学会歴史特別委員会ではオーラルヒストリのインタビューを進めているが、大先輩のお話は毎回大変示唆に富み印象的なもので、これを広く会員の方々に、特に若い世代の会員に直接お聞かせできないものかと検討してきた。そして海外の事例なども参考にし、コンピュータパイオニアあるいは情報処理学会会長経験者、またはそれらに相当する経歴の大先輩をお招きして、若い頃の研究生生活の思い出や今の若い世代に伝えたい経験談などをお話いただくシンポジウムを企画した。なお本シンポジウムは第70回大会から開催しており今回は第5回目となる。



司会: 和田 英一 (株) IJ イノベーションインスティテュート 研究顧問

### [略歴]

1955年東京大学理学部物理学科卒業。1957年修士課程終了。1957年～1964年小野田セメント調査部統計課。1964年～1992年東京大学工学部計数工学科。1992年～2002年富士通研究所。2002年～IJ技術研究所。IFIP WG2.1メンバー、WIDEプロジェクトメンバー、情報処理学会プログラミング・シンポジウム委員会運営委員長、情報処理学会会誌編集長などを歴任。

### 10:20～11:20 講演(1)「コンパイラの最適化を追求して」

中田 育男 (筑波大学 名誉教授)

### [講演概要]

コンパイラとその最適化について、私がかかわってきたことを述べます。東京大学大型計算機センタの初代の計算機 HITAC5020 の FORTRAN コンパイラを設計するにあたっては、配列要素のアクセス法を工夫することによってコンパイルも実行も適度に速いコンパイラを実現しました。また、算術式と論理式について最適化アルゴリズムを考案しました。前者は複数個のレジスタを最適に利用するもので現在でも使われていますが、後者は失敗しました。筑波大学と日立製作所で開発した超並列計算機 CP-PACS の FORTRAN コンパイラの最適化や、最近の COINS コンパイラ・インフラストラクチャでの最適化についても述べます。私はコンパイラとその最適化の技術を蓄積して誰でもそれが使えるようにすることが大事であると考えて、いくつかの解説書を書き、COINS の開発にもかかわりました。



### [略歴]

1958年東京大学理学部数学科卒、1960年同大学院数物系研究科修士課程修了、同年日立製作所入社、1979年筑波大学電子・情報工学系教授、1997年図書館情報大学教授、2000年法政大学情報科学部教授、2006～2008年同客員教授。2008年から Ruby 標準化検討 WG 委員長。著書:「コンパイラ」(産業図書)、「コンパイラ」(オーム社)、「コンパイラの構成と最適化」(朝倉書店)、「コンパイラの基盤技術と実践—コンパイラ・インフラストラクチャ COINS を用いて—」(朝倉書店)。情報処理学会名誉会員。

### 11:30-12:30 講演(2)「質と量」

福村 晃夫 (名古屋大学/中京大学 名誉教授)

### [講演概要]

単発・単葉・引っ込み足の戦闘機のボディーラインに魅せられていた少年は、旧制高校は理科甲類に進学し、大学は航空学科に入った。エンジンや燃料は眼中になく、理系も農学は土臭いと思っていた。終戦による学科の廃科、電気系への転向、そこで人間を見つけた有線工学、そこで選んだ研究テーマ“通話品質”、ここから工学での“質”に対する関心が始まった。記録されたものではなく喉から湧き出る音を分析する。これは解剖と同質であり生臭い。だが生きた情報であれば当たり前のことである。消えるべき音は記録(空間化)されると洪水になり、処理は泥臭くなる。質とは聞こえ、見え、印象など心に刻み込まれるものであり、本来的に言語化を嫌うが、その言語のなかに工学はいて、量を扱う。質が量に単調にかかわる例は稀である。質を言語化して量の重みをつけるにはその環境を添えなければならない。環境は人の住まう場所であり土臭い。生臭く泥臭い情報を処理するには土臭さ(身体性)が要るのである。



### [略歴]

1925年生。1949年名古屋大学工学部電気科卒業。1949～88年同大工学部教授。1981～88年同大大型計算機センターセンター長併任。1986～88年人工知能学会会長。1988～90年中京大学社会学部教授。1990～94年同大情報科学部学部長。1994～2000年同大学院情報科学研究科長。1994年情報処理学会功績賞、1996年人工知能学会功績賞、大川出版賞。情報処理学会名誉会員。電子情報通信学会、人工知能学会、日本音響学会、日本生体医工学学会各会員。

## サステナブルな次世代社会情報メカニズム

3月6日(火) 15:00-17:30 [第1 イベント会場 (51号館 1F 5111)]

### [セッション概要]

サステナブルな社会システムを実現するためには、最先端の情報技術が絶対不可欠である。現在、誰もが持っているスマートフォンは、一昔前のスーパーコンピュータ並の計算能力を持ち、さらにほとんどすべてがネットワークに接続されている。人類史上、人間同士のつながりがこれほど密になっている状況はない。道路網や鉄道といった既存の社会インフラの上に、これらの新しい情報技術による社会メカニズムを創造構築していくことで、人や環境に優しく、弾力性のある社会システムを構築することができる。本イベント企画セッションでは、次世代の情報技術を用いた社会メカニズムについて、交通、災害、医療、介護の主要分野からのご講演をいただく。



司会: 伊藤 孝行 (名古屋工業大学 産業戦略工学専攻/情報工学科 教授)

### [略歴]

2000年名工大博士後期課程修了。博士(工学)。2001年北陸先端大助教授。2003年名工大情報工学専攻助教授。2006年名工大産業戦略工学専攻准教授。2009年JST さきがけ大挑戦型研究員。名工大グリーン・コンピューティング研究所所長、現在に至る。JSPS 特別研究員。および、USC、ハーバード大学、MIT、東京大学の客員研究員を歴任。2011年内閣府最先端・次世代研究開発プロジェクト代表研究者。2007年文部科学大臣表彰受賞。情報処理学会会長尾真記念特別賞受賞。AAMAS2006 最優秀論文賞受賞。2005年日本ソフトウェア科学会論文賞受賞。2004年度IPA 未踏ソフトウェア創造事業スーパークリエータ認定。第66回情報処理学会全国大会優秀賞及び奨励賞受賞。マルチエージェントシステム国際財団(IFAAAMAS)理事。

15:00-15:10 ご挨拶 (名古屋工業大学グリーンコンピューティング研究所のご紹介)

伊藤 孝行 (名古屋工業大学 産業戦略工学専攻/情報工学科 教授)

略歴・写真は「サステイナブルな次世代社会情報メカニズム」司会紹介を参照。

15:10-15:40 特別講演1「スマートシティにおけるマルチエージェントシミュレーションの力」

中島 秀之 (公立はこだて未来大学 学長)

【講演概要】

スマートシティとはITを活用することにより都市機能を高めた、新しい住み良い都市の仕組みを探る試みに付けられた呼称である。我々は広域圏を対称としたスマートシティプロジェクトを展開中であるが、本プロジェクトの中心は新しい公共交通網である。公共交通網を動脈とし、様々な都市内サービス(医療、食事、購買、教育など)を有機的に連携させることを目指している。このような都市全体規模の改変を考える場合、通常の小規模実証実験では正しい結果が得られないことが多い。フルデマンドバスは小規模都市でしか有利性が無いという実証実験結果が得られているが、我々の行ったシミュレーションでは逆の結果(大都市程有利)が出ている。今後、大規模システムの実証は、マルチエージェントシミュレーションに頼らざるを得なくなるのではないかと考える。

【略歴】

1983年、東大情報工学専門課程修了(工学博士)。同年、電総研入所。2001年より産総研サイバーアシスト研究センター長。2004年より公立はこだて未来大学学長。認知科学会元会長、ソフトウェア学会元理事、人工知能学会元理事・フェロー、情報処理学会元副会長・フェロー、マルチエージェントシステム国際財団元理事、日本工学アカデミー会員、電子情報通信学会会員、日本学術会議連携会員。未踏ソフトウェア元P.M、さきがけ総括。



15:40-16:00 講演(1)「活動・交通行動シミュレーションによる次世代交通システムの評価」

金森 亮 (名古屋工業大学 しくみ領域 特任准教授)

【講演概要】

日常生活を円滑に過ごすために、我々は自宅以外で活動を行うために移動する。これは情報化社会、高齢化社会となっても、その時々に応じた都市交通問題が生じ、対処していく必要があることを意味する。次世代交通システムはICT/ITSの進展によって実現されるが、その導入効果を評価するためにはサービス提供化における各個人の活動・交通行動を集約し、交通量やCO2排出量の変化を分析する必要がある。今回は評価モデルの開発事例と名古屋都市圏を対象としたロードプライシングやLRT(次世代路面電車)、EV(電気自動車)専用レーンなどの導入評価結果を紹介する。

【略歴】

1975年生まれ。2001年名古屋大学大学院工学研究科土木工学専攻修了、修士(工学)。中央復建コンサルタンツ(株)勤務を経て、2007年名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻修了、博士(工学)。名古屋大学大学院環境学研究科研究員、東京大学大学院工学系研究科特任助教、名古屋大学大学院環境学研究科特任助教を経て、2011年より名古屋工業大学大学院工学研究科特任准教授。



16:00-16:20 講演(2)「環境負荷・減災と快適性の評価に基づく都市計画」

松尾 徳朗 (山形大学 大学院理工学研究科 准教授/名古屋工業大学 プロジェクト 教授/セントラルミシガン大学 SEITI リサーチフェロー/中国上海大学 客員研究員)

【講演概要】

東日本大震災の復興を見るまでもなく、新しいまちづくりにおける重要な要件として、減災と環境負荷および快適性が認識されており、これらのいずれも満たした都市の計画が求められてきている。本講演では、都市の特徴に基づき生成された数多くの都市計画案をに対して、上記の要求を出来るだけ満たす都市計画用シミュレーションについて紹介する。地理的な条件だけではなく、住民や地域の属性に注目した新しい都市計画の方法論について言及し、実際の利用におけるエンドユーザの理解促進の方策を含め解説する。

【略歴】

2001年佐賀大学文化教育学部卒。2003年北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科博士前期課程修了。2006年名古屋工業大学工学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。同年、山形大学大学院理工学研究科准教授。2010年～2011年カリフォルニア大学(アーバイン)客員研究員。2010年～セントラルミシガン大学SEITIリサーチフェロー。2011年～名古屋工業大学プロジェクト教授。2011年～中国上海大学客員研究員。2011年～電気学会観光情報システム調査専門委員会委員長。2008年～総務省地域情報化アドバイザー。主著として、「Electronic Commerce」(Springer, 2008)。「E-Activity and Intelligent Web Construction」(IGI, 2011)を含め多数。2006年情報処理学会山下記念研究賞。2006年情報処理学会FITヤングリサーチャー賞。2008年第7回インテリジェント・コスモス研究奨励賞。2011年日本政府観光局国際会議誘致・開催貢献賞等受賞多数。



16:20-16:40 講演(3)「消費者のグリーン社会貢献活動への試み」

桑原 英人 (ARCHES(株) 代表取締役社長)

【講演概要】

「エコモチ」は、「環境の意識の向上や環境に優しい行動ができる」企業人を育てるためのITサービスとして開発し、数々の賞を受賞した企業人のエコモチベーションアッププロジェクトである。2008年よりスタートし、3年以上に渡り展開している同プロジェクトの試みと成果がある。本講演では、企業向けのグリーンITサービスにおけるビジネス展開の現状を伝える。

【略歴】

1976年愛知県名古屋市生まれ。ARCHES株式会社代表取締役社長。2011年より、国立大学法人名古屋工業大学グリーン・コンピューティング研究所プロジェクト准教授。マーケティング、ブランディングとITの分野で多くの企業と連携しプロジェクトを手掛ける。2008年よりスタートしたウェブエコポイントシステム「エコモチ」は環境省等より数々の賞を受賞している。



16:40-17:10 特別講演2「超高齢社会のための ICT 技術とその応用」  
秋山 昌範 (東京大学 政策ビジョン研究センター 教授)

【講演概要】

複数疾患を抱える高齢者が増えている超高齢社会を迎え、近年の医療法・介護保険法等の制度の改正によって、病院での在院日数が短縮され、ますます在宅医療・在宅介護のニーズや重要性が高まっている。その中で、従来は病院で診療科毎にカルテとして記録・管理されていた医療情報は、在宅が中心の時代において、病院には存在しない状況が発生する。一方、在宅医療介護に関する情報は、ノートに手書きで記録が行われているのが現状であり、患者単位で情報の記録・管理を行える仕組みが求められている。例えば、センサーによるモニタリングを医療情報システムと連動させること等により、在宅高齢者の生活行動を記録し、自動的に情報が蓄積し、その情報を活用して見守りサービスの提供、住宅設備を含めた仕組み等、在宅医療に関わる政策を含む諸問題と ICT を用いた解決法を紹介する。



【略歴】

1983 年徳島大学医学部卒。同泌尿器科と関連病院。慶應義塾大学医学部、国立国際医療センター、マサチューセッツ工科大学スローン経営大学院客員教授を経て現職。医学博士。専門は、医療情報学、医療経済・経営工学、医療安全管理学。その他、2001 年米連邦政府国務省短期出張。2005 年～2007 年：文部科学省科学技術振興調整費（科学技術連携施策群の効果的・効率的な推進：医療分野における電子タグ活用実証実験）研究代表者。2007 年度経済産業省流通・物流効率化システム開発調査委託費（医療分野における電子タグの適用調査及び実証事業）検討委員会委員長。2006 年～ パーコードや電子タグの国際標準組織 GS1-Healthcare メンバー。2008 年～ WHO World Alliance for Patient Safety (Technology for Patient Safety) Core Group 日本代表委員。その他、日本医療情報学会理事(1999 年～2010 年)、デジタル・フォレンジック研究会理事(2004 年～) 等も勤める。

17:10-17:30 講演 (4)「音声韻律・脳血流情報を用いた認知症の早期スクリーニングをめざして」  
加藤 昇平 (名古屋工業大学 大学院工学研究科情報工学専攻 准教授)

【講演概要】

我が国の長寿高齢化社会の進展に伴い、高齢者のためのサステイナブルな ICT 技術と地域社会サービスの重要性が提唱されている。そこで本研究では、長寿高齢化社会に不可欠である認知症の早期発見技術の実現を目指して、高齢者の音声および脳血流を用いた『非専門家でも短時間で実施できる軽度認知症スクリーニングツール』の 2 システム、在宅でも利用可能な音声認知症スクリーニングツール（1 次スクリーニング）、ならびに、自然な体勢で脳機能を測定できる機能的近赤外分光法 (fNIRS) に着目した認知課題テスト実施中の脳血流データを用いた認知症スクリーニング（2 次スクリーニング）、の研究開発を実施している。本講演では、これらの研究開発で得られた最先端事例について紹介する。



【略歴】

1998 年名古屋工業大学大学院工学研究科博士後期課程電気情報工学専攻修了。豊田工業高等専門学校勤務を経て、現在名古屋工業大学大学院情報工学専攻所属、准教授。博士（工学）。知能・感性ロボティクス、知識推論・計算知能、ヒューマンインタラクションなどに興味を持つ。2006 年日本感性学会技術賞。2010 年日本知能情報ファジィ学会論文賞。情報処理学会、人工知能学会、電子情報通信学会、日本ロボット学会、日本感性学会、日本知能情報ファジィ学会、電気学会、日本認知症学会、IEEE 各会員。

大学認証基盤の運用経験から見てきた効用と課題  
3 月 7 日 (水) 9:30-12:00 [第 1 イベント会場 (51 号館 1F 5111)]

【セッション概要】

ICT 技術の発達に伴い、大学運営の基盤として、さまざまな大学で認証基盤が導入され、運用されている。しかし、その利用形態として、LDAP による認証統合から、LMS やポータルを含む種々の ICT システムへのシングルサインオン、Sibboleth や学認を用いた学外認証フェデレーションまで多岐にわたる。本パネル討論では、各大学における認証基盤の現状と利用形態について紹介して頂いた後、認証統合の効用と課題について討論する。



司会：松尾 啓志 (名古屋工業大学 大学院工学研究科情報工学専攻・情報基盤センタ 教授，附属図書館長，情報基盤センター長)

【略歴】

1989 年名古屋工業大学大学院電気情報工学専攻修了。同年、名古屋工業大学電気情報工学科助手、講師、助教授を経て 2003 年名古屋工業大学電気情報工学科教授。現在、情報工学科教授、付属図書館長、情報基盤センター長、全学情報システム統括責任者 (CIO) 補佐。

9:30-9:55 講演 (1)「名古屋工業大学における PKI・IC カード認証の運用 5 年間の経験から」  
内匠 逸 (名古屋工業大学 大学院工学研究科情報工学専攻・情報基盤センタ 教授，ネットワーク・セキュリティ部門長)

【講演概要】

名古屋工業大学では、2007 年 3 月より学生証、職員証として接触・非接触のデュアル型 IC カードを導入した。スマートカードログオン、SSO、VPN やワークフローの認証を安全に行うことを目的として、その IC カードに電子証明書を格納し、PKI 認証を行うこととした。2007 年 2 月にプライベート認証局を設置し、継続的に電子証明書を発行してきた。このプライベート認証局の選択に関して、コスト、IC カードの紛失時の対応、IC カード再発行作業、電子証明書の失効などの側面から総括する。また、この 5 年間における認証局や IC カードを取り巻く社会環境の変化について述べ、これからの数年間で大学の研究者がなすべきことについて考える。



【略歴】

1982 年名古屋工業大学電子工学科卒業。同大学院、沖電気工業 (株) を経て、1986 年名古屋工業大学電気情報工学科助手に着任。以来、教育とデジタル信号処理・通信の研究の傍ら、学内ネットワークの構築と運用に従事。2002 年から 4 年間、名古屋工業大学ネットワークセンター長。2003 年から情報工学専攻教授。2006 年から情報基盤センタネットワーク・セキュリティ部門長を兼務。

9:55-10:20 講演 (2) 「認証統合を起点とした情報基盤整備：佐賀大学の事例」  
只木 進一 (佐賀大学 総合情報基盤センター 総合情報基盤センター長, 教授)

【講演概要】

組織業務にあって、情報化の目的・効果は、業務の効率化ではない。異なるシステムが持っている情報を紐づけることによって、新しい情報、新しい価値、新しいサービスを生み出すことが真の目的・効果である。大学においては、教員や学生などの教育研究の基本単位でのデータの紐づけから、大学の教育・研究・組織業務の活性化・成果を見えるようにすることが重要である。

佐賀大学では、図書館利用者と一般情報処理教育対象者を紐づけることで、学生と教員に学術情報基盤のシームレスなサービスを提供することを出発点に、認証統合を構築してきた。その過程で、教務と人事からの情報を統合し、基礎的な大学構成員のデータベースとその運用体制を構築した。認証基盤の存在は、全学規模での認証ネットワーク opengate の構築、教務システム、研究業績システム等のシステム構築を可能とした。2010年にはシングルサインオン機構の導入により、ネットワークへのPC接続が、基幹情報システムへのゲートウェイとなるシステムへと発展した。本講演では、認証基盤整備が情報基盤整備の核となることを事例によって紹介する。



【略歴】

1959年、北海道旭川市生まれ。1987年、東北大学理学研究科物理学第二専攻修士、理学博士。日本学術振興会特別研究員(京都大学理学部)を経て、1990年、佐賀大学工学部情報科学科(現：知能情報システム学科)助教授。2000年、同教授。2000年10月、佐賀大学学術情報処理センター(現：総合情報基盤センター)教授。2006年より、佐賀大学総合情報基盤センター長。統計力学、計算科学、学術情報システムを専門とする。

10:20-10:45 講演 (3) 「岡山大学における生涯 ID と Gmail サービスの開発と運用」  
稗田 隆 (岡山大学 情報統括センター 情報統括センター長, 教授)

【講演概要】

岡山大学は2009年4月よりGmailの全学サービスを開始した。また、学生番号、職員番号に代えて生涯に亘って利用可能なID(生涯ID)を2010年度より統合認証基盤サービスとして提供している。Gmail認証、学内の各種サービス認証には、NIIの学術認証フェデレーションと連携可能なShibbolethを中心に、生涯IDによるSSOサービスを提供している。なお、生涯IDはランダムな英数字のため各個人が覚えやすい任意の別名を設定、別名を用いた認証を実現している。現在、3年目に入っている学生Gmailは、平均4000件/日(延べ数)の利用状況である。今後、統合認証基盤サービスのオープンな属性、権限管理とGoogleの各種サービスを連携させ学内のICT利用を推進している。



【略歴】

1978年3月、熊本大学修士課程修了。同4月日本電信電話公社、横須賀電気通信研究所入社。主に、大型計算機の設計、実用化に従事。その後、NTT社内システムの開発、運用に従事。2004年4月、NTTアドバンステクノロジー株式会社入社。主に、お客様に向けた各種ICTシステムの受託開発に従事。2008年4月、岡山大学非常勤講師(客員教授)。2010年5月、岡山大学情報統括センター就任。同6月、情報統括センターセンター長(現職)。

10:45-11:10 講演 (4) 「名古屋工業大学における統一データベースの開発と運用」  
齋藤 彰一 (名古屋工業大学 大学院工学研究科情報工学専攻・情報基盤センタ 准教授)

【講演概要】

名古屋工業大学では、2007年4月より大学構成員の情報を統一管理するデータベースの運用を行っている。このデータベースは、学内情報システムにユーザ情報を提供するとともに、ICカードの基礎情報の発行、ADやLDAPなどへのユーザ情報の登録などユーザ認証の情報を管理している。さらに、学内構成員のさまざまな属性情報を集約し、必要な教職員や学生に提供する学内情報共有基盤の中核としての役割を併せ持っている。情報の共有は、情報収集のためのコスト削減と、情報の劣化を抑制する効果がある。本講演では、名古屋工業大学における統一データベースの概要と運用状況について述べる。



【略歴】

1993年立命館大学理工学部情報工学科卒業。1998年同大学大学院博士後期課程単位取得退学。同年和歌山大学システム工学部情報通信システム学科助手。2003年同講師、2005年同助教授。2006年名古屋工業大学大学院助教授、2007年同准教授。現在に至る。オペレーティングシステム、インターネット、セキュリティなどの研究に従事。博士(工学)、ACM、IEEE-CS各会員。

11:10-12:00 パネル討論

司 会：松尾 啓志 (名古屋工業大学 大学院工学研究科情報工学専攻・情報基盤センタ 教授, 附属図書館長, 情報基盤センター長)  
略歴・写真は「大学認証基盤の運用経験から見えてきた効用と課題」司会紹介を参照。

パネリスト：内匠 逸 (名古屋工業大学 大学院工学研究科情報工学専攻・情報基盤センタ 教授, ネットワーク・セキュリティ部門長)  
略歴・写真は講演(1)「名古屋工業大学におけるPKI・ICカード認証の運用5年間の経験から」を参照。

只木 進一 (佐賀大学 総合情報基盤センター 総合情報基盤センター長, 教授)

略歴・写真は講演(2)「認証統合を起点とした情報基盤整備：佐賀大学の事例」を参照。

稗田 隆 (岡山大学 情報統括センター 情報統括センター長, 教授)

略歴・写真は講演(3)「岡山大学における生涯IDとGmailサービスの開発と運用」を参照。

齋藤 彰一 (名古屋工業大学 大学院工学研究科情報工学専攻・情報基盤センタ 准教授)

略歴・写真は講演(4)「名古屋工業大学における統一データベースの開発と運用」を参照。

**デジタルプラクティス論文を書いてよかった！！**  
**3月7日（水）15:30-17:30 [第1 イベント会場（51号館 1F 5111）]**

**【セッション概要】**

デジタルプラクティス論文誌は実務家が体験を書くことで、実務での体験の共有を図るものです。季刊ではありますが、2010年の第1巻第1号発刊以来、46件の論文が発行されています。

2010年度デジタルプラクティスアワード(情報処理学会デジタルプラクティス編集委員会が掲載論文から優秀な論文に与える賞)の受賞者である関戸氏に、デジタルプラクティス論文誌に論文を書いたことによる変化点を語っていただく。続くパネルディスカッションでは、他の実務家執筆者等に、アカデミア論文とはまた異なる実務家論文の良さや課題等を語っていただく。



**司会：土井 美和子（(株)東芝 研究開発センター 首席技監）**

**【略歴】**

1979年東京大学工学系修士課程修了。同年現在の(株)東芝研究開発センター入所。「ヒューマンインタフェース」を専門分野とし、日本語ワープロ、機械翻訳、道案内サービス、ネットワークロボットの研究開発に従事。現在、日本学会会議会員、東京大学客員教授、東工大経営協議会委員、国立情報学研究所運営会議委員、科学技術振興機構運営会議委員、ヒューマンインタフェース学会会長などを務める。IEEE Fellow、情報処理学会フェロー、電子情報通信学会フェロー。博士(工学)。

**15:30-16:00**

**講演「デジタルプラクティスで自分の仕事を再評価する～サービスサイエンスによるコールセンタ改革～」**  
**関戸 隆明（オムロンフィールドエンジニアリング(株) 取締役企画本部長）**

**【講演概要】**

デジタルプラクティスを書くことで、自分の過去の仕事・体験を再整理し、「形のある知識」に構成できたことなどを紹介。



**【略歴】**

オムロンフィールドエンジニアリング(株) 取締役企画本部長。業務改革プロジェクトリーダー、構造改革プロジェクトリーダーとして、社内改革を担当。2004年度コンタクトセンターアワードプロセス賞受賞。

**16:05-17:30 パネル討論**

**司 会：土井 美和子（(株)東芝 研究開発センター 首席技監）**

略歴・写真は「デジタルプラクティス論文を書いてよかった！！」司会紹介を参照。

**パネリスト：関戸 隆明（オムロンフィールドエンジニアリング(株) 取締役企画本部長）**

略歴・写真は講演「デジタルプラクティスで自分の仕事を再評価する～サービスサイエンスによるコールセンタ改革～」を参照。



**パネリスト：永瀬 秀彦（ジェイアール東日本メカトロニクス(株) 技術企画本部 副本部長）**

**【略歴】**

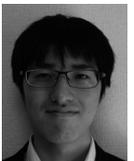
1978年群馬大学工学部機械工学科卒業。同年日本国有鉄道入社。1987年JR東日本。1992年よりジェイアール東日本メカトロニクス(株)へ出向。ICカード乗車券システムの研究・開発に従事。現在に至る。機械学会会員。



**パネリスト：河口 信夫（名古屋大学 大学院工学研究科 計算理工学専攻 教授）**

**【略歴】**

1995年名古屋大学大学院工学研究科情報工学専攻博士後期課程満了。同大助手、講師、准教授を経て2009年より同大教授。博士(工学)。2004年には、大学発ベンチャーを起業。ユビキタスコミュニケーション、位置情報システム、行動センシングなどの研究に従事。



**パネリスト：teruro（東海地方のメタコミュニティ「DSTokai」の管理人 / (株)コスモルート クラウドR&Dグループ）**

**【略歴】**

2003年豊田高専卒。東海地方のメタコミュニティ「DSTokai」の管理人として、IT系のエンジニアやコミュニティ間の情報共有を促したり、合同イベントの企画などを行なっている。最近では広義のWeb技術(クラウド、大規模分散、スマートフォン、RIAなど)に強く関心があり、それらの技術を使って遊んでいることが多い。PHP逆引きレシピ(共著)。

## 震災復興デザインコンテスト

3月8日(木) 10:00-12:00 [第1 イベント会場 (51号館 1F 5111)]

### [セッション概要]

情報処理学会では、去る2011年3月11日に起きた東日本大震災からの早期復興を心から願い、震災復興デザインコンテストを企画した。ITは、震災復興において大きな役割を果たして来ているが、大きな被害を受けた地域の復興過程および復興後の新たな社会において、今後もITが重要な役割を果たすのは間違いない。そこで、このコンテストでは、若いIT技術者あるいはIT技術者をめざす学生を対象として、期待できる今後のITの発達・普及を前提として、ITが支える新しい地域や社会のあり方について、どのような夢のある社会が実現できるか、という視点から論文募集を行った。

本セッションでは、震災復興デザインコンテストで集まった論文の中から、最優秀賞、優秀賞を受賞した論文の講演を行うと共に、白鳥則郎情報処理学会前会長(東北大学 客員教授・名誉教授/元会長)による震災復興に対する情報技術の貢献や期待に関する特別講演を行う。



司会: 谷口 倫一郎 (九州大学 大学院システム情報科学研究院 教授)

#### [略歴]

1978年九州大学工学部情報工学科卒業。1980年同大学院工学研究科情報工学専攻修士課程修了。1980年同大学院総合理工学研究科助手。1989年同助教授。1996年九州大学大学院システム情報科学研究科(現研究院)教授。2011年同大学院システム情報科学研究院長。この間、画像処理、コンピュータビジョン、並列処理ソフトウェア等に関する研究に従事。1993年情報処理学会論文賞、1995年同坂井記念特別賞等受賞。

10:00-10:10 震災復興デザインコンテストの審査結果について

10:10-10:30 最優秀発表

10:30-10:50 優秀発表

11:00-12:00 特別講演「被災一年後の提言」

白鳥 則郎 (東北大学 電気通信研究所 情報社会構造分野 客員教授・名誉教授)

#### [講演概要]

千年に一度と言われる、昨年3月の東日本大震災は、われわれに世界観を含め、人類の未来を真摯に考え、いかに向き合うかを問いかけている。これを機に、日本社会の転機を迎え、「戦後」が終わり「災後」が始まる、との見方が共有されつつある。一年経過した今、被災地の現状を伝えるとともに、今後の復興・復興・再生へ向け、願いを込め、科学技術の観点から提言などの情報発信を試みる。具体的には、科学技術の方向、人の暮らしと環境の調和/共生、通常時と異常時における情報通信基盤、グリーン指向ネバー・ダイ・ネットワーク等。



#### [略歴]

1977年東北大学博士課程修了。1990年同大学工学部教授を経て1993年同大学電気通信研究所教授。2010年東北大学名誉教授、同大学電気通信研究所客員教授。ITに基づいた人と自然の調和/共生などの研究に従事。IEEEフェロー、文部科学大臣表彰「研究部門」、情報処理学会功績賞、電子情報通信学会功績賞など受賞。情報処理学会会長(2009年~2011年)、IEEE仙台セクションChair(2010-2011)。

## 多言語・マルチユース時代のドキュメント作成技術システム

3月8日(木) 14:30-16:30 [第1 イベント会場 (51号館 1F 5111)]

### [セッション概要]

製品サイクルの短縮化や市場の国際化によって、企業文書やマニュアルなどの技術ドキュメントにも、生産性と品質の向上が強く求められている。これを背景に、DITA (Darwin Information Typing Architecture) や CCMS (Component Contents Management System) を活用したより効率の良い技術ドキュメントの作成が期待されている。さらに、電子書籍の普及により、ドキュメントやトピック単位のマルチユースも注目が集まっている。本企画では、ドキュメント作成とドキュメントシステムに精通した専門家により、多言語・マルチユース時代のドキュメント作成技術とそれを支えるシステムについて議論する。



司会: 今村 誠 (三菱電機(株) 情報技術総合研究所 情報システム構築技術部 専任/IPSJ DD 研主査)

#### [略歴]

1984年京都大学工学部数理工学科卒業。1986年京都大学大学院修士課程修了。同年4月三菱電機(株)入社。データマイニング、企業情報システム、構造化文書処理、自然言語処理等の研究開発に従事。2009年-2011年本学会デジタルドキュメント研究会(DD)主査。博士情報科学。

14:30-15:30 講演「特許文書を対象とした情報検索と機械翻訳の研究動向」

藤井 敦 (東京工業大学 大学院情報理工学研究科 准教授)

#### [講演概要]

情報技術の発展に伴い、特許情報処理の分野においても技術の世代交代が起こりつつある。論理式や分類番号を検索キーとして用いない「自然文検索」や、規則や辞書の構築を必要としない「統計的機械翻訳」は、その一例である。本講演は、特許情報処理の関連技術について最先端の研究動向を解説する。具体的には、情報検索、機械翻訳、両者を統合した多言語横断検索に関する現状と課題について解説しながら、将来像を展望する。



#### [略歴]

1998年3月東京工業大学大学院博士課程修了。現在、東京工業大学大学院准教授。博士(工学)。自然言語処理、情報検索、Webマイニング、特許情報処理の研究に従事。NTCIRワークショップにおいて特許情報処理技術の評価用テストコレクションを構築してきた。

## 15:30-16:30 パネル討論「グローバル時代のドキュメント作成技術動向と課題」

### 【討論概要】

企業のグローバル展開が進むにつれ、ドキュメントの多言語化をよりスピーディに、効率的に進める必要性が高まっている。ドキュメント作成方法についても、XML 技術とコンテンツマネジメントシステムの活用、機械翻訳の利用など、システムを利用した取り組みの事例が増えてきている。米国や欧州での構造化文書作成、DITA 導入事例や、技術文書作成・運用現場での翻訳、ローカリゼーションに関する話題を通して、今後の課題を議論する。



司会：高橋 慈子（株）ハーティネス 代表取締役

#### 【略歴】

東京農工大学農学部農学科卒。技術系出版社編集を経て、1988年にテクニカルコミュニケーションの専門会社、株式会社ハーティネス設立。同代表取締役。慶應義塾大学、立教大学、大妻女子大学にて非常勤講師。

パネリスト：藤井 敦（東京工業大学 大学院情報理工学研究所 准教授）

略歴・写真は講演「特許文書を対象とした情報検索と機械翻訳の研究動向」を参照。



パネリスト：嶋田 正裕（特定非営利活動法人 STC 東京 理事長）

#### 【略歴】

一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会日本マニュアルコンテンツ実行委員長。1978年東京大学農学部農業経済学科卒業。同年日立製作所に入社し、ソフトウェアシステム開発に従事。1985年から同社のマニュアル開発専任部署に所属し以来テクニカルドキュメント技術の研究および開発に従事。2009年より日立 ICT ビジネスサービスに所属。



パネリスト：林口 英治（DITA コンソーシアムジャパン マーケティング部会 普及マーケティング部会 翻訳チームリーダー）

#### 【略歴】

京都大学工学部修士課程修了。プリンストン大学コンピュータサイエンス修士課程修了。日本 IBM（株）において、金融機関を担当するシステムズエンジニアとして、大規模オンラインシステムや海外業務システムを開発する。その後、IBM ビジネスコンサルティングサービス（株）にて、製造業、金融業、商社、建築業、政府機関等に技術戦略コンサルティングを行う。その間、技術戦略コンサルティング・アジアパシフィックリーダーを歴任。また、大手自動車会社グローバル担当パートナーを歴任。現在、独立行政法人 情報処理推進機構 調査役、DITA コンソーシアムジャパン 普及マーケティング部会翻訳チームリーダー、技術士（情報工学）。

## 実世界自然言語処理への挑戦

3月6日（火）9:30-12:00 [第2 イベント会場（52・53号館 1F 5211）]

### 【セッション概要】

昨今ウェブの発展に伴い、ブログやミニブログ、SNS等のサービスを通じて、日々膨大な量のテキストベースの一次情報が生産されている。また、この中には、しばしば、口語表現、異表記・表記ゆれ、誤字脱字等々が含まれており、従来の教科書的な自然言語処理の枠に収まらない「リアルな」テキストデータに対する処理が実用上ますます重要性を増している。本企画では、上記のような、従来あまり議論されてこなかった実世界テキストを扱う上で自然言語処理技術者が直面する問題とは何か、またその問題に対してどのような解決策が講じられるかについて、講演およびパネル討論をおこないます。



司会：乾 孝司（筑波大学 システム情報系情報工学域 助教）

#### 【略歴】

2004年奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士課程修了。日本学術振興会特別研究員、東京工業大学統合研究院特任助教等を経て、2009年筑波大学システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻助教。2011年10月、組織名称変更により現職。博士（工学）。自然言語処理、特に CGM テキストに対する意見分析、評判分析に興味をもつ。

9:30-9:40

### オープニング

乾 孝司（筑波大学 システム情報系情報工学域 助教）

略歴・写真は「実世界自然言語処理への挑戦」司会紹介を参照。

9:40-9:55

### 講演（1）「不自然言語処理全体」

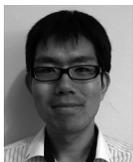
萩原 正人（楽天（株） 楽天技術研究所 シニア・サイエンティスト）

#### 【講演概要】

ウェブの発展等にもとない、くだけた表現や変則的な固有名詞など、「リアルな」言語表現に対する処理は実用上ますます重要性を増している。「不自然言語処理」、すなわちこれらの「リアルな」言語処理に関して、2010年夏に行われたバイドゥ株式会社主催の「不自然言語処理コンテスト」および2011年春の言語処理学会第17回年次大会におけるテーマセッションでは、「枠に収まらない言語表現の処理」や「Twitterと言語処理」に関する多数の論文・発表の応募があり、本テーマに対する関心の高さを伺わせる。本講演では、これら具体的な取り組み、および関連する研究動向を紹介する。

#### 【略歴】

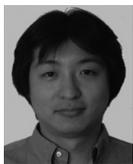
2009年名古屋大学大学院情報科学研究科博士後期課程修了。同年よりバイドゥ株式会社において検索エンジンの研究開発に従事。現在シニア・サイエンティストとして楽天株式会社楽天技術研究所に所属。博士（情報科学）。自然言語処理、特に語彙知識獲得の研究に従事。言語処理学会第15回年次大会最優秀発表賞受賞、言語処理学会・情報処理学会各会員。



9:55-10:10 **講演 (2) 「ANPI\_NLP」**  
村上 浩司 (楽天 (株) 楽天技術研究所 チーフ・サイエンティスト)

**【講演概要】**

3月の東日本大震災の直後からインターネット上の多くの情報媒体に被災者、被災地の情報が飛び交った。こうした情報を整理する目的で自然言語処理関係者によるプロジェクト ANPINLP が立ち上がった。幾つかの活動のうち、Twitter 上に流れた被災者の生存に関する情報を整理するために、生存情報の記載された文書の分類、文書内の被災者の地名と人名に焦点を当てた固有表現抽出についての取り組みについて紹介する。また経験から得られた教訓やデータの取り扱いに関して直面した難しさなどについて述べる。振り返り、災害時における自然言語処理技術のもつ社会貢献の可能性について述べる。またディスカッションでは、経験から得られた教訓や災害時における自然言語処理技術の利用の可能性について意見を述べる。



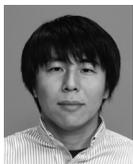
**【略歴】**

2004年北海道大学大学院工学研究科博士課程単位取得退学。ニューヨーク大学コンピュータサイエンス学科、東京工業大学、奈良先端科学技術大学院大学を経て2010年より楽天株式会社楽天技術研究所に所属。博士(工学)。自然言語処理の研究に従事。

10:10-10:20 **講演 (3) 「新しい語・崩れた表記」**  
鍛冶 伸裕 (東京大学 生産技術研究所 特任助教)

**【講演概要】**

ブログやSNSに代表されるCGM上のテキストは、不特定多数の人間によって自由に記述されるという側面を持つ。そうしたテキストは、新聞記事のようにある程度規格化されたテキストと異なり、新しい語や崩れた表記が多く使われるなど、より現実の言語に即した多様性を有する。これに伴い、辞書などの言語資源の作り込みによって多様な言語表現を網羅することが困難となり、従来の解析アプローチに限界が見えつつある。本パネルでは、形態素解析における新しい語や崩れた表記の扱いを切り口として、こうしたより現実に近い言語データの解析に対する展望を議論する。



**【略歴】**

2005年東京大学大学院情報理工学系研究科博士課程修了。情報理工学博士。現在、東京大学生産技術研究所特任助教。自然言語処理に関する研究に従事。

10:20-10:30 **講演 (4) 「新しい語・崩れた表記」**  
笹野 遼平 (東京工業大学 精密工学研究所 助教)

**【講演概要】**

上記、鍛冶氏と合同講演



**【略歴】**

2009年東京大学大学院情報理工学系研究科博士課程修了。京都大学大学院情報学研究科特定研究員を経て、2010年12月より現職。博士(情報理工学)。自然言語処理。特に述語項構造解析、照応解析の研究に従事。

10:30-10:40 **講演 (5) 「テキスト世界は必ずしも現実世界を反映しない」**  
荒牧 英治 (東京大学 知の構造化センター 特任講師)

**【講演概要】**

近年、Twitterを材料とした多くのweb 応用アプリケーションが提案されています。多くのアプリケーションは、Twitterなどのテキスト世界が現実世界を反映していることを仮定しています。しかし、実際には、両者の間には乖離があります。例えば、インフルエンザに関するツイートを行なっている人間は、実際には、まだ、ツイートをする余裕がある人々で、実際に罹患している人間はツイートを行う余力がないのが現実です。本講演では、医療情報を題材に、テキストから情報抽出を行うことの本質的な難しさについて議論します。



**【略歴】**

2005年東京大学大学院情報学研究科博士後期課程修了。博士(情報理工学)。自然言語処理(機械翻訳/翻字)、医療情報(電子カルテ文章からの情報抽出)の研究に従事。情報処理学会、言語処理学会、医療情報学会、ACL 会員。

10:40-10:50 講演 (6) 「SNS と文化財」  
橋本 泰一 (東京工業大学 総合プロジェクト支援センター 特任准教授)

【講演概要】

文化財の管理は主に市町村などの公的機関が行うべきだが、文化財を管理する担当者は減少傾向にある。そのため、屋外の文化財の状態を管理することが困難な状態であり、震災などによる突発的な文化財の被害に迅速に対応する余裕はない。一方、Twitter や facebook などの SNS を通じて個人から文化財の情報が発信されている。実際に、東日本大震災直後の被災文化財に関する情報がリアルタイムに発信され、文化財の復興への期待などが多数発信されていた。このような個人が発信する文化財情報をリアルタイムに情報収集し、文化財の状態管理に活用することで、管理の負担を減らす効果が期待できる。SNS から文化財管理に役立つ情報収集する上での自然言語処理技術の課題について述べる。

【略歴】

1997 年 東京工業大学工学部情報工学科卒業。2002 年 同大学大学院情報理工学研究科計算工学専攻博士課程修了。同年 同大学同研究科助手。2006 年 同大学統合研究院 特任准教授。同大学総合プロジェクト支援センター 特任准教授。現在、自然言語処理、情報検索、テキストマイニングに関する研究に従事。情報処理学会、言語処理学会、人工知能学会各会員。博士 (工学)。



10:50-11:00 講演 (7) 「情報の流れからみるウェブのマッシュデータ」  
岡 瑞起 (東京大学 知の構造化センター 特任研究員)

【講演概要】

現在の科学はこれまでに会ったことのない複雑で巨大で詳細なデータと向き合っている。これまでの理論や方法論での解析を拒絶するマッシュなデータに対し、新しい理論や基底としての知が求められている。最近、グーグルのクエリーやツイッターのキーワードの時間系列をもとに、いくつか面白いアプローチをウェブの新しい視点として展開している。ここでは、その中から特に、脳科学のアイデアである、エピソード記憶やデフォルトモードをもとに、技術的にはトランスファーエントロピーを用いて、ウェブの情報の流れを定量的に扱うことを行なっている。結果として、時系列のゆらぎの情報をもとに、グーグルからツイッターへの情報の流れ、あるいはその逆がどういうクエリー・キーワードに対して見られるかが見えてきている。講演ではこれらの結果について報告し、ウェブのもつ複雑さについて議論したい。

【略歴】

1980 年生。筑波大学大学院システム情報工学研究科修了。博士 (工学)。2008 年より東京大学・知の構造化センター・特任研究員。専門はウェブ工学と HCI。2009 年度下期 IPA 未踏クリエイター。オーマ株式会社技術顧問。



11:00-11:10 講演 (8) 「twitter からの震災情報」  
榎 剛史 (東京大学 工学系研究科技術経営戦略学専攻 博士課程学生)

【講演概要】

2011 年 3 月に発生した東日本大地震では、情報共有・情報収集ツールとして Twitter が有効活用された。これは、情報処理技術、特に言語処理やネットワーク分析の手法が、直接的に災害支援に役に立つ可能性を示した一つの事例であると考えられる。

実際には、安否確認や避難所情報、不足している災害支援物資等についての情報が流通したと言われている。同時にデマや間違った科学知識等、誤った情報の拡散を助長したとも言われてる。しかし、いずれも厳密な検証は行われていない。本講演では、震災直前～2 週間後までの日本全体の tweet を分析し、災害支援ツールとして Twitter の持つ有用性及び危険性について検証する。

【略歴】

2004 年東京大学情報理工学系研究科修士課程修了。2006 年東京電力入社。2009 年同退社。2009 年より現職である東京大学工学系研究科博士課程に入学。同時に株式会社ホットリンクでの主任研究員に従事。Web マイニング、人工知能、言語処理の研究に興味を持つ。博士課程では特に Twitter を用いたリアルタイム情報抽出を中心に研究を行なっている。人工知能学会会員。



11:10-11:20 講演 (9) 「世の中を捉えるための言語処理技術」  
岡野原 大輔 ((株) Preferred Infrastructure フェロー)

【講演概要】

近年、様々な言語情報が電子化されるとともに、個人が SNS などで情報を発信することで、言語情報を介して世の中の動き、現象を捉えることが可能となっている。例えばまだ公式発表されていないニュースや、商品や事件に対する人々の評判分析、著者推定 (書いている人が何者であり、どういったものに興味を持っているのか) といった推定もできるようになってきた。本講演では、世の中を捉えるためにどのような言語処理が必要なのかを解説するとともに、今後の可能性について述べる。

【略歴】

2010 年 東京大学情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻博士課程修了。2006 年株式会社プリファードインフラストラクチャーを共同で創業。博士 (情報理工学)。自然言語処理、機械学習、データ構造に興味を持ち、特に大規模データを用いたデータ解析に興味を持つ。



11:20-12:00 パネル討論

司 会：乾 孝司（筑波大学 システム情報系情報工学域 助教）

略歴・写真は「実世界自然言語処理への挑戦」司会紹介を参照。

パネリスト：萩原 正人（楽天（株） 楽天技術研究所 シニア・サイエンティスト）

略歴・写真は講演(1)「不自然言語処理全体」を参照。

村上 浩司（楽天（株） 楽天技術研究所 チーフ・サイエンティスト）

略歴・写真は講演(2)「ANPI\_NLP」を参照。

鍛冶 伸裕（東京大学 生産技術研究所 特任助教）

略歴・写真は講演(3)「新しい語・崩れた表記」を参照。

笹野 遼平（東京工業大学 精密工学研究所 助教）

略歴・写真は講演(4)「新しい語・崩れた表記」を参照。

荒牧 英治（東京大学 知の構造化センター 特任講師）

略歴・写真は講演(5)「テキスト世界は必ずしも現実世界を反映しない」を参照。

橋本 泰一（東京工業大学 総合プロジェクト支援センター 特任准教授）

略歴・写真は講演(6)「SNSと文化財」を参照。

岡 瑞起（東京大学 知の構造化センター 特任研究員）

略歴・写真は講演(7)「情報の流れからみるウェブのマッシュデータ」を参照。

榊 剛史（東京大学 工学系研究科技術経営戦略学専攻 博士課程学生）

略歴・写真は講演(8)「twitter からの震災情報」を参照。

岡野原 大輔（（株）Preferred Infrastructure フェロー）

略歴・写真は講演(9)「世の中を捉えるための言語処理技術」を参照。

エクサスケールコンピューティングへ向けたソフトウェア技術開発ロードマップ  
3月6日（火）15:00-17:30 [第2 イベント会場（52・53号館 1F 5211）]

【セッション概要】

今後5年から10年で、毎秒10の18乗回の演算ができる“エクサスケール”のコンピュータが登場すると予想されている。クロック周波数の大きな向上は見込めないため、エクサスケールでは一億以上の演算器数が必要となるが、これらの演算器をどのようなアーキテクチャで構築するのか、メモリ・ネットワーク・二次記憶とどうつなぐのか、膨大なタスク・スレッドをどう管理するのか、効率的な通信をどう実現するのか、プログラムはどんな言語で書くのか、コンパイラはどこまで最適化できるのか、超大規模並列計算や相対的に細くなるメモリ・ネットワークに耐えるアルゴリズムはどんなものか、などの多数の課題を突き付ける。これらの問題に対する若手研究者たちの取り組みを中心に紹介し、パネルにより会場を含めた自由闊達な討論を行う。



司会：須田 礼仁（東京大学 情報理工学系研究科 教授）

【略歴】

1993年東京大学理学部修士課程修了。同年東京大学理学部助手。1997年名古屋大学工学研究科講師、2000年同助教。2002年東京大学情報理工学系研究科助教授、2010年同教授。2010年現在、情報処理学会ハイパフォーマンスコンピューティング研究会主査、日本応用数理学会理事、自動チューニング研究会主査。高性能計算、数値アルゴリズム、自動チューニングの研究に従事。

15:00-15:25 講演（1）「エクサスケール時代の計算科学」

富田 浩文（（独）理化学研究所 計算科学研究機構 複合系気候科学研究チーム チームリーダー）

【講演概要】

ポスト京からエクサスケールの間には、電力や設置場所の制約から、計算機アーキテクチャの変革があると思われる。計算科学各分野がもつこれまでのアプリケーション資産を継承しつつ新しいアーキテクチャになじむ計算方法の構築も余儀なくされる可能性がある。しかし、計算科学としてエクサスケールへの期待は大きく、まさに計算機科学研究者と計算科学研究者が一体化して、課題を克服して行くことが大切である。本講演では、最近議論されたアプリケーション作業部会のサイエンスロードマップをもとにエクサスケールではどのようなサイエンスを行おうとしているのかを紹介する。



【略歴】

1999年 東京大学大学院工学系研究科（航空） 博士課程修了、1999年4月地球フロンティア研究システム 参加、2004年4月海洋研究開発機構地球フロンティア研究センター研究員、2009年4月同主任研究員、2011年1月理化学研究所・計算科学研究機構チームリーダー。

15:25-15:50 講演 (2) 「エクサスケールシステムに向けたアーキテクチャのロードマップ」  
近藤 正章 (電気通信大学 大学院情報システム学研究科 准教授)

【講演概要】

今後5年から10年でエクサフロップス級のコンピュータシステムが登場すると予想されているが、その実現は簡単ではなく、電力や信頼性、大規模・複雑化するシステムのマネージメントなど、多くの技術的課題が存在する。その課題を克服し、多くの応用分野の方に有効に活用して頂けるシステムの実現を目指し、研究開発ロードマップ・アーキテクチャグループでは、エクサスケールシステムのアーキテクチャ構成や研究開発アプローチについて検討を行っている。本講演ではその内容を紹介するとともに、真に有用なエクサスケールシステムの将来像について考えたい。



【略歴】

1998年筑波大学第三学群情報学類卒業。2000年同大学大学院工学研究科博士前期課程修了。2003年東京大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻修了。博士(工学)。独立行政法人科学技術振興機構戦略的創造研究推進事業CREST研究員。2004年東京大学先端科学技術研究センター特任助手。2007年同特任准教授を経て、現在電気通信大学大学院情報システム学研究科准教授。

15:50-16:15 講演 (3) 「システムソフトウェアのロードマップ」  
野村 哲弘 (東京工業大学 学術国際情報センター 産学官連携研究員)

【講演概要】

エクサスケールコンピューティングに向けて、アーキテクチャは並列性を確保して演算性能を確保するために、そしてプログラミング言語や数値計算ライブラリはその並列性をユーザの手におえるものにするために変容を迫られている。これらをつなぎ、効率的に動作させるためのレイヤであるシステムソフトウェアも、これらの環境変化に備えて変化していかなければならない。本講演ではシステムソフトウェアに突き付けられている課題と、それを解決すべく行われている研究開発のロードマップ概要を報告する。



【略歴】

2007年東京大学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻修士課程修了。2011年同博士後期課程単位取得退学。同年より、東京工業大学学術国際情報センター産学官連携研究員としてポストベタスケールコンピュータのシステムソフトウェアに関する研究に従事。現在に至る。

16:15-16:40 講演 (4) 「エクサスケール時代のプログラミング」  
丸山 直也 (東京工業大学 学術国際情報センター 助教)

【講演概要】

現在の100倍の性能の実現するエクサスケールコンピューティングに向けた取り組みが国内、国外共に数多く行われている。エクサスケールを実現する計算機環境では複数の異なる種類のプロセッサ上にて数十億の並列性を駆使するプログラミングを実現する必要がある。同時にエクサスケールにおいて最も重要な指標である電力性能の最適化、今後より短なることが想定されるMTBFに対応した耐故障性等をアーキテクチャ、システムソフトウェア、およびアプリケーションと連し解決する必要がある。本講演ではエクサスケールに向けたプログラミングについてその主要な課題を明らかにし、解に向けたアプローチについて議論する。



【略歴】

2001年に東工大理学部情報科学科卒業。2003年に同じく東工大の数理計算科学専攻の修士修了。2008年に同専攻において博士(理学)修了。2008年4月より東工大学術国際情報センターにおいてポスドク研究員を経て、2009年8月よりセンターにおいて助教。主に高性能大規模並列計算に関する研究に従事。情報処理学会、ACM各会員。

16:40-17:05 講演 (5) 「アプリケーションで働く小人を見つけられるか?~数値計算ライブラリによる抽象化の挑戦~」  
片桐 孝洋 (東京大学 情報基盤センター 特任准教授)

【講演概要】

エクサスケール環境では計算機アーキテクチャが複雑化しプログラミングがますます困難になるといわれている。高性能アプリケーションを低開発コストで作成するためには、高性能な数値計算ライブラリの利用が不可欠となるだろう。しかし、既存の数値計算ライブラリは、アプリケーションで使える機能が提供されていないことがある。そこで、数値計算ライブラリ開発者がアプリケーション開発者と共同で処理の抽象化を行い、数値計算ライブラリの機能設計をすることが重要である。本発表では米国UCBで研究された、主要アプリケーションの演算の抽象化「パークレーの13人の小人」を紹介し、今後の数値計算ライブラリ設計指針の議論を行う。



【略歴】

1996年京都大学工学部情報工学科卒業。2001年東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻博士課程修了。博士(理学)。2002年6月電気通信大学大学院情報システム学研究科助手。2005年3月米国カリフォルニア大学バークレー校コンピュータサイエンス学科訪問学者を経て、2007年4月より現職。並列数値線形代数アルゴリズム、ソフトウェア自動チューニングの研究に従事。2002年情報処理学会山下記念研究賞受賞。2011年文部科学大臣表彰若手研究者賞受賞。

## 17:05-17:30 パネル討論「スパコンにもっとソフトウェアを！」

### 【討論概要】

スーパーコンピュータはハードウェアの側面、しかもごく限られた側面だけが大きく取り上げられがちである。しかしスーパーコンピュータも基盤ソフトウェアが動き、社会に貢献するアプリケーション計算が実行されてはじめてその意味を持つ。しかも、エクサスケールの計算は、人類がかつて目にしたことのない膨大な並列度をあやつって初めて実現される。また、数万行にも及ぶ巨大なアプリケーションソフトウェアは、エクサコンピュータのみのために開発するのではなく、小規模の高性能計算機からエクサまでシームレスに適応できなければならない。エクサコンピュータが社会に役立つ計算基盤となるために何が必要なのかを討論する。

司 会：須田 礼仁（東京大学 情報理工学系研究科 教授）

略歴・写真は「エクサスケールコンピューティングへ向けたソフトウェア技術開発ロードマップ」司会紹介を参照。

パネリスト：富田 浩文（（独）理化学研究所 計算科学研究機構 複合系気候科学研究チーム チームリーダー）

略歴・写真は講演(1)「エクサスケール時代の計算科学」を参照。

近藤 正章（電気通信大学 大学院情報システム学研究科 准教授）

略歴・写真は講演(2)「エクサスケールシステムに向けたアーキテクチャのロードマップ」を参照。

野村 哲弘（東京工業大学 学術国際情報センター 産学官連携研究員）

略歴・写真は講演(3)「システムソフトウェアのロードマップ」を参照。

丸山 直也（東京工業大学 学術国際情報センター 助教）

略歴・写真は講演(4)「エクサスケール時代のプログラミング」を参照。

片桐 孝洋（東京大学 情報基盤センター 特任准教授）

略歴・写真は講演(5)「アプリケーションで働く小人を見つけられるか—数値計算ライブラリによる抽象化の挑戦—」を参照。

## 論文必勝法 ～傾向と対策～

3月7日（水）9:30-12:00 [第2 イベント会場（52・53号館 1F 5211）]

### 【セッション概要】

本会論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会では、特別セッションとして「論文必勝法 傾向と対策」を開催します。このセッションでは、講師をお迎えして研究成果に関する論文の執筆についてお話をいただき、パネル討論では、論文誌ジャーナル/JIP 編集委員長と各グループの主査の方々より、採録される論文とはという話から、さらには論文査読方針及びその内側について討論してもらい、会場から論文誌ジャーナル/JIP に関する疑問や質問を受け付けます。この特別セッションは、現在、本会論文誌ジャーナル/JIP に論文投稿して査読を受けている方、今後、研究成果の報告を論文誌として投稿する方には、必見のセッションです。



司会：串田 高幸（日本アイ・ビー・エム（株） 東京基礎研究所 シニアリサーチャー）

### 【略歴】

1985年日本アイ・ビー・エム（株）入社。東京基礎研究所配属。2005-06年 IBM T. J. Watson Research Center 研究戦略スタッフ。現在シニアリサーチャー。入社以来、一貫してネットワーク、分散処理、システム管理の研究に従事。本会マルチメディア通信と分散処理研究会（1999年研究運営委員、2000-03年幹事、2004-07年運営委員、2008-09年主査）、本会 DPS ワークショップ（2000年委員長、2007年プログラム委員長）、本会論文誌（2000-03年編集委員、2000-10年特集号編集委員）、本会代表会員（2009-11年）、本会理事（2011年）、博士（ソフトウェア情報学）。

9:30-10:15

講演(1)「一流論文誌に採択される研究戦略と論文執筆」

鷲尾 隆（大阪大学 産業科学研究所 第1研究部門（情報・量子科学系） 知能推論研究分野 教授）

### 【講演概要】

情報科学において、一流のジャーナル・国際会議で論文採択と発表を目指すとは、情報科学で研究実績を積む、いわゆる“一流の情報科学研究者”を目指すことに他ならない。グローバルな研究開発競争の激化、研究投入予算と研究成果のバランスに対する社会的要求の増大などを背景に、研究者に対してますます上記のような態度が求められている。本講演ではこのような社会背景を受けて、特に若手研究者の皆さんの参考になるように、一流ジャーナル・国際会議に採択されるレベルの研究を達成して行くために、研究者として会得しておくべき研究態度、研究計画の立て方、研究体制の構築、研究の進め方・まとめ方、論文執筆法及び留意点などを論じる。



### 【略歴】

1960年生。1983年東北大学工学部原子核工学科卒業。1988年東北大学大学院原子核工学専攻博士課程修了。工学博士。1988年から1990年にかけてマセチューセッツ工科大学原子炉研究所客員研究員。1990年（株）三菱総合研究所入社。1996年退社。大阪大学産業科学研究所助教授（知能システム科学研究部門）。2006年大阪大学産業科学研究所教授（知能システム科学研究部門）。現在に至る。原子力システムの異常診断手法に関する研究、定性推論に関する研究を経て、現在は人工知能の基礎研究、科学的知識発見、データマイニング等の研究に従事。人工知能学会、電子情報通信学会、情報処理学会、計測自動制御学会、AAAI、IEEE Computer Society 各会員。

10:15-11:00 **講演 (2) 「アプリケーション論文の難しさとその攻略法」**  
宗森 純 (和歌山大学 システム工学部デザイン情報学科 教授)

**【講演概要】**

スマートフォンやタブレット端末の普及により、アプリ (アプリケーション) が大流行している。私は約 20 年、ネットワークに関わるアプリケーションの研究を行ってきた。学生のアプリケーション研究 (特にエンタテインメント) に対するニーズも年々高くなってきている。これまで研究の成果を情報処理学会に多数投稿してきたが、多くは他のシステムとの比較等の評価が問題となり論文とはならなかった。ここでは、どのようにすればアプリケーションが論文になるか (ならないか) について、私の個人的な考えを、経験を踏まえて述べる。



**【略歴】**

1979 年 名古屋工業大学電気工学科卒業。1981 年 名古屋工業大学大学院工学研究科修士課程修了。1984 年 東北大学大学院工学研究科博士後期課程修了 (工学博士)。三菱電機、鹿児島大学、大阪大学を経て、1999 年和歌山大学システム情報学センター教授。現在、和歌山大学システム工学部デザイン情報学科教授。1998 年度情報処理学会論文賞受賞。情報処理学会理事等を歴任。グループウェアの研究に従事。

11:00-12:00 **パネル討論 「論文誌編集の立場からの論文の書き方と査読の仕方」**

**【討論概要】**

情報処理学会論文誌ジャーナル編集委員会は、基盤グループ、ネットワークグループ、知能グループ、情報システムグループの 4 つのグループに分かれて、論文の編集を行っています。各グループに属する論文誌編集委員は日頃から多くの投稿論文を扱い、「折角の研究内容なのだから、こう書いてあれば採択されるのに」とか、「このような査読報告書にしてくれれば再投稿される論文がもっとよくなるのに」といったことを思っています。そこで、本パネルでは、論文誌編集委員の立場から見た論文の書き方や査読の仕方について、各グループの主旨に熱く語って頂き、フロアと一緒に論文必勝法に関する議論を深めたいと思います。



**司会：横田 治夫 (東京工業大学 大学院情報理工学研究科 教授)**

**【略歴】**

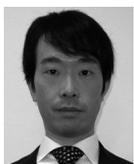
1980 年東京工業大学工学部卒。1982 年同大学修士課程修了。同年富士通株式会社。同年 (財) 新世代コンピュータ技術開発機構研究所 (ICOT)。1986 年 (株) 富士通研究所。1992 年北陸先端科学技術大学院大学助教授。1998 年東京工業大学助教授。2001 年東京工業大学教授。現在に至る。博士 (工学)。主として情報の蓄積と活用の研究に従事。前 ACM SIGMOD 日本支部長。情報処理学会フェロー。理事。電子情報通信学会フェロー。日本データベース学会理事。人工知能学会、IEEE、ACM 各会員



**パネリスト：齋藤 孝道 (明治大学 理工学部情報科学科 准教授)**

**【略歴】**

2005 年に明治大学理工学部情報科学科助教授となり、現在、同学部同学科准教授。明治大学情報基盤本部副本部長。情報処理推進機構・情報処理技術者試験委員。2011 年度 情報処理学会論文誌ジャーナル編集委員会ネットワークグループ主査。博士 (工学)。



**パネリスト：定兼 邦彦 (国立情報学研究所 情報学プリンシプル研究系 准教授)**

**【略歴】**

2000 年東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻修了。博士 (理学)。2000 年東北大学大学院情報科学研究科助手。2003 年九州大学大学院システム情報科学研究院助教授 (准教授)。2009 年国立情報学研究所准教授。アルゴリズムとデータ構造、データ圧縮、情報検索の研究に従事。若手科学者賞、日本 IBM 科学賞、ドコモモバイルサイエンス賞、船井情報科学奨励賞受賞。



**パネリスト：笹嶋 宗彦 (大阪大学 産業科学研究所 第 1 研究部門 (情報・量子科学系) 知識システム研究分野 助教)**

**【略歴】**

大阪大学大学院博士後期課程修了 (1997 年)。博士 (工学)。(株) 東芝研究開発センター研究主務を経て 2004 年より現職。オントロジー工学の基礎と応用 (モバイル、サービス科学、自動車内情報、看護、等) に関する研究に従事。ヒューマンインタフェース研究会運営委員 (2000-2003 年)、学会誌編集委員会 BWG 委員 (2004-2008 年)、論文誌編集委員会情報システムグループ委員 (2008 年-) 同副査 (2010 年) 同主査 (2011 年)。



**パネリスト：佐藤 誠 ((株) 東芝 研究開発センター システム技術ラボラトリー 研究主務)**

**【略歴】**

1998 年東京工業大学大学院修了。同年株式会社東芝入社。同社研究開発センターにおいて、データマイニングや応用統計を利用した意思決定支援技術の研究開発に従事。工学博士。2008 年より情報処理学会論文誌編集委員。2011 年度同委員会知能グループ主査。

# コンピュータ将棋はまだ止まらない 3月7日(水) 15:30-17:30 [第2イベント会場 (52・53号館 1F 5211)]

## [セッション概要]

コンピュータ将棋はあから2010が清水市代女流王将に2010年に勝利してからさらに強くなり続けている。このプロジェクトはもともとトッププロ棋士に勝つことを目標として始まったものであるが、その目標の達成にもう一步のところまできている。ここでは現在どこまで強くなったのか、トッププロ棋士に勝つためには何が必要なのか、さらにはもうすぐ来るとされる「人間よりコンピュータの方が将棋が強い時代」にコンピュータ将棋が何をすべきかについて専門家を交えて議論したい。



司会: 松原 仁 (公立はこだて未来大学 システム情報科学部 情報アーキテクチャ学科 教授)

### [略歴]

1986年東大大学院工学系研究科情報工学専攻博士課程修了。同年通産省工技院電子技術総合研究所(現産業技術総合研究所)入所。2000年公立はこだて未来大学教授。現在に至る。ゲーム情報学、エンタテインメントコンピューティング、観光情報学などに興味を持つ。本会トッププロ棋士に勝つコンピュータ将棋委員会副委員長。将棋はアマ5段。

15:30-15:35

## オープニング

松原 仁 (公立はこだて未来大学 システム情報科学部 情報アーキテクチャ学科 教授)

略歴・写真は「コンピュータ将棋はまだ止まらない」司会紹介を参照。

15:35-15:55

## 講演 (1) 「コンピュータ将棋の近年の動向」

伊藤 毅志 (電気通信大学 情報理工学研究所 助教)

### [講演概要]

本講演では、まず、コンピュータ将棋の略歴を紹介する。特にBonanza出現によりコンピュータ将棋にもたらされた2つの大きな新技術(全幅探索と評価関数の機械学習)と、それを元に進化するコンピュータ将棋の近年の動向を説明する。そして、2010年のあからの対戦から、2011年のコンピュータ将棋とアマチュアトップとの対戦、さらには、2012年1月に行われた米長邦雄永世棋聖 VS ボンクラーズとの対戦とその結果について紹介し、コンピュータ将棋の現状について概説する。



### [略歴]

1994年名古屋大学大学院工学研究科情報工学専攻修了。工学博士。同年より、電気通信大学情報工学科助手。2007年より、同助教。2010年より、電気通信大学情報理工学研究所助教。人間の思考過程、学習過程に関する認知科学的研究に従事。著書に『先を読む頭脳』(新潮社、共著)ほか、コンピュータ将棋協会理事。

15:55-16:15

## 講演 (2) 「人間はコンピュータとどこまで戦えるか」

古作 登 (大阪商業大学 アミューズメント産業研究所 主任研究員)

### [講演概要]

2011年、「将棋倶楽部24」のレーティングで強豪コンピュータソフトが人間の持つ最高点数の記録を次々と塗り替え、早指しでは若手プロをも超える驚異的な強さが明らかになった。2005年アマ竜王戦全国大会に「激指」が特別参加した「人間にコンピュータが挑む」という時代から6年、今まさに「人間がコンピュータに挑む」という時代が変わろうとしている。人間の視点からコンピュータ将棋と人間それぞれの強みと弱みを挙げ、長時間での対局なら本当に人間もまだ戦えるのかといった疑問や、トップ棋士を超える条件と時期などについて述べる。



### [略歴]

1963年生まれ。早稲田大学教育学部教育学科教育心理学専攻卒業。大学在学中日本将棋連盟奨励会に1級で入会し三段まで進む。奨励会退会後毎日コミュニケーションズ(現・マイナビ)で『週刊将棋』編集長、囲碁書籍編集長を歴任、NHKBS2「囲碁・将棋ウィークリー」司会を務めた。2008年大阪商業大学アミューズメント産業研究所研究員、2011年より同研究所主任研究員。著書に『よくわかる将棋入門』(小学館)。

16:15-16:35

## 講演 (3) 「コンピュータ将棋の不思議」

篠田 正人 (奈良女子大学 理学部 准教授)

### [講演概要]

コンピュータ将棋は近年急速に強くなり、今やトッププロ棋士とどちらが強いかが議論されるレベルに達している。しかし現状ではまだコンピュータ VS 棋士の直接対局が少なく、また棋譜を見てもコンピュータの指す将棋はプロ棋士の将棋とは異質のものであるため強弱の比較が難しい。本講演ではコンピュータ将棋ならではの指し手の特徴・長所・短所を分析し、コンピュータ将棋にもプログラムごとの個性があることを述べ、今後より一層強くなるための課題点を挙げる。さらに、人間が強弱に関わらずコンピュータ将棋を楽しむためのいくつかの提案を述べる。



### [略歴]

1992年東京大学理学部数学科卒、1994年東京大学大学院数理科学研究科修士課程修了。同年より奈良女子大学理学部助手、現在同大学理学部(数学科)准教授。専門は確率論。2009年より情報処理学会ゲーム情報学研究会運営委員。将棋では1991年に学生十傑戦で優勝、1999年にアマチュア竜王戦全国大会で優勝している。

16:35-17:30 パネル討論

司 会：松原 仁（公立はこだて未来大学 システム情報科学部 情報アーキテクチャ学科 教授）

略歴・写真は「コンピュータ将棋はまだ止まらない」司会紹介を参照。

パネリスト：伊藤 毅志（電気通信大学 情報理工学研究所 助教）

略歴・写真は講演(1)「コンピュータ将棋の近年の動向」を参照。

古作 登（大阪商業大学 アミューズメント産業研究所 主任研究員）

略歴・写真は講演(2)「人間はコンピュータとどこまで戦えるか」を参照。

篠田 正人（奈良女子大学 理学部 准教授）

略歴・写真は講演(3)「コンピュータ将棋の不思議」を参照。

## スパコンアプリ開発最前線

3月8日（木）9:30-12:00 [第2 イベント会場（52・53号館 1F 5211）]

### [セッション概要]

「京」をはじめとしてベタフロップス（1秒に10の15乗回の演算ができる）超のスパコンが次々と構築されているが、その上で走るアプリケーションの開発も着々と進められている。スパコン構築の目的はもちろんアプリケーションで結果を出すことであり、本企画の目的のひとつは、これらアプリケーションを実際に開発している研究者を招き、アプリケーションの背景、開発の現状、期待される成果などについて講演いただき、スパコンの必要性・有用性について理解と議論を深めることにある。その一方で、これらアプリの開発には、数万～数十万コアを有効活用するアルゴリズムを考え、データ分散や通信アルゴリズムを明示的にプログラムしなければならない。近年では複雑な現象をシミュレーション・解析するためにプログラムサイズは数十万行に及ぶが、それを情報科学の専門教育を受けていないアプリ領域の研究者が書いている。スパコンアプリ開発をより生産的にするための情報科学技術について、またアプリと情報科学のコラボレーションの道筋について議論することが本企画のもうひとつの目的である。



司会：須田 礼仁（東京大学 情報理工学系研究科 教授）

[略歴]

1993年東京大学理学部修士課程修了。同年東京大学理学部助手。1997年名古屋大学工学研究科講師。2000年同助教授。2002年東京大学情報理工学系研究科助教授。2010年同助教授。2010年現在、情報処理学会ハイパフォーマンスコンピューティング研究会主査、日本応用数理学会理事、自動チューニング研究会主査。高性能計算、数値アルゴリズム、自動チューニングの研究に従事。

9:30-10:30 講演(1)「京速コンピュータ「京」について」

横川 三津夫（独）理化学研究所 次世代スーパーコンピュータ開発実施本部 開発グループ グループディレクタ）

### [講演概要]

京速コンピュータ「京」は、文部科学省の「革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ(HPCI)の構築」の一環として開発・整備が行われている世界トップレベルの演算性能を持つスーパーコンピュータであり、理化学研究所と富士通株式会社が共同で開発を行っている。分散メモリ型並列計算機である「京」は、計算ノード約80000台以上からなる大規模な計算機システムであり、順調に整備が進んでいる。2011年6月には、LINPACKベンチマークによるスーパーコンピュータ性能によりTOP500ランキングの第一位と認定された。講演では、プロジェクト概要、システム概要、アプリケーションによる性能評価など最新情報について述べる。



[略歴]

1960年生まれ。1984年筑波大学修士課程理工学系研究科修了。日本原子力研究所入所。1997年地球シミュレータ研究開発センターにてハードウェア開発に参画。2002年産業技術総合研究所グリッド研究センター。2006年理化学研究所次世代スーパーコンピュータ開発実施本部に参画し、2009年から現職。「京」の開発、大規模シミュレーション手法の研究に従事。1994年コーネル大学コーネル理論センター客員研究員。SC2002ゴードン・ベル賞受賞。工博。

10:30-11:15 講演(2)「実空間密度汎関数法プログラムの開発とナノ構造物質の電子状態計算」

岩田 潤一（東京大学 大学院工学系研究科物理工学専攻 特任講師）

### [講演概要]

比較的大規模な多電子系の問題を、量子力学の第一原理に基づいて計算するために発明された密度汎関数法(DFT=Density Functional Theory)は、現在物質科学の広範な分野で重要な理論的道具となっている。DFTによって現実的な物質の第一原理シミュレーションが可能となったが、その計算量はシステムサイズの3乗に比例し、ナノ物質とよばれる10,000～100,000原子からなる超大規模系を扱うためには新たなプログラムの開発が必須であった。講演では我々が開発を行ってきた「実空間密度汎関数法プログラム-RSDFT」と、それをを用いたSiナノ物質の電子状態計算例をお話したい。

[略歴]

2002年筑波大学大学院物理学研究科博士課程修了。産業技術総合研究所、筑波大学博士研究員を経て、2009年筑波大学助教。現在、東京大学工学系研究科HPCI戦略プログラム分野2(CMSI)特任講師。専門は計算物性物理学。



11:15-12:00 講演 (3) 「スーパーコンピュータによる大規模遺伝子ネットワーク推定」  
 田 嘉紀 (東京大学 情報理工学系研究科 助教)

【講演概要】

遺伝子ネットワーク推定とは、細胞内の遺伝子の発現を観測したデータから遺伝子間の制御や依存関係を予測・推定する問題である。遺伝子ネットワーク推定には膨大な計算が必要であり、特にヒトの全遺伝子に対応した遺伝子ネットワークの推定にはスーパーコンピュータの力が欠かせない。しかし単純に並列化が可能な計算とそうでない計算があり、近年登場している数万プロセッサにおよぶ超並列マシンで高速に実行することは容易ではない。本講演では「京」アプリケーション研究開発プロジェクトである「次世代生命体統合シミュレーションソフトウェアの研究開発」で研究開発されている大規模遺伝子ネットワーク推定ソフトウェアについて紹介する。



【略歴】

2005年京都大学大学院情報学系研究科博士課程修了。博士(情報学)。統計数理研究所助教を経て2006年株式会社ジーエヌアイ入社。2008年より東大医科学研究所ヒトゲノム解析センター特任助教。2011年より東京大学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻助教。現在に至る。主にバイインフォマティクスにおける大規模並列計算に従事。

私的勉強会と学会の未来 [パネル討論]  
 3月8日(木) 14:30-16:30 [第2イベント会場 (52・53号館 1F 5211)]

【討論概要】

昨今、アカデミックなトピックが学術機関や学会だけでなく、一般的な勉強会で幅広い層の間で活発に議論されており、需要が高まっている。また、一般企業や研究所の研究者にとって専門的なトピックについて学習形態が変わってきており、学会への要望が変わりつつある可能性が高い。活発に開催されている勉強会主催者達による、勉強会の需要が高い要因や、今後の学会のあり方について議論したい。NLPと関連する技術(機械学習、統計学、データマイニング)に関する勉強会を開催している主催者複数名でパネルディスカッションをしたいと考えている。

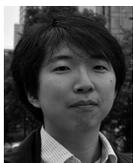


司会: 木村 俊也 ((株) ミクシィ 技術部研究開発グループ リーダー)

【略歴】

2007年に北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士前期課程修了。2007年4月株式会社ミクシィ入社。レコメンデーションや広告ターゲットティングなど、大規模テキストやリンクデータを分析し、サービスへの応用などの研究開発に従事。また、大規模データ解析に関する執筆や、アカデミックな情報系学会での委員としての活動をしている。最近では特にソーシャルグラフの分析に興味を持っており、大規模な友人関係データを効率的に解析する手法の模索や分析に取り組んでいる。

【twitter】@kimuras



パネリスト: 佐藤 敏紀 (ウェブ系ソフトウェアエンジニア)

【略歴】

東京工業大学精密工学研究所奥村研究室出身。自然言語処理・検索・テキストマイニングを専門とするウェブ系ソフトウェアエンジニア。近年はスペル訂正技術の研究開発に従事。

近似文字列照合エンジン Apporo (<http://code.google.com/p/apporo/>) を開発中。データ構造と情報検索と言語処理勉強会 (DSIRNLP) を主催。Perl と C/C++ と Hadoop を使っている。2011年に入門ソーシャルデータ (オライリー・ジャパン刊) を監訳。【twitter】@overlast 【blog】<http://diary.overlasting.net/>



パネリスト: 奥野 陽 (ウェブ系ソフトウェアエンジニア)

【略歴】

2009年に慶応義塾大学理工学系研究科を修了。自然言語処理・機械学習・データマイニングを専門とするウェブ系ソフトウェアエンジニア。日本語入力の研究開発に従事。得意な言語はPython と C++ で、最近ではHadoopを使っている。2007年に未踏ソフトウェア創造事業で採択され、ユーザ参加型日本語入力システム Social IME を開発。自然言語処理勉強会@東京 (TokyoNLP) を主催。2011年に入門ソーシャルデータ (オライリー・ジャパン刊) を監訳。【twitter】@nokuno 【blog】<http://d.hatena.ne.jp/nokuno/>



パネリスト: 里 洋平 ((株) ディー・エヌ・イー ソーシャルプラットフォーム事業本部 データマイニング部 データマイニングエンジニア)

【略歴】

2008年に琉球大学を卒業し、同年ヤフー株式会社に入社。R言語の東京コミュニティ Tokyo.R と全国コミュニティ Japan.R を主催。2011年5月に、株式会社ディー・エヌ・イーに入社。【twitter】@yokkuns 【blog】<http://d.hatena.ne.jp/yokkuns/>



パネリスト: 大原 一輝 ((株) サイバーエージェント アメーバ事業本部 エンジニア)

【略歴】

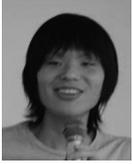
2009年応用経済学修士取得。同年金融機関入社。2011年金融機関退職。同年サイバーエージェント入社。初心者向けの「さくさくテキストマイニング勉強会」を運営。【twitter】@AntiBayes 【blog】<http://d.hatena.ne.jp/AntiBayesian/>



パネリスト: 濱田 晃一 (株) ディー・エヌ・エー ソーシャルプラットフォーム事業本部 データマイニング部  
アナリティクス アーキテクト)

【略歴】

2004年東京大学大学院 博士(理論物理学:量子統計場の理論)。学位取得後、ベンチャー企業で数理解析手法の実ビジネス適用、行動解析に関する各種理論構築・解析システム開発。2010年6月 株式会社ディー・エヌ・エー入社。ソーシャルゲーム部門でデータマイニングチーム立ち上げ。2011年4月 データマイニング部門化。現在、ソーシャルプラットフォーム "Mobage" のデータマイニング実行・ディレクション。データマイニング+WEB @東京 (TokyoWebmining) 主催。Mahout JP 主催。【twitter】@hamadakoichi 【blog】  
<http://d.hatena.ne.jp/hamadakoichi/>



パネリスト: 井上 敬浩

【略歴】

2009年慶應義塾大学理工学部数理学科卒。2011年同大学院理工学研究科修士卒。MongoDB Japan Community 代表。

## 教育ビジョン 2011: 変わらなくちゃ、情報処理学会 3月6日(火) 9:30-12:00 [第3 イベント会場 (52・53号館 1F 5212)]

### 【セッション概要】

情報処理学会では、情報処理教育委員会が中心となって、情報教育、情報技術に関わる人材育成に関する問題を議論し、学会としてわが国の将来のためにどのように貢献すべきかを検討してきた。その成果として取りまとめられたのが「教育ビジョン 2011」である。その画期的なところは、従来の「情報技術者の専門家集団として自分たちの領域を深掘りする」姿勢をあらため、情報処理学会および学会員が呼びかけて世の中の諸団体と交わることで、問題解決に至る道筋を探究し、また具体的な活動につなげようとする点である。本シンポジウムでは「教育ビジョン 2011」の考え方を紹介するとともに、その具体化に必要なものは何か、学会はどのように行動すべきかについて、内外から論者を集めて議論し、実践につながるきっかけとしたい。



司会: 久野 靖 (筑波大学 ビジネス科学研究科 教授)

【略歴】

1984年 東京工業大学理工学研究科情報科学専攻博士後期課程単位取得退学。同年 同大学理学部情報科学科助手。1989年 筑波大学講師。同大学助教授を経て、現在、筑波大学ビジネス科学研究科教授。理学博士(1986年 東京工業大学)。プログラミング言語、ユーザインタフェース、情報教育に興味を持つ。著書に「UNIXの環境設定」「入門 JavaScript」「Rubyによる情報科学入門」「Javaによるプログラミング入門」などがある。

9:30-9:50 講演(1)「教育ビジョン 2011 の紹介」  
寛 捷彦 (早稲田大学 理工学術院 教授)

### 【講演概要】

情報処理学会も設立50年をすぎた。これまでも、情報技術者の育成に関わる教育については、10年ごとにカリキュラム標準を策定して公表するなどの活動を展開してきた。しかし、広く小中高生、一般の大学生、さらには社会の一般の人たちの教育に関しては限られた活動しかできてこなかった。情報社会と呼ばれる現在、情報処理学会は、もっと幅広く情報教育に貢献していく必要があると考え、そうした教育活動への注力をうたった教育ビジョン 2011 を昨年末に公表した。そこでは、動ける人が動けるところから、情報社会にむけての教育に携わる人たちが組織と協働していこうと呼びかけている。あなたも始めませんか。



【略歴】

1970年東京大学大学院修士課程修了、東京大学工学部助手、立教大学理学部講師・助教授を経て現職。本会フェロー、情報処理教育委員会委員長。

9:50-10:10 講演(2)「未来世代から学ぶ～電子情報通信学会における試み～」  
原島 博 (東京大学 名誉教授)

### 【講演概要】

学会の委員会などでたびたび人材育成が話題になります。でも、そのほとんどは経済界からの上から目線で、中高生も含めた下から目線はほとんどありません。そこで求められているのは経済界が欲しい人材であり、中高生が将来なりたい未来像ではないというギャップがあります。電子情報通信学会では、2011年4月に「未来世代から見たコミュニケーション科学の魅力と学習意欲向上」と題する研究会を立ち上げました。この講演では、この研究会の設立趣旨、東日本大震災の高校生支援などの活動を紹介しします。



【略歴】

1945年に東京で生まれる。2009年3月に東京大学を定年退職して、現在は東京大学名誉教授、あわせて女子美術大学や明治大学の客員教授などもつとめている。コミュニケーション工学や顔学を研究対象として、科学と文化の融合にも関心を持っている。

10:10-10:30 講演 (3) 「企業人から社会人へ」  
斎藤 富士夫 (NPO 法人湖南ネットしが 理事長)

【講演概要】

NPO 法人湖南ネットしがの会員は現在 40 人、30 代から 70 代の現役、定年退職者、主婦など IT に関心がありシニア情報生活アドバイザー資格保有者で構成されている。企業とのパートナーシップによる幼児教育支援、長期在住外国人向けも含む IT 関連職業訓練、情報弱者と言われる高齢者向け IT 支援、子どもをネット危機から守る活動などに参加する各会員が、自身の IT 力を活かして社会参加している内容を紹介し、



【略歴】

日本アイ・ビー・エム株式会社を早期退職し、2008 年 4 月に NPO 法人湖南ネットしがを設立、現理事長。学びを活かすことに興味があり、高齢者へのパソコン、携帯電話や情報端末の使い方の指導や、小・中学校生徒や保護者対象の e ネット安心講座の専任講師をしている。

10:30-12:00 パネル討論 「情報処理学会が世の中に貢献するためには」

【討論概要】

情報処理学会はこれまで、情報技術に関する企画・調査活動と研究活動が活動の中心となってきた。しかし、一般社団法人への移行に際して「情報にかかわる科学技術のあり方を見つめ直し、人と社会の平和と幸福のためのより良い情報環境の創生をめざす」ことを改めて目標として掲げた以上、これまでの専門家集団としての内向きの姿勢を改め、積極的に他の組織・団体・個人とも連携しながら世の中に働きかけ、前記の目標の具体的実現に向けて活動することが望まれている。「教育ビジョン 2011」もこのような方向から埋まれて来たものである。このことをふまえ、本パネル討論では、講演で紹介された他の学会や企業・団体が既におこなっている活動の現状を踏まえて、情報処理学会が具体的にどのような社会貢献活動に踏み出すべきか、その課題や留意点は何かについて議論することをめざす。

司 会：久野 靖 (筑波大学 ビジネス科学研究科 教授)

略歴・写真は「教育ビジョン 2011：変わらなくちゃ、情報処理学会」司会紹介を参照。

パネリスト：寛 捷彦 (早稲田大学 理工学術院 教授)

略歴・写真は講演 (1)「教育ビジョン 2011 の紹介」を参照。

原島 博 (東京大学 名誉教授)

略歴・写真は講演 (2)「未来世代から学ぶ～電子情報通信学会における試み～」を参照。

斎藤 富士夫 (NPO 法人湖南ネットしが 理事長)

略歴・写真は講演 (3)「企業人から社会人へ」を参照。



パネリスト：寺田 真敏 ((株) 日立製作所 横浜研究所 主管研究員)

【略歴】

1986 年千葉大学大学院工学研究科写真工学専攻修士課程終了。同年(株)日立製作所入社。博士(工学)。現在、横浜研究所にてネットワークセキュリティの研究に従事。2004 年から Hitachi Incident Response Team チーフコーディネーションデザイナー。2004 年 4 月から JPCERT コーディネーションセンター専門委員。2004 年 4 月から 2007 年まで中央大学研究開発機構客員研究員。2004 年 8 月から情報処理推進機構セキュリティセンター研究員。2008 年から中央大学大学院客員講師を兼務。Telecom-ISAC Japan、日本コンピュータセキュリティインシデント対応チーム協議会運営委員。情報処理学会理事。



パネリスト：兎玉 公信 ((株) 情報システム総研 取締役副社長)

【略歴】

1978 年東京都立大学人文学部(心理学)卒業。石油元売り、大学受託研究員、システムインテグレータを経て 2009 年より現職。オブジェクト指向、モデル中心、アジャイル開発の基幹システム再構築プロジェクトを抱える。技術士(情報工学部門)、博士(情報学)、慶應義塾大学准教授(有期、非常勤)ほか 5 校で非常勤講師。情報処理学会技術士委員会委員長、情報システムと社会環境研究会幹事。著書に「UML モデリングの本質」、「UML モデリング入門」(ともに日経 BP 刊)、「実践!ファンクションポイント法」(JMAM 刊)のほか、オブジェクト指向技術の訳書多数。

教育活動は「つけ足し」でいいのか? ~情報処理学会における教育活動~  
3月6日(火) 15:00-17:30 [第3 イベント会場 (52・53号館 1F 5212)]

【セッション概要】

情報処理学会では、情報処理教育委員会が中心となって、教育に関するさまざまな課題の検討を行い、カリキュラムを開発したり、問題の指摘や改善のための提言活動をおこなっている。しかし、情報処理学会全体の活動では研究会を中心とする研究事業、標準化活動などの規格事業が中心であり、教育に関する活動は「つけ足し」としてしか捉えられていないきらいがある。本シンポジウムでは、情報処理学会の教育関連の活動を紹介するとともに、「学会が教育に関与することは本当に必要なのか? つけ足しでやるくらいなら、やめた方がいいのではないか?」というテーマで、原点に立ち帰って議論し、今後の方向を考えるきっかけとしたい。



司会：寛 捷彦 (早稲田大学 理工学術院 教授)

【略歴】

1970 年東京大学大学院修士課程修了、東京大学工学部助手、立教大学理学部講師・助教授を経て現職。本会フェロー、情報処理教育委員会委員長。

## 15:00-15:20 講演 (1) 「専門教育カリキュラムと J07 フォローアップ」

掛下 哲郎 (佐賀大学 工学系研究科 准教授)

### 【講演概要】

情報処理学会・情報教育委員会では、先に策定した情報専門学科におけるカリキュラム標準 J07 に対する今後の改善や高度 IT 人材育成を推進するために、教育機関における教育成果および情報系学科出身者に対する産業界の要求レベルに関する定量的な実態調査 (J07 フォローアップ調査) を行っている。本調査では、情報専門教育における産学間のミスマッチを明確化するとともに、分析結果のフィードバックを通じて産官学の相互理解を促進することを目的としている。本講演では、J07 フォローアップ調査を通じて収集したデータの分析結果の概要を報告する。



### 【略歴】

1989 年 九州大学工学研究科情報工学専攻博士後期課程修了。現在、佐賀大学准教授。ソフトウェア理解容易性の向上および大量データの系統的な整理に関する技術に興味を持つ。JABEE によるア krediteーション活動および情報処理学会による高度 IT 資格制度の検討に参画している。会誌編集委員。

## 15:20-15:40 講演 (2) 「一般情報教育の問題と情報処理学会の役割」

河村 一樹 (東京国際大学 商学部 教授)

### 【講演概要】

一般情報教育委員会では、大学等における一般情報教育に関するシラバスおよび知識体系を策定したりそれに合わせた教科書を出版している。これらの中で、我々としては一般情報教育として通年 1 コマ (あるいは半期 1 コマ × 2) を推奨している。しかし、なかなか現場には普及しないという実状がある。ここでは、その問題点を明らかにするとともに、今後の対応策についての提言を行う。



### 【略歴】

宮城大学事業構想学部情報デザイン学科助教授を経て、現在、東京国際大学商学部情報ビジネス学科教授。1955 年東京生まれ。立教大学理学部卒、日本大学大学院理工学研究科電子工学専攻博士前期課程修了、博士 (工学)。情報教育工学の研究・教育に従事。情報処理学会一般情報教育委員会委員長を歴任。

## 15:40-16:00 講演 (3) 「初等中等情報教育の問題と情報処理学会の役割」

久野 靖 (筑波大学 ビジネス科学研究科 教授)

### 【講演概要】

小学校から高校までの情報教育は、情報や情報技術に関してすべての国民が持つ「共通基盤」を提供するという点で極めて重要である。しかしその現状は、小学校・中学校では情報教育を専門として扱う教員がいない状態であり、どの教員も極めて多忙であり情報に関するあらたな教育内容を取り込んで工夫できるようなゆとりがない。高校には「情報」という教科があるが、多くの教員はもともと理科や数学の教員であり、ワープロソフトや表計算ソフトの操作方法を教えているだけ (それしか自信を持って教えられない) という状況も多く見られる。これらの現状を打破するために、情報処理学会としてもっと積極的に活動して行くことの必要性と可能性について紹介したい。



### 【略歴】

1984 年 東京工業大学理工学研究科情報科学専攻博士後期課程単位取得退学。同年 同大学理学部情報科学科助手。1989 年 筑波大学講師。同大学助教授を経て、現在、筑波大学ビジネス科学研究科教授。理学博士 (1986 年 東京工業大学)。プログラミング言語、ユーザインタフェース、情報教育に興味を持つ。著書に「UNIX の環境設定」「入門 JavaScript」「Ruby による情報科学入門」「Java によるプログラミング入門」などがある。

## 16:00-17:30 パネル討論「情報処理学会はもっと本腰を据えて教育に取り組むべきでは？」

### 【討論概要】

教育は言うまでもなく、我々の社会における次の世代にバトンを渡すための重要な活動であり、その成否は十数年後のわが国の社会がどのような大きな影響を及ぼす。しかし今日のわが国の教育システムは多くの問題を抱えており、その中で情報・情報技術に関わる部分も大きな割合を占めている。情報処理学会が今日の情報や情報技術についていかに注力しても、次の世代においてそれらを担ってくれる「人」がいなければ、それらは無駄になる。にもかかわらず、次に来る「人」を育てることに限っては学会は非常に小さな努力しか割いておらず、なおかつそのような活動は学会の中で傍流とされ予算も人も乏しい状況である。このような状況を新ため、学会全体として意識変革することの必要性について、本パネル討論では広く議論を進めたい。

司 会： 筧 捷彦 (早稲田大学 理工学術院 教授)

略歴・写真は「教育活動は「つけ足し」でいいのか? ~情報処理学会における教育活動~」司会紹介を参照。

パネリスト： 掛下 哲郎 (佐賀大学 工学系研究科 准教授)

略歴・写真は講演 (1)「専門教育カリキュラムと J07 フォローアップ」を参照。

河村 一樹 (東京国際大学 商学部 教授)

略歴・写真は講演 (2)「一般情報教育の問題と情報処理学会の役割」を参照。

久野 靖 (筑波大学 ビジネス科学研究科 教授)

略歴・写真は講演 (3)「初等中等情報教育の問題と情報処理学会の役割」を参照。



パネリスト：神沼 靖子（情報処理学会フェロー）

【略歴】

1961年 日本鋼管KKに始まり、横浜国大、埼玉大、帝京技科大を経て、前橋工科大教授を2003年3月に定年退職。現在、情報システム教育のアドバイザー、企業における人材育成研修講師、書籍の執筆などに携わる。学術博士。情報システム学、高度IT人材の育成に興味をもつ。当学会フェロー、情報処理教育委員会、情報システム教育委員会、ア kredィテーション委員会、初等中等教育委員会等のメンバー。



パネリスト：駒谷 昇一（株）NTT データ 技術開発本部 シニアスペシャリスト

【略歴】

1985年東京理科大学卒、1985～2007年NTT ソフトウェア株式会社。2007年から株式会社NTT データ。2007～2010年筑波大学。2006年～情報処理学会インフォメーションテクノロジー教育委員会委員長。著書「ずっと受けたかったソフトウェアエンジニアリングの授業」、情報処理学会ITText シリーズ「情報ネットワーク」、「情報システム基礎」、「情報と社会」、「情報と職業」他。

## 次世代 e ラーニング研究シンポジウム 3月7日（水）10:00-12:00 [第3 イベント会場（52・53号館 1F 5212）]

### 【セッション概要】

システム利用コストや可用性の向上がなされているクラウドコンピューティングが、教育の現場でも効果を発揮することが期待されている。また、クラウド上でのコンテンツの共有やスマートフォン、タブレットPCといった多様化する端末の安価なアプリケーションへの対応も進んでいる。さらにソーシャルネットワーキングという新しいコミュニケーションやコミュニティもひとつの情報基盤の一端を担いつつある。このような情報やアプリケーションの開放は e ラーニングの利用領域や学習指導そのものの在り方までも変えていくのではないかと期待がある。本シンポジウムではクラウド化された遠隔学習環境がもたらす効果について、この分野に関心の深い方々を教育機関から2名、企業から1名の講師を招き議論を頂く。



司会：平澤 茂一（サイバー大学 学長）

【略歴】

1961年早稲田大学第一理工学部数学科卒業、1963年同学部電気通信学科卒業。同年三菱電機（株）入社、中央研究所所属。1975年工学博士（大阪大学）。1981年早稲田大学教授、理工学部工業経営学科（現経営システム工学科）所属。2009年早稲田大学名誉教授、同年サイバー大学教授。2011年サイバー大学学長、現在に至る。IEEE ライフフェロー、電子情報通信学会フェロー。

### 10:00-10:40 講演（1）「知的基盤としての e ラーニングの将来性」

白井 克彦（放送大学学園 理事長）

#### 【講演概要】

e ラーニングは、その利便性から生涯学習としての開かれた学びの場を提供する有効な手段として位置づけられる。さらにブロードバンドの浸透とウェブの進化がマルチメディア技術の発達と相まって、いわゆる双方向学習もネット上で可能となりつつある。しかし、e ラーニングで講義を行う教員にとっての最大の課題は、コンテンツの制作だけでなく、e ラーニングによる教育効果という次元の異なる期待への対応である。e ラーニングにおけるクラウド化のメリットは、単なるシステムコストの削減ではなく、評価の高い教育コンテンツの共有ではないだろうか。これまでの早稲田大学での e ラーニングの経験と放送大学での取り組みから、将来的な e ラーニングの形態について考察する。



【略歴】

1963年早稲田大学第一理工学部電気工学科卒業、1965年同学大学院修士課程を経て、同学第一理工学部助手、1968年専任講師、1970年助教授、1973年工学博士（早稲田大学）、1975年教授。2002年～2010年早稲田大学第15代総長。2010年早稲田大学名誉教授。2011年放送大学学園理事長、現在に至る。この間、2002年人工知能学会功績賞受賞、2005年 第56回日本放送協会放送文化賞を受賞、イタリア共和国功労勲章グランデ・ウッフイチャーレ賞。2005年～2007年財団法人 大学基準協会会長、2009年～2011年社団法人日本私立大学連盟会長。専門は知能情報学。2001年電子情報通信学会フェロー。

### 10:40-11:20 講演（2）「クラウドとモバイルコンピューティングがもたらす e ラーニングの進化と可能性」

川原 洋（サイバー大学 IT 総合学部 学部長）

#### 【講演概要】

2007年春に開校し、全ての授業と試験をオンライン上で実施するサイバー大学の学習環境は基本的に Web と特定インターネットブラウザによって提供されてきた。通信制大学における在校生の大半が社会人を占めることから、就業者学生にとって卒業に至るまでの最大の要因は日々の学習時間そのものの確保である。また、e ラーニングの学習効果の観点から、いわゆる高度マルチメディア教育の具体的な方法論として、学生による協調学習の効果が多く報告され、その基本理念を学習管理システム（LMS）の運用に取り入れている。クラウドコンピューティングは、システム運用コストの軽減や経営資産の有効利用という観点から、ハードからソフトに至るまで広く企業活動の中に受け入れられつつあるが、e ラーニングにおいても、学習コンテンツの管理コストやアプリケーションの稼働コストを削減し、PC やスマートフォンを含む多様化する学習端末を LMS から独立させて利用することが容易となる。ことにモバイル端末の利用を促進することは、学生間の発言のトラフィックがソーシャルネットワーキングサービス（SNS）機能により増加し、協調学習効果の向上が期待される。本講演ではクラウド化された学習情報の可用性の向上やモバイル端末の利用による新たな学習効果について議論したい。



【略歴】

1979年カリフォルニア州立大学（フンボルト校）理学部物理学科 B.S.、1984年マサチューセッツ工科大学（MIT）工学部海洋工学科博士課程 Sc.D.、1979年～1984年ウッズホール海洋学研究所海洋工学部助手、1984年シュルンベルジェ（株）検層技術部入社、1992年新日鉄ソリューションズ（株）（旧新日鉄情報通信システム（株））入社、1997年日本 IBM（株）（旧ロータス）入社、2000年ソフトバンク BB（株）（旧ソフトバンク・EC ホールディングス（株））入社。以来ソフトバンク・グループ内において様々な海外 IT 企業との合弁事業やネット関連事業会社の CTO を歴任。2007年サイバー大学 IT 総合学部教授就任、2011年同校 IT 総合学部長、および（株）日本サイバー教育研究所取締役就任、現在に至る。日本 MIT エンタープライズフォーラム理事。

11:20-12:00 講演 (3) 「大学教育における e ラーニングへの期待」  
園井 秀子 (リコー IT ソリューションズ (株) 取締役会長執行役員)

【講演概要】

e ラーニングは、教育の効率化に資するツールとして期待が大きかったが、実態としては企業でも大学でも予想ほどの普及はしていない。その要因としては、コンテンツ作成の負荷もあるが、それ以上に e ラーニングの特徴を活かした教育の手法や活用の仕方が構築されていないことによる。著者は、企業での利用者でもあり、開発・サービス提供者でもあるので、この両面の経験を通して今後の e ラーニングのあり方を議論する。特に、TA などの支援体制も不十分で実践教育が弱い日本の大学において、知識取得については e ラーニングでの予習・復習を主体とし、対面の授業は実践的教育を中心にするることによって総合的な教育ができるのではないかと考える。



【略歴】

1973 年お茶の水女子大学理学研究科物理専攻修士、1983 年テキサス大学コンピュータサイエンス学科 Ph.D. 1982 年 (株) リコー入社、以来同社のソフトウェア分野の研究開発責任者。2008 年リコーソフトウェア株式会社 (現在リコー IT ソリューションズ株式会社) 会長就任、現在に至る。日本学術会議連携会員、文部科学省中央教育審議会委員、一般社団法人情報サービス産業協会理事、日本データベース学会副会長、情報処理学会フェロー、電子情報通信学会フェロー。

クラウドコンピューティングがもたらす遠隔教育の革新  
3月7日 (水) 15:30-17:30 [第3 イベント会場 (52・53 号館 1F 5212)]

【セッション概要】

仮想化技術の活用によるコンピューティングリソースの効率的な運用は、インターネット経由で安価に IT 資産を活用できるビジネスモデルへと進化しつつある。対象となる IT 資産もコンピュータやストレージにとどまらず、アプリケーションやサービスにまでおよんでいる。従って、これまで手元のコンピュータにあったデータも完全に端末から独立した形で維持管理されるので、端末から独立してアクセスすることが可能となった。それに加え、端末側でも優れたユーザインターフェイスをもつスマートフォンやタブレット PC が広く利用者を広げ、Twitter や Facebook といったソーシャルネットワークとよばれる新たなユーザ間の情報ネットワークに多くのトラフィックと利便性をもたらした。一方、遠隔教育の議論の中でも、双方向コミュニケーションによる協調学習の効果が認知されて久しい。これらの技術やコミュニケーション手段を融合して e ラーニングに活用した場合、より高い教育効果が期待できる。本パネルでは、クラウドとその他の周辺技術の社会的活用効果を議論しつつ、遠隔教育という具体的な活用事例における総合的な効果を討議していただく。



司会：川原 洋 (サイバー大学 IT 総合学部 学部長)

【略歴】

1979 年カリフォルニア州立大学 (フンボルト校) 理学部物理学科 B.S., 1984 年マサチューセッツ工科大学 (MIT) 工学部海洋工学科博士課程 Sc.D., 1979 年 - 1984 年ウッズホール海洋学研究所海洋工学部助手、1984 年シュルンベルジェ (株) 検層技術部入社、1992 年新日鉄ソリューションズ (株) (旧新日鉄情報通信システム (株) 入社、1997 年日本 IBM (株) (旧ロータス) 入社、2000 年ソフトバンク BB (株) (旧ソフトバンク・EC ホールディングス (株)) 入社。以来ソフトバンク・グループ内において様々な海外 IT 企業との合弁事業やネット関連事業会社の CTO を歴任。2007 年サイバー大学 IT 総合学部教授就任、2011 年同校 IT 総合学部長、および (株) 日本サイバー教育研究所取締役就任、現在に至る。日本 MIT エンタープライズフォーラム理事。

15:30-15:45 講演 (1) 「クラウド基盤を支える仮想化と e ラーニングに代表される教育について」  
高野 徳己 (富士通 (株) サービスビジネス本部 ソーシングビジネス推進部 部長)

【講演概要】

大学の IT 演習現場では、「Windows PC とイメージ復元ソフト」から「Windows と Linux DUAL ブート PC」を経て、「ネットブート型シンクライアントにアプリを配信」へと変遷してきました。いま、教育手段の一つとして「クラウドコンピューティング」活用の検討が始まっています。この「クラウド」と「教育」の融合では、仮想サーバ環境で、必要ときに必要なリソースを必要だけ利用でき、教育に柔軟性と言う価値を与え、使った分だけ費用が発生する経済的な仕組みです。これにより多くの受講者に、いつでも、どこでも、安心して、スピーディに、レスポンスよく、様々なデバイスで教育コンテンツを届けられます。まさに e ラーニングの強みと言えます。管理面では、「履歴、進捗、成績管理から、中長期の教育戦略へ」の PDCA サイクル構築に必要な、ナレッジ、解析プロセスが、容易であることが重要です。これらの効果が奏功することで教育資産の「所有」から「利用」がさらに加速してゆくものと考えます。「クラウド」に代表される仮想化と「教育」について、富士通の取り組みをご紹介します。



【略歴】

1991 年富士通 (株) 入社、データリカバリ、デザスタリカバリサービス、データ消去、セキュリティなどを経て、2010 年より Daas (仮想化デスクトップ) の企画、開発に従事。

15:45-16:00 講演 (2) 「変わりゆくネット環境と e ラーニングシステム」  
喜多 敏博 (熊本大学 e ラーニング推進機構 教授)

【講演概要】

「e ラーニング」や「LMS (ラーニング・マネジメント・システム)」などのキーワードがしばしば聞かれるようになって 10 年ほどになるが、その間にもインターネットで活用される技術や、ユーザが用いる端末は様々に変化してきている。どこにいても常にネットに高速接続していることが当たり前になり、パソコンに向かって一人孤独に学習する、という遠隔学習のイメージは薄れ、たとえ離れていても仲間と一緒に勉強している感覚が実現されるようとしている。変わりゆく最新のネット環境やユーザ端末に対して、LMS 等のシステムをどのように利用し、e ラーニングによる学習環境を実現するのが効果的なのか、いくつかの事例を紹介することで議論の発端としたい。



【略歴】

1967 年に奈良に生まれる。京都大学大学院工学研究科博士後期課程研究指導認定退学、熊本大学 工学部助手、総合情報基盤センター准教授、e ラーニング推進機構教授、現在に至る。工学博士 (名古屋大学、2005 年)。e ラーニングシステム、LMS/VLE、非線形システム、電子音楽に興味を持つ。

16:00-16:15 講演 (3) 「企業研修にみられる eラーニングのユーティリティ化」  
北川 徹 (ソフトバンク BB (株) コマース&サービス本部 CP 営業推進統括部 e-Learning 事業推進室 室長)

【講演概要】

情報セキュリティ遵守の観点から、従来 eラーニング等で利用される社内研修コンテンツの利用はイントラネット内に限定されていた。しかし、一定のセキュリティが担保された後、外部からも利用できる利便性が求められている。これらのニーズにさらに対応するため、必要ときに必要な分だけシステムリソースが活用できるユーティリティコンピューティングを運用基盤として、同様に必要な研修タイトルを必要な時に、必要な従業員にのみ安価に提供するユーティリティ型の eラーニングが導入されつつある。本パネルでは、クラウドコンピューティングの上位サービスともいえる eラーニングのユーティリティ化について事例を交えて紹介し、その効果と課題について議論する。



【略歴】

法政大学法学部政治学科卒業、IT 商社で 6 年間の営業担当従事後、日系ソフトメーカーにおいてインターネットのコンテンツ事業におけるサービス企画に携わる。以後、外資系企業やソフトバンク・グループ企業において、SNS やオンラインゲーム事業など新規コンテンツの事業開発やその事業統括を経て、2011 年 5 月よりソフトバンク BB (株) コマース&サービス本部 CP 営業推進統括部 e-Learning 事業推進室室長、現在に至る。

16:15-16:30 講演 (4) 「DaaS とモバイル eラーニング」  
中澤 真 (会津大学 短期大学部 産業情報学科 准教授)

【講演概要】

時間的、空間的制約がないモバイル eラーニングはいつでも、どこでも学習することが可能であり、すきま時間を活用する学習ツールとしても注目されている。これに加えて、近年普及しつつあるクラウド技術「DaaS」を用いることで常時同じ学習環境を学習者に提供することも可能となり、演習や実験など WBT(Web Based Training)では実現が難しい多様な学習スタイルを実現できるようになる。ここでは、DaaS によるモバイル eラーニングの可能性、有効性を示しながら、通信環境が及ぼす影響を考慮したモバイル eラーニングの学習方法や学習形態のあり方について概説する。



【略歴】

1992 年早稲田大学理工学部工業経営学科卒業、1994 年同学大学院博士課程満期退学。早稲田大学情報科学教育研究センター助手などを経て、2003 年会津大学短期大学部産業情報学科助教授。2005 年会津大学短期大学部コンピュータセンター長兼任。知識情報処理、eラーニングシステムの研究に従事。

16:30-16:45 講演 (5) 「クラウド環境における電子教科書の効用と課題」  
黒須 正明 (放送大学 CODE 教授)

【講演概要】

電子教科書には、指導者用教科書と学習者用教科書が区別される。指導者用教科書は指導者である教員が教室で利用し、プロジェクトなどで投影して学習者に提示するものである。義務教育である初等中等教育の範囲では、文科省の指導要領に適合する必要があるため、教科書作成企業が提供したものがクラウド環境で利用できることは望ましいが、教員はこれまでも各自がいろいろと工夫して教材を用意してきたため、クラウド環境はそうしたカスタマイズをローカルに実施するためのベースを提供するものと位置づけられるだろう。高等教育においては、教員は各自で教材を用意することが多く、クラウド環境はそのための素材提供の場と考えられる。ただ、現場では、まだプロジェクトやパソコンが十分に整備されていないなど、クラウドを検討する以前の段階にある。他方、学習用教科書は、学習者が利用するものであり、各種の電子ブックやスマートフォンの利用が話題になっているが、費用負担などを考慮すると、やはり低価格なパソコンによってクラウド環境に提供される教科書を利用する形態が考えられる。高等教育の範囲においては、学習者は一般的パソコンを保有するようになり、各自が自由に情報にアクセスできるようになるだろう。このようにクラウド環境を教育場面で活用するには、きめ細かい対応が必要となる。



【略歴】

1978 年早稲田大学文学研究科 (博士課程心理学専修) 単位取得満期退学、日立製作所に入社し、中央研究所で日本語入力方式や LISP プログラミング支援環境などのソフトウェアシステムの研究開発に従事。1988 年同社デザイン研究所に移り、インタラクティブデザイン、ユーザビリティ評価の研究に従事する。1996 年に静岡大学情報学部情報科学科教授として赴任し、ユーザ工学の体系化を行う。2001 年文部科学省メディア教育開発センター (2005 年 4 月より独立行政法人、2009 年 4 月に放送大学に併合) 教授として赴任。現在は、放送大学教授、および総合研究大学院大学教授。

16:45-17:30 パネル討論 「クラウドコンピューティングがもたらす遠隔教育の革新」

【討論概要】

クラウドコンピューティングが教育環境にもたらす効果を大きく分類すると、二つの領域で見いだせるのではないかと、ひとつは仮想化技術がもたらす、コンピューティングリソースの有効利用から、eラーニングのサーバや OS やアプリケーション演習への提供、さらに学習コンテンツそのものもユーティリティ化されつつあるという点である。いわゆるユーティリティコンピューティングの経済性が教学のプラットフォームとしても有効であることが期待される。もうひとつの重要な視点は、クラウドサービスへのアクセス方法である。モバイル端末による仮想化デスクトップの通信上の課題や、クラウド上に置いた電子教科書の利用ひとつとっても小中学校から高校・大学まで、すべて異なる課題と要件がある。ここでは、クラウドコンピューティングが遠隔教育の場にもたらす効果や課題について討論して頂く。

司 会：川原 洋（サイバー大学 IT 総合学部 学部長）

略歴・写真は「クラウドコンピューティングがもたらす遠隔教育の革新」司会紹介を参照。

パネリスト：高野 徳己（富士通（株） サービスビジネス本部 ソーシングビジネス推進部 部長）

略歴・写真は講演 (1)「クラウド基盤を支える仮想化と e ラーニングに代表される教育について」を参照。

パネリスト：喜多 敏博（熊本大学 e ラーニング推進機構 教授）

略歴・写真は講演 (2)「変わりゆくネット環境と e ラーニングシステム」を参照。

パネリスト：北川 徹（ソフトバンク BB（株） コマース&サービス本部 CP 営業推進統括部 e-Learning 事業推進室 室長）

略歴・写真は講演 (3)「企業研修にみられる e ラーニングのユーティリティ化」を参照。

パネリスト：中澤 真（会津大学 短期大学部 産業情報学科 准教授）

略歴・写真は講演 (4)「DaaS とモバイル e ラーニング」を参照。

パネリスト：黒須 正明（放送大学 CODE 教授）

略歴・写真は講演 (5)「クラウド環境における電子教科書の効用と課題」を参照。

## 産業界からの学会活動活性化に向けて ～コンシューマ・デバイス&システム研究会の取り組みと期待される今後の活動～ 3月8日（木）9:30-12:00 [第3 イベント会場（52・53号館 1F 5112）]

### [セッション概要]

2011年4月に発足したコンシューマ・デバイス&システム(CDS)研究会は、産業界の研究者、システム開発者が密接に関係するコンシューマ向けデバイス、システム、サービスなどの幅広い研究分野を対象としており産業界からの積極的な参加による学会活動の活性化に向けた取り組みが期待されている。

本シンポジウムは、

- (1) 本研究会設立の背景、本研究会の活動方針、本研究会と密接に関連する CDS トランザクションの編集方針に関する基調講演
- (2) 災害対策、スマートグリッド、ソーシャルメディアなどを中心に、産業界、大学などにおけるコンシューマ向けデバイス、システム、サービスに関連する研究開発動向及び、IEEE Consumer Electronics (CE) Society からの CDS 研究会への期待に関する招待講演などから構成する予定である。



司会：峰野 博史（静岡大学 情報学部 准教授）

[略歴]

1999年静岡大学大学院理工学研究科修士課程修了。同年日本電信電話(株)入社。NTT サービスインテグレーション基盤研究所を経て、2002年10月より静岡大学情報学部助手。2006年九州大学大学院システム情報科学府博士(工学)。2011年4月より静岡大学情報学部准教授。センサネットワーク応用システム、コンシューマシステムに関する研究に従事。電子情報通信学会、IEEE、ACM 各会員。

9:30-10:05 基調講演「CDS 研究会設立の背景と今後の活動方針」

石川 憲洋（駒澤大学 グローバル・メディア・スタディーズ学部 教授）

### [講演概要]

コンシューマ・デバイス&サービスの分野では、これまで日本がリードしていたが、近年、急速に普及が進んでいるスマートフォン、タブレット端末、ソーシャルメディアなどの分野では、米国などに主導権を握られつつある。

このような背景のもとに、コンシューマ・デバイス関連の研究と、サービスとして具現化するシステム開発を組み合わせた情報交換の場を設けることで、新しい産学連携の活性化を図り、コンシューマ・デバイス&システム(CDS)に関するデファクト化、標準化活動を含め、産学問わず幅広い研究者・技術者の相互情報交換の場を提供する目的で、2010年4月に本研究会を設立した。

本研究会の今後の活動方針及び同時に発行した CDS トランザクションの編集方針について述べる。



[略歴]

1980年京都大学大学院工学研究科修士課程修了。同年日本電信電話公社(現NTT)入社。1999年NTTドコモ入社。2010年4月より駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部教授。博士(情報学)。モバイルインターネット、ユビキタスコンピューティングなどの研究に従事。情報処理学会業績賞などを受賞。電子情報通信学会、IEEE 各会員。

10:05-10:40 講演 (1)「災害に強いグリーン指向ネットワーク」

白鳥 則郎（東北大学 電気通信研究所 客員教授・名誉教授）

### [講演概要]

21世紀の科学技術は「地球環境」の変化、「社会構造」の変化、「高齢化社会」への変化といかに向き合うかが問われている。本講演では、特に、地球環境の変化について、災害とグリーン化への対応を中心に常時と災害時の双方において効果的に機能する情報システムのフレームワークを提案する。具体的には、調和/共生の考え方に基づいて「災害に強いネバー・ダイ・ネットワーク」と「グリーン指向情報システム」などについて、推進中の研究プロジェクトを紹介しながら議論する。さらに、上述の変化の吸収へ向けた今後の情報システムに期待されるパラダイムの要件についても言及する。

[略歴]

1977年東北大学博士課程修了。1990年同大学工学部教授を経て1993年同大学電気通信研究所教授。2010年東北大学名誉教授。同大学電気通信研究所客員教授。ITに基づいた人と自然の調和/共生などの研究に従事。IEEEフェロー、文部科学大臣表彰「研究部門」、情報処理学会功績賞、電子情報通信学会功績賞など受賞。情報処理学会会長(2009年～2011年)。IEEE 仙台セクション Chair (2010-2011)。



10:40-11:15 講演 (2) 「IEEE Consumer Electronics Society からの CDS 研究会への期待」

長谷 智弘 (龍谷大学 理工学部 情報メディア学科 教授)

【講演概要】

まず、IEEE Consumer Electronics Society の最近の活動について紹介する。次に、本年から新たに開催する情報家電技術に関する IEEE 主催の国際会議である Global Conference on Consumer Electronics (GCCE2012) について紹介する。最後に、IEEE Consumer Electronics Society からの情報処理学会 CDS 研究会への期待することについて述べる。



【略歴】

1979年静岡大大学院工学研究科電子工学専攻・修士課程修了。同年三菱電機に入社。工学博士。技術士(総合技術管理部門, 応用理学部門)。2002年4月より龍谷大学理工学部電子情報学科教授。2003年4月より情報メディア学科教授。IEEE ISCE2009のGeneral Chair。2011年よりIEEE Consumer Electronics SocietyのVice Presidentに就任。2012年10月にIEEE GCCE2012を創設し、General Chairに就任。

11:15-11:50 講演 (3) 「ホーム IT システムの現状と将来」

一色 正男 (神奈川工科大学 創造工学部 教授/慶應義塾大学 政策・メディア研究科 特任教授)

【講演概要】

東芝が世界最初に IP ベースのホーム IT システムを市場投入してから約 10 年たった。本講演では、その間に経験したことをベースに、インターネットの拡大、Web サービスの発展の中で、サービスの拡大普及が望まれている現状について述べる。省エネルギーへの貢献の期待も強まっている中、政府での取り組みも含め、グローバルな市場への展開も視野に入れて、現状の課題と将来への期待について述べ、今後 10 年の展望を共有したい。



【略歴】

(株) 東芝で約 30 年、新規技術開発と新規事業開発などに従事。特に、インターネット及び Web 活用事業について、世界初のホーム IT システム「フェミニティシリーズ」の事業責任者として、企画から立ち上げを担当。2009 年 1 月より、慶應義塾大学教授として、国際規格 W3C (World Wide Web Consortium) の Site Manager に就任。2011 年より神奈川工科大学教授。W3C 運営委員。情報処理学会会員、同 CDS 研究会幹事。機械学会会員、ECHONET コンソーシアム 2008 運営委員長、現フェロー。

11:50-12:00 全体質疑

## — 展示会のご案内 —

第74回全国大会では会期中、以下企業・大学等による展示会を開催致します。

展示会場：名古屋工業大学 御器所キャンパス 52・53号館 1F 5211・5212 前ロビー

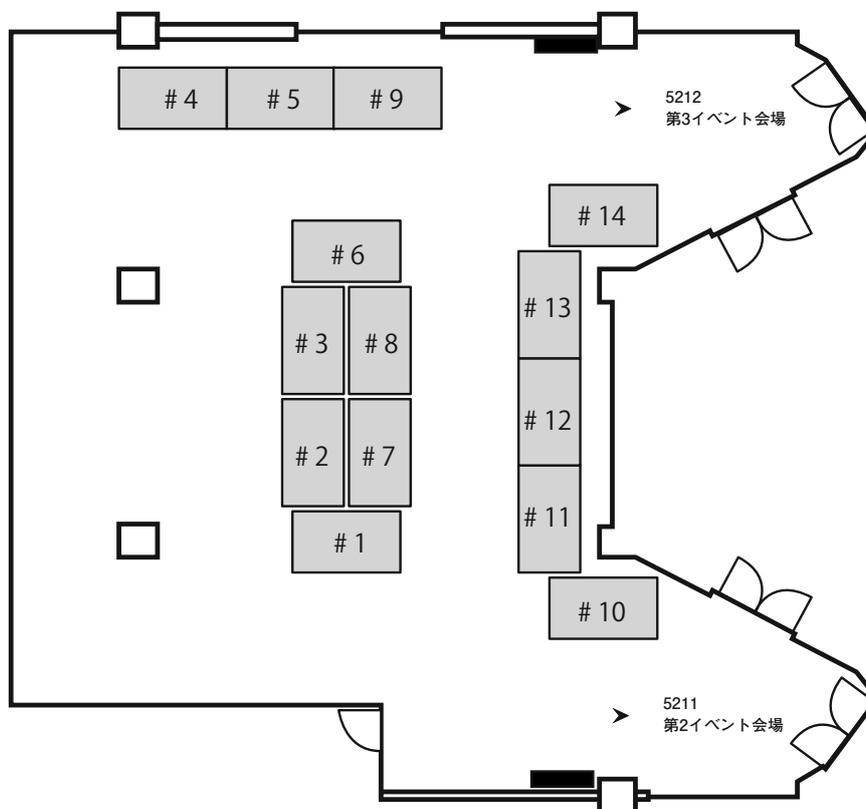
展示日時：3月6日（火）～8日（木）9:30-17:00 \*8日は15:00まで

ブース 番号	出展者名・出展者 Web サイト・展示名 展示概要
#1	<p><b>株式会社とめ研究所</b> [<a href="http://www.tome.jp/">http://www.tome.jp/</a>] <span style="float: right;">大会ゴールドスポンサー</span></p> <p>株式会社とめ研究所のご紹介</p> <p>【とめ研究所のミッション】「御客様の研究開発を支援する“研究開発受託会社”」</p> <p>知能情報処理技術をコアコンピタンスとし、大学、国家研究機関、企業研究所、ベンチャーと国家PJ応募、共同研究、受託研究開発、技術者派遣で協創し来るべき、“人と機械の共生社会”の構築に貢献します。</p> <p>【得意分野】 ポスドク相当の技術者が共同研究者のように研究開発の加速推進に貢献します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術者の6割が博士課程出身、4割が博士号取得者です。研究開発、システム開発、組込み制御開発までお任せください。</li> <li>・画像処理、信号処理、数値解析、ロボティクス、自動化、データマイニング、自然言語処理、ヒューマンインタフェース、組込み制御開発他</li> </ul> <p>※ 今回の展示では、とめ研究所の強み、得意分野などについて、資料を配布いたします。</p>
#2	<p><b>ヤフー株式会社</b> [<a href="http://www.yahoo.co.jp/">http://www.yahoo.co.jp/</a>] <span style="float: right;">大会ゴールドスポンサー</span></p> <p>ARと地図でルート検索サービス！スマホ、Web開発にYOLP</p> <p>ヤフー株式会社では、地図・地域情報に関するAPI、Yahoo! Open Local Platform（略称:YOLP、読み:ヨルプ）を提供しております。スマートフォンアプリやWebサービス開発において、地図表示、ジオコーディング（住所から緯度経度付与）、ルート検索、標高取得など様々な位置情報関連機能を実現できます。YOLPを使ってできることを、PC、iPhone、Android端末上でライブデモをしながらご紹介いたします。</p> <p>＜ライブデモ内容（予定）＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ARと地図でAndroid向けのルート探索サービス</li> <li>・店舗の密集度をヒートマップで表現</li> <li>・自由自在に切り替えられる地図デザイン など</li> </ul> <p>詳細：<a href="http://developer.yahoo.co.jp/webapi/map/">http://developer.yahoo.co.jp/webapi/map/</a></p>
#3	<p><b>株式会社エデックリンセイシステム</b> [<a href="http://www.edeclinsey.jp/">http://www.edeclinsey.jp/</a>] <span style="float: right;">大会ゴールドスポンサー</span></p> <p>画像処理のトータルソリューション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業界初、超高速・高解像度カメラ 【VI-SAI】 転送速度、32fps、5120×5120 2500万画素！</li> <li>・オンラインワンコンローラ 【AI-CON】 画像処理、モーションコントロール、PLCの機能を1つのコントローラに集約。</li> <li>・画像処理アプリケーション 【WinMusic4】 シークラインによるパターンマッチングという、当社独自のMSアルゴリズムを採用し高速且つ高精度を実現。カラー対応で、注目色のみ検出可能(NEW)。超高解像度(25M)の画像に対しても、高速で処理が可能です(NEW)。</li> </ul> <p>詳細：VI-SAI：<a href="http://www.edeclinsey.jp/?page_id=16">http://www.edeclinsey.jp/?page_id=16</a> / AI-CON：<a href="http://www.edeclinsey.jp/?page_id=31">http://www.edeclinsey.jp/?page_id=31</a> / Winmusic4：<a href="http://www.edeclinsey.jp/?page_id=18">http://www.edeclinsey.jp/?page_id=18</a></p>
#4	<p><b>有限会社来栖川電算</b> [<a href="http://kurusugawa.jp/">http://kurusugawa.jp/</a>] <span style="float: right;">大会ゴールドスポンサー</span></p> <p>情景画像文字認識サービス「タンゴチュウ」</p> <p>携帯電話・クラウドの普及により写真をオンラインで共有する機会が非常に多くなっています。手軽さゆえに身の回りにはかつてないほど写真があふれかえり、それらを整理・検索するニーズがますます強くなっています。情景画像文字認識サービス「タンゴチュウ」は写真に写る文字を認識するという方法でこのニーズに取り組んでいます。写真に写る文字は悪条件下で撮影されることが多く、さらにレイアウトにほとんど制約がありません。このような困難な課題を克服し、情景画像文字認識を実用化するための研究成果を展示・紹介いたします。</p> <p>詳細：<a href="http://tangochu.jp/">http://tangochu.jp/</a></p>
#5	<p><b>株式会社ディー・エヌ・エー</b> [<a href="http://dena.jp/">http://dena.jp/</a>] <span style="float: right;">大会ゴールドスポンサー</span></p> <p>X-Platform Game Engine “ngCore”</p> <p>DeNAが日米で開発しているX-Platform Game Engine “ngCore”のご紹介および資料配布を行います。“ngCore”とは、JavaScriptで記述し、iOS/Android/HTML5といったさまざまなOSや環境に対応したアプリケーションやソーシャルゲームをワンソースで開発できるゲームエンジンです。</p> <p>※ 個人の方でもデベロッパー登録をすることで利用する事ができます。</p> <p>ブースでは解説映像などもご覧いただけますので、ぜひ足を運んでいただければと思います。</p>
#6	<p><b>株式会社マクス・シントー</b> [<a href="http://www.maxis-inc.com/">http://www.maxis-inc.com/</a>] <span style="float: right;">大会スタンダードスポンサー</span></p> <p>3Dカメラ付ロボット・ピッキング・コントローラ</p> <p>自動化が進んだ国内製造業の工場でも、バラ積み部品のピッキングは困難な課題でした。マクス・シントーでは、3次元計測カメラとロボットをシームレスにつなぎ、バラ積みや多品種少量生産対応も可能で、かつ簡単に設定や操作ができるシステムを開発しました。</p> <p>詳細：<a href="http://www.maxis-inc.com/product/gazo07.html">http://www.maxis-inc.com/product/gazo07.html</a></p>
#7	<p><b>法政大学スマートクラウド研究室</b> [<a href="http://ai.k.hosei.ac.jp/">http://ai.k.hosei.ac.jp/</a>]</p> <p>ネクスト・ビジネス・ドキュメント</p> <p>法政大学理工学部応用情報工学科スマートクラウド研究室（藤井章博准教授）らが民間企業数社と共同開発したビジネスドキュメントのクラウドコンピューティングを利用した廉価な運用管理システムの展示</p>
#8	<p><b>共立出版株式会社</b> [<a href="http://www.kyoritsu-pub.co.jp/">http://www.kyoritsu-pub.co.jp/</a>] <span style="float: right;">大会スタンダードスポンサー</span></p> <p>情報関連書籍の展示即売</p> <p>好評シリーズ『未来へつなぐデジタルシリーズ』『Rで学ぶデータサイエンス』他、新刊書籍多数</p>

#9	<p><b>株式会社 JCC ギミック</b> [<a href="http://www.jcc-gimmick.com">http://www.jcc-gimmick.com</a>] GPU コードジェネレータ「HMPP」・GPGPU クラスタの実演</p> <p>フランス CAPS 社製「HMPP」は、様々な CPU コンパイラに対応するディレクティブベースの GPU コードジェネレータです。今回はこの「HMPP」の商品説明および HMPP を導入した BOX 型 GPU MPI クラスターの実演を行います。 詳細：<a href="http://www.jcc-gimmick.com/gpugen.html">http://www.jcc-gimmick.com/gpugen.html</a></p>
#10	<p><b>三精システム株式会社</b> [<a href="http://www.sansei-s.co.jp/">http://www.sansei-s.co.jp/</a>] 高速ネットワークと高速データ処理</p> <p>弊社開発の高速ネットワーク通信機器、エミュレータ機器及び、高速データ処理機器のご紹介。</p>
#11	<p><b>株式会社アイキューブテクノロジー</b> [<a href="http://www.i-cube-tech.co.jp/">http://www.i-cube-tech.co.jp/</a>] 超小型画像処理内蔵カメラ装置</p> <p><input type="checkbox"/>画像処理のプラットフォーム <input type="checkbox"/>超小型・高速高機能・低価格 ◎この一台で、画像処理/判定/表示までが可能 ◎お客様にてカスタマイズが可能 <input type="checkbox"/>PC レス (パソコンレス) <input type="checkbox"/>FPGA 高速画像ライブラリ実装 <input type="checkbox"/>500 万画素カラー CMOS センサ <input type="checkbox"/>C マウント対応 詳細：<a href="http://www.i-cube-tech.co.jp/original/index.html">http://www.i-cube-tech.co.jp/original/index.html</a></p>
#12	<p><b>名古屋工業大学 梅崎研究室</b> [<a href="http://ume.mta.nitech.ac.jp/">http://ume.mta.nitech.ac.jp/</a>] <span style="float:right">大会スタンダードスポンサー</span> 3次元計上計測システム・自律型ロボット ASKA</p> <p>我々の研究室で開発を進めている 3D 計測装置とロボットについての展示を行う。3次元形状計測は大きな期待を寄せられており、ロボットの位置決め、部品組立や外観検査などに利用されている。現在までに、様々な計測手法が研究・実用化されてきたが、それぞれの手法には計測対象の特性や視野などによる得手不得手が存在する。我々は、計測システムの低価格化・高精度化を目指して、プロジェクトを用いたアクティブステレオ法や、計測精度の高い合焦点法・共焦点顕微鏡などの各種三次元計測システムを開発している。今回は、これらの計測装置のデモンストラを行う。</p> <p>ロボットの展示としては、我々が開発を進めている自律型のロボット ASKA に関するデモンストラを行う。ASKA は、愛知万博出展のため、梅崎研究室が持つ音声・画像認識技術の集大成として製作した子供たちが実際に触れ合うことのできるロボットである。外観は「宇宙服を着たペンギン」をモチーフとしており、各種センサにより安全面での対策を2重3重に講じている。現在は、より高度な対話機能の実現を目指して、物や動作を表す単語や複雑な文法の学習・理解機構の研究・開発を進めている。展示では ASKA 実機のデモンストラを行う。</p>
#13	<p><b>合同会社 3 Dragons</b> <span style="float:right">大会スタンダードスポンサー</span> 裸眼・視点変動に対応した 3D ディスプレイの展示</p> <p>我々は現実感のある仮想現実を目指して、計測・表示システムを開発しています。今回は、裸眼で見ることのできる 3D ディスプレイを展示いたします。我々の開発している 3D ディスプレイは 500 視差の映像を表示しているため視点変更にも対応しており、通常のディスプレイに比べて直感的かつ臨場感の高いコンテンツの閲覧が可能です。さらに、通常のディスプレイでは表現の難しい透明物体や反射物体の視点の変動に伴う光の変化についても、表現することが出来ます。様々なコンテンツを表示することが出来るため、CT や MRI などの医療データ、工業製品の 3D CAD データ、3D アニメーション、実物体の 3D 形状計測データなどのコンテンツへ応用が可能です。また、3D データの取得が難しい対象に関しては、実物体を多視点から撮影することでコンテンツの生成を行うことも可能です。</p>
#14	<p><b>株式会社日経 BP 社 日経 BP マーケティング</b> [<a href="http://ec.nikkeibp.co.jp/nsp/">http://ec.nikkeibp.co.jp/nsp/</a>] 日経 BP 社 大学の教科書</p> <p>日経 BP 社のブースでは、情報リテラシーやプログラミングがテーマの教材を多数展示します。「コンピュータの構成と設計 第4版」、「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第4版」などの定番教科書から、「HTML5 による Android アプリ開発入門」などの最新刊までをご紹介します。オンデマンドで提供する eラーニングもぜひご覧ください。</p>

# 展示会場

(52・53号館1F 5211・5212前ロビー)



ブース番号	出展者
#01	株式会社とめ研究所 (大会ゴールドスポンサー)
#02	ヤフー株式会社 (大会ゴールドスポンサー)
#03	株式会社エデックリンセイシステム (大会ゴールドスポンサー)
#04	有限会社来栖川電算 (大会ゴールドスポンサー)
#05	株式会社ディー・エヌ・エー (大会ゴールドスポンサー)
#06	株式会社マクス・シントー (大会スタンダードスポンサー)
#07	法政大学スマートクラウド研究室
#08	共立出版株式会社 (大会スタンダードスポンサー)
#09	株式会社JCCギミック
#10	三精システム株式会社
#11	株式会社アイキューブテクノロジー
#12	名古屋工業大学梅崎研究室 (大会スタンダードスポンサー)
#13	合同会社3 Dragons (大会スタンダードスポンサー)
#14	株式会社日経BP社 日経BPマーケティング

**第1分冊**

**(アーキテクチャ)**

**一般セッション [1A会場] (3月6日(火) 9:30 ~ 12:00)**

**クラウド・大規模ネットワーク 座長 浅原 理人 (NEC)**

- 1 予見化によるシームレスなスケラビリティと統合的システム復旧を実現するクラウドシステム  
○石井嘉明, 矢野恭平, 廣岡誠之 (富士ソフト), 杉本章義, 加藤和彦 (筑波大)
- 2 クライアント, ネットワーク, サーバ環境を統合したディペンダブルクラウドの検証  
○廣岡誠之, 石井嘉明, 矢野恭平 (富士ソフト), 杉本章義, 加藤和彦 (筑波大)
- 3 クラウドコンピューティング基盤を活用した災害対策用自律ミラーサイトシステムの提案  
○矢野恭平, 石井嘉明, 廣岡誠之 (富士ソフト), 杉本章義, 加藤和彦 (筑波大)
- 4 研究開発業務の効率化を目的とした IaaS クラウド基盤の試作とその活用  
○大野岳夫, 副島賢司, 黒田貴之, 島村 栄 (NEC)
- 5 クラウドデータセンターのサービスレベル管理の自動化に向けたサービスレベル監視機構  
○外川遼介, 大野允裕, 八木真二郎 (NEC)
- 6 ルーティングテーブルを利用した構造化 P2P ネットワーク推測手法  
○武田敦志 (東北学院大)
- 7 NAT 越えの通信を実現する STUN 及び TURN の実環境への適用可能性について  
○竹川知孝, 佐藤未来子, 並木美太郎 (農工大)

**一般セッション [2A会場] (3月6日(火) 15:00 ~ 17:30)**

**ストレージシステム 座長 廣津 登志夫 (法大)**

- 1 (講演取消)
- 2 ファイルシステムのジャーナルを利用したデータ同期機構の設計と実装  
○湯山圭一, 伊藤雅典, 山中顕次郎, 村上明彦 (NTT データ)
- 3 バージョン管理機能をもつオブジェクトストレージに適したリストア方式  
○松本慎也, 根本 潤, 荒井 仁 (日立)
- 4 仮想サーバ導入に適したストレージ仮想化機能の提案  
○今崎美保, 荒木亮彦, 野中裕介, 江口賢哲 (日立)
- 5 アプリケーション協調型大規模ストレージ省電力システムの開発と DSS を用いた評価  
○西川記史, 中野美由紀, 喜連川優 (東大)

**一般セッション [3A会場] (3月7日(水) 9:30 ~ 12:00)**

**システムソフトウェア 座長 毛利 公一 (立命館大)**

- 1 分散共有メモリ型組込みシステムにおける遅延性能確保とコア割付け自由化に関する一手法  
○撰 暁久 (富士通九州ネットワークテクノロジーズ), 桐生隆介 (富士通)
- 2 マルチコア対応組込み Linux におけるリソース制限方式の検討  
○勅使河原佑美, 茂田寛隆, 山本 整, 落合真一, 松本利夫 (三菱)
- 3 Android のリアルタイム性評価及び改善方法の検討  
○東山知彦, 増田大樹, 松本利夫 (三菱)
- 4 VM 総負荷に基づくシンクライアント VM の配置制御方式  
○竹村俊徳, 藤若雅也, 稲田健吾 (NEC)
- 5 (講演取消)
- 6 システム構成要素依存関係生成方式の提案  
○大松史生, 小林大樹, 久保 満, 菅野幹人 (三菱)
- 7 自律型 Web サービス (AWS) の原理と実装  
○大谷 真 (湘南工科大)

**一般セッション [4A会場] (3月7日(水) 15:30 ~ 17:30)**

**コンピュータ・アーキテクチャ 座長 杉原 真 (九大)**

- 1 分岐予測における BTB ミスの削減  
○孟 林, 熊谷友岐, 熊木武志, 山崎勝弘, 小倉 武, 小柳 滋 (立命館大)

- 2 POWER7/VSX 機構向けアラインメント最適化  
○吉田美里, 橋本博幸, 本川敬子 (日立)
- 3 HPC 向け省電力階層ストレージにおける性能スケラビリティの検証  
○赤池洋俊 (日立), 藤本和久, 黒川大樹, 三浦健司, 村岡裕明 (東北大)
- 4 CMP 向け分散キャッシュの可視化ツールを用いた効率化  
○藤枝直輝, 吉瀬謙二 (東工大)
- 5 積層型不揮発性半導体メモリの設計法  
○渡辺重佳 (湘南工科大)
- 6 (講演取消)

**学生セッション [1J会場] (3月6日(火) 9:30 ~ 12:00)**

**マイクロアーキテクチャ 座長 甲斐 康司 (パナソニック)**

- 1 CoreSymphony における命令キャッシュの効率化  
○永塚智之, 吉瀬謙二 (東工大)
- 2 CoreSymphony における命令ステアリングの検討  
○上野貴廣, 永塚智之, 坂口嘉一, 吉瀬謙二 (東工大)
- 3 インブレース実行型プロセッサ CRIB における内部データ転送の効率化  
○大久保直昭, 吉瀬謙二 (東工大)
- 4 ALU カスケードリングと先行実行を併用するプロセッサ  
○松村貴之, 吉瀬謙二 (東工大)
- 5 ALU chaining とロード値予測を併用したデータ依存の軽減手法  
○市野 慧, 孟 林, 小柳 滋 (立命館大)
- 6 キャッシュの利用効率の向上に関する研究  
○浅見公輔, 倉田成己 (東大), 塩谷亮太 (名大), 三輪 忍, 五島正裕, 坂井修一 (東大)
- 7 動的タイム・ボローイングを可能にするクロッキング方式の CLA への適用  
○広畑壮一郎, 吉田宗史, 五島正裕, 坂井修一 (東大)
- 8 情報漏洩防止プロセッサ  
○山田剛史, 早川 薫, 都井 紘, 五島正裕, 坂井修一 (東大)

**学生セッション [2J会場] (3月6日(火) 15:00 ~ 17:30)**

**予測と投機 座長 青木 秀貴 (日立)**

- 1 情報機器の動的電源制御における起動時間隠蔽のためのリクエスト間隔予測手法  
○渡辺千洋, 三輪 忍, 中村 宏 (東大)
- 2 分岐予測機構を応用したループバス予測器の初期検討  
○金海和宏, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 3 2パス限定投機システムにおける最適化コードへのループ展開の適用効果の評価  
○本間勇貴, 十鳥弘泰, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 4 投機的なメモリアクセスを支援するためのキャッシュコヒーレンスプロトコルの検証  
○関口祐司, 十鳥弘泰, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 5 2パス限定投機システムのハードウェア設計 - スレッド実行機構 -  
○五井孝典, 横田隆史, 大津金光, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 6 H.264 デコード処理における 2パス限定投機方式の最適化手法とその詳細評価  
○川上憂騎, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 7 命令を単位としたバスベーススレッド分割手法の検討  
○塚本寛隆, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 8 基本ブロックを単位とする投機的マルチスレッド VLIW アーキテクチャ  
○修 沢坤, 横田隆史, 大津金光, 馬場敬信 (宇都宮大)

**学生セッション [3J会場] (3月7日(水) 9:30 ~ 12:00)**

**ストレージ・ネットワーク 座長 宮澤 元 (南山大)**

- 1 委譲型 AWS フレームワークの実現方法  
○二宮良太, 大友浩照, 大谷 真 (湘南工科大)
- 2 スケールフリーネットワーク方式による IPv6 トランスレータの実装  
○植松洋知, 廣津登志夫 (法大)
- 3 多層オーバーレイ型 P2P ネットワークに関する研究  
○久保卓也, 中村康弘 (防衛大)
- 4 リンク構造を用いたファイルの履歴管理について  
○小林憲弘, 大橋洗一, 最所圭三 (香川大)

- 5 ディスクの自律制御による大規模分散ストレージシステムの省電力化手法  
○大越淳平, 長谷部浩二, 加藤和彦 (筑波大)
- 6 HDFSにおける更新可能なシステムインタフェースの設計と実装  
○早澤賢幸, 廣津登志夫 (法大)
- 7 Hadoop によるバックアップシステムの提案と実装  
○武井優樹, 中山泰一 (電通大)
- 8 複数サーバ環境における上位キャッシュを考慮した下位キャッシュ置換手法の性能評価  
○長廻雄介, 山口実靖 (工学院大)
- 9 Data Deduplication の冗長性付加に関する研究  
○葉 善衡, 伊藤雅仁 (東京工科大)

学生セッション [4J 会場] (3月7日 (水) 15:30 ~ 17:30)

FPGA とアクセラレータ 座長 松谷 宏紀 (慶大)

- 1 OpenMP ハードウェア動作合成におけるコード生成手法の改良と評価  
○西川 諒, 孟 林, 山崎勝弘 (立命館大)
- 2 OpenCL を用いたメニーコア・アクセラレータの仮想化手法と評価環境の構築  
○坂本龍一, 佐藤未来子 (農工大), 天野英晴 (慶大), 中村 宏 (東大), 近藤正章 (電通大), 並木美太郎 (農工大)
- 3 CoreSymphony P605 プロセッサのフロントエンドの実装  
○坂口嘉一, 永塚智之, 吉瀬謙二 (東工大)
- 4 メッシュ接続 FPGA アレーにおけるステンシル計算の検討  
○小林諒平, 吉瀬謙二 (東工大)
- 5 ハードウェア上における FFT 実装方法の検討  
○山田彰巧, 松崎隆哲 (近畿大)
- 6 高速交差判定アルゴリズムの FPGA 実装  
○楊 建晃, 松山幸雄, 福岡慎治, 森真一郎 (福井大)
- 7 0.18  $\mu$ m CMOS プロセス差分光再構成型ゲートアレイ VLSI  
○渡邊貴弘, 渡邊 実 (静岡大)
- 8 倒立振子 FPGA ロボット試作におけるデータ通信機構  
○中嶋佳巳, 澤田 直, 井室祐平 (九産大)

学生セッション [5J 会場] (3月8日 (木) 9:30 ~ 12:00)

システムソフトウェア 座長 早川 栄一 (拓大)

- 1 マルチコア・メニーコア混在型計算機における資源管理コア向け OS 関連機構の試作  
○深沢 豪, 長嶺精彦, 佐藤未来子, 並木美太郎 (農工大)
- 2 大域アドレス空間における GC とリージョンによるメモリ管理  
○藤田晃史, 田浦健次郎, 近山 隆 (東大)
- 3 再帰的に生成したタスクに対するデータ局所性を考慮するスケジューラの実装と評価  
○中谷 翔, 田浦健次郎, 近山 隆, 中島 潤 (東大)
- 4 Java 仮想マシンにおけるスレッド優先度の制御方法  
○篠本一昌, 芝 公仁, 岡田至弘 (龍谷大)
- 5 Linux の資源管理機構 Control Groups の性能調査  
○富樫荘太 (立命館大), 片山吉章, 出口昌弘 (三菱), 毛利公一 (立命館大)
- 6 フローごとの受信キュー割り当てによるプロトコル処理性能の改善  
○合田和也, 田胡和哉 (東京工科大)
- 7 消費電力量を含むコストを考慮したデータインテンシブアプリケーションのハイブリッドクラウドにおける負荷分散ミドルウェアの提案  
○笠江優美子, 小口正人 (お茶の水女子大)
- 8 省電力センシングにおけるデータ均質性の向上  
○高橋佑吾, 廣津登志夫 (法大)
- 9 メモリエラーに起因するデータ破損を検出するソフトウェアの提案  
○若林大晃 (立命館大), 片山吉章, 出口昌弘 (三菱), 毛利公一 (立命館大)

学生セッション [6J 会場] (3月8日 (木) 14:30 ~ 16:30)

設計支援と評価 座長 佐藤 寿倫 (福岡大)

- 1 GPU を用いた処理の自動チューニング  
○菊地翔太, 久保田光一 (中大)
- 2 高位合成向け動作記述に対するメモリアクセス自動削減ツール  
○式部剛広, 瀬戸謙修, 丸泉琢也 (東京都市大)

- 3 動的計測ツールのバイナリ変換機能を利用した自動並列処理システムの開発  
○星 孝幸, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 4 投機的マルチスレッドシステムにおけるスレッド動作の可視化  
○小室貴弘, 十鳥弘泰, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 5 2パス限定投機システムにおける消費電力の検討  
○菅野智之, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 6 Android 端末における、演算性能の評価と消費電力の測定  
○小川寿人, 山口実靖 (工学院大)
- 7 トンネル型トランジスタを用いたシステム LSI の設計法  
○鈴木良輔, 渡辺重佳 (湘南工科大)
- 8 積層方式 Chain 構造 PRAM の検討  
○加藤 翔, 渡辺重佳 (湘南工科大)

学生セッション [1K 会場] (3月6日 (火) 9:30 ~ 12:00)

ハイパフォーマンスコンピューティング 座長 須田 礼仁 (東大)

- 1 Block Gram-Schmidt 法の適切な block-size の決定法  
○松尾洋一, 野寺 隆 (慶大)
- 2 マルチパラメータによる修正不完全コレスキー分解の高速化  
○中村貴稔, 野寺 隆 (慶大)
- 3 複素行列に対する RL-GMRES 法の有効性について  
○上中貴統, 野寺 隆 (慶大)
- 4 Flexible GMRES 法の取戻改善について  
○香掛拓朗, 野寺 隆 (慶大)
- 5 BLAST アルゴリズムのハードウェア化の検討  
○石川 淑, 田中飛鳥, 宮崎敏明 (会津大)
- 6 全対全通信向けパケットペーシングにおける送信間隔の導出手法  
○吉田匡兵 (九大), 柴村英智 (九州先端科学技術研究所), 井上弘士, 村上和彰 (九大)
- 7 NFS 上のファイルアクセスを考慮したシェルスクリプトの並列実行手法の提案  
○前田直人, 水谷泰治 (阪工大)
- 8 Web ブラウザを用いたグリッドコンピューティングフレームワークの研究  
○川崎寛文, 丸山 広, 高嶋章雄, 中村太一 (東京工科大)

学生セッション [2K 会場] (3月6日 (火) 15:00 ~ 17:30)

仮想化技術 座長 市川 昊平 (阪大)

- 1 仮想計算機モニタ Xen における RTOS 向けタイム割込み管理機構の構築と評価  
○渡邊和樹 (立命館大), 片山吉章, 松本利夫 (三菱), 瀧本栄二, 檜山武浩, 毛利公一 (立命館大)
- 2 RTOS のための Xen における仮想化オーバーヘッドの可視化  
○金川高久, 毛利公一 (立命館大)
- 3 VM 集約時のアプリケーション性能の評価  
○橋本雄也 (東工大), 孫 顥, 合田憲人 (国立情報学研)
- 4 複数 VM の遠隔ライブマイグレーションにおける VM 上プロセスの性能  
○久野陽介, 山口実靖 (工学院大)
- 5 仮想計算機環境を考慮した仮想 HDD イメージファイルの再配置手法の性能評価  
○山田将也, 山口実靖 (工学院大)
- 6 クラウドシステムにおける管理支援可視化ツールの開発  
○落合秀晴, 早川栄一 (拓大)
- 7 アクセス履歴を用いた I/O スケジューラの動的変更  
○新居健一, 山口実靖 (工学院大)
- 8 仮想記憶を考慮した仮想計算機のメモリ割当  
○渡邊有貴, 山口実靖 (工学院大)

学生セッション [3K 会場] (3月7日 (水) 9:30 ~ 12:00)

組み込みシステム 座長 本田 晋也 (名大)

- 1 Android を搭載したマルチコアプロセッサシステム向けの OpenCL ライブラリの試作  
○望月秋人, 佐藤未来子, 並木美太郎 (農工大)
- 2 Android アプリケーションの起動性能の解析システム  
○永田恭輔, 山口実靖 (工学院大)

- 3 Android OSにおけるデータベースのアクセス性能に関する考察  
○服部拓也, 新居健一, 山口実靖 (工学院大)
- 4 AndroidにおけるOS可視化環境の開発  
○中川裕貴, 早川栄一 (拓大),  
西野洋介 (東京都立八王子桑志高等学校),  
プラウィーン アモーンタマウツ (拓大)
- 5 リアルタイムシステムにおける細粒度パワーゲーティング制御の研究  
○嶋田裕巳, 小林弘明, 高橋昭宏, 坂本龍一, 佐藤未来子 (農工大),  
近藤正章 (電通大), 天野英晴 (慶大), 中村 宏 (東大),  
並木美太郎 (農工大)
- 6 高機能携帯端末の加速度センサを利用した移動推定  
○太田麗二郎, 廣津登志夫 (法大)
- 7 利用率をベースにしたリアルタイムスケジューリングアルゴリズムの提案  
○岡崎 旭, 兪 明連, 横山孝典 (東京都市大)
- 8 RMに基づいたリアルタイムスケジューリングアルゴリズムのスケジューリング可能性解析  
○西垣公平, 兪 明連, 横山孝典 (東京都市大)
- 9 RMZLに基づくマルチプロセッサ用スケジューリングアルゴリズムの提案  
○筋内 健, 兪 明連, 横山孝典 (東京都市大)

**学生セッション [4K会場] (3月7日(水) 15:30 ~ 17:30)**

- GPU 座長 福嶋 慶繁 (名工大)**
- 1 GPUを用いたTSPにおける遺伝的アルゴリズムの高速化  
○赤崎康貴, 横山孝典, 志田晃一郎, 安井浩之 (東京都市大)
- 2 GPUを用いたWebデータの並列処理  
○松本翔飛, 山口実靖 (工学院大)
- 3 GPUを用いたSugarscapeモデルの大規模シミュレーション  
○先山賢一, Gay Guillaume, 芳賀博英 (同志社大)
- 4 OpenCLにおけるワークアイテム統合による高速化手法  
○澤田晃平, 稲葉崇文, 今井満寿巳, 津邑公暁, 松尾啓志 (名工大)
- 5 CUDAプログラムのロギング・再演機構  
○松浦広明, 丸山真佐夫 (木更津高専)
- 6 暗号化ZIPファイルにおけるパスワード解析のGPUによる高速化  
○表 雅之, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 7 SIMD 2-opt法のGPGPUへの適応と評価  
○坂本 亮, 小西克巳 (工学院大)
- 8 GPUのキャッシュヒット率向上によるDEMの高速化  
○松井南実, 富永浩文, 中村あすか, 篠塚研太, 前川仁孝 (千葉工大)

**学生セッション [5K会場] (3月8日(木) 9:30 ~ 12:00)**

- マルチコアと通信 座長 尾崎 敦夫 (三菱)**
- 1 複数トランザクション間の競合を考慮したLogTMにおけるアボート対象選択手法  
○堀場匠一郎, 江藤正通, 浅井宏樹, 津邑公暁, 松尾啓志 (名工大)
- 2 軽量でシンプルなマルチコアシミュレータの開発  
○佐野伸太郎, 吉瀬謙二 (東工大)
- 3 共有バッファを持つオンチップルータアーキテクチャ  
○Van Thiem Chu, 小柳 滋 (立命館大)
- 4 メニーコアプロセッサにおける仮想チャネルの効率的利用法  
○池田貴一, 吉瀬謙二 (東工大)
- 5 SmartCoreシステムのデッドロック回避  
○笹河良介, 佐藤真平, 吉瀬謙二 (東工大)
- 6 NoCルータにおけるリンク間共有法の通信性能の評価  
○深瀬尚久, 三浦康之, 渡辺重佳 (湘南工科大)
- 7 fat-treeにおけるパケット分布の可視化  
○須藤稔宗, 横田隆史, 大津金光, 馬場敬信 (宇都宮大)

**第1分冊**

**(ソフトウェア科学・工学)**

**一般セッション [5A会場] (3月8日(木) 9:30 ~ 12:00)**

- プログラムの開発・検証 座長 林 晋平 (東工大)**
- 1 モデル検査によるMapReduce型アプリケーションの検証  
○八俣 豊, 野田夏子 (NEC)
- 2 モデル検査自動化ツールの開発~検査自動化と反例解析効率化~  
○高田沙都子, 森奈実子, 村田由香里 (東芝)
- 3 モデル検査自動化ツールの開発~入力支援機能と状態遷移表縮約機能~  
○森奈実子, 高田沙都子, 長谷川保, 村田由香里, 進 博正 (東芝)
- 4 大量データ連携時のESBの性能向上に関する考察  
○田中 覚, 山足光義, 塚本良太, 米田貴雄 (三菱)
- 5 UML要求分析モデルにおけるCRUD観点のデータライフサイクルの妥当性検査手法  
○青木善貴 (日本ユニシス),  
小形真平, 奥田博隆, 松浦佐江子 (芝浦工大)
- 6 双方向型Web画面自動生成ツールの開発とその効果~設計書とソースコードの双方向変換~  
○杉浦啓介, 河村美嗣, 相馬仁志 (三菱), 谷屋直隆, 大島正晴,  
小笠原淳子 (三菱電機インフォメーションシステムズ)
- 7 双方向型Web画面自動生成ツールの開発とその効果~汎用化による適用範囲の拡大~  
○河村美嗣, 杉浦啓介, 相馬仁志 (三菱),  
小林良輔, 桑原 浩 (三菱電機インフォメーションシステムズ)

**一般セッション [6A会場] (3月8日(木) 14:30 ~ 16:30)**

- レビュー・テスト 座長 阿萬 裕久 (愛媛大)**
- 1 テスト結果の履歴情報を用いたテスト項目間の関連抽出手法の提案  
○佐々木愛美, 河村 透, 小笠原秀人 (東芝)
- 2 定量および定性的レビューデータに基づく欠陥数推定モデルの構築  
○野中 誠 (東洋大), 阿部玲子, 矢野雅嗣 (三菱)
- 3 FTPクライアントを模擬する試験方式の提案  
○大塚 亮, 後沢 忍 (三菱)
- 4 スナップショットを利用したバッチ処理システムの試験効率化  
○花崎芳彦, 大塚 亮, 後沢 忍 (三菱)

**一般セッション [1B会場] (3月6日(火) 9:30 ~ 12:00)**

- 数理モデル化と問題解決 (1) 座長 小林 聡 (電通大)**
- 1 プログラム合成における入出力条件チェックでのベトリネットの利用  
○恐神正博, 山西輝也, 魚崎勝司 (福井工大)
- 2 GABCアルゴリズムの拡張とその実験的評価  
○近藤 久 (茨城大)
- 3 頂点容量制約付き有向全域木パッキング問題に対するラグランジュ緩和に基づく列生成法  
○田中勇真, 今堀慎治, 柳浦睦憲 (名大)
- 4 移動体の通過順序付けにおけるタブーサーチの改良  
○澤田めぐみ, 白石 将, 尾崎敦夫, 松村寛夫 (三菱)
- 5 実験計画法に適した直交配列の線形計画限界  
○斎藤友彦 (青学大), 浮田善文 (横浜商科大), 松嶋敏泰 (早大),  
平澤茂一 (サイバー大)
- 6 名人の知とコンピューターの知  
○中川武夫, 米長邦雄, 飯田弘之 (北陸先端大)
- 7 並列GPGPUを利用した大規模行列に対する行列ランク最小化問題の解法  
○小西克巳, 坂本 亮 (工学院大)

**一般セッション [2B会場] (3月6日(火) 15:00 ~ 17:30)**

- アルゴリズム 座長 松前 進 (佐賀大)**
- 1 On the complexity of minimum topic-connected overlay problems  
○和田幸一 (名工大), Juraj Hromkovic (ETH Zurich, Switzerland),  
泉 泰介 (名工大), 小野廣隆 (九大),  
Steinova Monika (ETH Zurich, Switzerland)
- 2 木ネットワークにおける証明書分散問題の近似可能性について  
○泉 泰介 (名工大), 泉 朋子 (立命館大), 小野廣隆 (九大),  
和田幸一 (名工大)

- 3 臓器統計モデルの医用画像への位置合わせの GPU を用いた高速化  
○堤 貴浩, 本谷秀堅 (名工大)
- 4 GPU を用いたプール行列の積および関係の推移的閉包の計算  
○大塚 寛 (愛媛大)
- 5 二重化した逐次更新型高速スペクトル変換処理の切替タイミング  
○山本広樹 (近畿大高専)
- 6 MapReduce を用いたログ間の依存関係ツリーの抽出アルゴリズムの提案  
○張 一凡, 竹内 格 (NTT)
- 7 Balanced (C<sub>5</sub>, C<sub>12</sub>)-Foil Designs and Related Designs  
○潮 和彦 (近畿大)

一般セッション [3B 会場] (3月7日 (水) 9:30 ~ 12:00)

数理モデル化と問題解決 (2) 座長 小林 聡 (電通大)

- 1 環境の変化がバクテリアのパターン形成へ及ぼす影響: 格子モデルによるシミュレーション  
○中桐齊之 (兵庫県大)
- 2 環境条件の違いによる微生物の増殖過程とパターン形成  
○榎原周平, 三輪佳奈美, 中桐齊之 (兵庫県大)
- 3 作業計画をパラメータに組み込んだ相対成長率法によるハウス栽培ミズナの生育予測モデル  
○菊地大介, 飯塚新司, 齋藤邦夫, 手塚 大 (日立東日本ソリューションズ)
- 4 東日本大震災から学ぶ災害廃棄物量推定システムに関する考察  
○高谷敏彦, 佐藤真哉 (仙台環境開発), 大内 東 (北海商科大)
- 5 設備配置モデルによる不均質な相互結合網構築の検討  
○當山孝義 (日本工大)
- 6 人々の食に関する嗜好の時代変化を把握するためのデータマイニング手法の提案  
○華山宣胤 (尚美学園大)

一般セッション [4B 会場] (3月7日 (水) 15:30 ~ 17:30)

要求・プロジェクト管理 座長 野中 誠 (東洋大)

- 1 小規模ソフトウェア開発プロジェクトに対するアセスメントモデル ISO/IEC29110 の適用実証  
○猪股俊喜, 内藤友香, 白坂成功, 神武直彦 (慶大)
- 2 プロダクトライン開発への漸次的移行のための資産管理方式  
○野田夏子 (NEC), 岸 知二 (早大)
- 3 料理から学ぶプロジェクトマネジメントの要諦  
○勝真一郎 (サイバー大)
- 4 工程別の欠陥埋め込み件数の予測~ソフトウェア詳細設計、コード作成を対象として~  
○衣笠宏和 (三菱電機マイコン機器ソフトウェア), 野中 誠 (東洋大), 阿萬裕久 (愛媛大)
- 5 ソフトウェアセキュリティ知識体系化のための概念モデル  
○樋山淳雄 (東京学芸大)
- 6 ゴール指向に基づく事業戦略要求分析方法論の提案  
○近藤 忍 (デンソー), 青山幹雄 (南山大)

学生セッション [6K 会場] (3月8日 (木) 14:30 ~ 16:30)

数理モデル化と問題解決 (3) 座長 北 栄輔 (名大)

- 1 複数の染色体表現方法を用いた Grammatical Evolution  
○水原拓哉, 上野敦志, 田窪朋仁, 辰巳昭治 (大阪市大)
- 2 擬似クレークと極大クレークを用いたリンクファーム抽出に対する性能比較  
○山崎亮一, 大沢英一 (はこだて未来大)
- 3 潜在的リンクが社会ネットワークに与える影響の分析  
○遠藤 巖, 藤田 悟 (法大)
- 4 アンケートデータにおける質問間関係の解析方法に関する検討  
○早川喜太, 吉川大弘, 古橋 武 (名大)
- 5 学生サービスシステムを事例とする SOA に基づくシステム構成に関する研究 異常の兆候の「見える化」を実現する仕組み  
○山崎雄司, 大山勝徳, 金子正人, 武内 惇, 泉 隆, 関根好文 (日大), 蘭田孝造 (マイクロテクノ)
- 6 未知ドメイン対応型判別分析のための個人差適応型分布パラメータ推定  
○鈴木祐太, 加藤昇平 (名工大)

- 7 キャリーオーバー制くじの最適設計  
○佐伯一成, 芝田 遥, 荒川正幹 (宇部高専)

学生セッション [1L 会場] (3月6日 (火) 9:30 ~ 12:00)

開発支援 (1) 座長 早瀬 康裕 (筑波大)

- 1 Fault-Prone モジュール予測における設計メトリクス値の変化履歴の検討  
○遠藤直人, 野中 誠 (東洋大)
- 2 表入力による JAVA プログラムの設計支援ツール  
○湯浅正徳, 梅澤大志, 今野俊直, 吉田信一郎, 渡辺康之, 紫合 治 (電機大)
- 3 UML 要求仕様からの Android-UI プロトタイプ自動生成手法  
○松井駿介, 松浦佐江子, 小形真平 (芝浦工大)
- 4 モデルと実装間の整合性に配慮した形式的ソフトウェア分割手法  
○三鍋孝介, 織田 健 (電通大)
- 5 モデル変換とコード生成機能を有する組み込み制御ソフトウェア開発支援ツール  
○神山達哉, 兪 明連, 横山孝典 (東京都市大)
- 6 Simulink モデルにおける非完全一致のモデルクローン検出  
○村上真一, 鷲崎弘直, 深澤良彰 (早大)

学生セッション [2L 会場] (3月6日 (火) 15:00 ~ 17:30)

開発支援 (2) 座長 鷲崎 弘直 (早大)

- 1 識別子の難読化と命名の収集による命名学習方法の提案  
○式見 遼, 松浦佐江子 (芝浦工大)
- 2 クラウド環境での CSP 概念に基づく web アプリケーション設計法  
○加藤公一 (法大)
- 3 パターンに基づくフレームワーク API のリファクタリング方法の提案  
○高木裕之, 河田直人, 中道 上, 青山幹雄 (南山大)
- 4 エンドユーザによる Web アプリケーション開発環境の構築  
○朽木 拓, 山田敬三, 高木正則, 佐々木淳 (岩手県大)
- 5 日本語プログラミング言語「プロデル」におけるコード補完機能の実装と評価  
○春藤祐一, 寛 捷彦, 馬場祐人 (早大)
- 6 クラウドコンピューティングによるオフショア開発支援環境の提案  
○張 錦峻, 中道 上, 青山幹雄 (南山大)
- 7 モチベーション促進支援ツール・コミュニケーション型 Redmine  
○張 巧実, 上治勇輔, 西島一範, 内藤広志 (阪工大)

学生セッション [3L 会場] (3月7日 (水) 9:30 ~ 12:00)

テスト・リポジトリ 座長 高木 智彦 (香川大)

- 1 ソフトウェア理解支援のためのデータ構造の重要度評価手法  
○竹治 勲, 大久保弘崇, 粕谷英人, 山本晋一郎 (愛知県大), 齋藤邦彦 (滋賀大)
- 2 (講演取消)
- 3 WASRA モデルにおける欠損値処理法の違いによる予測精度の比較  
○松下貴徳, 森居 諒, 内垣聖史, 内田真司 (奈良高専)
- 4 (講演取消)
- 5 DAO パターンを用いる Web アプリケーションのための単体テストケース補完ツール  
○鎌田高如, 樋口昌宏 (近畿大)
- 6 モックアップツールを用いたテスト仕様書の自動生成と開発プロセス効率化の提案  
○佐々木亮太, 水谷亮太, 末広暁久, 三本貴裕, 芳賀博英, 金田重郎 (同志社大)
- 7 影響ネットワークを用いた, ソフトウェアテストデータの自動生成  
○三本貴裕, 浦田祐毅, 芳賀博英 (同志社大)
- 8 ミューテーションテストと遺伝的アルゴリズムを用いたテストデータの自動生成  
○末広暁久, 佐々木亮太, 上芝貴也, 芳賀博英 (同志社大)
- 9 プロジェクト横断的なオープンソースソフトウェア開発記録の分析手法  
○中村高士, 早瀬康裕, 北川博之 (筑波大)

学生セッション [4L 会場] (3月7日 (水) 15:30 ~ 17:30)

アーキテクチャ 座長 松浦 佐江子 (芝浦工大)

- 1 設計原則と実現手段に着目したソフトウェアアーキテクチャ設計支援  
○中野由貴, 鷲崎弘直, 深澤良彰 (早大)

2 クラウドコンピューティングにおける統一データモデルとその支援  
アーキテクチャの提案

○志村 惇, 中道 上, 青山幹雄 (南山大)

3 クラウドコンピューティング連携のためのパブリッシュ / サブスクライ  
プアーキテクチャの提案

○影石英紀, 中道 上, 青山幹雄 (南山大)

4 SOAに基づく車載イベント駆動アーキテクチャの提案

○武野佑基, 中道 上, 青山幹雄 (南山大)

5 暗号研究コスト削減を目的とした暗号フレームワークの開発

○古江直己, 筑 捷彦 (早大)

6 ソフトウェア技術職におけるジョブ・クラフティング行動と職務満足  
度との関係

○森 亮介, 野中 誠 (東洋大)

7 SOAに基づくソフトウェア開発管理プロセスのモデル化とその実行環  
境の提案

○近藤淳樹, 中道 上, 青山幹雄 (南山大)

学生セッション [5L会場] (3月8日(木) 9:30 ~ 12:00)

要求 座長 中鉢 欣秀 (産業技術大)

1 情報システムにおける予算調査発生状況の観察

○池田 雅, 渡辺今日子, 嶋津恵子 (慶大)

2 (講演取消)

3 SLAに基づくクラウドサービス選択のための要求工学プロセスの提案

○森下月菜, 米澤麻衣子, 中道 上, 青山幹雄 (南山大)

4 ステークホルダを中心とするゴール分析方法の提案

○木下康介, 山下和希, 中道 上, 青山幹雄 (南山大)

5 モデル検査における健全性を満たす変数抽象化方法の提案

○加藤友章, 中道 上, 青山幹雄 (南山大)

6 要求分析モデルのマルチプラットフォーム適用実験に基づく十分性の  
分析

○奥田博隆, 小形真平, 松浦佐江子 (芝浦工大)

7 Common Criteria を利用したモデル駆動アーキテクチャによるセキュ  
リティ要求分析手法

○野呂 惇, 松浦佐江子 (芝浦工大)

8 組み込みソフトウェア開発におけるハードウェア要件の分析と検証

○岡田康治, 松浦佐江子 (芝浦工大)

学生セッション [6L会場] (3月8日(木) 14:30 ~ 16:30)

業務・システム分析 座長 野田 夏子 (NEC)

1 開発プロセスを考慮したシステム品質要求の仕様化および評価の可視  
化手法

○小久保英昭, 野中 誠 (東洋大)

2 概念データモデリングと制約理論を組み合わせた分析法の提案

○酒井孝真, 中川隆広, 金田重郎 (同志社大)

3 分析・検証モデルに基づく分析・検証リポジトリに関する研究-意味  
情報を付与した要求仕様の記述方法-

○佐藤久仁哉, 大羽正浩, 高木智彦, 古川善吾 (香川大),  
古宮誠一 (芝浦工大), 八重樫理人 (香川大)

4 業務フロー分析の再利用のための経路抽出

○吉田奈央 (上智大), 上村 学 (富士通研), 伊藤 潔 (上智大)

5 データベースのスキーマの編集と再利用のシステム

○花崎千尋, 伊藤 潔 (上智大)

6 認知文法に基づくオブジェクト指向の理解

○世古龍郎, 金田重郎 (同志社大)

7 リアクティブシステム仕様の実現不能判定器の高速化

○関 芳紀, 吉浦紀晃 (埼玉大)

学生セッション [1M会場] (3月6日(火) 9:30 ~ 12:00)

アルゴリズム (1) 座長 日吉 久礎 (青学大)

1 parallelization of termination checker using dependency pair method

○丁 睿, 佐藤晴彦, 栗原正仁 (北大)

2 静的データレース検出における動的クラスローディングへの対策

○魏 偉, 吉浦紀晃 (埼玉大)

3 アンケートデータに対するテンソルを用いた解析手法の性能評価

○正井宏明, 吉川大弘, 古橋 武 (名大)

4 動的近傍競合学習によるコミュニティ分割手法

○小野寺大地, 鈴木育男, 山本雅人, 古川正志 (北大)

5 局所エネルギー最小化法における近傍半径パラメータの効果に関する  
検証

○辻本陽平, 鈴木育男, 山本雅人, 古川正志 (北大)

6 ネットワーク時空間における有限要素補間

○飯島大智, 日吉久礎 (青学大)

7 マイクロマウスによる迷路探索の効率化

○小早川将人, 築地立家 (電機大)

8 H8/3069F マイコンを用いたマイクロマウスの製作

○金木 淳, 築地立家 (電機大)

9 H8/3069 マイコンを用いたマイクロマウスの製作

○須田壮哲, 築地立家 (電機大)

学生セッション [2M会場] (3月6日(火) 15:00 ~ 17:30)

プログラミング 座長 横山 哲郎 (南山大)

1 GPGPUを用いたプログラムインタフェースの開発とその評価

○野村明謙満 (はこだて未来大), ビトヨハルトノ (中京大),  
片桐恭弘 (はこだて未来大)

2 効率的な要求駆動型部分冗長除去

○澄川靖信, 滝本宗宏 (東理大)

3 SSA形式を用いた構造体型のポインタ変数解析について

○木下将典, 大山口通夫 (三重大)

4 プログラム変換器によるメモ化の適用範囲拡張

○康 娜丹, 小宮常康 (電通大)

5 日本語プログラミング言語におけるデータの永続化

○伊東一樹, 馬場祐人 (早大)

6 運用時の安全性と複数のロボット対応を考慮したドメイン特化型教育  
用言語の開発

○石塚貴浩 (北海道情報大)

7 ペイントシミュレーションによる産業用ロボットのプログラム自動生成

○澤村香澄, 高木彬尋, 石塚貴浩 (北海道情報大)

8 サウンドエフェクト開発支援ツール

○浜元邦明, 久保田光一 (中大)

9 コンピュータの可能性を促進する基盤ソフトウェアの構造とは-数理  
演算を通して考えるノイマン型と人との異同-

○木下博之 (慶大)

学生セッション [3M会場] (3月7日(水) 9:30 ~ 12:00)

アルゴリズム (2) 座長 吉川 大弘 (名大)

1 分枝限定法を用いた鉄道車両運用計画自動生成における枝刈り手法の  
考察

○後谷友博, 松前 進 (佐賀大)

2 連結性を有する組合せパズルの直接符号化法を用いた SAT ソルバでの  
解法と性能評価

○舟野勝彦, 上嶋章宏 (大阪電通大)

3 排他制約付きナップサック問題に対する解法

○山崎洋祐 (名大), Riccardo Schiavoni (University of Bologna),  
Manuel Iori (University of Modena and Reggio Emilia),  
柳浦睦憲 (名大), Silvano Martello (University of Bologna)

4 最適木取り問題について

○柳島弘章, 大山口通夫, 三橋一郎 (三重大)

5 適応型メッシュを用いたドローネ三角形分割の計算について

○河野勇人, 山本修身 (名城大)

6 ストリーム型遺伝的アルゴリズムの提案と GPU を用いた実装

○楠堂 航, 吉見真聡, 三木光範, 廣安知之 (同志社大)

7 Java マルチスレッドによる枝組立交叉 (EAX) の並列処理実現方式の  
検討~巡回セールスマン問題 (TSP) を解く GA の並列処理~

○元田 剛, 高橋良英 (八戸工大)

8 GA を用いた分散システム向けの End-to-End タスクの割り当て

○枝光圭祐, 横山孝典, 齋 明連 (東京都市大)

9 近似アルゴリズムによる Grid 計算機におけるスケジューリングの実  
装と評価

○三ツ石勇作, 鈴木康人 (沼津高専)

学生セッション [4M会場] (3月7日(水) 15:30 ~ 17:30)

数理モデル化と問題解決 (1) 座長 鈴木 麗聖 (名大)

- 過去の編集情報を用いたウィキペディア利用者の編集行動に関する予測  
○吉田 裕, 大和田勇人 (東理大)
- クラスタリング手法を用いた株式市場におけるフル板情報の分析  
○石山武人, 藤田 悟 (法大)
- GPGPUを用いた低消費電力タスクスケジューリングの組み合わせ最適化解法  
○ハルキ ヨシダ, 島山弘樹, 朝倉宏一 (大同大)
- 組み合わせ最適化問題に基づいた低消費電力タスク・スケジューリング・アルゴリズム  
○島山弘樹, 朝倉宏一 (大同大)
- ネットワーク構造の推移性に着目した局所的クラスタリング手法の提案  
○松島 裕, 加藤竜丸, 武藤敦子, 犬塚信博 (名工大)
- テンソル積の既約分解を用いた量子ベトリネットの階層化  
○鈴木英友, 太田 淳, 辻 孝吉 (愛知県大)
- 多重 Ambient Calculus を用いた物流監視システムの構築に関する研究  
○橋本隆弘, 加藤 暢, 樋口昌宏 (近畿大)
- ファジィ推論エンジンをを用いた市場参加者モデルの構築可能性についての検証  
○猪飼維斗, 板倉直明 (電通大)

学生セッション [5M会場] (3月8日(木) 9:30 ~ 12:00)

数理モデル化と問題解決 (2) 座長 堀田 一弘 (名城大)

- 局所解からの離脱を目的とした Differential Evolution on Scattered Parent の提案  
○岩井 亮, 加藤昇平 (名工大)
- 数理計画法を用いた時間割作成アルゴリズムの考察  
○植村 隆, 神田 毅 (近畿大高専)
- 分散制御照明システムにおける照度センサ位置の数理計画法を用いた推定  
○宮崎昇幸, 三木光範, 吉見真聡, 善 裕樹 (同志社大)
- 個別照度を実現する分散制御照明システムにおける実現可能照度の可視化  
○伊藤博高, 三木光範, 吉見真聡, 今宮久夫 (同志社大)
- 道路網における看板配置問題のモデル化と効率的解法  
○伏見卓恭, 齊藤和巳, 武藤伸明, 池田哲夫 (静岡県大)
- 有限振幅情報に基づく任意不規則信号の各種統計量推定法  
○岩木祐哉, 佐藤 圭, 福島健太, 南原英生 (岡山理大)
- 任意の確率分布と周波数スペクトルをもつ不規則信号の発生とピーク値分布評価式検証への応用  
○福島健太, 佐藤 圭, 岩木祐哉, 南原英生 (岡山理大)
- 特殊関数零点のグラフプロットを行う Web アプリケーション開発  
○太田優希, 宮崎佳典 (静岡大)

学生セッション [4ZJ会場] (3月7日(水) 15:30 ~ 17:30)

システム評価 座長 櫻庭 健年 (日立)

- チェックポイントによる評価条件が可変な高速シミュレーション手法の提案  
○椎名敦之, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 準天頂衛星を用いた防災情報配信システムの設計と有効性検証に関する研究  
○原田貴史, 石田剛朗, 楠田哲也, 神武直彦 (慶大)
- ドライビングシミュレータを用いたジレンマゾーンにおけるドライバーの視線データの計測とその評価  
○平野優輝, 千田一誠, 杉野栄二, 瀬川典久, 澤本 潤 (岩手県大)
- 日本語のやさしさの自動推定のための特徴量に関する基礎的検討  
○張 萌, 伊藤彰則 (東北大), 佐藤和之 (弘前大)
- 小型共焦点顕微鏡の開発  
○平野俊幸, 山田貴哉, 服部公央亮, 田口 亮 (名工大), 柴田 進 (ミュージスカイネット), 保黒政大 (中部大), 堀米秀嘉 (ホーリーマイン), 梅崎太造 (名工大)

第1分冊

(データベースとメディア)

一般セッション [5B会場] (3月8日(木) 9:30 ~ 12:00)

情報抽出 座長 鈴木 優 (名大)

- 位置情報付きツイートからのイベント検出手法の提案  
○中澤昌美, 池田和史, 服部 元, 小野智弘 (KDDI 研)
- CGM からの観光情報の獲得  
○長尾光悦 (北海道情報大)
- ソーシャルメディアを利用した写真感情データベースの提案  
○石塚宏紀, Asif Hossain Khan Muhammad, 岩井将行, 瀬崎 薫 (東大)
- 英語俳句メーリングリストからの知識抽出  
○和田 武 (愛媛大), 檀 裕也, 墨岡 学 (松山大)
- ゼミコンテンツに基づく研究内容の Web アウトリーチシステム  
○大平茂輝, 長尾 確 (名大)
- 構造化シナリオを用いた映像制作資料の自動生成  
○戀津 魁, 三上浩司, 近藤邦雄 (東京工科大)
- 入札情報推薦のための Web ページのクラスタリング手法に関する検討  
○小俣尚泰, 関根聡一 (栗本鐵工所)

一般セッション [6B会場] (3月8日(木) 14:30 ~ 16:30)

情報統合 座長 藤原 真二 (日立)

- 大規模データ連携処理の実現に向けた実行時設計情報の管理方式  
○新井嘉章, 楓 仁志, 石井 篤, 高山茂伸 (三菱)
- 大規模データ連携処理の実現に向けた性能検討  
○細田聖人, 楓 仁志, 石井 篤, 高山茂伸 (三菱)
- ドメイン情報のデータベース化への RDF モデル適用の提案  
○鹿島理華, 柴 光輝, 谷垣宏一, 高山茂伸 (三菱)
- 学習データ量によるスキーママッチング精度向上効果評価報告  
○小出健太, 柴 光輝, 谷垣宏一, 高山茂伸 (三菱)
- 企業情報システムにおけるマスターデータのスキーマ設計方針  
○酒井理江, 中川真一, 水口正彦, 村山隆彦, 赤埴淳一 (NTT)

一般セッション [1C会場] (3月6日(火) 9:30 ~ 12:00)

情報検索・情報推薦 座長 奥 健太 (立命館大)

- 協調フィルタリング推薦によって誤推薦されたコンテンツに関する一考察  
○山内一騎 (琉球大)
- 社会性を組み込んだ情報推薦システムの設計  
○小池克拓, 打矢隆弘, 内匠 逸 (名工大)
- アルゴリズム切替による情報推薦システム  
○山本康平, 打矢隆弘, 内匠 逸 (名工大)
- 電子文書中の TrueType グリフ照合とその高速化手法の検討  
○鈴木俊哉 (広島大)
- 文法構造を付加したテキストに対する情報検索方法の検討  
○鈴木 晋 (愛知工大)
- 類似文字列検索における LCP 配列を用いた索引の提案  
○木村光樹 (東大), 高須淳宏, 安達 淳 (国立情報学研)
- Detection of Paragraph Boundaries in Complex Page Layouts for Electronic Documents  
○Yimin Chu (東大), 高須淳宏, 安達 淳 (国立情報学研)

一般セッション [2C会場] (3月6日(火) 15:00 ~ 17:30)

センサデータ・DB 技術一般 座長 川島 英之 (筑波大)

- センサデータ向けデータ圧縮ロード方式  
○立床雅司, 山岸義徳, 郡 光則 (三菱)
- 追記型データベースのスケラビリティ評価  
○加藤 守, 山岸義徳, 中村隆頭, 郡 光則 (三菱)
- オープンソース DBMS 拡張によるセンサデータベースの実現  
○竹内丈志, 山岸義徳, 立床雅司, 中村隆頭, 郡 光則 (三菱)
- 非定型ログ向けデータベースにおけるデータロード方式  
○森 郁海, 中村隆頭, 加藤 守, 郡 光則 (三菱)
- RDF の生産工程管理システムへの適用  
○越田高志 (松江高専)

- 6 スマートフォンを用いた学内見学支援アプリケーション  
○吉田真基, 打矢隆弘, 内匠 逸 (名工大)

学生セッション [6M 会場] (3月8日(木) 14:30 ~ 16:30)

自然言語処理とソーシャルネットワーク解析

座長 大塚 真吾 (神奈川工科大)

- 1 BM25を用いた関連語抽出と単語分類  
○吉岡康平, 小枝正直 (大阪電通大)
- 2 ニュース記事から株価が変動する企業の特定に関する研究  
○井内 敦, 山本雄平 (関西大), 中村健二 (立命館大), 田中成典, 柳田尚明 (関西大)
- 3 多言語知識源の連携による留学生支援システムの提案  
○木野村晋吾, 北川大輔, 桑原和宏 (立命館大)
- 4 多言語専門知の抽出・共有・循環を促す知識システムの提案  
○三野輪慶太, 菱山玲子 (早大)
- 5 (講演取消)
- 6 マイクロブログにおけるユーザ属性を考慮した情報伝播の解析に関する研究  
○加藤 諒, 寺口敏生, 田中成典 (関西大), 中村健二 (立命館大), 中本聖也 (関西大)
- 7 ソーシャルメディアにおける情報の伝搬がもたらす商品の売れ行きに対する影響について  
○奥田 輔, 安田孝美 (名大), 水野政司 (クエリーアイ)
- 8 Twitterの@messageで構成される成長ネットワークの分析  
○小出明弘, 齊藤和巳, 大久保誠也 (静岡県大), 鳥海不二夫 (名大)

学生セッション [1N 会場] (3月6日(火) 9:30 ~ 12:00)

並列処理・ミドルウェア

座長 平手 勇宇 (楽天)

- 1 KVSの性能伸縮性の評価  
○堀内浩基, 山口実靖 (工学院大)
- 2 並列データ解析処理基盤のI/O性能評価に関する一考察  
○山田浩之, 合田和生, 喜連川優 (東大)
- 3 Hadoopを用いた大規模空間シミュレーションのためのフレームワークの提案  
○杉山武至, 横山拓也, 鈴木 優, 石川佳治 (名大)
- 4 分散ストリーム処理環境における高信頼化手法の適用とその評価  
○栗原耕平, 川島英之, 北川博之 (筑波大)
- 5 オンライントランザクション処理における高速フラッシュストレージの性能活用に関する実験的考察  
○早水悠登, 合田和生, 中野美由紀, 喜連川優 (東大)
- 6 (講演取消)
- 7 メディアストリームとタブルストリームの統合的管理に関する研究  
○西村和也, 川島英之, 北川博之 (筑波大)
- 8 AWSミドルウェアにおける動的モデル協調層の開発  
○大友浩照, 二宮良太, 大谷 真 (湘南工科大)
- 9 Cassandraを用いたKVSデータ処理性能に関する一検討  
○菱沼直子 (お茶の水女子大), 竹房あつ子 (産総研), 小口正人 (お茶の水女子大)

学生セッション [2N 会場] (3月6日(火) 15:00 ~ 17:30)

Linked Data・Semantic Web

座長 齋藤 ひとみ (愛知教育大)

- 1 リソース間の有意な関係を見出すLinked Data解析手法への取り組み  
○大西可奈子, 小林一郎 (お茶の水女子大)
- 2 OLAPを利用したLinked Dataの分析処理  
○井上寛之, 天笠俊之, 北川博之 (筑波大)
- 3 Linked Open Dataを利用するソフトウェアの開発支援環境-メタデータスキーマレジストリを利用した記述規則の多様化への対応-  
○田中 圭, 本間 維, 永森光晴, 杉本重雄 (筑波大)
- 4 デジタルマンガの構造化フレームワークの開発-マンガの構成要素を指定するPath式の提案-  
○落合香織, 永森光晴, 杉本重雄 (筑波大)
- 5 複数文書内の事象間の因果関係抽出への取り組み  
○澤村 瞳, 小林一郎 (お茶の水女子大)
- 6 構造/テキストWebデータ用ハイブリッド問合せ言語を用いた問合せ構築支援  
○安永ゆい, 袖山広輝, 森嶋厚行, 只石正輝 (筑波大)

- 7 ウェブコンテンツへのセマンティクスの付与  
○牛久陽介, 久保田光一 (中大)

- 8 セマンティックWeb技術を用いた政府・自治体の情報公開を促進するシステムの提案  
○久米翔平, 松原俊一, Martin J. Duerst (青学大)

学生セッション [3N 会場] (3月7日(水) 9:30 ~ 12:00)

トラストフィルタリング

座長 波多野 賢治 (同志社大)

- 1 クラウドソーシングを用いた情報信憑性判断支援のための情報源検索  
○財前 涼, 森嶋厚行 (筑波大)
- 2 ベイズ分類器のスコアを素性を用いたSVMによる有害文書分類手法  
○藤井雄太郎, 吉村卓也, 伊藤孝行 (名工大)
- 3 共起グループを用いた有害文書分類手法の提案  
○吉村卓也, 藤井雄太郎, 伊藤孝行 (名工大)
- 4 ソーシャルブックマークにおける複数のユーザアカウントを用いた集中的ブックマークの検出  
○坂倉悠太, 天笠俊之, 北川博之 (筑波大)
- 5 サイト間のリンク関係を考慮した有害情報フィルタリングのための教師データ自動生成手法  
○緒方達也, 岡慎一郎, 中村健二, 小柳 滋 (立命館大)
- 6 各種メディアへのリンク解析に基づいたTLDオープン性評価  
○難波弘行, 中平勝子, 三上喜貴 (長岡技科大)
- 7 食品トレーサビリティにおける流通フローの高精度化による信頼性向上に関する研究  
○松村康弘, 加藤あすか, 三上貞芳 (はこだて未来大)
- 8 Retweetに着目した広がりやすいTweetの特徴分析  
○荒川 唯 (東洋大), 亀田克宙 (東大), 相澤彰子 (国立情報学研/東大), 鈴木崇史 (東洋大)

学生セッション [4N 会場] (3月7日(水) 15:30 ~ 17:30)

時系列データ

座長 渡辺 陽介 (東工大)

- 1 エージェント技術を適用したリアルタイムデータ集計処理の設計  
○村田悠也, 山田隆志, 山本 学, 吉川 厚, 寺野隆雄 (東工大)
- 2 特許分類の時系列データを用いた技術進展の計量化  
○工藤 剛, 中山伸一, 真栄城哲也 (筑波大)
- 3 確率的な位置情報に基づくイベント問合せ  
○加藤 翔, 董ていてい, 早矢仕新, 石川佳治 (名大)
- 4 Twitterの時系列解析による注目話題の抽出  
○木原大志, 白木原渉, 越村三幸, 藤田 博, 長谷川隆三 (九大)
- 5 時区間論理を用いた時系列データからのイベント抽出  
○伊藤貴之, 朝倉宏一 (大同大)
- 6 複数の時系列データの関連性発見に基づく言語化の一考察  
○小林瑞季, 小林一郎 (お茶の水女子大)
- 7 位置時系列データを用いた行動途中での消費カロリー予測システム  
○佐近祐貴, 黄 宏軒, 川越恭二 (立命館大)
- 8 動的タイムワーピング距離を用いたX線天文データの類似検索  
○林 史尊, 天笠俊之, 北川博之 (筑波大), 海老沢研 (宇宙航空研究開発機構), 中平聡志 (理研)

学生セッション [5N 会場] (3月8日(木) 9:30 ~ 12:00)

情報推薦

座長 奥 健太 (立命館大)

- 1 推薦リストの有効性向上のための提案とその評価  
○呉 佳超, 高山 毅, 佐藤永欣, 村田嘉利 (岩手県大)
- 2 つぶやきに基づいたユーザ推薦システムの提案  
○原 克彬, 中山泰一 (電通大)
- 3 (講演取消)
- 4 インタラクションデザインを取り入れた感性商品検索システム  
○村上裕一, 中村真吾, 橋本周司 (早大)
- 5 集合知を用いた献立提案システム  
○井出 歩, 大友崇弘, 藤澤 伸, 服部隆志 (慶大)
- 6 コンテンツベース協調フィルタリングを用いた履修授業レコメンドシステムの設計と実装  
○鴻野弘明, 山本知典, 上原雄貴, 武田圭史, 村井 純 (慶大)
- 7 画像特徴量と写真撮影位置を用いた撮影ポイントの推薦  
○木村浩将, 黄 宏軒, 川越恭二 (立命館大)

- 8 Linked Data を用いた情報推薦への取り組み  
○一瀬詩織, 大西可奈子, 小林一郎 (お茶の水女子大)
- 9 顔の見えないクチコミー匿名化粧品評価サイトにおける「良いクチコミ」の条件とは  
○吉田亜理沙, 天笠邦一, 小川克彦 (慶大)

学生セッション [6N 会場] (3月8日(木) 14:30 ~ 16:30)

マルチメディア 座長 堀 幸雄 (香川大)

- 1 MPEG 中の直流成分を利用した動画検索方式の検討  
○小友知己, 伊藤慶明, 小嶋和徳, 石亀昌明 (岩手県大)
- 2 色覚異常者支援のための明度と彩度の類似性を用いた画像クラスタリング  
○林 夏美, 新美礼彦, 白石 陽 (はこだて未来大)
- 3 人体スケッチによるポーズ画像検索  
○安 孝敏, 田村 仁, 高塚崇文 (日本工大)
- 4 携帯電話検索ログに基づく画像検索の行動分析  
○鎌形 孟, 徳永幸生 (芝浦工大), 神林美沙恵, 木下陽子 (アクセルマーク)
- 5 論文作成支援のための新たなマルチメディアオーサリングツール  
○棚瀬達央, 石戸谷顕太郎, 大平茂輝, 長尾 確 (名大)
- 6 ぶくりんく〜電子書籍をリンクしてオリジナル本を作るアプリ〜  
○久住あも, 川崎裕太, 吉越将紘, 天野ほのか, 吉田享子 (専修大)
- 7 動画共有サイトにおけるコミュニティ抽出に関する一考察  
○福井紀彦 (工学院大)
- 8 Web マッシュアップにもとづくスマートサイネージについて  
○今井翔太, 白松 俊, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)

学生セッション [1P 会場] (3月6日(火) 9:30 ~ 12:00)

検索システム 座長 正田 備也 (長崎大)

- 1 スマートアグリシステムの実践例「畜産管理システムの概要」  
○吉川允樹, 水野正志 (長野高専), 樋本清一, 轟 直樹 (中嶋製作所)
- 2 リツイート率の算出による価値あるツイートの発見手法  
○工藤悠太, 小林亜樹 (工学院大)
- 3 Twitter を用いたイベント検索サービス  
○酒井大地, 高橋 平 (早大), 筑 捷彦 (早大理工学術院)
- 4 携帯端末を用いた Focus+Glue+Context マップの実現  
○細井純太, 高橋直久, 山本大介 (名工大)
- 5 Focus+Glue+Context 型マップのための凹型多角形の Focus 生成手法  
○加藤史也, 高橋直久, 山本大介 (名工大)
- 6 複数メッシュにまたがる周回道路データベース構築手法  
○伊藤広記, 高橋直久, 山本大介 (名工大)
- 7 xml を用いたウェブサービス用施設データベースサーバの構築  
○樋川貴一, 高橋直久, 山本大介 (名工大)
- 8 道や角の分かりやすさを考慮した構内道案内システム  
○原田麻紀 (名工大)

学生セッション [2P 会場] (3月6日(火) 15:00 ~ 17:30)

情報システム 座長 天笠 俊之 (筑波大)

- 1 クラスタリングを利用した Top-k Join 処理  
○鈴木貴敦 (東大), 高須淳宏, 安達 淳 (国立情報学研)
- 2 概念記述言語 CDL データの意味的検索法  
○堀内暢之, 高山智史, 石塚 満 (東大)
- 3 RDF を参考にした求人情報メタデータ化方式の提案  
○中村大輔, 福山峻一 (大阪電通大)
- 4 Semantic Web Service Discovery Using Weighted Directed Acyclic Graph  
○Anang Kunaefi, Takayuki Nagai, Hiroshi Nakano (Kumamoto University), Riyanarto Sarno (Tenth of November Institute of Technology Surabaya Indonesia)
- 5 参照局所性に着目した分散ハイパーリンクストアの研究  
○鳥居孝行, 古瀬一隆, 陳 漢雄 (筑波大)
- 6 時系列リンク解析を用いた Web ページの評価指標に関する研究  
○金子圭一郎, 古瀬一隆, 陳 漢雄 (筑波大)
- 7 検索クエリログの類似性を用いた論文検索支援  
○伊藤和馬, 黄 宏軒, 川越恭二 (立命館大)

- 8 ライフログ利用における思い出しや気づきを支援するデータベース検索方法の研究  
○鈴木慎一郎, 山口治男 (東京工大)
- 9 著者論文行列ランク APM を用いた論文検索結果からの著者ランキング  
○大阪欣吾, 黄 宏軒, 川越恭二 (立命館大)

学生セッション [3P 会場] (3月7日(水) 9:30 ~ 12:00)

Web アプリケーション 座長 平手 勇宇 (楽天)

- 1 Web アプリケーションにおけるプリフェッチに関する研究  
○柴田和祈, 高田真吾 (慶大)
- 2 REST ベースのオンラインストレージへのアプリケーションのデータ移行  
○平井徹也 (名工大), 福田洋治 (愛知教育大), 毛利公美 (岐阜大), 白石善明 (名工大)
- 3 RIA 変換フレームワークを用いた Ajax アプリケーションの Flash 変換手法の実装と評価  
○長谷川慎哉, 早川智一, 正田輝雄 (明大)
- 4 乗り換え案内結果の集約化インタフェースの提案  
○近藤聡士, 橋本 歩, 小林亜樹 (工学院大)
- 5 タイミングを考慮した将来イベント tweet の再通知  
○古賀健士郎, 庄司功樹, 小林亜樹 (工学院大)
- 6 Web 閲覧履歴を利用したうろ覚え Web ページ検索システム  
○古山直樹, 石川傑也, 小尾哲也 (早大), 筑 捷彦 (早大理工学術院)
- 7 冷蔵庫の食材に基づくレシピ検索システム  
○青島恵倫香, 颯佐達也, 横塚慎太郎, 横山正樹, 紫合 治 (電機大)
- 8 操作事例を利用したマニュアル作成支援システムの実装  
○伊奈裕史, 白松 俊, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)

学生セッション [4P 会場] (3月7日(水) 15:30 ~ 17:30)

ソーシャル Web 座長 岡 瑞起 (東大)

- 1 周波数分析を利用した周期的にブックマークされる web ページの特定  
○綱本圭祐, 亀井清華, 藤田 聡 (広島大)
- 2 動画共有サイトにおけるコメントを利用した動画自動タグ付け手法  
○山下智紀, 矢吹太郎, 佐久田博司 (青学大)
- 3 研究活動における音声ログの整理と利用  
○川西康介, 大平茂輝, 松原茂樹, 長尾 確 (名大)
- 4 Geohash を用いたモバイルセンシングのためのデータベースシステムの提案  
○小川輝樹, 伊藤嘉博, 荒井健次, 中村嘉隆, 白石 陽, 高橋 修 (はこだて未来大)
- 5 様式の更新に対応した帳票の DB 自動構成法の提案と評価  
○大野雄也, 伊藤久祥, 伊藤憲三 (岩手県大)
- 6 スキーマ進化に伴う XPath 式修正アルゴリズム  
○長谷川数馬, 池田光雪, 鈴木伸崇 (筑波大)
- 7 オンラインゲームのための WebDB システムの開発  
○玉川琢磨, 角 尚樹, 築地立家 (電機大)
- 8 唐詩における感性語を用いた web データベースの開発  
○王 玉毎 (筑波学院大)

**第2分冊****(人工知能と認知科学)****一般セッション [3C会場] (3月7日(水) 9:30 ~ 12:00)****音声・音楽・ゲーム 座長 奥乃 博 (京大)**

- 1 母音に着目した事例ベース感情音声合成  
○朴 冠宇, 吉富康成, 浅田太郎, 田伏正佳 (京都府立大)
- 2 擬似頭を用いた受聴試験による方向知覚特性の検討  
○徳光夕麻, 徳永幸生 (芝浦工大), 杉山 精 (東京工芸大)
- 3 ウェブデータベースを用いた音声認識用言語モデルの簡易適応  
○西村竜一, 島田敏明, 田中雅康, 河原英紀, 入野俊夫 (和歌山大)
- 4 旋律に潜むジャンルの特徴  
○鈴木宗也, 長谷川智史, 穴田 一 (東京都市大)
- 5 場面と調和する劇判を生成するソフトウェア [Lazy Composer]  
○池田輝政, 菱田隆彰 (愛知工大)
- 6 機械学習を用いた囲碁のある局面における抽出すべき特徴の自動選定について  
○佐藤真史 (早大), 穴田浩一 (早大高等学院), 山口浩太郎, 堤 正義 (早大)
- 7 チューリングテストによるゲーム AI の客観的評価方法  
○安武 諒, ケネス マッキン, 永井保夫 (東京情報大)

**一般セッション [4C会場] (3月7日(水) 15:30 ~ 17:30)****画像処理・一般 座長 高橋 桂太 (電通大)**

- 1 アフィン不変量と投票処理を利用したアフィン変換に不変な形状認識  
○木村彰男 (岩手大), 豊間根一志 (日本無線), 渡辺孝志 (岩手大)
- 2 パーティクルフィルタを用いた3次元物体の移動位置推定  
○春木 明, 鈴木幸司, 佐藤恵一 (室蘭工大)
- 3 SIFT による物体追跡の可能性についての実験的研究  
○奥平哲也, 鈴木幸司, 春木 明 (室蘭工大)
- 4 複数ステレオ画像を用いた配管資材の形状計測  
○島倉 諭, 関 洋 (日立)
- 5 Face makeup simulation and recommendation system  
○Kayir Rahmanjan, 齊藤 剛 (電機大)
- 6 眼底画像を用いた位相限定相関法によるバイオメトリクス認証  
○春日大樹, 大和田勇人 (東理大)

**一般セッション [5C会場] (3月8日(木) 9:30 ~ 12:00)****自然言語処理 座長 佐藤 理史 (名大)**

- 1 文字列間の前処理付きオフライン全文検索エンジン類似度距離  
○佐藤 哲 (楽天)
- 2 映画鑑賞の道案内システム  
○塩崎浩二, 浦谷則好 (東京工芸大)
- 3 Twitter からの談話自動抽出  
○堀川敦弘 (琉球大)
- 4 著者推定による文章の特徴解析  
○國廣直樹, 長谷川智史, 穴田 一 (東京都市大)
- 5 係り受け構造アライメントを用いた文間の差異箇所認識  
○小林幹門, 篠崎政久, 加納敏行 (東芝ソリューション)
- 6 SVM による学習とタイプ分類パターンの組み合わせによる固有表現抽出手法  
○尾田俊弘, 福本淳一 (立命館大)
- 7 (講演取消)

**一般セッション [6C会場] (3月8日(木) 14:30 ~ 16:30)****ロボットビジョン 座長 鈴木 剛 (電機大)**

- 1 二足歩行ロボットのための、全方位単眼画像からの自己位置推定手法  
○神原利彦, 五十嵐大斗 (八戸工大)
- 2 動領域・静止領域の確率的マッピングを用いた動的環境の認識 - 自律移動ロボットにおける自己位置推定への応用 -  
○伊藤明久, 高橋桂太, 金子正秀 (電通大)
- 3 SLAM 空間でのレーザ距離センサーと全方位カメラによる人検出の統合  
○東原智幸, 河端 悟, 田中英俊, 木村孝広, 渥美雅保 (創価大)
- 4 RoboCup 標準プラットフォームリーグにおける照明変化に強い物体認識方法  
○平山滋之 (電機大)

**一般セッション [1D会場] (3月6日(火) 9:30 ~ 12:00)****エージェントと学習 座長 大沢 英一 (はこだて未来大)**

- 1 RoboCup サッカー 3D シミュレーションリーグにおける行動選択確率の更新と試合結果への影響  
○杉原一臣, 芝田 稔, 釜田友希, 大熊一正, 山西輝也, 魚崎勝司 (福井工大)
- 2 AndroidOS 搭載端末向けエージェントプログラミング支援機構の開発  
○城山翔平, 打矢隆弘, 内匠 逸 (名工大)
- 3 大規模処理機構との連携を考慮した DASH エージェントの設計  
○秋元悟史, 打矢隆弘, 内匠 逸 (名工大)
- 4 公平性を考慮した動的な分散資源配分のための協調問題解決手法の検討  
○松井俊浩, 松尾啓志 (名工大)
- 5 子供の内部状態を推定しながら遊ぶ Playmate Robot の実現  
○阿部香澄, 岩崎安希子, 中村友昭, 長井隆行 (電通大), 横山純美 (玉川学園), 下斗米貴之, 岡田浩之, 大森隆司 (玉川大)
- 6 分散制約最適化問題における多重化解法による最適解到達率の制御  
○飯塚泰樹 (東海大)
- 7 マルコフモデルによる自動分類に対する分類誤り確率の推定  
○小林 学 (湘南工大), 後藤正幸, 松嶋敏泰 (早大), 平澤茂一 (サイバー大)

**一般セッション [2D会場] (3月6日(火) 15:00 ~ 17:30)****知識表現と推論 座長 長尾 確 (名大)**

- 1 クリプキの哲学的パラドクスに対する人工知能学習の視点からの考察  
○安村 薫 (松蔭大)
- 2 e ラーニング用 NICER-LOM と世界遺産オントロジー  
○澤井 進, 松本慎二, 朝田健治 (サイバー大)
- 3 e ラーニング用 NICER-LOM 検索データベースとオントロジー・マッピング  
○澤井 進, 松本慎二, 朝田健治 (サイバー大)
- 4 動的プリファレンスを扱う論理プログラムの解集合プログラミングによる推論計算  
○村山知明, 若木利子 (芝浦工大)
- 5 初等力学の知識構造について On a Knowledge Structure for the Elementary Mechanics  
○中村勝則 (平安女学院大), 房岡 璋 (立命館大)
- 6 知識発見技術を用いたネットワーク電話帳における連絡先推薦  
○栗原俊介 (NTT)
- 7 ファジィ制御ルールにより表現された方策を持つ方策勾配法の提案  
○五十嵐治一 (芝浦工大), 石原聖司 (近畿大)

**一般セッション [3D会場] (3月7日(水) 9:30 ~ 12:00)****複雑系と遺伝的アルゴリズム 座長 鈴木 麗聖 (名大)**

- 1 ライフゲームのネットワーク表現  
○香山喜彦, 今村泰正 (梅花女子大)
- 2 単純セルオートマトンルール 110 における周期的背景の除去  
○蛭川 繁 (金沢工大)
- 3 自己組織化マップを使用したキーボード入力による個人認証  
○小松篤史, 三好 力 (龍谷大)
- 4 共存型 GA を用いた看護師勤務表最適化のための解空間調整法の検討  
○金城秀彬, 大木 誠, 田中直文, 中嶋亮輔 (鳥取大)
- 5 大規模ホームセンタにおける短時間労働者勤務表の最適化における休憩者数調整手法の検討  
○中嶋亮輔, 田中直文, 金城秀彬, 大木 誠 (鳥取大)
- 6 短時間労働者勤務表の自動作成における勤務者数不足に関する検討  
○田中直文, 中嶋亮輔, 金城秀彬, 大木 誠 (鳥取大)
- 7 神経コラム集団内の群れ創発  
○稲吉宏明 (産総研)

**学生セッション [5P会場] (3月8日(木) 9:30 ~ 12:00)****ニューラルネット 座長 工藤 博章 (名大)**

- 1 電線の全周撮影画像からの文字認識システム  
○三谷大志, 安田善樹, 服部公央亮, 田口 亮 (名工大), 保黒政大 (中部大), 梅崎大造 (名工大)

- 2 ニューロンの追加が可能な時系列パターンのための領域表現を用いた高速 KFM 連想メモリ  
○佐藤友昭, 長名優子 (東京工科大)
- 3 ニューロンの追加及び重みベクトルの分布に基づいた想起が可能な KFM 連想メモリによる拡張適格度を用いた強化学習  
○佐藤宏樹, 長名優子 (東京工科大)
- 4 不応性を有する自己組織化特徴マップによる人工物領域を考慮した類似画像検索—画像の特徴量の変更による検索精度の向上—  
○倉持陽爾, 長名優子 (東京工科大)
- 5 不応性を有する自己組織化特徴マップによる画像の一部をキーとした類似画像検索  
○深澤龍平, 長名優子 (東京工科大)
- 6 人工神経回路網による人検出システムの開発  
○尾崎裕章, 服部公亮, 田口 亮 (名工大), 保黒政大 (中部大), 梅崎太造 (名工大)
- 7 柔軟関節をもつ人間型ロボットにおける神経力学モデルを用いたダイナミック動作の模倣  
○壺内将之, 尾形哲也, 奥乃 博, 西出 俊, 信田春満 (京大)
- 8 再帰型神経回路モデルを用いた視野変化予測と場所知覚ニューロンの発現  
○信田春満 (京大), 河本献太, 野田邦昭, 佐部浩太郎 (ソニー), 奥乃 博, 尾形哲也 (京大)
- 学生セッション [6P 会場] (3月8日 (木) 14:30 ~ 16:30)**  
**人工生命** 座長 長尾 確 (名大)
- 1 協調的分配ゲームにおける利他的行動の創発  
○新美文幸, 鈴木麗瑩, 有田隆也 (名大)
- 2 エビジェネティックな因子の個体間伝達と遺伝子進化の共進化モデル  
○三輪祥之, 鈴木麗瑩, 有田隆也 (名大)
- 3 動的環境下の繰り返しゲーム系における価値観の進化  
○佐々木佑樹, 鈴木麗瑩, 有田隆也 (名大)
- 4 (講演取消)
- 5 生息密度の差に起因する鳥の歌の種分化プロセスの解明  
○藤田洋平, 武藤敦子, 加藤昇平 (名工大)
- 学生セッション [1Q 会場] (3月6日 (火) 9:30 ~ 12:00)**  
**映像・画像の生成と編集** 座長 木村 仁 (日本工大)
- 1 イラスト編集ツールにおける欠損補完処理手法の開発  
○鈴木啓晃, 渡辺賢悟, 宮岡伸一郎 (東京工科大)
- 2 シームレステキストチャ生成法を用いた映画フィルムにおけるスクラッチの補完と評価  
○丸 和広 (芝浦工大), 松木靖明 (アイデンティファイ), 徳永幸生 (芝浦工大), 杉山 精 (東京工芸大)
- 3 2枚の時空間投影画像を用いた植物生長量抽出手法の改善  
○工藤太一, 斎藤隆文 (農工大), 七夕高也 (農業生物資源研)
- 4 トリックアート制作支援ツールの開発  
○神田尚希, 渡辺賢悟, 宮岡伸一郎 (東京工科大)
- 5 Moving Least Squares Coordinates を用いたイラスト画像変形手法  
○岡 良祐, 渡辺賢悟, 宮岡伸一郎 (東京工科大)
- 6 非実写画像向け減色法におけるエッジ検出法の検討  
○赤岡 歩, 三浦康之, 渡辺重佳 (湘南工科大)
- 7 高分解能衛星及び空中写真の画像判読による災害アセスメント  
○市沢公騎, 亀田昌志, Prima OkyDickyArdiansyah (岩手県大)
- 8 テキスチャ情報を利用した細胞領域分割  
○関 啓夢, 茅 暁陽, 豊浦正広 (山梨大)
- 9 フィルムコミックの自動生成における視線情報の利用  
○澤田友哉, 茅 暁陽, 豊浦正広 (山梨大)
- 学生セッション [2Q 会場] (3月6日 (火) 15:00 ~ 17:30)**  
**ゲーム** 座長 伊藤 毅志 (電通大)
- 1 RBF ネットワークと強化学習の手法による評価関数を用いたゲーム AI  
○成田卓也, 佐藤晴彦, 小山 聡, 栗原正仁 (北大)
- 2 効率の良い経路探索  
○石井大吾 (専門学校 HAL 名古屋)
- 3 Robocode における予測に基づいた戦略  
○横山徹也, 内海哲史 (鶴岡高専)
- 4 将棋をもとにしたゲームの普遍的指標の検証  
○松岡 確, 中山泰一 (電通大)
- 5 立方体表面上のクイーン問題およびルーク問題  
○藤原美早紀, 山村明弘 (秋田大)
- 6 皮膚導電率反応による集中の持続とパフォーマンスの分析  
○志水雅俊 (はこだて未来大), 棟方 渚 (北大), 松原 仁 (はこだて未来大)
- 7 複数 AI のプレイ結果に基づくボードゲーム盤の評価手法とその改良  
○友好真之, 沼田哲史 (大阪電通大)
- 8 メロディとそのコード進行を用いたデータ通信手法の提案  
○木原祥吾, 沼田哲史 (大阪電通大)
- 9 (講演取消)
- 学生セッション [3Q 会場] (3月7日 (水) 9:30 ~ 12:00)**  
**映像と学習・ユーザビリティ** 座長 安川 博 (愛知県大)
- 1 ウェブレット変換による画像の特徴抽出と文字領域  
○金子俊介, 久保田光一 (中大)
- 2 Arduino を用いた通信対戦用のカードゲームシステムの製作  
○神谷享昌, 築地立家 (電機大)
- 3 情景画像からの文字抽出における色分解画像組み合わせに関する考察  
○大原宏太, 小嶋和徳, 伊藤慶明, 石亀昌明 (岩手県大)
- 4 対話型映像コンテンツ配信における視聴者閲覧履歴の利用に関する検討  
○PWINT AUNG AYE HNIN, 江口あい (静岡大), 袴田彩子 (デジタルセンセーション), 太田好治 (浜松市博物館), 竹林洋一 (静岡大)
- 5 Web ユーザビリティ評価のための顔画像解析  
○山田竜太, Baigalmaa TSAGAAN, 中谷広正 (静岡大), 小林 正 (愛知工大)
- 6 モーションセンサとビデオカメラを用いた動揺抑制方法に関する基礎的研究  
○塩見和真, 田中成典 (関西大), 北川悦司 (阪南大)
- 7 HMM による筆跡の学習を用いたロボットの書道  
○村瀬雅之, 服部公亮, 田口 亮 (名工大), 保黒政大 (中部大), 梅崎太造 (名工大)
- 8 3D ディスプレイを用いた図形科学の学習効果の検証  
○北村祐樹, 矢吹太郎, 佐久田博司 (青学大)
- 9 色の時間変調を用いた動画像への不可視マーカー  
○井上 透, 栗山 繁 (豊橋技科大)
- 10 数字シンボルが数認知に与える影響  
○太田夏樹 (大工大)
- 学生セッション [4Q 会場] (3月7日 (水) 15:30 ~ 17:30)**  
**生体情報処理と認知モデル** 座長 光松 秀倫 (名大)
- 1 NIRS による BCI のための複数タスク判別の可能性についての検討  
○後藤かをり, 参沢匡将, 広林茂樹 (富山大)
- 2 NeuroSky MindSet を用いた心理的負荷の主観評価推定  
○佐野玄磨, 小橋祐介, Reddy S.Ravinath, 中村剛士 (名工大), 加納政芳 (中京大)
- 3 神経回路モデルを用いた道具身体化モデルによる道具機能表現の獲得  
○山口雄紀, 信田春満, 西出 俊, 奥乃 博, 尾形哲也 (京大)
- 4 状態遷移グラフを用いた衣類着脱支援のための布状態推定と着脱モデルの構築  
○大矢良輔, 長濱虎太郎, 山崎公俊, 稲葉雅幸 (東大)
- 5 認知科学的見地から見た徒歩移動時における定位情報保持の条件についての考察  
○篠原信之, 佐藤未来子, 並木美太郎 (農工大)
- 6 The interpretation of heuristic based on the maximum entropy principle under high uncertainty  
○Rafik HADFI, Takayuki ITO (Nagoya Institute of Technology)
- 7 (講演取消)
- 8 (講演取消)
- 学生セッション [5Q 会場] (3月8日 (木) 9:30 ~ 12:00)**  
**対話** 座長 徳久 良子 (豊田中研)
- 1 マルコフテーブルによる学習を用いた辞書型対話システム  
○西村太佑 (長野高専)

2 音声対話システムの言語モデル自動作成を目指したコーパスへのクラス付与

○森祥二郎, 駒谷和範, 佐藤理史 (名大)

3 ヒューマノイドロボットへの話しかけやすさのモデル化

○杉山貴昭, 駒谷和範, 佐藤理史 (名大)

4 対話型観光地推薦システムへの状態遷移モデルの導入と評価

○磯崎 紘, 杉本 徹, 渡辺雄介 (芝浦工大)

5 ロボットによる環境の自律的探索と言語命令解釈の相互作用

○板谷純希, 伊東慶輔, 荒木孝弥, 中村友昭, 長井隆行 (電通大),  
船越孝太郎, 長谷川雄二, 中野幹生 (ホンダ RIJ),  
岩橋直人 (NICT)

6 ロボットに対する移動指示の状況依存逐次理解

○佐藤 隼 (電機大), 中野幹生 (ホンダ RIJ),  
Raux Antoine (Honda Research Institute USA, Inc.),  
船越孝太郎, 竹内誉羽 (ホンダ RIJ)

7 作図作業の言語モデル化に基づく対話型作図システムの構築

○伊藤崇晃, 杉本 徹 (芝浦工大)

8 確率的意図推定に基づき対話管理を行う情報検索対話システム

○山崎翔太 (早大), 中野幹生 (早大/HRI-JP), 菅野重樹 (早大)

#### 学生セッション [6Q 会場] (3月8日 (木) 14:30 ~ 16:30)

画像検索と圧縮・伝送 座長 桜井優 (名工大)

1 動き情報を考慮した動画画像分散エンコーダの簡易圧縮

○中根 翔, 三浦康之, 高橋浩平, 渡辺重佳 (湘南工科大)

2 視聴者の表情を用いた動画ダイジェスト作成システム ~良いとこ撮り~

○古川裕士, 加藤宏和, 菰田昇平, 森本光紀, 濱川 礼 (中京大)

3 イラストの作者同定アルゴリズムの提案

○板持貴之 (東大), 三輪 誠 (マンチェスター大),  
田浦健次朗, 近山 隆 (東大)

4 顕著性マップ上の顕著点の分布に基づいた物体認識手法の提案

○高瀬竜哉, 亀田昌志, Prima Oky Dicky Ardiansyah (岩手県大)

5 階層的な画像の圧縮復元方式と評価

○佐保田拓磨, 米本京介, 吉田真澄 (筑波学院大)

6 再利用分類器のアンサンブルを用いた内容に基づく画像検索

○手川真彰, 服部元信 (山梨大)

7 (講演取消)

8 不応性を有する自己組織化特徴マップによる複数の画像をキーにした類似画像検索

○森本 裕, 長名優子 (東京工科大)

9 不応性を有する自己組織化特徴マップによる人工物の位置や大きさのずれを考慮した類似画像検索

○北野一輝, 長名優子 (東京工科大)

#### 学生セッション [1R 会場] (3月6日 (火) 9:30 ~ 12:00)

検査と監視のための画像処理 座長 石橋 豊 (名工大)

1 実時間性を考慮した監視カメラ映像のソフトウェアベースによる動き検出

○邢 斌, 三浦康之, 渡辺重佳 (湘南工科大)

2 Web カメラ画像を用いた公共交通機関の運行状況抽出

○伊藤光平, 斎藤隆文 (農工大)

3 複数の全方位ネットワークカメラを用いたシームレスな監視映像システム

○今 拓磨, 柴田義孝, 橋本浩二 (岩手県大)

4 複数台カメラを用いたグラウンド利用者カウントシステムの開発

○廣田 隼, 服部公亮, 田口 亮 (名工大), 保黒政大 (中部大),  
梅崎太造 (名工大)

5 X線画像を用いた金属部品内部の欠陥検出

○川井将人, 服部公亮, 田口 亮, 梅崎太造 (名工大),  
本野明大, 兼松佳弘 (明和 e テック)

6 導線の被覆剥ぎ及びピン圧着の良否判定システム

○村瀬智光, 川井将人, 服部公亮, 田口 亮 (名工大),  
保黒政大 (中部大), 梅崎太造 (名工大)

7 差分範囲を拡張した電子部品基板の良否判定の改善

○茂木友哉 (東洋大), 滑川光裕 (嘉悦大), 植田佳典 (東洋大)

8 電子部品の自動実装における良品判別の実用研究

○劉 小希 (東洋大), 滑川光裕 (嘉悦大), 植田佳典 (東洋大)

9 N.N.を用いた生産情報読み取りシステムの開発

○QIYUE YU, 三谷大志, 服部公亮, 田口 亮,  
梅崎太造 (名工大), 保黒政大 (中部大), 本野明大 (明和 e テック)

#### 学生セッション [2R 会場] (3月6日 (火) 15:00 ~ 17:30)

三次元復元及び医療 座長 齊藤 剛 (電機大)

1 モーションステレオによる大域空間推定

○坂本優太, 久保田光一 (中大)

2 奥行き推定精度改善のための重み付きジョイントバイラテラルフィルタ

○松尾琢也, 福嶋慶繁, 石橋 豊 (名工大)

3 RGB-D カメラによって得た頭部の情報の三次元モデル化手法

○伊藤大生, 田村 仁, 高塚崇文, 大川 涼,  
ダビデ ミンナイ (日本工大)

4 移動体用の撮影画像による

前方路面の摩擦係数推定システム

○金谷 潤, 田村 仁, 高塚崇文, 後藤泰介, 陳 君 (日本工大)

5 プロジェクタ投影画像の補正による三次元計測精度向上

○加藤 嗣, 田口 亮 (名工大), 保黒政大 (中部大),  
梅崎太造 (名工大)

6 3次元映像の視差自動調節に関する研究

○足立佳哉, 福島佑樹, 田中成典 (関西大), 北川悦司 (阪南大),  
安彦智史 (関西大)

7 津波被災地域における復興支援のための3次元都市モデル自動生成ツールの開発

○山村浩之, 安東正純, 満福講次, 平部敬士, 塚本章宏 (立命館大),  
磯田 弦 (東北大), 仲田 晋, 田中 寛, 矢野桂司 (立命館大)

8 Preliminary Study toward Anomaly Detection in Capsule Endoscopy

Images based on Higher-order Local Auto Correlation

○胡 尔重 (筑波大), 野里博和, 坂無英徳, 村川正宏 (産総研)

9 Study on segmentation of histopathological images for anomaly detection

○曲 佳 (筑波大), 野里博和, 坂無英徳 (産総研)

#### 学生セッション [3R 会場] (3月7日 (水) 9:30 ~ 12:00)

自然言語処理・応用 座長 東中 竜一郎 (NTT)

1 感情判断に基づく物語文章からの感想文自動生成手法

○町田啓悟 (長野高専)

2 アメリカ合衆国大統領演説の計量テキスト分析

○青木宣康 (東洋大), 河村俊太郎 (東大), 鈴木崇史 (東洋大)

3 冗長性排除を考慮した Twitter 上の観光地評判情報の集約と地理情報の統合視覚化

○佐藤裕也, 豊田哲也, 延原 肇 (筑波大)

4 神話のトピック構造分析による比較研究

○太田 明, 橋本和夫, 山田仁史 (東北大)

5 日本語クロスワードパズルのカギの解法

○内木賢吾, 佐藤理史 (名大)

6 比喩的素描を用いた類似語推論およびその視覚化インタフェースの構築

○長谷川恭佑, 榊井文人, 後藤文太郎 (北見工大)

7 ローマ字入力による縦書きモンゴル語入力方式の実装

○巴岡孟克, 中平勝子, 三上喜貴 (長岡技科大)

8 カタカナ抜け文のための自動解法アルゴリズムの提案

○島 広幸 (工学院大), 建石由佳 (ナラプロ・テクノロジーズ),  
小西克己 (工学院大)

9 マイクロブログ上の中心的話題とそれに対するユーザの反応の抽出

○藤川智英, 鍛冶伸裕, 吉永直樹, 喜連川優 (東大)

#### 学生セッション [4R 会場] (3月7日 (水) 15:30 ~ 17:30)

機械翻訳・解析 座長 井佐原 均 (豊橋技科大)

1 統計翻訳のための文情報量を用いた対訳文選択

○中島正裕, 山本博史 (近畿大)

2 統計翻訳を用いた、古文、現代文間の機械翻訳

○一色克将 (近畿大)

3 語のグループ化を用いた特許文動詞の自動訳し分け

○高野雄一, 横山晶一 (山形大)

4 (講演取消)

- 5 テキスト含意認識に有用な概念意味情報  
○横手健一, 田中翔平, ダヌシカ ポレガラ, 石塚 満 (東大)
- 6 概念辞書を用いた比喩性判定  
○吉田光一, 岸 義樹 (茨城大)
- 7 自然言語テキストからの概念記述言語 CDL 構造の半自動抽出  
○山口清弘, 石塚 満 (東大)

学生セッション [5R 会場] (3月8日(木) 9:30 ~ 12:00)

- 強化学習・学習応用** 座長 八谷 大岳 (東工大)
- 1 行動傾向規範に従った学習率の動的調節による適応的強化学習  
○三村明寛, 加藤昇平 (名工大)
- 2 複数の報酬とゲート機構を用いたモジュール型強化学習アルゴリズム  
○吉田裕昭, 中村真吾, 橋本周司 (早大)
- 3 Human-Agent Interaction を導入した強化学習エージェントによる人工知能デモンストラム  
○岡野卓矢, 北越大輔, 鈴木雅人 (東京高専)
- 4 アージ・システムに基づく自己充足モデルへの適応的行動学習の導入  
○飯星貴文 (名工大), 加納政芳 (中京大), 中村剛士 (名工大)
- 5 様々な環境におけるロボットの行動学習に関する基礎的検討  
○曾我紗知子, 小林一郎 (お茶の水女子大)
- 6 Profit Sharing を用いたぶよぶよの学習  
○小林 港, 長名優子 (東京工科大)
- 7 電子部品におけるリードの検出  
○安田善樹, 服部公央亮, 鬼頭秀一郎, 田口 亮, 保黒政大, 梅崎太造 (名工大)
- 8 個別照度を実現する分散制御照明システムにおける有線および無線照度センサ位置の推定と学習  
○吉田健太, 三木光範, 吉見真聡, 笠原佳浩 (同志社大)
- 9 個別照度を実現する分散制御照明システムにおける照度センサ位置の検出精度の評価  
○笠原佳浩, 三木光範, 吉見真聡, 伊藤博高 (同志社大)

学生セッション [6R 会場] (3月8日(木) 14:30 ~ 16:30)

- 機械学習** 座長 佐々木 裕 (豊田工業大)
- 1 重み付き Lasso パス追跡とグラフィカルモデルへの応用  
○新村祐紀, 竹内一郎, 本谷秀堅, 澤田好秀 (名工大)
- 2 online/batch ハイブリット型準ニュートン法によるニューラルネットワークの学習アルゴリズム  
○阿部俊和, 坂下善彦, 二宮 洋 (湘南工科大)
- 3 HDP-HMM を用いた物理的知識のモデル化  
○FADLIL MUHAMMAD, 中村友昭, 長井隆行 (電通大)
- 4 重みつきサンプリングによるランダムフォレスト法  
○川久保秀子, 吉田裕亮 (お茶の水女子大)
- 5 形式言語を認識するセルオートマトンの漸次学習  
○河島 輝, 中村克彦 (電機大)
- 6 遺伝的アルゴリズムを用いた形式言語を認識するセルオートマトンの学習  
○宮原俊明, 中村克彦 (電機大)
- 7 雑音の分散を考慮した確率分類ベクターマシンによる自動分類法  
○池上裕之, 小畑智広, 小林 学, 坂下善彦 (湘南工科大)
- 8 文脈木重み付け法を用いた文書分類の検討  
○小畑智広, 池上裕之, 小林 学, 坂下善彦 (湘南工科大)

学生セッション [1S 会場] (3月6日(火) 9:30 ~ 12:00)

- 音楽検索** 座長 松島 俊明 (東邦大)
- 1 GRAPE: グラデーション画像によるプレイリスト単位の音楽の可視化  
○魚田知美, 伊藤貴之 (お茶の水女子大)
- 2 楽師  $\mu$  ~画像情報を用いた音楽変換と、変換音楽からの画像復元システム~  
○鈴木正敏, 川角和弘, 酒光真理, 濱川 礼 (中京大)
- 3 関係調を考慮した HMM に基づく音響信号の自動和音認識と類似曲分類  
○杉山雄一, 酒向慎司, 北村 正 (名工大)
- 4 (講演取消)
- 5 MIDI キーボードによるキーの入力が可能な不応性を有する自己組織化特徴マップを用いた音楽検索システム  
○胡麻田学, 長名優子 (東京工科大)

- 6 MALL: ライフログを用いた楽曲推薦結果の一覧可視化  
○宇野 愛 (お茶の水女子大)
- 7 楽曲印象軌跡に基づく楽曲検索システムの実装と評価  
○西川直毅, 糸山克寿 (京大), 藤原弘将, 後藤真孝 (産総研), 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 8 関数型言語を用いた宣言的な楽曲分析システム  
○小長谷康治, 山本晋一郎, 大久保弘崇, 粕谷英人 (愛知県大)

学生セッション [2S 会場] (3月6日(火) 15:00 ~ 17:30)

- 演奏支援** 座長 糸山 克寿 (京大)
- 1 Colorscore: クラシック音楽における音楽構造の俯瞰と縮約のための可視化の一手法  
○林 亜紀, 伊藤貴之 (お茶の水女子大), 松原正樹 (慶大)
- 2 楽譜に記された情報の読み取りを対象とした音楽認知モデルの検討  
○湊山梨紗 (芝浦工大), 鈴木泰山 (ピコラボ), 徳永幸生 (芝浦工大), 杉山 精 (東京工芸大)
- 3 音楽学習支援のための多人数協調型シリアスゲームの提案  
○山田涼平, 飯塚梨沙, 大竹駿希, 武田智裕, 古市昌一 (日大)
- 4 ヴァイオリンの録音演奏情報の可視化  
○鈴木和音, 斎藤隆文 (農工大)
- 5 バイオリン演奏時の姿勢による技量評価方法の検討  
○當間 椋, 宮里洗司, 野口健太郎, 神里志穂子 (沖縄高専)
- 6 エレキベースの運指作成支援システム  
○木下瑛太, 松島俊明 (東邦大)
- 7 (講演取消)
- 8 入力ストロークがカスタマイズ可能な楽譜の手書き入力システム  
○工藤勇基, 松島俊明 (東邦大)
- 9 Android 端末を用いた直感的インターフェースを持つ楽器アプリケーションの作成  
○宮島明彦, 伊藤克巨 (法大)
- 10 ポピュラー音楽のための高音域発声評価と適切な声区の歌声合成  
○平山健太郎, 伊藤克巨 (法大)

学生セッション [3S 会場] (3月7日(水) 9:30 ~ 12:00)

- 作曲・編曲** 座長 伊藤 彰則 (東北大)
- 1 ユーザの意図を考慮した、旋律への自動コードネーム付与システム  
○千布佳菜子, 久保田光一 (中大)
- 2 聴感による演奏表情の評価特性の分析  
○柴崎正浩 (芝浦工大), 鈴木泰山 (ピコラボ), 徳永幸生 (芝浦工大), 杉山 精 (東京工芸大)
- 3 旋律の演奏特徴量を反映させた作曲支援のための自動伴奏生成  
○宮田佳奈, 酒向慎司, 北村 正 (名工大)
- 4 狭帯域雑音を利用した音楽の作成  
○三井太介, 阿部友実, 橋本周司 (早大)
- 5 リアルタイムで共同作曲ができる Web アプリの開発  
○藤澤 伸, 服部隆志 (慶大)
- 6 Sound Mosaic Music の作成ツールの開発とその評価  
○武井 祥, 徳永幸生 (芝浦工大), 杉山 精 (東京工芸大), 阿部匡伸 (岡山大)
- 7 対話型遺伝的アルゴリズムを用いたメロディに対する伴奏生成システム  
○亀浦 駿, 長名優子 (東京工科大)
- 8 遺伝的アルゴリズムと N グラムモデルを用いた曲の構成を考慮した自動作曲システム  
○高野美央, 長名優子 (東京工科大)
- 9 実空間の情報を用いた背景音楽の自動生成  
○高橋弦太, 笹岡久行 (旭川高専)
- 10 ピアノ譜のコード進行に基づいた合唱譜の自動編曲手法  
○黒住夏美, 伊藤克巨 (法大)

学生セッション [4S 会場] (3月7日(水) 15:30 ~ 17:30)

- 音楽認識・推定** 座長 大石 康智 (NTT)
- 1 合成音への表現力付与のための擦弦楽器の発想伝達関数の推定  
○小泉悠馬, 伊藤克巨 (法大)
- 2 統計的言語モデルを用いた作詞補助システムにおける単語アクセントの導入  
○阿部ちひろ, 伊藤彰則 (東北大)

- 3 和音混合音テンプレートをを用いた音源同定  
○仲宗根萌, 沼尾雅之, 大野将樹 (電通大)
- 4 音楽理論を用いた誤り区間の検出・補正による和音認識  
○植村あい子, 甲藤二郎 (早大)
- 5 自講めくりシステムのための多重音に対する音高・音源数の高速推定法  
○安部 翔, 小田弘良, 松島俊明 (東邦大)
- 6 押弦制約付きギター演奏自動採譜システム  
○矢澤一樹, 阪上大地, 糸山克寿, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 7 倍音コーパスを用いた初期値依存性の低い多重基本周波数推定法  
○阪上大地, 糸山克寿, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 8 フォルマントの変動を用いたビブラート検出法の提案  
○榎 真吾, 波多野賢治 (同志社大)

学生セッション [5S 会場] (3月8日(木) 9:30 ~ 12:00)

一般物体認識 座長 長名 優子 (東京工科大)

- 1 The Design and Application of Gabor Filter Bank for Robust Normal Estimation from Texture  
○劉 光耀, 齋藤 豪 (東工大)
- 2 POS システムのための非包装食品画像認識  
○洪 東光, 長井隆行 (電通大)
- 3 車載カメラによる移動障害物検知  
○金森勇人 (阪工大)
- 4 立体的な現在地特定システムの開発  
○桑田航兵, 安井浩之, 志田晃一郎 (東京都市大)
- 5 時間相関イメージセンサにより得られたオプティカルフローに基づく物体の追跡  
○大石 剛, 本谷秀堅 (名工大)
- 6 グラフカットによる矩形内の対象領域抽出についての検討  
○白石 馨, 米元 聡 (九産大)
- 7 変分ベイズ法を用いた分離型2次元格子 HMM の学習におけるアンニリング制御の適用  
○沢田 慶, 玉森 聡, 橋本 佳, 南角吉彦, 徳田恵一 (名工大)
- 8 対象物体の顕著度を最大化する少数画素群を用いた高速テンプレートマッチング  
○櫻本泰憲, 斎藤正孝, 橋本 学 (中京大)
- 9 移動体検出における輪郭抽出アルゴリズムに関する一検討  
○浦田悟志, 安川 博 (愛知県大)

学生セッション [6S 会場] (3月8日(木) 14:30 ~ 16:30)

映像による行動理解 座長 本谷 秀堅 (名工大)

- 1 身体部位動作の相関性に基づくサッカーリフティング動作解析の試み  
○加藤佳祐, 並木 豊, 戸辺義人 (電機大)
- 2 テニスにおけるラリーの簡易図化及びプレーションの視聴補助システム  
○川添和泉, 植村暢介, 仙石謙二郎, 濱川 礼 (中京大)
- 3 距離画像センサを用いたバレーボールの選手位置の取得に関する研究  
○上野友里恵, 田中成典 (関西大)
- 4 画像処理を用いたテニス競技におけるデータ自動記録・分析手法の提案  
○北原 駿, 内田 理 (東海大)
- 5 動画からのコミック風コマ割りダイジェスト画像の自動生成の提案  
○宇杉友志, 水野慎士, 澤野弘明 (愛知工大)
- 6 トランポリン競技における跳躍高に対するベッド沈み込み距離の画像解析  
○熊山彩子, 山田昌尚 (釧路高専)
- 7 歩行者上の単眼視カメラによる周囲環境の認識  
○二宮睦樹, 松島俊明 (東邦大)
- 8 距離画像のガウスフィッティングによる指位置推定に基づくマーカレスピアノ運指認識手法  
○内田 駿, 岡 明也, 橋本 学 (中京大)
- 9 複数の監視カメラからの画像を用いた工場内での人の動き分析に関する研究  
○李沢亜土里, 大和田勇人 (東理大)

学生セッション [1T 会場] (3月6日(火) 9:30 ~ 12:00)

人工知能応用システム 座長 渡邊 豊英 (名大)

- 1 SNS コミュニティの社会ネットワーク分析とその応用  
○石川智康, 松尾和洋 (金沢工大)

- 2 料理レシピの栄養素自動計算システムの試作:「焼く, 煮る」などの調理加工による栄養素の変化の自動計算手法  
○植田嗣也, 高橋 淳, 吉村卓也, 伊藤孝行 (名工大)
- 3 栄養の食べ合わせを考慮した献立作成機構の試作  
○高橋 淳, 植田嗣也, 伊藤孝行 (名工大)
- 4 Diet Planning Expert System  
○緒形祐次郎 (上智大)
- 5 AWS における電子帳票の互換性決定の実装検討  
○安齋太一郎, 平本真道, 大谷 真 (湘南工科大)
- 6 SPARQL を用いたセマンティックウェブ検索結果に対するパーソナライズドランキングの実現  
○藤野敬久, 福田直樹 (静岡大)
- 7 アイガモロボットの開発と動作アルゴリズム構築  
○坪井克裕, 一ノ瀬元喜, 福田耕治 (阿南高専)
- 8 移動ロボットのための確率的空間問合せシステムの構築  
○早矢仕新, 董ていてい, 加藤 翔, 石川佳治 (名大)
- 9 (講演取消)

学生セッション [2T 会場] (3月6日(火) 15:00 ~ 17:30)

エージェントモデル 座長 藤田 桂英 (東大)

- 1 Web サービス調達における効用を考慮した交渉アルゴリズムの提案  
○杉木優太, 菱山玲子 (早大)
- 2 コラボレーションを適切に行うためのビジネスプロセス可視化ツールの提案  
○中川裕輝, 永井明彦, 伊藤孝行 (名工大)
- 3 電力料金変動制度を想定したエージェントシミュレーション  
○川口将吾, 水谷信泰, 金森 亮, 伊藤孝行 (名工大)
- 4 マルチロールを持つエージェントによるサービス交換シミュレーション  
○伊藤康太, 藤田 悟 (法大)
- 5 社会統計データに基づく消費行動シミュレーション基盤  
○佐藤 光, 藤田 悟 (法大)
- 6 マルチエージェントを用いた自律移動ロボットの制御モデルに関する検討  
○吉川英樹, 松崎隆哲 (近畿大)
- 7 Scheme 言語をルール記述言語とした役割指向記述の試み  
○柏木孝仁, 佐々木晃 (法大), 田沼英樹 (東工大)
- 8 意見交換における順序効用が集団意見形成過程に与える影響  
○須藤勇一郎 (名工大), 田中克典 (メイトコム), 武藤敦子, 加藤昇平 (名工大)
- 9 エージェントの価値観を考慮した社会シミュレーションモデルの提案  
○上鍋秀幸, 後藤 典, 能登正人 (神奈川大), 森住哲也 (ネットエスアイ東洋), 木下宏揚 (神奈川大)

学生セッション [3T 会場] (3月7日(水) 9:30 ~ 12:00)

マルチエージェントシステム (1) 座長 伊藤 孝行 (名工大)

- 1 プリファレンスを扱う議論意味論の ASP による計算とプリファレンス発見への応用  
○龍沢昌宏, 若木利子 (芝浦工大)
- 2 議論フレームワークにおける ideal 意味論の解集合プログラミングによる計算  
○坂倉広幸, 若木利子 (芝浦工大)
- 3 非マルコフ的な方策と報酬による方策勾配法の適用例: 経路計画問題  
○松尾雅樹, 五十嵐治一 (芝浦工大), 石原聖司 (近畿大)
- 4 ネットワークの統計的指標を基にした契約ネットプロトコルの効率改善手法の提案と評価  
○山下 翔, 大沢英一 (はこだて未来大)
- 5 相互作用型階層強化学習システムによるエージェント集団の共存期間伸長に関する検討  
○山崎大地, 北越大輔, 鈴木雅人 (東京高専)
- 6 動的プリファレンスを扱う議論フレームワークの解集合プログラミングによる議論意味論の計算  
○稲葉 遼, 若木利子 (芝浦工大)
- 7 複数者間の同時交渉に適用可能なエージェント間多論点交渉システムの試作  
○鶴橋吉矩, 福田直樹 (静岡大)

- 8 自動交渉技術を用いた複数クラウドへのアプリケーション自動最適配置フレームワークの試作  
○石川貴文, 福田直樹 (静岡大)
- 9 不確実性を考慮したマルチエージェントパトロール手法  
○佐々木博隆, 大沢英一 (はこだて未来大)

学生セッション [4T 会場] (3月7日 (水) 15:30 ~ 17:30)  
マルチエージェントシステム (2)

- 座長 大沢 英一 (はこだて未来大)
- 1 一般道における渋滞緩和・解消を図る交通信号機制御システムに関する研究  
○榎本大義, 北越大輔, 鈴木雅人 (東京高専)
- 2 震災時の JR 大阪駅周辺における帰宅困難者の行動シミュレーション  
○石田 涼, 仲谷善雄 (立命館大)
- 3 進化的アプローチとエージェントシミュレーションによる災害に頑健な道路網設計法の検討  
○秋山拓也, 福田直樹 (静岡大)
- 4 マルチエージェントを用いた大学等を対象とした避難シミュレーションシステム  
○小谷野信一, 長名優子 (東京工科大)
- 5 矩形以外のオフィスに対応した避難シミュレーションによるオフィスレイアウト案の評価  
○佐藤佑哉, 長名優子 (東京工科大)
- 6 ロボカップレスキューシミュレーションにおけるシミュレータ統合に関する一考察  
○林 稔之 (名工大)
- 7 ロボカップレスキューへの新規参加に関する課題について  
○山川宏隆 (名工大)
- 8 災害救助シミュレーションにおける効率的な経路探索手法の提案  
○庄子佳津雄, 幸塚義之, 伊藤暢浩 (愛知工大)
- 9 ロボカップレスキューシミュレーションにおける DTN 環境に関する一考察  
○川村真之, 坂東昌大, 庄子佳津雄, 伊藤暢浩 (愛知工大)

学生セッション [5T 会場] (3月8日 (木) 9:30 ~ 12:00)

- ロボットビジョン 座長 澤野 弘明 (愛知工大)
- 1 自動追従するショッピングカートの障害物回避機能の実装・評価  
○小松冬馬, 田村 仁, 高塚崇文, 山内 賢 (日本工大)
- 2 複数の決定木を用いた高速な FAST 特徴点検出  
○竹田 遼 (東理大), 内田祐介, 酒澤茂之 (KDDI 研), 半谷精一郎 (東理大)
- 3 受取人の状態に応じて割込みのタイミングを変化させる配達ロボット  
○荒井孝善, 高橋桂太, 金子正秀 (電通大)
- 4 局所法線分布分析に基づく3次元物体認識に有効な高独自性領域抽出手法  
○永瀬誠信, 秋月秀一, 柴田悠太郎, 橋本 学 (中京大)
- 5 レーザレンジデータおよびデプスデータを用いたパーティクルフィルタによる3次元 SLAM  
○木村孝広, 東原智幸, 河端 悟, 田中英俊, 渥美雅保 (創価大)
- 6 SLAM 空間での全方位カメラ搭載ロボットによる人位置推定  
○田中英俊, 東原智幸, 河端 悟, 木村孝広, 渥美雅保 (創価大)
- 7 SLAM 空間における3次元距離情報を用いた複数人物位置推定  
○河端 悟, 東原智幸, 田中英俊, 木村孝広, 渥美雅保 (創価大)
- 8 (講演取消)
- 9 Robocup 標準プラットフォームリーグにおける自己位置同定方式  
○浅沼隆之 (電機大)

学生セッション [6T 会場] (3月8日 (木) 14:30 ~ 16:30)

- 検索・分類 座長 秋葉 友良 (豊橋技科大)
- 1 ツイッターのデマ率の推定  
○Rattanaxy Keothammavong, 青野雅樹, 相田 慎 (豊橋技科大)
- 2 単語共起を用いたベジアンフィルタによる中国語文章フィルタリングについて  
○鄧 德粵, 吉村卓也, 伊藤孝行, 藤井雄太郎 (名工大)
- 3 複雑ネットワークからのキーワード抽出  
○三澤英樹, 大沢英一 (はこだて未来大)

- 4 Q&A サイトにおける情報検索型質問の自動抽出  
○田中友二 (芝浦工大), 望月崇由, 八木貴史 (NTT レジナント), 徳永幸生 (芝浦工大), 杉山 精 (東京工芸大)
- 5 知的ヘルプシステムのための意味を考慮したテキストマッチング手法の改良と評価  
○柿間俊高, 村松幸樹, 杉本 徹 (芝浦工大)
- 6 否定文認識による潜在関係検索の精度向上手法  
○落合伸彦, Duc Nguyen Tuan, Danushka Bollegala, 石塚 満 (東大)
- 7 ストーリー性を考慮した映画あらすじからの類似度計算  
○村手宏輔, 黒岩真吾, 堀内靖雄, 篠崎隆宏 (千葉大)
- 8 共起ネットワークを用いたクラスタ性によるテキスト分類  
○小林雄太, 村上裕一, 中村真吾, 橋本周司 (早大)

学生セッション [2U 会場] (3月6日 (火) 15:00 ~ 17:30)

- 遺伝的アルゴリズムとファジー理論 座長 有田 隆也 (名大)
- 1 ニューラルネットワークと遺伝的アルゴリズムを用いたテトリスコントローラの開発  
○宮崎真奈実, 荒川正幹 (宇部高専)
- 2 探索範囲を限定した局所探索法を用いたハイブリッド島モデル GA の解探索の効率化  
○岸澤澤明, 長名優子 (東京工科大)
- 3 並列実装による遺伝的アルゴリズムの耐故障性向上  
○北 咲也, 佐藤裕二 (法大)
- 4 対話型遺伝的アルゴリズムを用いた多角形状スペースへの対応が可能なオフィスレイアウト支援システム  
○荒木佑介, 長名優子 (東京工科大)
- 5 (講演取消)
- 6 移民交叉を用いた多プロセス並列分散 PIGA のトポロジの違いによる影響についての検討  
○赤平俊之, 小嶋和徳, 伊藤慶明, 石亀昌明 (岩手県大)
- 7 島モデルと実数値 GA を用いたパラメータ自動調整アルゴリズム  
○蒲生拓也, 後藤 典, 能登正人 (神奈川大)
- 8 ファジィクラシフィカシステムを用いたロボットの行動学習に関する一考察  
○金子貴美, 曾我紗知子, 小林一郎 (お茶の水女子大)
- 9 大きさを表す言語表現がもつ意味の状況による変化に関する実験的考察  
○鈴木浩太, 杉本 徹 (芝浦工大)

学生セッション [3U 会場] (3月7日 (水) 9:30 ~ 12:00)

- 推論・探索 座長 加藤 昇平 (名工大)
- 1 ベジアンネットによる Web ブックマーク選択モデルを用いたブックマーク推薦法  
○相良光志, 北越大輔, 鈴木雅人 (東京高専)
- 2 価値に基づく議論フレームワークの発想的議論における聴衆発見  
○佐藤 航, 龍沢昌弘, 若木利子 (芝浦工大)
- 3 基本パターンに基づく関係型パターンマイニング手法の効率性に関する考察  
○中野裕介, 犬塚信博 (名工大)
- 4 基数制約に基づく MaxSAT ソルバーにおける変数アクティビティ調整とその評価  
○小川 徹, 矢野明浩, 越村三幸, 藤田 博, 長谷川隆三 (九大)
- 5 関係データマイニングにおける類出飽和パターン発見の分散化  
○谷本翔一, 世木博久 (名工大)
- 6 ハイブリッドクラスタリングによる協調フィルタリングの提案  
○間瀬英之, 大和田勇人 (東理大)
- 7 関係型データマイニングにおける包摂関係を考慮した極小生成系選択  
○西尾典晃, 武藤敦子, 犬塚信博 (名工大)
- 8 制約充足による手書き変体仮名認識の構想  
○新井侑太, 鈴木徹也, 相場 亮 (芝浦工大)
- 9 移動ロボットを用いた未知環境における環境地図自動生成手法  
○小島尚之, 矢吹太郎 (青学大), Yucel Ugurlu (日本ナショナルインスティテュート), 佐久田博司 (青学大)

学生セッション [4U会場] (3月7日(水) 15:30~17:30)

耐雑音・音源分離・音源定位 座長 藤本 雅清 (NTT)

- Complex Infinite Sparse Factor Analysis による周波数領域での音声信号のブラインド音源分離  
○柳楽浩平, 高橋 徹, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- マイク数以上の同時発話分離のための調波・非調波音源モデルの検討  
○平澤恭治, 安良岡直希, 高橋 徹, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 複数人会話システムにおける複数の音源定位結果の統合による発話者の特  
定  
○中島大, 駒谷和範, 佐藤理史 (名大)
- パーティクルフィルタを用いた動的環境下の複数音源追跡  
○黄 楊暘, 大塚琢馬, 高橋 徹, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 調波構造に基づく短時間モノラル音声からの残響除去  
○渋谷 涼 (法大)
- 雑音重畳音響モデルをベースとしたケプストラムサブトラクション  
○杵村昭宏, 山本博史 (近畿大)
- 複数音源下での擬音語による音源選択システム  
○山村祐介, 高橋 徹, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)

学生セッション [5U会場] (3月8日(木) 9:30~12:00)

音声合成・感情・韻律一般 座長 坂野 秀樹 (名城大)

- 環境音を含む音データからのヤンバルクイナの鳴き声検出の検討  
○宇根健一郎, 蔵屋英介, 野口健太郎, 神里志穂子 (沖縄高専),  
金城道男, 長嶺 隆 (どうぶつたちの病院),  
嘉手苜修 (沖縄ココ・コーラボトリング)
- 日中聴取者による音声から受ける印象を用いた感情認識モデルの構築  
と比較  
○川村 剛, 政倉祐子, 大野澄雄 (東京工科大)
- クラスタ分析の並列利用による音声からの感情推定  
○天沼沙織, 樽松理樹, 羽倉 淳, 藤田ハミド (岩手県大)
- 自然対話中の発話対における単独提示と連続提示の感情受容の比較  
○松澤直之, 政倉祐子, 大野澄雄 (東京工科大)
- 音声によって表出する混合感情の主観評価と音響的特徴量からの推定  
○松林一也, 政倉祐子, 大野澄雄 (東京工科大)
- 種々の発話印象を表現する音声合成のための音響的特徴量の検討  
○上野吉弘, 政倉祐子, 大野澄雄 (東京工科大)
- (講演取消)
- 音声における感情の強弱による韻律制御規則を適用した合成音声の評価  
○宮坂直樹, 政倉祐子, 大野澄雄 (東京工科大)
- 音楽の知見に基づく音声合成を用いた感情表現手法の提案  
○齋藤将吾, 樽松理樹, 羽倉 淳, 藤田ハミド (岩手県大)
- コンピュータによる鳥の羽ばたきの擬音生成  
○山道拓也, 徳永幸生 (芝浦工大), 杉山 精 (東京工芸大),  
阿部匡伸 (岡山大)

学生セッション [6U会場] (3月8日(木) 14:30~16:30)

音声認識・音声言語処理 座長 李 晃伸 (名工大)

- 調音特徴抽出に基づく IPA 母音チャートへの英語発音リアルタイム表示  
○森 拓郎, 入部百合絵, 桂田浩一, 新田恒雄 (豊橋技科大)
- 日本人の誤りパターンを考慮した英語発話中の音素連結・脱落・同化  
検出  
○野村知里, 入部百合絵, 桂田浩一, 新田恒雄 (豊橋技科大)
- 若年話者判別法の音響特徴に対する聴覚フィルタバンクの導入  
○宮森翔子, 西村竜一, 岡本恵里香, 入野俊夫, 河原英紀 (和歌山大)
- 音素決定木に基づく GMM を用いた話者認識  
○趙 洪岩, 酒向慎司, 北村 正 (名工大)
- 言語的・音響的コンテキストが音声の聴取および認識に及ぼす影響の  
考察  
○榎並大介, 山本一公 (豊橋技科大), 北岡教英 (名大),  
中川聖一 (豊橋技科大)
- デジタル放送の字幕情報と発話傾向を考慮した発話者アノテーション  
○山室慶太, 伊藤克巨 (法大)
- 音声認識を用いたラジオ放送の実時間情報表示システム  
○廣近理希, 伊藤克巨 (法大)

- 発話中の方言変化に頑健な方言変換システム  
○平山直樹, 高橋 徹, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- アクセント特徴量を用いた歌声と朗読音声の識別システム  
○阿曾慎平 (京大), 齋藤 毅 (金沢大), 後藤真孝 (産総研),  
糸山克寿, 高橋 徹, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)

学生セッション [1V会場] (3月6日(火) 9:30~12:00)

要約・言い換え 座長 松原 茂樹 (名大)

- 単語の難易度比較を用いた文章簡略化システム  
○野崎徹郎 (長野高専)
- 組み合わせ確立モデルを用いた文書の自動要約の評価  
○藤沼卓也, 岸 義樹 (茨城大)
- リンク予測と文間構造を利用した複数文書要約システム  
○中田真吾, 横山晶一 (山形大)
- 議事録作成支援のための話題遷移構造の階層提示手法  
○尾関雄亮, 梅澤 猛, 大澤範高 (千葉大)
- 潜在関係検索における Indexing 対象の拡張  
○信田頼宏, Duc Nguyen Tuan, Bollegala Danushka, 石塚 満 (東大)
- 潜在関係検索エンジンにおける根拠となる文のランキング  
○平嶋一貴, 河崎 翔, Duc Nguyen Tuan, Bollegala Danushka,  
石塚 満 (東大)
- WEB を利用した未知語の概念階層情報の獲得  
○齋藤弘樹, 岸 義樹 (茨城大)
- イベント共参照関係を利用した因果関係知識の獲得  
○田中翔平 (東大), 岡崎直観 (東北大), 石塚 満 (東大)
- MapReduce による類似フレーズクラスタリング  
○熊南昂司, 関 和広, 上原邦昭 (神戸大)

学生セッション [2V会場] (3月6日(火) 15:00~17:30)

情報抽出・質問応答 座長 佐々木 裕 (豊田工業大)

- 自然言語テキストにおける注視関数を用いた注視語抽出方式の提案  
○齋木貴博, 鈴木 寿 (中大)
- ソーシャルネットワークを情報源としたコミュニティ辞書自動生成の  
研究  
○宮本和幸, 菱山玲子 (早大)
- WEB 上の相談事例とトラブルデータベースを利用した重要事案発見  
のための要因解析  
○八十岡智章, 岡田将吾, 新田克己 (東工大), 高橋久尚 (統計数理研),  
本村陽一 (産総研), 田中智貴 (国民生活センター)
- 検索サイトを用いた自由記述式アンケートの特徴語抽出法  
○星野詞文, 吉村宏樹, 岡 誠, 森 博彦 (東京都市大)
- カテゴリ階層を考慮した固有表現抽出  
○東山翔平, 関 和広, Mathieu Blondel, 上原邦昭 (神戸大)
- 中学校レベルの数学の文章題を解くシステム  
○箕村大輔 (電機大)
- 発言内容の関連性を用いた質問答弁の構造化に基づく議事録閲覧支援  
システム  
○小泉元範, 新谷虎松, 大園忠親, 白松 俊 (名工大)
- 複合名詞の構造パターンを考慮したスコアリング手法の改良  
○吉野 徹, 福本淳一 (立命館大)
- Twitter からのアルバム自動生成システムのための関連度計算手法につ  
いて  
○糸川翔太, 白松 俊, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 質問応答システムにおける再検索を用いた回答候補の抽出手法  
○油井宣明, 福本淳一 (立命館大)

学生セッション [3ZJ会場] (3月7日(水) 9:30~12:00)

人物画像処理 座長 原 隆一郎 (モルフォ)

- カラー手袋を用いた手指の形状認識手法の基本検討  
○庄司貴哉, 加藤正樹, 西村広光, 田中 博 (神奈川工科大)
- 助手席ユーザによる指差し指示領域の基礎検討  
○白根愛佳, 澤野弘明, 水野慎士 (愛知工大)
- 個性を持ったキャラクター表現が可能な3次元似顔絵の自動生成  
○梅村 隆, 高橋桂太 (電通大), 酒澤茂之 (KDDI 研),  
金子正秀 (電通大)

- 4 顔部品の形状・配置印象に基づく顔の全体的印象に対する定量的記述  
○遠藤千麻, 高橋桂太, 金子正秀 (電通大)
- 5 特徴抽出によるアニメキャラクターの顔認識  
○高山耕平 (東大),  
Henry Johan (Nanyang Technological University),  
西田友是 (東大)
- 6 SOMによる顔方向認識を応用した頭部ジェスチャ認識システム  
○服部公央亮, 田口 亮 (名工大), 保黒政大 (中部大),  
梅崎太造 (名工大)
- 7 人物追従機能を有する介護計測支援システムの設計と実装  
○坂田達彦, 小倉久和, 黒岩丈介, 白井治彦, 諏訪いずみ (福井大)
- 8 顔領域での高分解オプティカルフローに基づいた並進移動と収縮テンソルのモデル化とその表情推定への適用  
○梁 承夏, 安藤 繁 (東大)
- 9 急患の自動検出システムに関する研究 - 映像からの肩呼吸検出 -  
○川村昇平, 羽倉 淳, 樽松理樹, 藤田ハミド (岩手県大)

## 一般セッション [4D会場] (3月7日(水) 15:30～17:30)

## モバイルコンピューティングと移動体通信

座長 深澤 佑介 (NTTドコモ)

- 1 圧力センサによる人感センサネットワークシステムの通信特性評価  
○横尾晃大, 安川 博 (愛知県大)
- 2 無線通信環境での Bloom Filter を用いた分散データ管理手法  
○佐々木健吾, 杉浦慎也, 高梨昌樹, 牧戸知史, 鈴木徳祥 (豊田中研)
- 3 音声対話エージェントを基盤とした安否確認スマートフォンソフトウェアの開発  
○佐々木喜一郎 (岐阜経済大), 藤井 透 (同志社大)
- 4 褥瘡管理とモバイルコンピューティング  
○北野 優, 富樫 敦, 須栗裕樹 (宮城大)
- 5 シンククライアント向けオフラインアプリケーション統制システムの開発  
○磯川弘実, 森田伸義, 梅澤克之, 萱島 信 (日立)
- 6 モバイル端末向けオフラインアプリケーション統制システムの提案  
○森田伸義, 磯川弘実, 萱島 信, 梅澤克之 (日立)

## 一般セッション [5D会場] (3月8日(木) 9:30～12:00)

## 移動支援とウェアラブルデバイス 座長 梅津 高朗 (阪大)

- 1 VoiStrap: ID カードネックストラップ型の音声センシングデバイスを用いたヒューマンコミュニケーション可視化システム  
○原田陽雄, 米山博人, 下谷 啓, 藤居 徹, 西野洋平, 飯田 靖, 西原義雄 (富士ゼロックス)
- 2 Web 上での対話的な旅行プラン作成支援  
○倉田陽平 (首都大)
- 3 広域デフォルメ地図の簡易生成手法  
○菅沼優子, 根岸博康, 川又武典 (三菱)
- 4 (講演取消)
- 5 高齢者の QOL 向上を目指した Android システムの実証実験  
○櫻井 優, 坂本泰伸, 松澤 茂, 武田敦志 (東北学院大), 富樫 敦 (宮城大), 出羽朋絵, 高橋千晶, 柏葉俊輔 (東北学院大)
- 6 手袋型 RFID リーダーの開発  
○寛 瑞恵, 増田敦士, 末定新治 (福井県工業技術センター), 志水英二, 高橋秀也 (大阪市大), 山本明夫 (アートファイネックス)
- 7 キック動作によって注意を喚起する靴型ウェアラブルデバイス  
○佐藤 究, 根田雄人, 小笠原直人, 布川博士 (岩手県大)

## 一般セッション [6D会場] (3月8日(木) 14:30～16:30)

## 道路交通と車載ネットワーク 座長 梅津 高朗 (阪大)

- 1 モビリティクラウドの概要について  
○山本理浩, 中村三夫 (TIS)
- 2 車両の挙動情報に基づく運転支援  
○箕浦一馬, 渡邊豊英 (名大)
- 3 画像処理によるパーティクルフィルタを応用した先行車両追跡  
○堀江忠裕, 小野裕記, 泉 隆 (日大)
- 4 内外分点と動的重み付けを用いた RFID による車両位置推定手法  
○富樫宏謙 (総研大), 山田茂樹 (国立情報学研)
- 5 運転者の移動意図の変化を検出するための手法に関する一考察  
○柳原 正 (トヨタ IT 開発センター), 岩井将行, 清水和人, 瀬崎 薫 (東大)
- 6 運転者の移動履歴及び移動意図記録システムの提案と実装  
○岩井将行 (東大), 柳原 正 (トヨタ IT 開発センター), 清水和人, 澤上佳希, 劉 広文, 瀬崎 薫 (東大)
- 7 ネットワーク符号化通信のための動的 ID ベース署名方式の VANET でのシミュレーション  
○山本泰資 (名工大), 毛利公美 (岐阜大), 白石善明 (名工大)

## 一般セッション [1E会場] (3月6日(火) 9:30～12:00)

## 災害時通信 座長 佐藤 永欣 (岩手県大)

- 1 蓄積転送型通信を用いた広域災害時通信システム利用における性能評価  
○横山輝明 (サイバー大), 榎原 茂 (奈良先端大)
- 2 被災エリアにおけるコミュニティ情報共有のための IEEE802.11 無線

## ネットワークの構築

- 松野浩嗣 (山口大), 重安哲也, 片平翔太 (県立広島大), 森岡仁志 (アライドテレシス開発センター)
- 3 災害発生時に防災システムの効果を最大限に高めるための地域コミュニティシステムの開発  
○藤川昌浩, 亀川 誠 (デジタル・マイスター), 松本佳昭, 吉木大司, 森 信彰 (山口県産業技術センター), 松野浩嗣 (山口大)
  - 4 予測可能な災害に対する正確な防災情報を即時伝達するシステムの開発  
○亀川 誠, 藤川昌浩 (デジタル・マイスター), 松本佳昭, 吉木大司, 森 信彰 (山口県産業技術センター), 村上ひとみ, 松野浩嗣 (山口大)
  - 5 被災情報提供用無線ネットワークによる情報伝達能力に関する一検討  
○片平翔太, 重安哲也 (県立広島大), 亀川 誠, 藤川昌浩 (デジタル・マイスター), 松野浩嗣 (山口大)
  - 6 被災情報提供システム用無線ネットワークの地域活性化に向けた平時時利用法  
○竹川恭平, 重安哲也 (県立広島大), 松野浩嗣 (山口大)
  - 7 (講演取消)
- 一般セッション [2E会場] (3月6日(火) 15:00～17:30)
- マルチメディア通信と分散処理 座長 重安 哲也 (県立広島大)
- 1 狭帯域ネットワークでのセキュアコンテンツ配信を特長とするマルチメディア技能継承システム  
○峯 慎吾, 中島宏一, 阿倍博信, 奥村誠司 (三菱)
  - 2 映像監視システムにおけるネットワーク機器のパラメータ設定自動化方式の検討  
○山田敏志, 阿倍博信, 中島宏一 (三菱)
  - 3 操作共有の同期遅延を削減する HTTP ボーリングタイミング制御方式  
○大西健夫, 城島貴弘, 中島一彰 (NEC)
  - 4 同期現象を用いた画像圧縮  
○廣瀬 誠, 石原裕之 (松江高専)
  - 5 分散処理化によるニューラルコンピューティング  
○伊藤史崇, 築地立家 (電機大)
  - 6 kd-tree による構造化と GPU を用いた大規模高次元ベクトル群のための高速近傍探索技術の研究  
○松村聖司, 毛受 崇, 赤間浩樹, 松尾嘉典, 奥村昌和, 山室雅司 (NTT)
  - 7 嗅覚・力覚を利用した遠隔生け花システムにおけるアンケート調査  
○黄 平国, 石橋 豊, 福岡慶繁, 菅原真司 (名工大)
- 一般セッション [3E会場] (3月7日(水) 9:30～12:00)
- ネットワーク制御・管理 座長 長谷川 輝之 (KDDI 研)
- 1 遠隔サポートにおけるマルチデバイス環境でのセッション移行方式  
○川本亜紀子 (NEC)
  - 2 集約光インターコネクトにおける高性能トラフィックスケジューラ  
○高前田一山崎伸也, 吉瀬謙二 (東工大), 佐藤 充 (富士通研)
  - 3 ユーザ組織の IT 環境及び業務実行状況を考慮した回線帯域算出手法の提案  
○北原 圭, 屋代 聡 (日立)
  - 4 オンデマンドおよびスケジュール監視を併用した無線 LAN アクセスポイント監視システムの構築  
○内藤郁之, 望月 源, 佐野 洋 (東京外語大)
  - 5 HTTP 利用時における LAN 内ネットワーク負荷の検討  
○美原義行, 山崎毅文, 佐藤 敦, 市森峰樹 (NTT)
  - 6 TPM に基づく端末認証のための認証局の REST ベースの実装と公開鍵証明書発行支援  
○篠田昭人, 脇田知彦 (名工大), 福田洋治 (愛知教育大), 毛利公美 (岐阜大), 白石善明 (名工大), 野口亮司 (豊通シスコム)
  - 7 異種医療情報機器間の接続支援のための効率的なメッセージ変換システム  
○高桑 慧 (静岡大), 鈴木敦志 (デジタルセンセーション), 岡田昌也 (静岡大), 坂根 裕 (デジタルセンセーション)

一般セッション [4E 会場] (3月7日(水) 15:30~17:30)

位置推定・位置情報サービス 座長 上坂 大輔 (KDDI 研)

- 1 端末特性を考慮したベイズの定理による無線 LAN 位置推定  
○石原佑哉, 内匠 逸, 打矢隆弘 (名工大)
- 2 デッドレコニングにおける鉛直方向推定に関する一検討  
○村松茂樹, 渡邊孝文, 上坂大輔, 横山浩之 (KDDI 研)
- 3 IMES および Dead Reckoning 技術を用いた室内シームレス測位基盤の設計  
○日高正貴, 森本修介, 神武直彦 (慶大)
- 4 端末移動に伴う無線 LAN の電波環境変化に着目した構造物検出手法  
○梶 克彦, 河口信夫 (名大)
- 5 位置情報サービスプラットフォームおよび検証ツールの設計  
○池田樹実彦, 中島 円, 田中康平, 日高正貴 (慶大), 田端謙一, 尾崎準一, 政木英一 (国際航業), 神武直彦 (慶大)
- 6 iPhone を利用したバリア情報記録・公開システムの構築と運用  
○井上道哉, 古山宗亮, 金房雄一, 長澤可也 (湘南工科大)

学生セッション [3V 会場] (3月7日(水) 9:30~12:00)

災害時通信 (1) 座長 藤田 茂 (千葉工大)

- 1 被災地内安否情報交換のための DTN 通信手法  
○川田智彦, 松垣博章 (電機大)
- 2 DTN 環境におけるメッセージフェリーを用いた効率的なデータ転送方式  
○阿部涼介, 舟橋知論, 中村嘉隆, 白石 陽, 高橋 修 (はこだて未来大)
- 3 衛星ネットワークシステムとコグニティブ無線を用いた Never Die Network の構築と再構成手法  
○関野雄人, 柴田義孝 (岩手県大), 内田法彦 (埼玉工大), 湯瀬裕昭 (静岡県大)
- 4 蓄積転送型通信を用いた広域災害時通信システムの設計と実装  
○守屋博之, 横山輝明 (サイバード)
- 5 災害時対応に用いるプライバシー情報共有支援のための開示先制御が容易なデータ共有方式  
○長澤悠貴 (名工大), 毛利公美 (岐阜大), 福田洋治 (愛知教育大), 白石善明 (名工大)
- 6 揺れ, 移動を考慮した非常時可視光通信システムの改良と実装  
○原山拓士, 高田政裕, 塚田晃司 (和歌山大)
- 7 発光色の変化による非常時通信システムの改良と実装  
○高田政裕, 原山拓士, 塚田晃司 (和歌山大)
- 8 MANET を用いた地図情報把握  
○清水敬太, 三好 力 (龍谷大)

学生セッション [4V 会場] (3月7日(水) 15:30~17:30)

災害時通信 (2) 座長 横山 輝明 (サイバード)

- 1 避難所 SNS の提案と情報共有の伝達特性  
○大上 藍, 村田嘉利, 高山 毅, 佐藤永欣 (岩手県大)
- 2 避難所 SNS を利用したメッセージ通信システムの提案とその伝送特性  
○加藤大樹, 村田嘉利, 高山 毅, 佐藤永欣 (岩手県大)
- 3 災害時を考慮したアンテナ指向性制御機能付き移動中継ノードによる無線通信システムの構築  
○鈴木稔浩, 柴田義孝 (岩手県大)
- 4 劣悪な通信環境における Delay Tolerant Networking プロトコルを用いたビデオフレーム転送システム  
○石井雄也, 柴田義孝, 橋本浩二 (岩手県大)
- 5 DTN アーキテクチャを利用したデータ集配システムの提案と評価・有限ストレージを持つ高信頼な低速移動体による -  
○橋口裕太, 奥田隆史, 井手口哲夫, 田 学軍 (愛知県大)
- 6 (講演取消)
- 7 通信途絶環境を考慮した分散型災害情報共有システム  
○佐々木豊, 柴田義孝, 橋本浩二 (岩手県大)

学生セッション [5V 会場] (3月8日(木) 9:30~12:00)

スマートフォン・タブレット端末応用 (1) 座長 深澤 佑介 (NTT ドコモ)

- 1 スマートフォンの搭載センサと近距離通信を利用したマナーモード領域識別アルゴリズムの設計  
○矢嶋 航, 佐藤 喬, 荒堀喜貴, 多田好克 (電通大)

- 2 Android における NTLM 認証を可能とする Web プロキシアプリの実装  
○柿 祐輔, 後藤浩行, 齋藤孝道 (明大)

- 3 無線 LAN を用いたスマートフォン近傍ユーザ探知アプリケーションの試作  
○有馬怜文, 山本知典, 上原雄貴, 武田圭史, 村井 純 (慶大)

- 4 Android 端末におけるタッチ操作の改善についての研究  
○西尾孝彦, 鈴木雄貴, 伊藤暢浩 (愛知工大)

- 5 学習者主体のモバイルデバイスを活用した知識の構造化  
○渋谷俊介, 伊藤一成, 増永良文, 矢吹太郎, 佐久田博司 (青学大)

- 6 (講演取消)

- 7 電子マネー支出の自動入力をサポートする Android 用家計簿アプリケーションの開発  
○小野 允, 寺澤卓也 (東京工科大)

- 8 スマートフォンのセンサーを用いた家電制御  
○井上佑樹, 三好 力 (龍谷大)

- 9 指尖脈波解析を用いたユーザの生体情報に適応動作するソフトウェア構築の提案  
○新井 駿, 尾平和久, 福原 遼, 戸辺義人 (電機大), 雄山真弓 (阪大)

学生セッション [6V 会場] (3月8日(木) 14:30~16:30)

スマートフォン・タブレット端末応用 (2) 座長 横田 英俊 (KDDI 研)

- 1 手指が不自由な人向けのジェスチャリモコンの開発  
○小野寺真悦, 村田嘉利, 佐藤永欣, 高山 毅 (岩手県大)

- 2 プローブ傘による降雨マップシステムの作成手法に関する研究  
○細川茂樹, 藤波香織 (農工大)

- 3 発熱症状における解熱剤使用マネジメントシステムの開発  
○児玉倫樹, 高橋秀拓, 高橋知央, 皆月昭則 (釧路工大)

- 4 救急医療現場における遠隔医療画像伝送システムのカメラ操作における改善研究  
○児玉倫樹, 皆月昭則 (釧路工大)

- 5 iPad 方位センサを用いたラウンドビュー写真の検討  
○長濱 翔, 井上太介, 大谷 真 (湘南工科大)

- 6 スマートフォンで再生された音楽で街を彩る Web サービス「音彩街(ねいろがい)」  
○嶋貫聖羅 (東京工科大), 岡崎博樹 (手仕事工房), 上林憲行 (東京工科大)

- 7 スマートフォンを用いた生活活動時の消費カロリー計算手法の提案  
○松林静輝, 高橋 修, 白石 陽, 中村嘉隆 (はこだて未来大)

- 8 (講演取消)

- 9 (講演取消)

学生セッション [1W 会場] (3月6日(火) 9:30~12:00)

コンシューマ・デバイス & システム 座長 美原 義行 (NTT)

- 1 スマートサイネージシステムにおけるオフライン Web コンテンツ再生機構の実現とその応用  
○鈴木亮詞, 今井翔太, 白松 俊, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)

- 2 インベントリ証明書によるアクセス制御システムの設計と実装  
○脇田知彦 (名工大), 福田洋治 (愛知教育大), 毛利公美 (岐阜大), 白石善明 (名工大), 野口亮司 (豊通シスコム)

- 3 見る人の関心度を利用したデジタルサイネージの試み  
○中山翔太, 太田高志 (東京工科大)

- 4 インタラクティブなインターネット放送における視聴者リクエストに基づいたカメラワーク支援手法の提案  
○高野 大, 齋藤義仰, 村山優子 (岩手県大)

- 5 狭帯域環境化でのスマートフォンを用いたインターネット静止画放送システムの検討  
○中野裕貴, 齋藤義仰, 村山優子 (岩手県大)

- 6 快適性と省エネルギーを両立する空調出力制御アルゴリズムの提案  
○李 絢, 賀 新剛, 峰野博史 (静岡大)

- 7 無線センサネットワークを用いた施設園芸環境向け制御システムの開発と評価  
○串岡 聡, 松野智明, 鈴木良典 (静岡大), 今原淳吾, 鈴木基嗣 (静岡県農林技術研究所), 峰野博史 (静岡大)

- 8 箸を用いた導電性による摂食動作検知手法の提案  
○山岸勇貴, 雨宮寛敏, 金田重郎 (同志社大)

- 9 視覚運動変換型の認知機能計測用 Web システムの開発  
○杉浦 圭 (名工大), 福田洋治 (愛知教育大), 毛利公美 (岐阜大),  
中井敏晴 (国立長寿医療研究センター研究所),  
田中あゆ子 (国立保健医療科学院), 白石善明 (名工大)

学生セッション [2W 会場] (3月6日 (火) 15:00 ~ 17:30)

安全運転支援 座長 木谷 友哉 (静岡大)

- 1 (講演取消)  
2 A Study of Data Processing Platform by MapReduce for Driving Environment Information  
○楊 世偉, 光川真由, 島田秀輝, 佐藤健哉 (同志社大)  
3 自動車運転支援システムのための単眼車載カメラによる前方車両検出  
○藤岡明紘, 中村 靖 (広島工大)  
4 スマートフォンを用いたセンサログデータの収集と車線推定への活用  
○牧野友哉, 伊藤嘉博, 荒井健次, 中村嘉隆,  
白石 陽, 高橋 修 (はこだて未来大)  
5 局所特徴を用いた横断歩道上の非通常物体の検出  
○佐野智哉, 山田啓一 (名城大)  
6 携帯端末を用いた自動車の乗り心地向上を目指す運転支援システム  
○高橋陽介 (東京工科大), 井垣 宏 (阪大), 井上亮文 (東京工科大)  
7 RoboCar を利用した車々間・路車間通信による安全運転支援システムの検討  
○打田祐規, 光川真由, 島田秀輝, 佐藤健哉 (同志社大)  
8 小型無人移動体との連携による個人用知的移動体の安全走行  
○渡邊 賢, 長尾 確 (名大)  
9 ヘッドアップ型情報提示装置を用いた、初心運転者のための合流支援システム  
○中村有貴, 仲谷善雄 (立命館大)

学生セッション [3W 会場] (3月7日 (水) 9:30 ~ 12:00)

アドホックネットワーク 座長 椋垣 博章 (電機大)

- 1 双方向通信が可能な無線メッシュネットワークのインターネット接続方法  
○松尾辰也, 鈴木秀和, 旭 健作, 渡邊 晃 (名城大)  
2 隣接端末数に基づく端末の分布の偏りを考慮した経路構築手法の一検討  
○徳丸翔吾, 稲葉健吾, 油田健太郎 (大分高専), 岡崎直宣 (宮崎大)  
3 隣接端末数を用いた経路構築手法における輻輳制御方式の一検討  
○武藤一史, 稲葉健吾, 油田健太郎 (大分高専), 岡崎直宣 (宮崎大)  
4 アドホックネットワークにおけるストロングビジートーンの導入とバックオフアルゴリズム修正の提案  
○伊藤智洋, 旭 健作, 渡邊 晃 (名城大)  
5 ネットワーク環境における最適ゾーン半径を考慮した MANET 用ゾーン型ルーティングプロトコル  
○佐藤佑樹, 小山明夫 (山形大)  
6 通信状態を考慮した経路選択を可能にするアドホックネットワークプロトコルの提案  
○三嶋勇太, 旭 健作, 渡邊 晃 (名城大)  
7 近距離アドホック無線通信における高速/高信頼性トランスポートプロトコルの提案と実装  
○高橋大斗, 高橋 修, 白石 陽, 中村嘉隆 (はこだて未来大)  
8 Android でのアドホック通信の性能評価  
○星野晃良 (東京工科大)  
9 集団行動支援のための位置情報頒布方式における適正なパラメータ値の算出  
○植田健司, 樋口昌宏 (近畿大)  
10 MANET 用可視化システムの提案と評価 ~ トポロジーと各種情報の可視化 ~  
○佐藤翔平, 小山明夫 (山形大)

学生セッション [4W 会場] (3月7日 (水) 15:30 ~ 17:30)

ハンドオーバー・モビリティ 座長 木村 成伴 (筑波大)

- 1 常時接続可能な無線インタフェースを用いた Mobile IPv6 のための垂直ハンドオーバー処理方式  
○李 斌, 木村成伴, 海老原義彦 (筑波大)  
2 DDNS サーバからの通知を用いた MIPv6 のハンドオーバー処理方式  
○友成貴之, 木村成伴, 海老原義彦 (筑波大)

- 3 移動端末の無線 LAN ハンドオーバー時における特殊 TCP スループット特性の評価  
○森内彩加, 安藤玲未 (お茶の水女子大), 村瀬 勉 (NEC),  
小口正人 (お茶の水女子大)

- 4 NTMobile を用いた携帯電話網とアドホックネットワーク間のシームレスハンドオーバーの提案  
○鈴木一弘, 鈴木秀和 (名城大), 内藤克浩 (三重大),  
渡邊 晃 (名城大)

- 5 IPv4/IPv6 混在環境における NTMobile の検討  
○上野尾一真, 鈴木秀和 (名城大), 内藤克浩 (三重大),  
渡邊 晃 (名城大)

- 6 NTMobile における SIP 通信の実現手法  
○吉岡正裕, 鈴木秀和 (名城大), 内藤克浩 (三重大),  
渡邊 晃 (名城大)

- 7 NTMobile におけるアドレス無変換型 RS の検討  
○土井敏樹, 鈴木秀和 (名城大), 内藤克浩 (三重大),  
渡邊 晃 (名城大)

- 8 SIP モビリティを用いたネットワーク主導型ハンドオーバーの提案  
○織田喜雄, 中村嘉隆, 白石 陽, 高橋 修 (はこだて未来大)

学生セッション [5W 会場] (3月8日 (木) 9:30 ~ 12:00)

ネットワーク 座長 北形 元 (東北大)

- 1 Mac OS X における省電力化の為に宛先 IP アドレスを考慮した Gigabit Ethernet の通信速度切り替え方式  
○村田 陵, 木村成伴, 海老原義彦 (筑波大)  
2 リンクパワーオフによるネットワークの省電力化の検討  
○蜂巣友也, 大関和夫, 平川 豊 (芝浦工大)  
3 (講演取消)  
4 大規模な異種データ解析のためのスケーラブルな情報基盤  
○和良品友大, 林 隆史 (会津大)  
5 DHT における各ノードの通信成功率と通信履歴を用いた悪意のあるノードの検出手法の提案  
○近澤文晃, 久保田光一 (中大)  
6 KVS におけるノード削除性能の評価  
○小林宙記, 山口実靖, 堀内浩基 (工学院大)  
7 階層型 MIPv6 における自律的負荷分散方式の改善法  
○魯 文心, 井手口哲夫, 奥田隆史, 田 学軍 (愛知県大)  
8 NAT64/DNS64 環境下におけるトランスレーションの失敗における回避方法の設計と実装  
○佐原弘太郎, 伊藤暢浩 (愛知工大)  
9 IPv6 経路制御ヘッダを利用したマルチパス通信の実装-経路競合を考慮した優先制御-  
○可児友邦, 田中昌二, 原山美知子 (岐阜大)

学生セッション [6W 会場] (3月8日 (木) 14:30 ~ 16:30)

近距離無線・センサネットワーク 座長 神崎 映光 (阪大)

- 1 Arduino を用いた屋内位置情報検出方式の検討  
○坂内良太, 勝間涼平, 五十嵐公美, 辻 秀一 (東海大)  
2 電波強度に基づく位置推定技術を用いた無線ネットワークの可視化に関する検討  
○金丸幸弘, 鈴木秀和 (名城大)  
3 遠隔地に離散した近距離無線デバイスのシームレス接続に関する検討  
○津田一磨, 鈴木秀和 (名城大)  
4 SNMP を用いたメッシュ型無線センサネットワークトポロジ管理手法の提案  
○畠 基成, 鈴木秀和 (名城大)  
5 タッチタグを活用した医療過誤防止システムの提案  
○生田脩二, 村田嘉利, 佐藤永欣, 高山 毅 (岩手県大)  
6 アンビエントセンシングに基づくロボット安全のための人物存在推定  
○辻井将央, 青木大樹, 橋本 学 (中京大)  
7 環境認識型ネットワークを利用した信頼性の高い害獣検知システム  
○柴田頼紀, 杉浦彰彦 (静岡大), 小林秀幸 (仙台高専),  
中井一文, 江崎修央 (鳥羽商船高専),  
山端直人, 梶谷 斉 (三重県農業研究所)

- 8 グループ単位の待ち時間分割制御と ACK 待ち時間の最適化による IEEE802.15.4 の拡張  
○松下直樹, 杉浦彰彦 (静岡大), 小林秀幸 (仙台高専)

学生セッション [1X 会場] (3月6日 (火) 9:30 ~ 12:00)

- センサネットワーク 座長 村松 茂樹 (KDDI 研)
- 1 Artificial Bee Colony アルゴリズムを用いた無線センサネットワークにおけるシンクノードの最適配置手法  
○後藤 典, 能登正人 (神奈川大)
- 2 k 重被覆における省電力化のためのレイヤ作成手法の検討  
○山内龍之介, 江藤 大, 油田健太郎 (大分高専), 岡崎直宣 (宮崎大)
- 3 無線センサネットワーク用ミドルウェアの検討  
○竹島亮祐, 久保田稔 (千葉工大)
- 4 無線センサーネットワークにおける柔軟な動的機能割り当て法  
○小林広治, 宮崎敏明 (会津大)
- 5 赤外線センサを用いた室内の人数と移動軌跡の同時推定  
○笠間勇輝, 宮崎敏明 (会津大)
- 6 センサネットワークにおけるスケラビリティを考慮したクラスタ間マルチホップネットワークの改良  
○窪田裕樹, 横田裕介, 大久保英嗣 (立命館大)
- 7 マルチシンク無線センサネットワークにおけるパケット送出のスケジューリング  
○五十島洋, 宮崎敏明 (会津大)
- 8 TinyOS へのマルチタスクスケジューラの実装  
○山口翔一, 宮崎敏明 (会津大)
- 9 無線センサネットワークにおけるプログラムの動的配備方式  
○畑谷進太, 久保田稔 (千葉工大)

学生セッション [2X 会場] (3月6日 (火) 15:00 ~ 17:30)

- マルチメディア符号化 座長 高木 幸一 (KDDI 研)
- 1 複数ユーザに対応したマルチビュービデオのトラフィック削減の基礎方式について  
○藤橋卓也, 潘 子圓, 渡辺 尚 (静岡大)
- 2 (講演取消)
- 3 SVM 法における低レート JPEG 画像の認識に適した量子化テーブル  
○蝦名弘紀, 杉浦彰彦 (静岡大)
- 4 H.264/AVC 符号化を用いた認識精度向上のための量子化テーブル改良  
○坂田敬悟, 杉浦彰彦 (静岡大)
- 5 忠実色再現を考慮した適応型符号化方式の検討  
○平木裕也, 杉浦彰彦 (静岡大)
- 6 アンカリング効果を考慮した符号化における動き量の影響  
○宮地祥子, 杉浦彰彦 (静岡大)
- 7 心理特性を利用した動画像符号化方式における主観評価法  
○山本奈央, 宮地祥子, 猪島みなみ, 杉浦彰彦 (静岡大)
- 8 動画像符号化方式における心理特性と S/N 依存性との関係  
○猪島みなみ, 宮地祥子, 杉浦彰彦 (静岡大)

学生セッション [3X 会場] (3月7日 (水) 9:30 ~ 12:00)

- 歩行者ナビゲーションと観光 座長 田 学軍 (愛知県大)
- 1 寄り道経路推薦方式  
○石倉頌子, 小林亜樹 (工学院大)
- 2 移動プランを考慮したスケジューリングシステムの試作  
○高比良論, 金森 亮, 伊藤孝行 (名工大)
- 3 高低差に基づく疲労度を考慮した徒歩ルート推薦システムの実装  
○長尾聡輝, 新谷虎松, 大園忠親, 白松 俊 (名工大)
- 4 仮想落書きを用いた観光地への誘導支援システム  
○Dinh Pham Quang, 益田真輝, 仲谷善雄 (立命館大)
- 5 個人の嗜好にカスタマイズされたランドマークを用いた観光ナビの提案  
○高木修一, 益田真輝, 仲谷善雄 (立命館大)
- 6 四コマ物語によって観光地の魅力を引き出すツールの提案  
○益田真輝, 仲谷善雄 (立命館大)
- 7 FeliCa 乗車券によるリアルタイムバス運行情報を用いた目的地的誘導システム  
○大信田祥代, 佐藤永欣, 高山 毅, 村田嘉利 (岩手県大)
- 8 ZigBee センサネットワークにおけるバス位置情報配送手法の検討  
○横山和希, 鈴木秀和, 松本幸正 (名城大)

- 9 路線バスの運行状況とバス利用者の歩行速度を考慮したナビゲーションシステムの提案  
○小菅王春, 鈴木秀和, 松本幸正 (名城大)

学生セッション [4X 会場] (3月7日 (水) 15:30 ~ 17:30)

- ネットワーク管理・運用 座長 山井 成良 (岡山大)
- 1 Web 情報のネットワーク分散型アーカイビング手法  
○大門和斗, 矢吹太郎, 佐久田博司 (青学大)
- 2 QoS に基づいたクラスタリングによる Web サービスの選択  
○中島 健, 高田眞吾 (慶大)
- 3 サーバ負荷分散における OpenFlow を用いた省電力法  
○石井 翔, 下田晃弘, 後藤滋樹 (早大)
- 4 時系列解析を用いた省電力ルーティング  
○川口 敬, 後藤滋樹 (早大)
- 5 フロークラスタ記述言語を有するネットワークトラフィック検査システムの提案  
○大見浩明, 高橋直久, 片山喜章, 立岩佑一郎 (名工大)
- 6 侵入検知機能を用いたフロークラスタ診断支援システム  
○青木 滋, 高橋直久, 片山喜章, 立岩佑一郎 (名工大)
- 7 メールアドレスを公開鍵とする Web ベース機密情報伝送システムの試作  
○川村 舞, 伴 拓也, 白石善明 (名工大), 土井 洋 (情報セキュリティ大), 毛利公美 (岐阜大), 福田洋治 (愛知教育大), 岩田 彰 (名工大), 野口亮司 (豊通シスコム)
- 8 LAN 接続機器の配置図管理補助システムの実現について  
○長谷川皓一, 高橋直久, 片山喜章, 立岩佑一郎 (名工大)

学生セッション [5X 会場] (3月8日 (木) 9:30 ~ 12:00)

- ホームネットワーク・情報家電 座長 野一色 裕人 (KDDI 研)
- 1 クラウド指向情報アプライアンス：家電ネットワークにおける機能協調分散  
○中濱正宜, 西村俊和 (立命館大)
- 2 3D センサを用いた個人識別  
○岩井大輔, 三好 力 (龍谷大)
- 3 掃除機の掃引履歴可視化システム  
○田中寛子 (東京工科大), 井垣 宏 (阪大), 井上亮文 (東京工科大)
- 4 複数人家族向けのホームネットワークシステムの構築  
○中嶋直史, 三好 力 (龍谷大)
- 5 NTMobile ルータを用いた遠隔 DLNA 通信システムの提案  
○鈴木将也, 鈴木秀和 (名城大), 内藤克浩 (三重大), 渡邊 晃 (名城大)
- 6 NTMobile を拡張した遠隔 DLNA 通信システムの実現手法  
○清水皓平, 鈴木秀和 (名城大), 内藤克浩 (三重大), 渡邊 晃 (名城大)
- 7 既存の赤外線リモコンによる高度な家電制御に関する検討と実装  
○若原康将, 片山喜章, 高橋直久, 山本大介 (名工大)
- 8 3次元空間でのモーション認識を用いた家電制御の手法と実装  
○金武右樹, 高橋直久, 片山喜章, 山本大介 (名工大)
- 9 家庭用リモコンのモニタリングを用いた高機能化  
○澤田晃秀, 三好 力 (龍谷大)

学生セッション [6X 会場] (3月8日 (木) 14:30 ~ 16:30)

- ウェアラブル・ライフログ 座長 伊藤 貴之 (お茶の水女子大)
- 1 Android 端末による消費エネルギー推定と Web サービスを用いた健康支援システムの提案  
○岩井 峻, 大塚 航, 篠原正幸, 秋山征己, 田中 博 (神奈川工科大), 小川 誠, 太田龍督 (foo.log)
- 2 各種センサを統合した行動状態推定機能を持つライフログシステムの Android への実装と評価  
○大久保成晃, 菊池浩明 (東海大)
- 3 スマートフォンを利用した弱者を見守るシステム TLIFS の提案  
○土井善貴, 加藤大智, 大野雄基, 山岸幸幸, 手嶋一訓, 鈴木秀和, 山本修身, 渡邊 晃 (名城大)
- 4 装着型無線加速度センサ機器による高齢者の動作の特徴抽出  
○佐野道生, 久保田稔 (千葉工大)

- 5 自転車走行者による路面情報抽出機構の設計  
○多田真之, 並木 豊, 戸辺義人 (電機大)
- 6 加速度・角速度を用いたセンサデバイスの装着位置・方向推定手法  
○渡辺穂高, 梶 克彦, 河口信夫 (名大)
- 7 装着型センサを活用した行動情報によるユーザ移動経路推定  
○小川延宏, 岩崎陽平, 梶 克彦, 河口信夫 (名大)
- 8 農作業記録における音声入力の有効性評価  
○住澤卓也, 伊藤克巨 (法大)
- 2 多視点ビデオ・音声 IP 伝送における複数視点同時配信方式が QoE に及ぼす影響  
○山本 誠, 布目敏郎, 田坂修二 (名工大)
- 3 視聴ユーザ間の協調によりシーン飛びを改善したリアルタイムストリーミングシステム  
○岸本健介, 大島浩太, 寺田松昭 (農工大)
- 4 QoE ベースビデオ出力方式 SCS による音声・ビデオインタラクティブ IP 通信の QoE 向上  
○横井友洋, 田坂修二, 布目敏郎 (名工大)

学生セッション [1Y 会場] (3月6日 (火) 9:30 ~ 12:00)

ライフログ 座長 横山 浩之 (KDDI 研)

- 1 User Defined Smart Grid Solution (addressing the challenges faced in off grid communities that rely on renewable energy solutions)  
○Yusuf Oladipupo Bilesanmi, Ye Kyaw Thu, 浦野義頼 (早大)
- 2 個人情報のポータビリティを考慮したサービスプラットフォームの検討  
○板井龍也, 橋本和夫, 大澤由憲 (東北大)
- 3 Web ブラウザにおけるスクロール量ログを用いたオートライフログの試作  
○山本寛悟, 納富一宏 (神奈川工科大)
- 4 独居家庭における家電の消費電力ログを利用した生活情報の推定  
○山本 侑, 澤本 潤, 瀬川典久, 杉野栄二 (岩手県大)
- 5 家電操作ログを利用した複数人の屋内位置・行動推定システム  
○松井佑司 (東京工科大), 井垣 宏 (阪大), 井上亮文 (東京工科大)
- 6 ライフログ解析アプリケーションにおける入力データ品質評価とスマートハウスにおける実データ収集  
○山下暁香, 岩木紗恵子, 小口正人 (お茶の水女子大)
- 7 複数のコミュニケーションメディアを対象としたディコンストラクションサービスの提案  
○関口 宰 (東京工科大), 岡崎博樹 (手仕事工房), 上林憲行 (東京工科大)
- 8 オフィス内センサ環境を利用したワーカーの行動モデル化とその分析  
○佐藤裕作, 岡田将吾 (東工大), 神谷祐樹 (NEC), 新田克己 (東工大), 國枝和雄, 山田敬嗣 (NEC)
- 9 SNS 上のつながりを利用したライフログ共同構築システムの提案  
○奥山育乃, 佐久田博司, 矢吹太郎 (青学大)
- 10 緊急災害時に有用な家族間の個人情報共有システムの提案と実装  
○長谷川友香, 小口正人 (お茶の水女子大)

学生セッション [2Y 会場] (3月6日 (火) 15:00 ~ 17:30)

P2P ネットワーク 座長 桧垣 博章 (電機大)

- 1 センサネットワークのためのウェブベースの分散データ管理システム  
○鳥居隆弘, 横田裕介, 大久保英嗣 (立命館大)
- 2 スーパーピア型 P2P ネットワークにおけるインデックス再構成手法  
○Ky NguyenQuang, 黄 宏軒, 川越恭二 (立命館大)
- 3 シーダを保証する Location Based Clustering による P2P 動画配信  
○高田和也, 後藤滋樹 (早大)
- 4 BitTorrent における局所性を優先したピア選択法  
○野間敬太, 後藤滋樹 (早大)
- 5 Flooding 検索におけるピアの嗜好を用いた P2P ネットワーク再構築手法の提案  
○森 一馬, 中村健二, 小柳 滋 (立命館大)
- 6 P2P ネットワーク情報の拡散及び消滅特性の解析  
○辻 琢真, 小林郁太郎 (東大)
- 7 P2P 上の評判値を用いた悪意のあるコンテンツ抑制手法の評価  
○大野泰弘, 江藤 大, 油田健太郎 (大分高専), 岡崎直宣 (宮崎大)
- 8 ノードの離脱が Peer-to-Peer Web キャッシュの性能に与える影響に関する一考察  
○大島啓伸, 梅澤 猛, 大澤範高 (千葉大)

学生セッション [3Y 会場] (3月7日 (水) 9:30 ~ 12:00)

マルチメディア通信と分散処理 座長 佐藤 永欣 (岩手県大)

- 1 音声ベース映像短縮システムへの物体追跡アルゴリズムの適用  
○本村直也 (法大), 青柳滋己 (NTT), 廣津登志夫 (法大)

- 5 力覚メディア・サウンド・ビデオを用いた遠隔合奏におけるネットワーク遅延が QoE に及ぼす影響  
○曾 キ, 岩田 海, 石橋 豊, 福嶋慶繁, 菅原真司 (名工大)
- 6 力覚を利用したネットワーク型リアルタイムゲームにおける予測を用いた適応型 Δ 因果順序制御方式の効果  
○楠瀬祐司, 石橋 豊, 福嶋慶繁, 菅原真司 (名工大)
- 7 接近検知無線システムを利用した猿の出現予測手法の提案  
○石倉功規, 杉浦彰彦 (静岡大), 小林秀幸 (仙台高専), 中井一文, 江崎修央 (鳥羽商船高専), 山端直人, 糞谷 斉 (三重県農業研究所)
- 8 山間部における RSSI を用いた進行ルート推定システムの提案  
○中山 優, 杉浦彰彦 (静岡大), 小林秀幸 (仙台高専), 中井一文, 江崎修央 (鳥羽商船高専), 山端直人, 糞谷 斉 (三重県農業研究所)
- 9 インターネットを使った複数ロボットの分散処理フレームワーク-RSNP を利用した Jeeves フレームワーク  
○五十嵐登, 中川幸子, 大山直人, 清水将吾, 成田雅彦, 加藤由花 (産業技術大)
- 10 インターネットを使った複数ロボットの分散処理フレームワークにおける分散アルゴリズムの提案  
○角田龍太, 齊藤由香利, 阪口和明, 中山央士, 加藤由花, 清水将吾, 成田雅彦 (産業技術大)

学生セッション [4Y 会場] (3月7日 (水) 15:30 ~ 17:30)

センサネットワーク・ロボットシステム・通信

座長 岩本 健嗣 (富山県大)

- 1 点滅光に関する視覚情報を用いた耐移動性を持つ指向性無線通信の基礎検討  
○石川晃平, 石原 進 (静岡大)
- 2 複数の移動ノードを含む統合センサネットワークのテストベッドの試作  
○前川 寛, 石原 進 (静岡大)
- 3 流れるセンサネットワークのノード群分断を考慮した通信方法に関する考察  
○三竹一馬, 石原 進 (静岡大)
- 4 セーリング競技の特徴を考慮した効率的なデータ収集手法の提案・評価  
○坂本将光, 平井貴之, 田中勇祐, 塚田晃司 (和歌山大)
- 5 セーリング競技の特徴を考慮した効率的なデータ収集手法の実装  
○平井貴之, 坂本将光, 田中勇祐, 塚田晃司 (和歌山大)
- 6 アドホックネットワークを用いた、被災地における災害救助ロボットの自動エリア探索手法とその評価  
○池嶋隆史, 三好 力 (龍谷大)
- 7 飛行ロボットによる防除システムの構築  
○杉山静香, 洞内康行, 新田益大, 加藤清敬 (東理大)
- 8 環境地図生成のためのロボット制御手法  
○古屋勇太, 矢吹太郎, 佐久田博司 (青学大)

学生セッション [5Y 会場] (3月8日 (木) 9:30 ~ 12:00)

コンテキストウェアネス 座長 岩本 健嗣 (富山県大)

- 1 携帯電話の格納場所の判定 ~ 鞆への格納状態の認識 ~  
○河内智志, 藤波香織 (農工大)
- 2 音声のみを用いた屋内歩行者ナビゲーションシステムの検討  
○渡邊翔太, 梶 克彦, 河口信夫 (名大)
- 3 加速度センサを用いたエレベータ区間検出と移動距離推定  
○楊 天輝, 梶 克彦, 河口信夫 (名大)

- 4 デッドレコニング開始前のセンサデータを自動学習に用いた屋内歩幅推定手法の検討  
○三宅孝幸, 新井イスマイル (明石高専)
- 5 機械学習を用いたコンテキストウェアなサービス提供アーキテクチャの提案  
○鈴木健太, 沢田天馬, 中道 上, 青山幹雄 (南山大)
- 6 地磁気・加速度センサを用いた工場でのピッキング作業モニタリングシステム  
○河野 悠, 佐藤永欣, 高山 毅, 村田嘉利 (岩手県大)
- 7 Status++: Activity Tagging Recommendation System for Social Networks  
○福原 遼 (電機大), Matthias Boehmer, Antonio Krueger (Das Deutsche Forschungszentrum für Künstliche Intelligenz), 戸辺義人 (電機大)
- 8 冷蔵庫の利用における節電の動機づけシステムの提案～無駄行動の検出とフィードバック方法の基礎検討～  
○村田哲史, 宗官祥史, 藤波香織 (農工大)
- 9 カクテルバーを想定した人の動作に自動的に反応する表示コンテンツ  
○杉田瑛子, 太田高志 (東京工科大)

学生セッション [6Y会場] (3月8日(木) 14:30～16:30)

- 位置情報検索・行動支援 座長 大内 一成 (東芝)
- 1 MANETを用いた他者の位置情報提供による屋内位置検索  
○井上亮弥, 三好 力 (龍谷大)
- 2 位置情報を重視した情報共有サービスのスマートフォンへの実装  
○鈴木 涼, 川口将吾, 大塚孝信, 伊藤孝行 (名工大)
- 3 電波強度による位置推定機能を利用した校内ナビゲーションシステムの設計  
○高橋光紀, 平石広典 (秋田高専)
- 4 iOS用観光ナビゲーションプラットフォームの開発と足助観光への展開  
○内藤義貴, 菱田隆彰 (愛知工大)
- 5 UD観光情報CMSの拡張  
○荻原勇一, 市川 尚, 窪田 諭, 狩野 徹, 阿部昭博 (岩手県大)
- 6 高齢者の持ち歩きを考慮した見守りシステム「イマドコ・ココ」の提案  
○渡邊 慎, 田島孝治 (岐阜高専)
- 7 携帯端末における計画作成のためのユーザ支援  
○片桐郭順, 伊興田光宏 (千葉工大)
- 8 スマートフォンを用いた行動モデルによる行動支援システム  
○野村篤史, 外畷一登, 小川 均 (立命館大)

学生セッション [1Z会場] (3月6日(火) 9:30～12:00)

- 車載機器とネットワーク 座長 孫 為華 (奈良先端大)
- 1 移動体に搭載する円形回転アンテナを用いたOFDM受信機の受信特性改善に関する一検討  
○荻原宏典, 安川 博 (愛知県大)
- 2 VANETでのネットワーク符号化通信の署名検証回数について  
○松川智己, 山本泰資 (名工大), 毛利公美 (岐阜大), 白石善明 (名工大)
- 3 交差点付近でのゾーン情報共有による車車間方向指定ルーティング手法の検討  
○畑上智彦, 大関和夫, 平川 豊 (芝浦工大)
- 4 車々間通信における情報伝播の不連続性を考慮した制動力保持制御  
○石井亮太, 新井義和, 今井信太郎, 猪股俊光 (岩手県大)
- 5 自動車サービス連携のセキュリティアーキテクチャの提案  
○朝倉知也, 岩井 大, 中道 上, 青山幹雄 (南山大)
- 6 コンピュータシミュレーションによる追突回避のための車々間通信の有効性評価  
○大澤孝直, 井手口哲夫, 奥田隆史, 田 学軍 (愛知県大)
- 7 VANETにおける車両密度を考慮した位置依存情報配信手法の実道路情報を用いた評価  
○中村暢宏, 石原 進 (静岡大)
- 8 二輪車向け車々間通信を実現するためのスマートフォンによる二輪車の車両挙動収集システムの考案  
○神村 吏, 木谷友哉, 渡辺 尚 (静岡大)
- 9 トラフィック理論と実際値データの実践  
○遠藤雅周 (東京工科大)

学生セッション [2Z会場] (3月6日(火) 15:00～17:30)

- Webシステム 座長 熊本 志彦 (千葉工大)
- 1 SNSにおける関係の意味情報モデルの提案  
○細川 翼, 久田晋也, 中道 上, 青山幹雄 (南山大)
- 2 3D空間を利用したブックマーク管理システムの提案  
○辻川 翼, 矢吹太郎, 佐久田博司 (青学大)
- 3 Webブラウザ上でのGPGPUの実現とその応用  
○富澤勇介, 高井昌彰 (北大)
- 4 Symfonyを用いたシステム開発:設計と実装  
○鈴木美穂, 石井 涼, 小野寺博之, 大谷 真 (湘南工科大)
- 5 (講演取消)
- 6 Go言語を使ったGAEアプリケーションの開発  
○石井 涼, 鈴木美穂, 大谷 真 (湘南工科大)
- 7 パケットのヘッダ情報を用いた出欠管理システムの構築  
○大矢崇央, 山本知典, 上原雄貴, 武田圭史, 村井 純 (慶大)
- 8 ブックマークレットを用いた既存Webページのリアルタイム編集機構  
○土井達也, 白松 俊, 大岡忠親, 新谷虎松 (名工大)

学生セッション [3Z会場] (3月7日(水) 9:30～12:00)

- 移動体ネットワークプロトコル 座長 藤崎 智宏 (NTT)
- 1 モバイルルータ近接時の無線LAN特性評価とユーザ間公平性の制御方法の提案  
○安藤玲未 (お茶の水女子大), 村瀬 勉 (NEC), 小口正人 (お茶の水女子大)
- 2 無線LAN APにおけるリアルタイム通信のための確率的データ廃棄方式の評価  
○江本奈穂, 木村成伴, 海老原義彦 (筑波大)
- 3 Android端末を用いた複数台無線LAN通信時のTCP輻輳制御アルゴリズムに関する考察  
○三木香央理 (お茶の水女子大), 山口実靖 (工学院大), 小口正人 (お茶の水女子大)
- 4 Android端末を用いた無線LAN通信環境における制御ミドルウェア導入  
○平井弘実, 三木香央理 (お茶の水女子大), 山口実靖 (工学院大), 小口正人 (お茶の水女子大)
- 5 Android端末におけるアプリケーションに依存する通信特性に関する一検討  
○熊谷菜津美, 平井弘実, 三木香央理 (お茶の水女子大), 山口実靖 (工学院大), 小口正人 (お茶の水女子大)
- 6 多階層MAPを用いたHMIPv6における管理端末数の分散のためのMAP管理エリア変更方式  
○小野寺弘晃, 木村成伴, 海老原義彦 (筑波大)
- 7 HMIPv6のためのヘッダサイズ削減方式  
○野上航平, 木村成伴, 海老原義彦 (筑波大)
- 8 マルチレート無線LAN実機におけるAP選択方法の検証  
○岩木紗恵子 (お茶の水女子大), 村瀬 勉 (NEC), 小口正人 (お茶の水女子大)
- 9 メッセージの宛先を位置で指定するAPのためのネットワークプラットフォーム  
○松本和也, 松垣博章 (電機大)

学生セッション [4Z会場] (3月7日(水) 15:30～17:30)

- 地図情報 座長 内山 彰 (阪大)
- 1 運転手の特性に基づく駐車場価格決定手法の提案  
○橋本 創, 金森 亮, 伊藤孝行 (名工大)
- 2 被災者心理を考慮した災害時道路推薦システム  
○小野一樹, 仲谷善雄 (立命館大)
- 3 全方位カメラと車載センサを用いた道路情報リアルタイム配信システム  
○勝田匡平, 柴田義孝, 橋本浩二 (岩手県大)
- 4 集合知としての走行軌跡により地図を更新するカーナビゲーションにおける自動車用信号機位置推定手法  
○佐々木貴済, 佐藤永欣, 高山 毅, 村田嘉利 (岩手県大)
- 5 屋内における3次元GISのための自動地図生成  
○尾崎宏樹, 渡邊 賢, 長尾 確 (名大)
- 6 構内3次元経路案内システムにおける案内データ構築支援  
○桐生翔太, 久保田光一 (中大)

- 7 情報共有を目的とした防災マップシステムの試作  
○岡部友紀, 田中穩識, 納富一宏 (神奈川工科大)

学生セッション [5Z会場] (3月8日(木) 9:30 ~ 12:00)

- 省電力・センサネットワーク 座長 石原 進 (静岡大)
- 省電力を実現する無線通信における送信電力制御方式の提案とその評価  
○山本英生, 井手口哲夫, 奥田隆史, 田 学軍 (愛知県大)
  - モバイルデバイス間における省電力を考慮したファイル同期方式の実装  
○高見澤拓郎 (電通大), 鶴岡行雄 (NTT), 佐藤 喬, 多田好克 (電通大)
  - センサネットワークのためのスリープモードを考慮したAODVプロトコルの改良  
○Enkhbayar Ganbaatar, 木村成伴, 海老原義彦 (筑波大)
  - RPLを改良した同期型省電力ルーティングプロトコルの実装と評価  
○鈴木良典, 松野智明, 申岡 聡 (静岡大), 今原淳吾, 鈴木基嗣 (静岡県農林技術研究所), 峰野博史 (静岡大)
  - 環境発電型WSNにおけるデータ到達率向上方式について  
○稲葉友紀, 渡辺 尚 (静岡大)
  - 地磁気・加速度センサとカメラを用いたスキージャンプ選手の指導者支援システムにおける加速度とカメラを利用した距離推定  
○高間木遼太, 佐藤永欣, 高山 毅, 村田嘉利 (岩手県大)
  - 無線センサネットワークにおける分散化フィルタリングの効率化に関する検討と予備実験  
○中村達也, 中野美由紀, 喜連川優 (東大)
  - 指向性ノード導入による隠れ端末問題回避とその効果  
○今堀仁司, 桧垣博章 (電機大)
  - 異種センサデータの蓄積・管理・可視化のためのフレームワーク  
○後藤 航, 河口信夫, 梶 克彦 (名大)

第3分冊

(セキュリティ)

一般セッション [5E会場] (3月8日(木) 9:30 ~ 12:00)

- 不正アクセス検知・対策 座長 朴 美娘 (神奈川工科大)
- ユーザが意識しないhttp通信の識別について  
○榊原裕之, 桜井鐘治 (三菱)
  - 攻撃文字列の特徴抽出とWebアプリケーションの自動検出へのアプローチ  
○園田道夫, 松田 健, 小泉大城, 平澤茂一 (サイバー大), 辻井重男 (中央大研究開発機構)
  - 文字集合からの特徴抽出によるSQLインジェクション攻撃の自動検出における閾値学習アルゴリズム  
○小泉大城, 松田 健, 園田道夫, 平澤茂一 (サイバー大)
  - SVMを用いたWAFへの異常検知機能の実装と評価  
○伊波 靖 (沖縄高専), 高良富夫 (琉球大)
  - 類似マルウェアとの差分の抽出による正確な挙動の解析手法についての検討  
○羽田大樹, 後藤厚宏 (情報セキュリティ大)
  - スマートデバイスにおけるアプリケーション改竄検知方式に関する検討  
○飯塚 智, 市原尚久, 山田達司 (NTTデータ)

一般セッション [6E会場] (3月8日(木) 14:30 ~ 16:30)

- セキュリティマネジメントと社会 座長 高田 哲司 (電通大)
- プライバシー影響評価実施における社会制度の相違を考慮したハンドブックの開発  
○高坂 定, 石田 茂, 横山 完, 瀬戸洋一 (首都大 産業技術大)
  - 日米韓における大学生のFacebook利用動向に関する研究  
○高橋一哉, 飯島泰裕, 上野 亮 (青学大)
  - パスワードに関する意識の性別による違いについて  
○八城年伸 (安田女子大)
  - 情報セキュリティ技術の安心感における経験差の影響  
○西岡 大, 藤原康宏, 村山優子 (岩手県大)
  - 情報流通の追跡・可視化方式の検討  
○高田慎也 (NTT), 小高祐樹 (警察大), 石本英隆 (NTT)

- 6 PCのセキュリティ状況からみた学内LAN運用に関する考察  
○石坂 徹, 石田純一, 高木 稔, 若杉清仁, 松前 薫 (室蘭工大)

一般セッション [1F会場] (3月6日(火) 9:30 ~ 12:00)

- システムセキュリティ (1) 座長 毛利 公一 (立命館大)
- (講演取消)
  - シースルータイプ有機ELディスプレイを用いた盗撮防止方式の提案  
○山田隆行 (総研大), 合志清一 (工学院大), 越前 巧 (総研大/国立情報学研)
  - 直交配列に基づくAND結託耐性符号のレート改善法  
○八木秀樹 (電通大)
  - ワнтаイムパッド携帯電話システムの開発  
○柴田陽一, 坂上 勉 (三菱)
  - 秘匿性を持つIDの効率的生成方式  
○小山武士, 松尾俊彦, 嶋田浩明 (NTTデータ)
  - 検索可能暗号におけるハフマン符号を利用した索引手法  
○森 拓海, 平野貴人, 服部充洋, 伊藤 隆, 松田 規 (三菱)

学生セッション [6Z会場] (3月8日(木) 14:30 ~ 16:30)

- 不正アクセス検知・対策 座長 土井 洋 (情報セキュリティ大)
- シグネチャ型侵入検知システムにおける類似シグネチャの自動生成による未知攻撃検出手法  
○川崎孝弘, 服部 峻 (東京工科大), 久保村千明 (山野美容芸術短大), 亀田弘之 (東京工科大)
  - サーバの配信コードをクライアントに動的実行させてサーバで動作検証できる動的コードの配信・実行・検証機構  
○佐々木啓, 脇田知彦 (名工大), 福田洋治 (愛知教育大), 毛利公美 (岐阜大), 白石善明 (名工大), 野口亮司 (豊通シスコム)
  - 効率的なマルウェア自動収集環境の構築  
○吉原大道, 碓井利宣, 武田圭史, 村井 純 (慶大)
  - サブルーチンの静的解析に基づくマルウェア分類手法の提案  
○碓井利宣, 重松邦彦, 武田圭史, 村井 純 (慶大)
  - Android端末をターゲットとしたボットによる被害防止策の提案  
○戸田尚希, 鈴木秀和, 渡邊 晃 (名城大)
  - Androidアプリケーション動作時に安全性を高める動的制御に関する検討  
○林 里香, 後藤厚宏 (情報セキュリティ大)
  - Pushback方式によるIPトレースバックの検知範囲の拡張に関する検討  
○岩崎祐也, 朴 美娘 (神奈川工科大)
  - re-inviteメッセージ偽装攻撃を考慮したSIPセッション確立方式  
○岡藤将也, 木村成伴, 海老原義彦 (筑波大)

学生セッション [1ZA会場] (3月6日(火) 9:30 ~ 12:00)

- 暗号・プロトコル 座長 北澤 繁樹 (三菱)
- RSA暗号の復号計算が特に速い秘密鍵に関する研究  
○加藤進一 (湘南工科大)
  - IDベース暗号とIDベース署名を用いた配達証明付きデータ送信方式  
○西浦翔平, 白石善明 (名工大), 土井 洋 (情報セキュリティ大), 毛利公美 (岐阜大), 福田洋治 (愛知教育大), 岩田 彰 (名工大)
  - PCクラスタを用いた格子点探索法によるRSA暗号鍵の安全性評価  
○和田拓也, 津田伸生, 永瀬 宏 (金沢工大)
  - 秘密情報を一切保持しないクライアントを利用できる認証プロトコルの提案  
○五島秀典, 鈴木秀和, 渡邊 晃 (名城大)
  - 偽造証明書を用いたフェーミング攻撃の危険性について  
○平井圭佑, 菊池浩明 (東海大)
  - DNSを用いた公開鍵配送方式とその応用に関する研究  
○房野賢一, 中村康弘 (防衛大)
  - オフライン型タイムスタンプシステムのためのJavaによるライブラリ  
○掛井将平 (岐阜大/名工大), 脇田知彦 (名工大), 毛利公美 (岐阜大), 白石善明 (名工大), 野口亮司 (豊通シスコム)
  - MobileIPv6におけるロケーションプライバシーの向上  
○高橋弘行, 藤原 隆 (拓大)

学生セッション [2ZA 会場] (3月6日(火) 15:00～17:30)

システムセキュリティ (2) 座長 菊池 浩明 (東海大)

- 1 関与者の要望を反映したセキュリティ対策選定支援ツールの開発  
○露木敏浩, 佐々木剛史, 勅使河原可海 (創価大)
- 2 仮想計算機モニタを用いたクライアントコンピュータの証拠保全システムの設計と実装  
○小川 拓, 平野 学 (豊田高専)
- 3 属性情報の選択的提示が可能な Shibboleth システムの試み  
○今野真希, 武 佑香, 村上智祐, 齋藤孝道 (明大)
- 4 (講演取消)
- 5 動的テナント解析と OS の連携による情報漏洩防止手法の提案  
○大石達也, 檜山武浩, 瀧本栄二, 毛利公一 (立命館大)
- 6 (講演取消)
- 7 センサーネットワークにおけるワームホールの検出  
○肖 劍華, 荻原 隆 (拓大)
- 8 ユーザモードプロセスからカーネルモードプロセスへ受け渡しするデータを外部秘匿するロード手法  
○義則隆之, 佐藤 剛 (名工大), 福田洋治 (愛知教育大), 毛利公美 (岐阜大), 白石善明 (名工大), 野口亮司 (豊通スコム)

学生セッション [3ZA 会場] (3月7日(水) 9:30～12:00)

認証 座長 西垣 正勝 (静岡大)

- 1 マルチタッチを用いたキーストローク認証手法の提案  
○山田健一朗, 野口敦弘, 納富一宏 (神奈川工科大), 斎藤恵一 (国際医療福祉大)
- 2 ボタンレスで行うリズム認証手法の提案  
○野口敦弘, 高橋雅隆, 納富一宏 (神奈川工科大), 斎藤恵一 (国際医療福祉大)
- 3 透過型および反射型静脈認証システムの開発  
○近藤真司, 服部公央亮, 田口 亮 (名工大), 保黒政大 (中部大), 梅崎太造 (名工大)
- 4 キーボード上に置かれた手指形状画像からの特徴抽出  
○中村孔明, 納富一宏 (神奈川工科大), 斎藤恵一 (国際医療福祉大)
- 5 クラウドサービスの利用者の特定ができる ID ベース暗号方式  
○疇地 悠 (岐阜大/名工大), 毛利公美 (岐阜大), 白石善明 (名工大), 土井 洋 (情報セキュリティ大)
- 6 メールサービスの認証を利用した ID ベース暗号の復号鍵発行手法  
○伴 拓也 (名工大), 毛利公美 (岐阜大), 土井 洋 (情報セキュリティ大), 白石善明 (名工大)
- 7 IP ヘッダへの利用者認証フィールド埋め込み型認証システムの改良  
○加藤 央, 安井浩之, 吉野邦生 (東京都市大)
- 8 複数の端末間での共有管理を実現する ID 管理プラットフォームの提案  
○山本知典, 上原雄貴, 武田圭史, 村井 純 (慶大)

## 第4分冊

## (インタフェース)

一般セッション [2F会場] (3月6日(火) 15:00~17:30)

入出力インタフェース 座長 志築 文太郎 (筑波大)

- 1 線形文字列変換による機械学習型数式入力インタフェースと編集機能の設計  
○福井哲夫 (武庫川女子大)
- 2 眼球運動運動準備電位における一考  
○船瀬新王 (名工大), Andrzej Cichocki (理研), 内匠 逸 (名工大)
- 3 4線式アナログ抵抗膜タッチパネルによるマルチタッチ検出  
○宮原景泰, 鷲野浩之 (三菱)
- 4 聴覚障害学生に授業の雰囲気を与えるシステムの構築  
○下村有子 (金城大), 瀬戸就一 (金城大短大), 南保英孝 (金沢大), 川辺弘之, 杉森公一 (金城大)
- 5 音声認識エンジンの複数実行の効果  
○川辺弘之, 杉森公一 (金城大), 瀬戸就一 (金城大短大), 下村有子 (金城大)
- 6 スマートフォン向け口唇動作映像自動生成アプリケーションの試作  
○宮崎 剛, 山本富士男 (神奈川工科大), 中島豊四郎 (相山女学園大)
- 7 確率モデルに基づくキーボード入力方式  
○萩谷俊幸, 上向俊晃, 加藤恒夫 (KDDI 研)

一般セッション [3F会場] (3月7日(水) 9:30~12:00)

インタフェースの分析・評価 座長 杉原 太郎 (北陸先端大)

- 1 ユーザビリティ定量化による現場適用に向けた SW 評価手法の提案  
○森口昌和, 野田尚志 (NEC ソフト), 池上輝哉, 福住伸一 (NEC)
- 2 プラント運転操作システムにおけるクルー間コミュニケーション支援手法の提案  
○鍵本麻美, 大崎雅代, 上野洋平, 大井 忠 (三菱)
- 3 人間・ロボット対話におけるフェイス脅威度を考慮したインタラクション制御  
○佐野睦夫, 吉永千紘, 吉田祥子, 森本亜美 (阪工大)
- 4 要約筆記品質評価システムにおける書き手のタイプ判別  
○高尾哲康 (富山国際大)
- 5 スクロールとページめくり操作がスマートフォンでのテキストの読みに与える影響: 効果的な電子マニュアルのデザインに向けて  
○深谷拓吾 (国際電気通信基礎技術研究所 / 奈良先端大), 小野 進, 水口 実, 中島青哉, 林真彩子 (フジ印刷), 安藤広志 (国際電気通信基礎技術研究所 / 情報通信研究機構)
- 6 ブログの内容に基づき生育する Blog フラワーの提案  
○小笠原直人, 佐々木静香, 佐藤 究, 布川博士 (岩手県大)

一般セッション [4F会場] (3月7日(水) 15:30~17:30)

かたちの制御 座長 柿本 正憲 (シリコンスタジオ)

- 1 幅の変化する曲線の対話的作成のための凸形状特徴を用いた制約点選択  
○佐藤 信 (岩手大)
- 2 爆発の粒子ベースビジュアルシミュレーションにおける燃焼モデルに関する検討  
○竹下大樹 (秋田高専)
- 3 物体を把持する上肢の姿勢生成手法  
○京田文人, 齋藤 豪 (東工大)
- 4 複数物体の相対的な位置姿勢を考慮した AR 作業支援  
○伊佐元希, 遠藤聡志, 赤嶺有平, 當間愛晃, 山田孝治 (琉球大)
- 5 身体的な観察行為がテレプレゼンスにおける空間認識に与える影響  
○中尾聡志, 大久保雅史 (同志社大)

学生セッション [4ZA会場] (3月7日(水) 15:30~17:30)

生体情報活用インタフェース 座長 田村 弘昭 (神戸大)

- 1 音楽聴取時における感性と脳波の関係調査  
○町田宗丈, 神里志穂子, 野口健太郎 (沖縄高専)
- 2 異なる照明の色温度環境下において創造的思考課題を行う際の携帯型 NIRS による脳活動の計測  
○鷲見祐加子, 三木光範, 吉見真聡 (同志社大)
- 3 筋電位変化を利用した Android 端末操作の提案と基本実証  
○木野純貴, 加藤正樹, 篠原正幸, 田中 博, 山本富士男 (神奈川工科大)

- 4 特別支援学校の生徒のための簡易な視野測定法の提案  
○高良修平, 神里志穂子, 野口健太郎 (沖縄高専), 宮平順子 (泡瀬特別支援学校)
- 5 顔情報を利用した集中力測定システムの効果検証  
○村松辰真, 杉浦彰彦 (静岡大)
- 6 意図的注視を伴わずにユーザキャリブレーションを行う視線計測手法  
○植木達彦, 菅野隆一, 長松 隆, 鎌原淳三 (神戸大)
- 7 視線計測機能を搭載したタブレット型モバイル PC の開発  
○佐藤広志, 山本倫也 (関西学院大), 長松 隆 (神戸大)
- 8 視線追跡装置および動作認識装置を連動させた直感的入力システムの開発  
○辻 辰也, 松原俊一, Duerst Martin J. (青学大)

学生セッション [5ZA会場] (3月8日(木) 9:30~12:00)

ロボットインタラクション 座長 港 隆史 (ATR)

- 1 身体動作のパターンと変化量に基づいた直感的ロボット制御システム  
○廣瀬勇也, 加藤昇平 (名工大)
- 2 ロボット走行における不明確性の解消・協調動作にみられる齟齬の許容特性 -  
○山縣京輔 (芝浦工大), 米村俊一 (NTT), 徳永幸生 (芝浦工大), 杉山 精 (東京工芸大)
- 3 運動情報の類似性に着目したヒューマノイドロボットの連想的な運動生成  
○若林昭徳, 本村聡奈, 加藤昇平 (名工大)
- 4 The DESIRE Model: Cross-modal emotion analysis and expression for robots  
○ANGELICA LIM, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 5 段階的に構造化する神経回路モデルを用いたロボットと人間の発達のインタラクション  
○望月敬太, 信田春満, 西出 俊, 奥乃 博, 尾形哲也 (京大)
- 6 コミュニケーションロボットにおけるパーソナリティの効用  
○阪本綾香, 林 勇吾, 小川 均 (立命館大)
- 7 集団共有型ロボットにおける応答の差別化による親近感向上の検討  
○市岡陽子, 岩野公司 (東京都市大)
- 8 憑依型遠隔ロボット操作  
○小野 歩, 豊浦正広, 茅 暁陽 (山梨大)
- 9 電動カート用 LRF による衝突物体検知システム  
○上間晋吾, 田村 仁, 堀越大輔, 高塚崇文 (日本工大)

学生セッション [6ZA会場] (3月8日(木) 14:30~16:30)

入出力インタフェースその他 座長 鈴木 優 (京産大)

- 1 周辺状況をフィードバックするタッチパネルインターフェースの開発と評価  
○田中宏樹, 田村 仁, 高塚崇文, 越智雅俊, 石黒 翔, 趙 艶紅 (日本工大)
- 2 スマートデバイスにおける不特定入力領域フローメニューとマルチタッチフリックを用いた入力方式の提案  
○平山健一, 小枝正直 (大阪電通大)
- 3 (講演取消)
- 4 指の接触情報を用いた機能選択の研究  
○鏑本真史, 岡 誠, 森 博彦 (東京都市大)
- 5 仮名漢字変換における音声を用いた情報付加による候補選択手法  
○河原直人, 梅澤 猛, 大澤範高 (千葉大)
- 6 RefrigeMeter: 冷蔵庫における保存状況の手軽な検出/提示システムとその試作  
○三久保莉也 (お茶の水女子大), 塚田浩二 (お茶の水女子大 / 科学学術振興機構), 椎尾一郎 (お茶の水女子大)
- 7 フロー理論に基づくゲームシステムデザインの提案  
○須甲 惇, 大久保雅史, 山口泰弘, 山下 翼 (同志社大)

学生セッション [1ZB会場] (3月6日(火) 9:30~12:00)

汎用グラフィクス処理 座長 安藤 英俊 (山梨大)

- 1 GPU を用いたリアルタイムレイトレーシングの検討  
○上野謙二郎, 山崎勝弘, 孟 林 (立命館大)

- 2 GPUを用いた拡張現実感処理の高速化  
○佐藤一平, 石畑宏明 (東京工科大)
- 3 階層的凸包を用いた複数の2次元図形の簡略化に関する研究  
○伊勢朋実, 西尾孝治, 小堀研一 (阪工大)
- 4 凹凸とその陰影によるデータの可視化に関する研究  
○鄭 中翔, 齋藤 豪 (東工大)
- 5 CGによる立体の見え方モデルの自動生成  
○立原将行, 米本京介, 吉田真澄 (筑波学院大)
- 6 特徴抽出を用いた点群データのセグメンテーション  
○祝 圭佑, 西尾孝治, 小堀研一 (阪工大)
- 7 異なる2視点で任意の濃淡パターンが現れるレリーフの作成  
○小澤卓也, 齋藤隆文 (農工大)
- 8 広角写真の大域的な変形  
○松淵健太, 齋藤隆文 (農工大)
- 9 階層選択を用いた効率的な変形シミュレーション  
○今井 星, シルバパウロ, 楽詠コウ (東大),  
陳 炳宇 (国立台湾大), 西田友是 (東大)
- 10 色の組み合わせに動的に反応するグラフィックコンテンツ  
○佐々木晴香, 太田高志 (東京工科大)

学生セッション [2ZB会場] (3月6日(火) 15:00 ~ 17:30)

リアリティモデリング 座長 水野 慎士 (愛知工大)

- 1 遺伝子ネットワークと Gene Ontology の統合可視化の一手法  
○中澤里奈, 伊藤貴之 (お茶の水女子大),  
瀬々 潤, 寺田愛花 (東工大)
- 2 医薬品パッケージの類似性の検出と可視化 - 文字パターン類似性の検出 -  
○関谷 卓, 齋藤隆文 (農工大)
- 3 みずみずしいソリッドテクスチャの表現  
○武田知子, 藤代一成 (慶大)
- 4 撥水ウィンドシールド上の水滴アニメーション  
○仲田将之 (東大), 柿本正憲 (シリコンスタジオ / 東大),  
西田友是 (東大)
- 5 すすの物理的機構と光学特性を考慮した拡散燃焼のビジュアルシミュレーション  
○池田英貴, 西田友是, 楽詠こう (東大)
- 6 Watershed法に基づく顔ポリゴンモデルのセグメンテーション  
○江頭茂寿, 岡田義広 (九大)
- 7 個人顔形状モデルの魅力化に関する研究  
○富樫泰斗, 北嶋克寛, 赤木康宏, 近藤 聡 (農工大)

学生セッション [3ZB会場] (3月7日(水) 9:30 ~ 12:00)

時系列CGと可視化 座長 竹島 由里子 (東北大)

- 1 行動からの動きの解析とその表現  
○坂入圭亮, 鈴木亮大, 吉田真澄 (筑波学院大)
- 2 ドラム演奏支援のための動作生成  
○栗井修司, 伊勢朋実, 小堀研一 (阪工大)
- 3 時系列に基づいた文献参照関係の可視化 - 文献のクラスタリング -  
○岡田拓也, 齋藤隆文, 渡部秀文 (農工大)
- 4 時系列学力データのビジュアルクラスタリング  
○青木智寛, 藤代一成 (慶大)
- 5 人流情報の比較可視化の一手法  
○福手亜弥, 伊藤貴之 (お茶の水女子大), 大西正輝 (産総研)
- 6 EFD/CFD融合可視化における速度場表現の一手法  
○八反田香莉, 伊藤貴之 (お茶の水女子大),  
渡辺重哉, 口石 茂, 保江かな子 (宇宙航空研究開発機構)
- 7 ウェブのアクセスパターンの対話的可視化の一手法  
○川本真規子, 伊藤貴之 (お茶の水女子大)
- 8 システムログの俯瞰と縮約のための可視化の一手法  
○林 亜紀, 伊藤貴之 (お茶の水女子大)

学生セッション [4ZB会場] (3月7日(水) 15:30 ~ 17:30)

アニメーション 座長 益子 宗 (楽天技術研究所)

- 1 2次元動画像からのモーションデータ生成に関する研究  
○長峰慶三, 岡田義広 (九大)
- 2 3DCGによる人形のポーズ設計の研究  
○堀越基宏, 齋藤 剛 (電機大)

- 3 即時生成型アニメーションのキー姿勢の実時間抽出  
○山口将司, 栗山 繁 (豊橋技科大)
- 4 モーションキャプチャデータの動作把握のためのカメラワーク生成  
○中西正行, 西尾孝治, 小堀研一 (阪工大)
- 5 焼結作用を考慮した雪の踏み散らしシミュレーション  
○高橋哲也, 藤代一成 (慶大)
- 6 3DCGによるセルアニメーション風の陰影の生成に関する考察  
○高野裕基, 齋藤隆文 (農工大), 今間俊博 (首都大)
- 7 3DCGアニメーション作成のための動作誇張の分析  
○阿部翔悟, 齋藤隆文 (農工大), 今間俊博 (首都大)

学生セッション [5ZB会場] (3月8日(木) 9:30 ~ 12:00)

樹木とアート 座長 青野 雅樹 (豊橋技科大)

- 1 遺伝的アルゴリズムによる植物ホルモンモデルに基づいた植物グラフィックの自動生成  
○上原和樹, 赤嶺有平, 遠藤聡志 (琉球大),  
根路銘もえ子 (沖縄国際大)
- 2 ShadowDrawによる例示ベース樹木モデリングの提案  
○萬屋宇人, 藤代一成 (慶大)
- 3 メタボールを用いた樹木モデリングに関する研究  
○秋山公平, 北嶋克寛, 赤木康宏 (農工大)
- 4 球面調和関数を用いた多光源環境における樹木モデルの陰影付け  
○田中哲平, 赤木康宏, 北嶋克寛 (農工大)
- 5 描画支持体上における絵具のシミュレーション  
○竹本義孝, 齋藤 豪 (東工大)
- 6 仮想空間と物理演算を用いる絵画制作支援システム  
○山森文生, 小高知宏, 黒岩丈介, 小倉久和, 白井治彦 (福井大)
- 7 CGによるプロッタージュの再現方法の基礎検討  
○鈴木啓太, 澤野弘明, 水野慎士 (愛知工大)
- 8 CG空間での棒巻き付け縄による縄土器紋様の再現  
○高井健吾 (愛知工大), 植田 真 (パスコ),  
高木隆司 (神戸芸術工科大), 水野慎士 (愛知工大)

学生セッション [6ZB会場] (3月8日(木) 14:30 ~ 16:30)

画像利用 座長 藤代 一成 (慶大)

- 1 テクスチャマッピングを用いた曲面評価用画像の作成  
○鹿野兼司, 齋藤隆文, 山崎翔平 (農工大)
- 2 (講演取消)
- 3 インタラクティブな4次元スライス操作によるマルチパスベクトル画像生成  
○三輪貴信 (早大), 酒井幸仁 (東洋大), 橋本周司 (早大)
- 4 Hybrid Imagesを用いた地図揭示  
○荒木ゆか, 齋藤隆文 (農工大)
- 5 ステレオグラムの作成ツール開発と立体認識の評価  
○五位淵竜也, 齋藤隆文 (農工大)
- 6 船舶から撮影した海上観測動画像の効率的提示  
○鈴木惇司 (農工大), 古谷雅理 (東京海洋大), 齋藤隆文 (農工大),  
庄司るり (東京海洋大)
- 7 高架道路橋の3次元CGモデルの自動作成に関する研究  
○姜 文淵, 田中成典 (関西大), 北川悦司 (阪南大),  
安彦智史, 川野浩平 (関西大)

学生セッション [1ZC会場] (3月6日(火) 9:30 ~ 12:00)

学習・作業支援 座長 小倉 加奈代 (北陸先端大)

- 1 プログラミング演習における学生のコーディング過程可視化システム  
○齋藤 俊, 山田 誠 (東京工科大), 井垣 宏 (阪大),  
井上亮文 (東京工科大)
- 2 意識状態の推定に基づく能動的な学習支援システムの開発  
○横山法子, 山口友之, 橋本周司 (早大)
- 3 プログラム実行時のメモリ空間可視化によるプログラミング学習支援  
○小池伸弥, 郷健太郎 (山梨大)
- 4 大規模災害時における複数組織指揮官意思決定訓練用シリアスゲームの開発 (1) - 構想 -  
○田邊直人, 秋元菜那, 君塚翔太, 小張将太, 藤代貴史, 志甫侑紀,  
古市昌一 (日大)

- 5 大規模災害時における複数組織指揮官意思決定訓練用シリアスゲームの開発(2)-階層型意思決定機構-  
○志甫侑紀, 秋元菜那, 君塚翔太, 田邊直人, 古市昌一(日大)
- 6 グループ化した蓄積情報を活用する知識継承支援システム  
○岡崎亮介(名工大), 毛利公美(岐阜大), 白石善明(名工大)
- 7 マルチエージェントアプローチによる組織的知識創造の効率性評価に関する研究-エージェントの表現に消費者価値観分析モデルを利用した-  
○清水 悟, 奥田隆史, 井手口哲夫, 田 学軍(愛知県大)
- 8 協調作業可能な絵本作成システムの提案  
○吉田 豊, 神里志穂子, 野口健太郎, 上原大輝(沖縄高専)
- 9 ユーザの行動を反映した仮想ペットの振る舞い生成による困難タスクの着手支援方法  
○石丸優一, 河内智志, 藤波香織(農工大)
- 10 サイバー大学講義システムにおける講義進行と同期するコミュニケーションシステム CULID の提案と評価  
○シャリーフ ムーネス, 横山輝明(サイバー大)

学生セッション [2ZC 会場] (3月6日(火) 15:00 ~ 17:30)

Web と SNS 座長 郷 健太郎(山梨大)

- 1 位置情報と Facebook を用いたソーシャルマッチングによる人間関係構築支援システム  
○黄 辰晨, 中田吉哉, 山田洋明, 樋山淳雄(東京学芸大)
- 2 オフライン型: 友達探索支援アプリケーションの開発  
○星 希美, 中田豊久(新潟国際情報大)
- 3 ニュース討論 SNS の提案と評価  
○喜安伸彦, 角田博保(電通大)
- 4 (講演取消)
- 5 Web を利用したコーディネーション相談システム  
○稲道優香, 村田嘉利, 高山 毅, 佐藤永欣(岩手県大)
- 6 ユーザーイメージ収集インターフェースの開発  
○戸根木千洋, 湯浦克彦(静岡大)
- 7 WEB 上で動作する“●”プロンプタを用いたコミュニケーションシステム-物語をベースにした複数ユーザー間コミュニケーションの特性分析-  
○小駒ちなみ(芝浦工大), 米村俊一(NTT), 徳永幸生(芝浦工大), 杉山 精(東京工芸大), 大谷 淳(早大)
- 8 JewelryStudio: 多視点からのアクセサリ写真撮影・閲覧システム  
○渡辺千穂(お茶の水女子大), 塚田浩二(お茶の水女子大), アカデミックプロダクション/さきがけ, 権尾一郎(お茶の水女子大)
- 9 仮想サーバ利用協調学習における知識過程支援システム  
○山崎直也, 小嶋弘行(広島工大)
- 10 エゴセントリックネットワークの分析によるエゴの分類  
○伊東樹希, 加藤竜丸, 松島 裕, 武藤敦子, 犬塚信博(名工大)

学生セッション [3ZC 会場] (3月7日(水) 9:30 ~ 12:00)

コミュニケーション支援(1) 座長 吉野 孝(和歌山大)

- 1 AR Chat: 拡張現実感を使った遠隔コミュニケーション支援システム  
○城崎 亮, 田中二郎(筑波大)
- 2 長期療養患者の不安を予測することによる患者と看護師のコミュニケーション支援  
○木原崇博, 仲谷善雄(立命館大)
- 3 パーソナルテンポを利用した2者間の会話円滑化支援の試み  
○足立幸祐(立命館大), 延谷直哉(富士ゼロックス), 仲谷善雄(立命館大)
- 4 音や香りを活用した思い出想起・コミュニケーション支援  
○北 裕介, 仲谷善雄(立命館大)
- 5 メール着信音を利用した非言語コミュニケーションシステムの提案  
○河瀬裕士, 仲谷善雄(立命館大)
- 6 思い出を用いた認知症者と家族介護者間におけるコミュニケーション支援  
○山崎和紘, 仲谷善雄(立命館大)
- 7 アウェアネスの支援による遠隔コミュニケーション支援の提案-遠距離恋愛への適用-  
○大廣智也, 仲谷善雄, 泉 朋子(立命館大)

- 8 認知症患者のコミュニケーション特性の評定における会話エージェントの利用  
○酒井洋一, 野中裕子(成蹊大), 安田 清(千葉労災病院/京都工織大), 中野有紀子(成蹊大)

9 (講演取消)

学生セッション [4ZC 会場] (3月7日(水) 15:30 ~ 17:30)

コミュニケーション支援(2) 座長 西田 健志(神戸大)

- 1 ペーパーレス会議のためのコミュニケーション支援機構の試作  
○武馬賢志郎, 白松 俊, 大園忠親, 新谷虎松(名工大)
- 2 ユーザの評価傾向を反映したコミュニケーションルール獲得システム  
○佐久間拓人, 宮越喜浩, 加藤昇平(名工大)
- 3 積極的な身体動作で盛り上がり支援する身体的インタラクションシステムの開発  
○岡本健太郎, 山本倫也(関西学院大), 渡辺富夫(岡山県大)
- 4 現地の情報を使った持ち運び可能なコミュニケーションツールの提案  
○山脇麻衣子, 山村典子, 塚田晃司(和歌山大)
- 5 対話エージェントの自然な端末間移動を実現するためのユーザー/デバイスモデルの管理法  
○杉本遥介, 田中 遼, 桂田浩一, 入部百合絵, 新田恒雄(豊橋技科大)
- 6 言語・空間情報に基づくメタパースアバタへのジェスチャ自動付与機構  
○塚本剛生, 中野有紀子(成蹊大)
- 7 自動会話システムにおける空間を共有する擬人化エージェントが会話持続に与える効果  
○高木志織(芝浦工大), 米村俊一(NTT), 徳永幸生(芝浦工大), 杉山 精(東京工芸大)
- 8 聞き耳インタフェースを備えたメモシステム「聞き耳メモリ」  
○太田晃平, 西崎博光, 関口芳廣(山梨大)

学生セッション [5ZC 会場] (3月8日(木) 9:30 ~ 12:00)

プレゼンテーション支援 座長 大内 一成(東芝)

- 1 スクリーン仮想タッチを実現したプレゼンテーション支援システムとそのセットアップの効率化  
○山田裕之, 白松 俊, 大園忠親, 新谷虎松(名工大)
- 2 指示棒を使用したプレゼンテーションにおける身体動作と発話特性の解析  
○中山晃典, 山本倫也(関西学院大), 渡辺富夫(岡山県大)
- 3 人間特性を利用してプレゼンテーション動作を拡張する身体的ビジュアルエフェクトの開発  
○高尾裕也, 山本倫也(関西学院大), 渡辺富夫(岡山県大)
- 4 プレゼンテーション時の情報提示における発表者の視線インタラクション特性の解析  
○三宅 秀, 吉田圭介, 山本倫也(関西学院大), 長松 隆(神戸大), 渡辺富夫(岡山県大)
- 5 ブレインライティン法に基づく集団発想支援システムの提案  
○田中 敏, 大久保雅史(同志社大)
- 6 観点の提示とアイデアの空間配置による分散型ブレインライティング支援システム  
○三島 享, 國藤 進, 羽山徹彩(北陸先端大)
- 7 KJ 法におけるアイデア発生の時系列に関する検討  
○東 孝行, 伊藤淳子, 宗森 純(和歌山大)
- 8 ミーティング参加者の活動ログを利用した議事録への自動アノテーション  
○高橋 勲, 石戸谷顕太郎, 大平茂輝, 長尾 確(名大)

学生セッション [6ZC 会場] (3月8日(木) 14:30 ~ 16:30)

協調基盤 座長 中道 上(南山大)

- 1 利用者間の関係を考慮した協働作業空間の生成に関する研究  
○飯沼秀行, 笹井一人, 高橋秀幸, 北形 元, 木下哲男(東北大)
- 2 拡張現実感による協調作業環境の構築  
○金子将大, 田中二郎(筑波大)
- 3 タイピング情報に着目したターミナル共有型遠隔サポートシステム  
○河合貴嗣, 梶 克彦, 河口信夫(名大)
- 4 イベントの意味を考慮したアプリケーション間の同期機構の試作  
○丹羽佑輔, 白松 俊, 大園忠親, 新谷虎松(名工大)

- 5 送信要求と要求元端末接続点の統合的な表示により円滑な授受を支援するファイル送受信システム  
○羽佐田貴紀(岐阜大/名工大), 毛利公美(岐阜大), 白石善明(名工大)
- 6 ハイブリッド P2P 専用フレームワークを用いたセンサデータ共有システムの開発  
○管納雅人, 井口信和(近畿大)
- 7 TF-IDF 法による協調行動情報に対する重み付け  
○藤田征士, 高丸尚教(中部大)
- 8 複数の iPad による協調型ペイントソフト  
○井上太介, 長濱 翔, 田邊昭彦, 大谷 真(湘南工科大)

**学生セッション [1ZD 会場] (3月6日(火) 9:30 ~ 12:00)**

**3D インタフェース 座長 梶 克彦(名大)**

- 1 3D 立体映像オブジェクト操作インタフェースの開発 - リモコンによる傾きと高さ位置の検出 -  
○佐藤康明, 二宮 洋, 坂下善彦(湘南工科大)
- 2 Kinect を用いた屋内空間の三次元形状の検出  
○安斎達也, 藤田 悟(法大)
- 3 3D 仮想空間上でのリアルタイムアニメーションとそのネットワーク拡張に関する研究  
○伊沢 昂, 鈴木智也, 井関文一(東京情報大)
- 4 (講演取消)
- 5 リアルタイム三次元計測器を用いたインテリア用品の仮想的再配置と自由視点評価  
○長尾 建, 藤代一成(慶大)
- 6 3次元ユーザインタフェースによる仮想物体の形状操作  
○杉本晴季, 上野大輔, 中島将之, 濱川 礼(中京大)
- 7 実世界の物体操作とシミュレーションを連動させた UI の研究  
○花光宣尚(法大)
- 8 3次元重畳表示を用いた歯科手術シミュレータの検討  
○川村祐輔, 伊藤翔太, 大西克彦(大阪電通大)
- 9 歩行者の利用を考慮した住民参加型 3次元ユニバーサルデザインマップの検討  
○深澤公哉, 窪田 諭, 市川 尚, 阿部昭博(岩手県大)
- 10 ズーム動作と有限多層階層による、3D 文章の表示・作成システム「Text Level Of Detail」の提案  
○武田 港, 望月茂徳, 川村健一郎(立命館大)

**学生セッション [2ZD 会場] (3月6日(火) 15:00 ~ 17:30)**

**AR 座長 高田 英明(NTT)**

- 1 距離情報に基づく画像の重畳合成手法が存在感に与える影響  
○志水友輔, 大久保雅史(同志社大)
- 2 クライアント/サーバモデルに基づく自然特徴点型マーカレス AR システムの開発  
○神山 朗, 赤嶺有平, 遠藤聡志(琉球大), 根路銘もえ子(沖縄国際大)
- 3 AR を利用したスマートフォン向け効率的情報提供ユーザーインタフェース  
○藤田琢磨, 坂本直弥, 島田秀輝, 佐藤健哉(同志社大)
- 4 モバイル端末における AR ブラウザの提案と実装  
○瀬戸亮之, 松原俊一, Duerst Martin J.(青学大)
- 5 拡張現実感を用いた仮想の立体による試し置きシステム  
○小林智輝, 田中二郎(筑波大)
- 6 拡張現実技術による犯罪現場検証のための映像合成  
○杉浦篤志, 豊浦正広, 茅 暁陽(山梨大)
- 7 拡張現実を用いた次世代型英語学習システムの提案  
○若原雅斗, 松田結希, 下里祐介, 濱川 礼(中京大)
- 8 プロジェクタ・カメラシステムによる既存のトランプゲーム拡張のためのライブラリの一検討  
○田中希武, 村田哲史, 藤波香織(農工大)
- 9 拡張現実とスマートフォンを用いた麻雀初心者支援システムの開発  
○矢田和也, 高井昌彰(北大)

**学生セッション [3ZD 会場] (3月7日(水) 9:30 ~ 12:00)**

**携帯端末活用インタフェース 座長 真鍋 宏幸(NTT ドコモ)**

- 1 携帯端末間の接続情報を用いた異種外部デバイス間の通信確立手法  
○浅井俊晴, 河口信夫, 梶 克彦(名大)
- 2 携帯端末背面での人差し指スライドによる文字入力手法  
○古屋憂人, 郷健太郎(山梨大)
- 3 複数の磁気センサを用いた携帯端末向け 3次元入力インタフェースの開発  
○Thanh Son Pham, 田中二郎, 高橋 伸(筑波大)
- 4 曲げ動作を用いた携帯型端末のコンテンツナビゲーション手法  
○高柳昌弘, 木下雄一郎(山梨大)
- 5 携帯端末をデータ放送コンテンツの直観的な入力装置として利用可能とするフレームワークの提案  
○中村智之, 金子晃介, 岡田義広(九大)
- 6 スマートフォンを用いた生活情報の自動インデキシングによる認知症者の記憶支援  
○松下広樹, 黄 宏軒, 川越恭二(立命館大)
- 7 携帯端末を利用した視覚障害者用ナビゲーションシステムの開発  
○浅見友彦, 水野一徳, 早川大貴(拓大)
- 8 街並みの雰囲気を手掛かりとした寄り道促進システムの提案  
○塚中 諭, 木下雄一郎(山梨大)
- 9 ファジィ推論を用いた夏季の運動をサポートする水分補給量導出アプリケーションの開発  
○岩崎武史, 小椋宇謙, 柴田涼介, 三上智之, 皆月昭則(釧路公大)

**学生セッション [4ZD 会場] (3月7日(水) 15:30 ~ 17:30)**

**計算機システムのインタフェース 座長 澤田 秀之(香川大)**

- 1 パーソナル・ポータブル・テレレジスタンス装置の実現方式の提案  
○植竹未来, 多田友理菜, 粟飯原萌, 菅原祐人, 杉沼浩司, 古市昌一(日大)
- 2 インタラクティブな大型公共ディスプレイでのプライベート情報の入出力  
○内藤 航, 郷健太郎(山梨大), 飯塚重善(神奈川大)
- 3 携帯端末を使った複数大画面用ハンドジェスチャインタラクション  
○Enkhat Davaasuren, 田中二郎(筑波大)
- 4 ディスプレイ環境のスクーラビリティを考慮した大画面向け入力デバイスシステムの構築  
○櫻庭 彬(岩手県大), 石田智行(滝沢村役場), 柴田義孝(岩手県大)
- 5 作業領域の動的な生成分割が可能なテーブルトップインタフェース  
○土屋英鷹(東京工科大), 井垣 宏(阪大), 井上亮文(東京工科大)
- 6 遠隔ユーザ間の操作意図を伝達可能なテーブルトップ間通信システム  
○大築 彩(東京工科大), 井垣 宏(阪大), 井上亮文(東京工科大)
- 7 テーブルトップ対戦型百人一首ゲームにおける視線を用いた Gaze-and-Touch アルゴリズムの開発  
○米田宗弘, 山本倫也(関西学院大), 長松 隆(神戸大), 渡辺富夫(岡山県大)

**学生セッション [5ZD 会場] (3月8日(木) 9:30 ~ 12:00)**

**知的インタフェース 座長 木村 朝子(立命館大)**

- 1 Kinect による楽器マスキングを用いた視聴覚統合ビートルッキング  
○糸原達彦, 水本武志, 大塚琢馬(京大), 中臺一博(ホンダ RIJ), 尾形哲也, 奥乃 博(京大)
- 2 個人用知的移動体による文脈に依存したジェスチャ認識環境  
○矢田幸大, 渡邊 賢, 長尾 確(名大)
- 3 (講演取消)
- 4 安全点検支援のための指差し呼称動作の認識  
○岩崎正裕, 藤波香織(農工大)
- 5 ウェブカメラを用いた足による入力インタフェース  
○上野拓正, 山口拓真, 濱川 礼(中京大)
- 6 複数波長の赤外光源を用いた物体認識手法  
○田中琢磨, 阪口紗季, 松下光範(関西大)
- 7 構えによる機能選択の研究  
○李 善愛, 森 博彦, 岡 誠(東京都市大)
- 8 (講演取消)

9 タブレット端末におけるジェスチャに基づく端末ペアリング手法について

○村瀬隆拓, 今井翔太, 白松 俊, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)

学生セッション [2ZJ会場] (3月6日(火) 15:00 ~ 17:30)

インタフェースの分析・評価 座長 和氣 早苗 (同志社女子大)

- 紙と電子、単語記憶にはどちらのメディアが有利か  
○清水玲那, 橋口恭子, 小川克彦 (慶大)
- 異なるサイズのフレキシブルディスプレイにおけるインタラクションの分析  
○見附幸司, 郷健太郎 (山梨大)
- インターネット広告の提示位置および時間が記憶率に与える影響の検討  
○尾林祐太郎, 小宮山撰, 武藤 剛 (青学大)
- スマートフォンにおける Web アクセシビリティの分析と評価  
○市村亮太, 畑中基希, 納富一宏 (神奈川工科大)
- 複数ユーザ対会話エージェントとの多人数インタラクションにおける優位性の自動推定方法  
○福原佑貴, 中野有紀子 (成蹊大)
- 不安軽減のための妊婦支援ツールに関する研究  
○粉川奈穂, 美馬義亮, 岩田州夫 (はこだて未来大)
- コンピュータ上における箱庭療法体験シミュレーション  
○野村浩毅 (東京工科大), 桑原明栄子 (慶大/東大), 佐々木和郎 (東京工科大)
- データ特性に着目した可視化による問題解決手法の提案と評価  
○田中庸介 (早大), 工藤桂衣子, 白石規哲 (JR 貨物), 菱山玲子 (早大)
- ファッションコーディネート支援システム Talkin' Closet における気分の影響についての考察  
○福田未央, 仲谷善雄 (立命館大)

## 第4分冊

## (コンピュータと人間社会)

一般セッション [5F会場] (3月8日(木) 9:30 ~ 12:00)

産業応用 座長 児玉 公信 (情報システム総研)

- 類似部品を用いたパラメータ推定と後継部品の追跡管理による実用的な保守部品の生涯需要予測システムの開発  
○飯塚新司, 宗形 聡, 手塚 大 (日立東日本ソリューションズ)
- クロス ABC 分析を用いた管理区分設定による一括発注シミュレーションと、シミュレーション結果の一覧可視化による要注意製品の絞り込み  
○浦邊信太郎, 黄 双全, 宗形 聡, 手塚 大 (日立東日本ソリューションズ)
- 組立ロボットのための回転動作を伴う作業スキルの表現  
○長井達一郎 (なうデータ研究所), 荒牧重登, 近藤禎敏 (福岡大)
- 安定性を考慮したスプール図作成方法  
○笠原孝保 (日立), 児玉泰孝 (パブコック日立)
- 病院建築へのシステム・エンジニアリング手法の応用計画  
○嶋津恵子 (慶大)
- マルチ気候モデルによる気候変動予測のための可視化・解析システムの構築  
○山本昭夫, 喜連川優 (東大)
- 露光条件を考慮したデジタルカメラ画像を用いた植生指数推定の評価  
○尾崎敬二 (国際基督教大)

一般セッション [6F会場] (3月8日(木) 14:30 ~ 16:30)

プログラミング教育 座長 長 慎也 (明星大)

- プログラミング入門教育におけるペンタブレットの効果とモチベーションの関係  
○土肥紳一, 宮川 治, 今野紀子 (電機大)
- プログラミング実行環境「ますめ」の設計・実装と教育現場の PBL への適用  
○荻野哲男 (神戸大), 藤岡健史 (京都市立塔南高等学校), 柳瀬大輔 (京都市立堀川高等学校)
- オープンソースのプログラミング言語 Ruby を用いた実践的な IT 教育の試み  
○高清水直美 (島根大)

一般セッション [1G会場] (3月6日(火) 9:30 ~ 12:00)

情報教育 (手法) 座長 和田 勉 (長野大)

- 文系大学における SQL を利用した情報教育  
○安達和年 (松蔭大), 藤田智子 (玉川大)
- (講演取消)
- Web アンケートを利用した環境教育効果測定の提案  
○田中雅章, 十津守宏 (鈴鹿短大), 大森 晃 (東理大)
- web 学習における学習方法と出題形式の違いによる評価  
○CHOLENDRA ADHIKARI (中部大), 杉村 藍 (名古屋女子大), 宇佐美裕康 (中部大), 武岡さおり (名古屋女子大), 尾崎正弘 (中部大)
- ペイジアンネットワークを用いた学生の成績予測  
○伊藤宏隆, 伊藤圭佑, 舟橋健司 (名工大)
- 期待効用仮説による学習者の自己評価計量技法 (2)  
○養老真一, 田中規久雄 (阪大), 下倉雅行 (大阪電通大), 西本実苗 (阪大)
- 選択型と記述型の学生アンケートの分析  
○平澤茂一 (サイバー大), 石田 崇, 雲居玄道, 後藤正幸 (早大)
- フルオンデマンド授業における学生アンケートの分析  
○石田 崇 (早大), 畑上英毅 (サイバー大), 後藤正幸 (早大), 平澤茂一 (サイバー大)

一般セッション [2G会場] (3月6日(火) 15:00 ~ 17:30)

教育用システム (1) 座長 未代 誠仁 (桜美林大)

- インタラクティブな学習方法による情報システム構築の大学教育について  
○石野正彦 (福井工大), 工藤 司 (静岡理工科大), 五月女健治 (法大)
- (講演取消)
- 画像処理プログラミング教育のためのロボット TA の開発  
○田川聖治 (近畿大)
- 問題解決における構造, 図, 手順の効果 - 秘密箱について  
○趙 珂, 横沢悠介, 坂本康治 (日本工大)
- 高専版組込みスキル標準に対する教育学習支援システムの構築と実践 - 組込み技術習得のための教育教材開発 -  
○藤澤義範 (長野高専), 末永貴俊, 與那嶺尚弘 (仙台高専), 芦田和毅, 楡井雅巳 (長野高専)
- 講義資料の背後に講師を没入表示できる講義映像作成システム  
○板宮朋基, 飯沼瑞穂, 千代倉弘明 (東京工科大)
- 双方向授業支援システムのユーザビリティに関する考察  
○鎌田光宣 (千葉商科大)

一般セッション [3G会場] (3月7日(水) 9:30 ~ 12:00)

情報教育 (調査・分析) 座長 辰己 丈夫 (農工大)

- J07 フォローアップ調査: 産業界と J07 の要求レベル調査とその分析  
○掛下哲郎, 大月美佳 (佐賀大)
- J07 フォローアップ調査: 教育機関および学生の達成度レベル調査とその分析  
○大月美佳, 掛下哲郎 (佐賀大)
- 情報リテラシー教育における相互評価の効果  
○加納寛子 (山形大)
- 高校のレベルに基づく普通教科「情報」の意識調査  
○栢木紀哉 (摂南大), 若林義啓 (広島国際学院大), 上田千恵 (旭川荘厚生専門学校)
- コンピュータリテラシー科目における「メールに関するマナー」の活用法と意識調査  
○黒崎茂樹 (成城大)

一般セッション [4G会場] (3月7日(水) 15:30 ~ 17:30)

公共システム 座長 白井 靖人 (静岡大)

- 電子文書を原本とするために必要な施策について ~ 真のペーパーレス化を実現するために ~  
○永井好和, 小島良太, 王 躍, 市川哲彦 (山口大)
- 公共文化施設における教育普及プログラムと ICT リテラシー ~ 山口情報芸術センターにおける教育普及プログラム「meet the artists 2011」を例として ~  
○桂 英史 (東京芸術大), 会田大也 (山口情報芸術センター)

- 3 e-Legislation のための政策立案支援ツール  
○角田篤泰 (名大), 齋藤大地 (クレステック)
- 4 ミャンマー地名データベースの集成  
○梅川通久, 澤田英夫 (東京外語大)
- 5 携帯電話内蔵カメラの撮影表示 - 視覚的および聴覚的な表示信号  
○若松 梓, 小町祐史 (阪工大)

一般セッション [5G 会場] (3月8日 (木) 9:30 ~ 12:00)

安心と環境 座長 畑山 満則 (京大)

- 1 スマートフォンを利用した危険情報の共有  
○小林郁典, 星野洋平, 古田 昇 (徳島文理大)
- 2 情報格差をもたらす行動判断の考察 東日本大震災における実例  
○三重野徹 (東日本国際大)
- 3 コミュニケーションロボットを用いた高齢者見守りの一検討  
○亀田多江 (創価女子短期大)
- 4 被災地コミュニティをサポートするお茶の間テレビの開発  
○伊藤史人 (一橋大), 今井啓二, 仁科恵美子 (ICT 救助隊)
- 5 サーバ稼動状態特定省力化技術  
○市川雄二郎 (日立)
- 6 学内ネットワークの省電力化のための機器利用状況モニタリング  
○松田勝敬, 角田 裕 (東北工大)
- 7 寒冷地におけるヒートポンプ暖房制御システムの開発  
○小山貴夫, 井口 傑 (旭川高専), 新守敏明 (コンピューター・ビジネス), 佐竹利文 (旭川高専), 月館 司 (北海道立総合研究機構)

一般セッション [1H 会場] (3月6日 (火) 9:30 ~ 12:00)

語学教育 座長 高岡 詠子 (上智大)

- 1 仮想化デスクトップを用いた e ラーニング ~ 英語教育の場合  
○近藤悠介, 中野美知子 (早大), 平澤茂一, 小泉大城 (サイバー大), 齊藤友彦 (青学大)
- 2 タブレット端末、モバイル端末を利用した英語学習の試み  
○中野美知子, 近藤悠介, 永間広宣, 黒田 学, 神馬豊彦 (早大)
- 3 仮想化デスクトップによる e ラーニング ~ 海外ネットワーク環境からの利用  
○小泉大城, 松田 健 (サイバー大), 中澤 真 (会津大), 平澤茂一 (サイバー大)
- 4 仮想化デスクトップを用いた e ラーニング ~ 通信環境と端末が及ぼす影響  
○中澤 真 (会津大短大), 小泉大城 (サイバー大), 梅澤克之 (日立), 平澤茂一 (サイバー大)
- 5 仮想化デスクトップを用いた e ラーニング: モバイルラーニング活用人材育成の視点から  
○山根信二, 新目真紀, 権藤俊彦, 大沼博靖, 齋藤長行, 玉木欽也 (青学大)
- 6 オンライン大学における日本語リテラシー教育の取り組み  
○隈 裕子, 佐野琴音 (サイバー大)
- 7 オンライン大学における初歩的英語コミュニケーション能力育成への取り組み  
○坂本美枝 (サイバー大)

一般セッション [2H 会場] (3月6日 (火) 15:00 ~ 17:30)

バイオ・医療・社会のためのシステム 座長 佐藤 賢二 (金沢大)

- 1 プロファイル HMM に基づくたんぱく質相同性検索システム HMMER の複数ドメインへの拡張  
○松井藤五郎 (中部大), 大和田勇人, 賀屋秀隆, 朽津和幸 (東理大)
- 2 塩基の配置情報を考慮に入れた DNA 配列のグラフ表示とその応用  
○水田智史, 山口恭平 (弘前大)
- 3 A Proposal for Information Science Education for Paramedics/Medical Technologist Training in Japan.  
○神崎秀嗣 (京大)
- 4 クラウドコンピューティングを基盤とする健康診断ナビゲーションシステムの提案と評価  
○河原芳昭 (南山大/アルファスタッフ), 青山幹雄 (南山大), 松永昌樹 (ブラザー健康保険組合)

- 5 視覚障害者のための化粧支援インタフェース - リップメイクおよびアイメイクの支援  
○藏屋直身, 小町祐史 (阪工大)

- 6 ゲームプレイの客観評価に関する検討 - 脳波とコントローラ操作量の相関について -  
○植村恭平, 松下宗一郎 (東京工科大)

- 7 視線計測装置による授業映像の比較分析の試み  
○金子 格, 大山貴紀 (東京工芸大), 花村 剛 (エモヴィス)

一般セッション [3H 会場] (3月7日 (水) 9:30 ~ 12:00)

プロジェクト学習 座長 兼宗 進 (大阪電通大)

- 1 K-Skill プロジェクトにおけるモデルベース設計教育への取り組み  
○芦田和毅, 水野正志 (長野高専), 奥那嶺尚弘 (仙台高専), 佐藤 淳 (鶴岡高専), 山田親稔 (沖縄高専), 楡井雅巳, 藤澤義範 (長野高専)
- 2 近畿大学における FPGA を用いたプロジェクト型設計教育  
○松崎隆哲 (近畿大)
- 3 学生プロジェクトによる携帯端末を用いた学習・就職支援システム  
○中桐齊之, 川崎弘人, 中井徳高, 谷川千奏, 内平隆之, 米山寛二 (兵庫県大)
- 4 遠隔要約筆記での入力支援について  
○西村知也, 足尾 勉, 小林香織, 北村晃一, 島津秀雄 (NEC システムテクノロジー), 佐藤 匡 (吉備国際大)
- 5 聴覚障がい学生向け遠隔要約筆記支援システムについて  
○足尾 勉, 島津秀雄, 西村知也, 小林香織, 北村晃一 (NEC システムテクノロジー)
- 6 性格特性と学習モチベーション・教室内座席位置の嗜好に関する考察  
○今野紀子, 土肥紳一, 宮川 治 (電機大)
- 7 ソフトウェア作成のためのためのグループ型創造実習の実践と新たな試み  
○吉村 晋 (サレジオ高専), 河村辰也 (情報セキュリティ大), 清水哲也, 伊原充博, 内田 健 (サレジオ高専)

一般セッション [4H 会場] (3月7日 (水) 15:30 ~ 17:30)

社会システム 座長 刀川 眞 (室蘭工大)

- 1 位置情報を重視した情報共有サービスの実現  
○大塚孝信, 鈴木 涼, 川口将吾 (名工大), 芦木浩隆 (ラクラケール), 伊藤孝行 (名工大)
- 2 地方自治体における Twitter 活用状況に関する考察  
○上野 亮, 飯島泰裕 (青学大)
- 3 Twitter におけるコミュニケーションの社会ネットワーク分析  
○濱岡 豊 (慶大)
- 4 オンラインゲームの訴求構造分析 - コミュニケーションツールとしての観点から -  
○竹野真帆, 高田明典 (フェリス女学院大)
- 5 マルチテナント対応データ替制御に関する研究  
○小杉 優, 入不二経勝, 小川康志, 山足光義 (三菱)
- 6 マルチテナントアプリケーションにおけるテナント間権限委譲方式  
○小川康志, 山足光義, 入不二経勝, 小杉 優 (三菱)

一般セッション [5H 会場] (3月8日 (木) 9:30 ~ 12:00)

展示とガイド 座長 鈴木 卓治 (国立歴史民俗博物館)

- 1 美術展示のための黄金比/白銀比を考慮した仮想曲面表示  
○岡本正昭 (宝塚大)
- 2 博物館におけるボランティアスタッフによるインタープリテーション導入のための分析と検討  
○宮田 岳, 杉山岳弘 (静岡大)
- 3 動物園における Q&A を基にしたガイド・プログラムのデザイン  
○杉山岳弘, 河合真由美 (静岡大)
- 4 鎌倉サウンドスケープ観光  
○長澤可也, 矢吹北斗, 徳永卓麻, 井上道哉 (湘南工科大)
- 5 イベント指向データ管理手法を用いた系図表示 - 狹領域への配置と横系図 -  
○生田敦司 (大谷大), 杉山正治 (立命館大), 横澤大典, 柴田みゆき (大谷大), 松浦 亨 (北大病院)

- 6 イベント指向データ管理手法を用いた系図表示-付帯情報を表示するための前提と整理-  
○横澤大典 (大谷大), 杉山正治 (立命館大), 生田敦司, 柴田みゆき (大谷大), 松浦 亨 (北大病院)
- 7 イベント指向データ管理手法を用いた系図表示-先行研究における横系図と付帯情報の実装調査-  
○柴田みゆき (大谷大), 杉山正治 (立命館大), 生田淳司, 横澤大典 (大谷大), 松浦 亨 (北大病院)
- 8 イベント指向データ管理手法を用いた系図表示-横系図と付帯情報の描画アルゴリズム-  
○杉山正治 (立命館大), 生田敦司, 横澤大典, 柴田みゆき (大谷大), 松浦 亨 (北大病院)

**一般セッション [6H会場] (3月8日(木) 14:30 ~ 16:30)**

**学習用システム 座長 西田 知博 (大阪学院大)**

- 1 インターネット検索援用で回答しにくい問題形式の考察  
○鈴木治郎, 松本成司 (信州大)
- 2 オンラインアンケート実施のための教材コンテンツ開発  
○松本早野香 (サイバー大)
- 3 e-ラーニングによるリメディアル授業の実践と課題  
○松田 健, 後藤幸功, 松本早野香 (サイバー大)
- 4 仮想化デスクトップを用いたe-ラーニング~認証方法  
○梅澤克之 (日立), 小泉大城, 中澤 真, 平澤茂一 (サイバー大)
- 5 資格試験向けモバイル法律条文学習システムのデザイン  
○清水勇喜 (名城大)

**学生セッション [6ZD会場] (3月8日(木) 14:30 ~ 16:30)**

**e-learning 座長 一戸 信哉 (敬和学園大)**

- 1 電子黒板を活用したe-ラーニング教材の研究~4コマ漫画の協同制作を通じた論理力・協調性の醸成~  
○渡邊温香, 石本江里, 土屋和明, 松永信介, 稲葉竹俊 (東京工科大)
- 2 電子黒板を活用したe-ラーニング教材の研究~繰り上がりのある足し算教材による授業実践~  
○石本江里, 土屋和明, 渡邊温香, 松永信介, 稲葉竹俊 (東京工科大)
- 3 中学生向け金融学習支援 e-learning 教材の実践と評価  
○森永陽介, 劉 洋, 松永信介, 稲葉竹俊 (東京工科大)
- 4 VRを用いた成人向け自転車事故防止教材  
○齋藤冬斗, 栗澤卓也, 西田智彦, 安藤公彦, 稲葉竹俊, 松永信介 (東京工科大)
- 5 ゲームを用いたスケジューリング学習ツールの開発  
○藤 正彦, 早川栄一 (拓大)
- 6 学習者間の相互評価を用いたソーシャルラーニングによる学習支援システムの提案  
○若林亮太, 矢吹太朗, 佐久田博司 (青学大)
- 7 更新箇所修飾とコメント表示機能を持つ Web 教材改善支援システム  
○植田一仁, 広奥 暢, 中島 潤 (北海道情報大)
- 8 算数困難児を対象とする計数習得用 e-ラーニング教材の開発  
○池守 樹, 松永信介, 稲葉竹俊 (東京工科大)

**学生セッション [1ZE会場] (3月6日(火) 9:30 ~ 12:00)**

**システム開発 座長 伊藤 一成 (青学大)**

- 1 PCと携帯電話を利用した情報技術学習支援システムの開発-システムの改善-  
○金子勇太, 久津間啓右, 泉 隆 (日大)
- 2 仮想マシンを用いたネットワーク構築演習における構築操作履歴の収集と活用  
○能見惇也, 立岩佑一郎, 山本大介, 高橋直久 (名工大)
- 3 スマートデバイスを利用した現場系情報システム設計アプローチ  
○伊藤匡都, 大場みち子, 山口 琢 (はこだて未来大)
- 4 分散型ペアプログラミング演習システム DIPES のためのデータ構造スタンプによる画像コミュニケーション機能の実現  
○古田剛三, 立岩佑一郎, 山本大介, 高橋直久 (名工大)
- 5 Langrid Gaming のための開発環境  
○鈴木 格, 菱山玲子 (早大)

- 6 プログラミング演習支援システム CAPES における演習履歴を用いた要指導受講者予測システムの提案  
○奥田公将, 立岩佑一郎, 山本大介, 高橋直久 (名工大)
- 7 就職活動におけるエントリーシート作成支援サービス-紙と電子メディアを組み合わせた添削サービスと学生間相互添削の効果検証-  
○上野 歩, 飯田望美 (東京工科大), 片山友昭 (ヒューマンソリューション), 中村亮太, 上林憲行 (東京工科大)
- 8 就職活動におけるエントリーシートの作成を支援するサービスの検討-評価観点の一致と他者からの気づきを活用して-  
○飯田望美, 上野 歩 (東京工科大), 片山友昭 (ヒューマンソリューション), 中村亮太, 上林憲行 (東京工科大)
- 9 HTML5を用いた手書きによる動画への協調アノテーション  
○高谷明偉, 正田輝雄 (明大)

**学生セッション [2ZE会場] (3月6日(火) 15:00 ~ 17:30)**

**災害対策システム 座長 原田 要之助 (情報セキュリティ大)**

- 1 サプライチェーンを考慮した災害対策立案のための設備優先順位づけ支援システム  
○金子龍平, 仲谷善雄 (立命館大), 田中 聡 (エヴァステージ), 矢津田智子 (AIVICK)
- 2 季節別の環境電磁波のHMMに基づく異常検出  
○水野隼輔, 酒向慎司, 北村 正 (名工大)
- 3 BCPへの反映を目的とした外出時被災社員の行動調査・教育システム  
○辻 康祐, 仲谷善雄 (立命館大), 田中 聡 (エヴァステージ), 矢津田智子 (AIVICK)
- 4 オール無線インフラをベースとした災害情報配信システムの構築  
○石川光季, 柴田義孝 (岩手県大)
- 5 GISを利用したリアルタイムハザードマップシステム  
○佐藤 瞳, 柴田義孝 (岩手県大), 内田法彦 (埼玉工大)
- 6 情報入力容易さを考慮したボランティアセンターを中心とする活動支援システムの提案  
○池端優二, 福井 悠, 山田俊輔, 丸山博史, 塚田晃司 (和歌山大)
- 7 自治体災害対応業務における情報伝達障害分析支援システムの提案  
○安藤 恵 (京大), 畑山満則 (京大防災研)
- 8 RoboCupRescue Simulation のための立体表示システムについて  
○瀬賀威仁, 安井啓人, 村橋奏那, 永田栄視, 福安俊明, 伊藤暢浩 (愛知工大)
- 9 観光客避難誘導方法の評価システム~京都における検証結果~  
○衣笠成輝, 仲谷善雄 (立命館大)

**学生セッション [3ZE会場] (3月7日(水) 9:30 ~ 12:00)**

**教育支援システム 座長 中山 泰一 (電通大)**

- 1 ストリートダンス未経験教師のロックダンス教育を支援する  
○武居拓郎, 仲谷善雄, 岡田大地 (立命館大)
- 2 オノマトペを用いたストリートダンス指導支援環境の提案  
○岡田大地, 仲谷善雄, 武居拓郎 (立命館大)
- 3 変換候補選択による漢字学習支援システム  
○和田善貴, 山本偉久馬, 山田和真, 濱川 礼 (中京大)
- 4 言語グリッドを用いた留学生向け教材の多言語化支援システムの提案  
○北川大輔, 木野村晋吾, 桑原和宏 (立命館大)
- 5 英語輪読における翻訳作業を支援するグループ英語学習支援システムの開発  
○宝蔵寺克洋, 松前 進 (佐賀大)
- 6 講義ノートと関連した過去ノートを提示し知の再編成を目指した支援ツールの検討  
○清 貴幸, 村上貴彦, 中村太戯留 (東京工科大), 田丸恵理子 (富士ゼロックス), 上林憲行 (東京工科大)
- 7 講義ノートへの“記述行為”と同期した講義動画を参照できる復習支援ツールの提案  
○村上貴彦, 清 貴幸, 中村太戯留 (東京工科大), 田丸恵理子 (富士ゼロックス), 上林憲行 (東京工科大)

- 8 興味度の抽出機能を持つ教材埋め込み型電子絵本の提案  
○柴田邦道, 森山政訓, 湯川和秀, 上野康治 (同志社大), 高橋一夫 (常磐会短大), 金田重郎 (同志社大)
- 9 グループ討議演習支援システムの設計と実装  
○李 依湖, 渡辺博芳, 高井久美子, 佐々木茂 (帝京大)
- 10 ミスユースケース図を利用したセキュアプログラミング学習教材の提案とその評価  
○大野裕稔 (東京学芸大), 清水啓人 (情報セキュリティ大), 樋山淳雄 (東京学芸大)

学生セッション [4ZE 会場] (3月7日 (水) 15:30 ~ 17:30)

農業支援システム 座長 神沼 靖子 (フェロー)

- 1 IT 技術を使ったリンゴの収穫管理と品質管理システムの提案  
○小林洋貴, 芦田和毅 (長野高専), 山下一樹 (山下フルーツ農園), 藤澤義範 (長野高専)
- 2 水産物小売業における Customer Relationship Management の提案  
○江島良幸, 堀川三好, 菅原光政 (岩手県大)
- 3 農産物産地直売所における入荷・販売計画作成システムの構築  
○下川原健, 竹野健夫, 堀川三好, 菅原光政 (岩手県大)
- 4 (講演取消)
- 5 (講演取消)
- 6 ブランタからの語りかけによる農作業現場での知識継承の試み  
○磯江陽生, 仲谷善雄 (立命館大)

学生セッション [5ZE 会場] (3月8日 (木) 9:30 ~ 12:00)

CAI 座長 長瀬 寛之 (岡山大)

- 1 ソフトウェア工学教育のための協調学習による課題演習支援システム  
○張 龍明, 樋山淳雄 (東京学芸大)
- 2 クライアント間の動作の共有と可視化による Web アプリケーション学習支援  
○石井正浩, 疋田輝雄 (明大)
- 3 順序回路の学習支援システムにおける回路図問題に関する検討  
○植木大介, 高木章宏, 出口幸子 (近畿大)
- 4 ボトルネックを題材とした CS アンプラグド新アクティビティの提案  
○川上 茜, 福岡久雄 (松江高専)
- 5 プログラミング学習用ゲームエンジンの設計手法の提案  
○金澤明典, 林 秀彦 (鳴門教育大), 皆月昭則 (釧路公大)
- 6 教育用制御ロボットの動作シミュレーション機能の実現  
○和田佑介, 大西修平 (大阪電通大), 紅林秀治 (静岡大), 井戸坂幸男 (松阪市立飯高東中学校), 兼宗 進 (大阪電通大)
- 7 マイクロロボットとスクラッチによる組込みシステムの学習に向けて  
○四折直紀, 宮内悠仁, 杉原一臣, 大熊一正, 山西輝也, 魚崎勝司 (福井工大)
- 8 授業と在宅学習を連動させた日本語スピード入力支援システム  
○廖 宸一 (中部大), 武岡さおり, 箕浦恵美子 (名古屋女子短大), 尾崎正弘 (中部大)
- 9 音声表現スキルを必要とする職業の訓練支援方法とシステムの研究  
○高石 茜, 山口治男 (東京工科大)

学生セッション [6ZE 会場] (3月8日 (木) 14:30 ~ 16:30)

SNS 分析・応用 座長 金子 格 (東京工芸大)

- 1 Twitter 上の bot の判別による情報伝達の効率化  
○湯田 雅, 矢吹太郎, 佐久田博司 (青学大)
- 2 動物園のためのソーシャルメディアを活用した積極的な知識提供モデルの提案  
○瀧川晴菜, 杉山岳弘 (静岡大)
- 3 「群衆の叡智」現象に関わる諸実験と仮説の検証  
○岡野匡志, 三上達也 (立命館大)
- 4 Twitter を活用した災害時周辺情報の収集と情報精度の評価システム  
○横部 径, 仲谷善雄 (立命館大)
- 5 SNS 上に蓄積されたインタレストグラフを用いた類似ロールモデルの発見と企業検索支援サービス  
○弥富健太 (東京工科大), 岡崎博樹 (手仕事工房), 上林憲行 (東京工科大)

- 6 コメントマイニングによる動画視聴者の感情推移の推測とレコメンドサービスへの応用  
○岩田康宏 (中京大), 浦 正広 (名大), 中 貴俊, 遠藤 守, 山田雅之, 宮崎慎也, 田村浩一郎 (中京大)
- 7 スマートフォンと Facebook ページを連携した地域情報のガイド・コミュニケーションシステムの提案と試作  
○菅瀬和弘, 横井茂樹 (名大), 西尾吉男 (金城学院大)
- 8 ベーカリーショップにおける twitter 広告と連動した販売業務支援システムの提案  
○難波 輝, 南野謙一, 後藤裕介, 渡邊慶和 (岩手県大)

学生セッション [1ZF 会場] (3月6日 (火) 9:30 ~ 12:00)

交通・情報システム 座長 屋代 智之 (千葉工大)

- 1 需要調査分析による函館圏におけるデマンド交通運行計画の考察  
○丸山順平, 松原 仁 (はこだて未来大)
- 2 実オフィスに導入した照明の分散最適制御システムにおけるトラブル検出のための遠隔監視システムの構築  
○今宮久夫, 三木光範, 吉見真聡, 笠原佳浩 (同志社大)
- 3 ダイヤ・列車接続情報を基に障害波及を予測する鉄道障害情報提供システムの提案  
○湊 耕平, 中尾和夫 (阪工大)
- 4 運行状況を反映した公共交通情報提供システムの提案  
○石川遼一, 中尾和夫 (阪工大)
- 5 電気自動車のインフラシステムの提案と評価  
○ト部静香, 奥田隆史, 井手口哲夫, 田 学軍 (愛知県大)
- 6 マルチカーエレベータにおける拡張ゾーン方式を用いた群管理制御  
○古木悠太, 能登正人 (神奈川大)
- 7 自律走行型ロボット ASKA による自動巡回システムの開発  
○東 拓実, 加藤 嗣, 服部公央亮, 田口 亮 (名工大), 保黒政大 (中部大), 梅崎大造 (名工大)
- 8 道路維持管理の現場支援のためのタブレット PC を用いた台帳管理システムの開発  
○坂本大介, 窪田 論 (岩手県大), 菊池正樹 (岩手県南広域振興局), 市川 尚, 阿部昭博 (岩手県大)
- 9 ドクターヘリ運航マネジメント業務における CS の意思決定支援システムの開発  
○長田 樹, 高橋知央 (釧路公大), 濱田賢二, 丹羽政晴 (中日本航空)

学生セッション [2ZF 会場] (3月6日 (火) 15:00 ~ 17:30)

地域観光支援システム 座長 児玉 公信 (情報システム総研)

- 1 (講演取消)
- 2 (講演取消)
- 3 ユーザ参加型ご当地検定システムにおける主観的情報の付与方法の提案  
○奥津翔太, 菅原遼介, 古館昌伸, 高木正則, 山田敬三, 佐々木淳 (岩手県大)
- 4 ブログ記事上の評判情報と個人の観光嗜好を考慮した観光地の評価  
○鈴木一輝, 内田 理 (東海大)
- 5 国内宿泊施設の各地域における規模分布に関する統計分析  
○野田 実, 佐藤彰洋 (京大)
- 6 名所情報推薦機構に基づく観光地案内システムの試作  
○若尾皇輝, 金森 亮, 伊藤孝行 (名工大)
- 7 観光における風評被害事例ポータルサイトの試作  
○堀口祐耶, 市川 尚, 窪田 論, 阿部昭博 (岩手県大)
- 8 観光情報システムの音声合成導入に関する考察  
○河本祐弊, 市川 尚, 窪田 論, 狩野 徹, 阿部昭博 (岩手県大)
- 9 災害時対応に用いるプライバシー情報共有支援システムの設計と試作  
○齋藤永司, 長澤悠貴 (名工大), 毛利公美 (岐阜大), 福田洋治 (愛知教育大), 白石善明 (名工大)

学生セッション [3ZF 会場] (3月7日 (水) 9:30 ~ 12:00)

エンタテインメントシステム 座長 高田 明典 (フェリス学院大)

- 1 動的コンテンツに利用可能な日本語 Web フォント配信システム  
○奥村 命 (名工大), 案西稿志 (モリサワ), 伊藤孝行 (名工大)
- 2 画像の領域分割を用いたキャラクター弁当のレシピ作成システム  
○下込拓哉, 小池隆太, 松尾沙都美, 濱川 礼 (中京大)

- 3 EXAIT: An Exercise Art Image Tool  
○岩田拓也, 中村駿介, 水野慎士, 澤野弘明 (愛知工大)
- 4 Twitterのつぶやき情報に基づいたアバター仮想空間の自動生成  
○小山穂奈美, 須藤 智, 恩田憲一 (尚美学園大)
- 5 コーディネーター離脱に耐性を持つP2Pオンラインゲームの制御手法の検討  
○大島賢司, 大関和夫, 平川 豊 (芝浦工大)
- 6 身体運動リズムに対応した音楽の自動生成システム  
○鈴木泰浩, 若林昭徳, 山西良典, 加藤昇平 (名工大)
- 7 電子ホログラフィによる3Dゲームシステムの構築  
○江澤有生, 白木厚司 (木更津高専)
- 8 複数の超音波距離センサを用いた振り遊び  
○尾崎英彬, 魚井宏高 (大阪電通大)
- 9 カメラを用いた麻雀自動得点計算システムの構築  
○松井雪治, 澤野弘明, 水野慎士 (愛知工大)

学生セッション [4ZF 会場] (3月7日 (水) 15:30 ~ 17:30)

- エンタテインメントの評価 座長 高田 明典 (フェリス女学院大)
- 1 Webを用いたアンケート立案支援システムの実現とその応用  
○藏富徳彦, 湯浅康史, 白松 俊, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
  - 2 鑑賞者の体験を促す観光情報システムの開発と評価  
○高橋恭平, 市川 尚, 窪田 論, 阿部昭博 (岩手県大)
  - 3 ゲームにおけるステージの重要性がユーザの感情に与える影響  
○山口泰弘, 須甲 惇, 山下 翼, 大久保雅史 (同志社大)
  - 4 日本におけるインターネットテレビの現状と課題  
○鈴木祥一, 森本祥一 (専修大)
  - 5 デジタルサイネージの効果測定手法の検討  
○原田美咲, 近藤優貴, 塩澤可菜, 庄司有希, 菅牟田みき, 文園あい紗, 山石麻実, 内田奈津子, 高田明典 (フェリス女学院大)
  - 6 デジタルサイネージの訴求構造分析  
○稲垣理沙, 袁 蘊白, 王曉パイ, 計良桃子, 後藤祐子, 宇野早苗, 小柳沙美, 竹内理沙, 内田奈津子, 高田明典 (フェリス女学院大)
  - 7 (講演取消)

学生セッション [5ZF 会場] (3月8日 (木) 9:30 ~ 12:00)

- プログラミング教育 座長 角田 博保 (電通大)
- 1 可視化によるプログラミング言語初學者支援システム  
○大谷 梓, 須藤 智, 恩田憲一 (尚美学園大)
  - 2 プログラミング学習のためのソースコード読解問題類題生成システムの実現  
○吉田拓己, 高橋直久, 山本大介, 立岩佑一郎 (名工大)
  - 3 大学のプログラミング教育における可読性の影響の調査  
○松本翔太, 松原俊一, Martin J. Duerst (青学大)
  - 4 オブジェクト指向プログラミング初學者向け評価手法を用いたソースコード改善学習支援  
○若林智徳, 松浦佐江子 (芝浦工大)
  - 5 ソフトウェアメトリクスを使ったプログラミング学習支援  
○安田伊佐武 (北海道情報大)
  - 6 プログラミング入門教育における教育補助システムの開発  
○石井侑太, 小野郁真, 河野美波, 高野辰之, 宮川 治 (電機大)
  - 7 プログラミング教育におけるコーディング手順矯正システムの開発  
○石嶋博行, 山田優里, 桑谷 歩, 高野辰之, 宮川 治 (電機大)
  - 8 プログラミング能力向上支援のための数学学習方式の提案  
○久保田悠斗 (はこだて未来大), 下郡啓夫 (北星学園大附属高), 大場みち子 (はこだて未来大)
  - 9 Android 端末を利用したプログラミング学習補助教材の検討  
○小谷野健太, 坂上 司, 勝間田仁 (日本工大)

学生セッション [6ZF 会場] (3月8日 (木) 14:30 ~ 16:30)

- 動作解析応用 座長 恩田 憲一 (尚美学園大)
- 1 地域伝統舞踊におけるすり足動作の評価についての一検討  
○仁昌寺沙紀, 松田浩一 (岩手県大), 清家久美子, 海賀孝明 (わらび座)

- 2 地域伝統舞踊の「落とし」における伸びと落下の関係を考慮した評価方法についての一検討  
○瀧澤祐弥, 松田浩一 (岩手県大), 清家久美子, 海賀孝明 (わらび座)
- 3 モーションキャプチャとVR技術を用いた舞踊教育支援システム  
○柴田 傑, 玉本英夫, 松本奈緒, 三浦 武, 横山洋之 (秋田大)
- 4 速度情報の視覚提示を用いた下手投げ動作の教示  
○森川晃延 (三重大), 坂本良太 (三重大病院), 野村由司彦 (三重大)
- 5 動作検知機能付きWebカメラを用いた農作業画像の自動抽出実験  
○中村武道, 吉田昌平, 高木正則, 山田敬三, 佐々木淳 (岩手県大)

学生セッション [1ZG 会場] (3月6日 (火) 9:30 ~ 12:00)

- 企業の意思決定 座長 原田 要之助 (情報セキュリティ大)
- 1 ブランド選択行動の多様性に関する固定的要因と外部刺激の分析  
○原野朱加, 湯浦克彦 (静岡大)
  - 2 IFRS 導入に向けたビジネス戦略の図式化  
○渡邊大輝, 辻 光宏 (関西大)
  - 3 半導体商社が活用するDBシステムの提案  
○永井明彦 (東工大), 中川裕輝, 伊藤孝行 (名工大)
  - 4 統一的なビジネスプロトコルを前提としないAWS電子商取引の研究  
○平本真道, 安齋太一郎, 大谷 真 (湘南工科大)
  - 5 自己組織化特許マップとAHPを用いた企業の意思決定支援  
○前田有輝, 小原和博 (千葉工大)
  - 6 CGM マイニングとSOMとAHPを用いた購入意思決定支援  
○相川竜磨, 小原和博 (千葉工大)
  - 7 中小企業連携支援システムの実態調査及び現状の評価と分析  
○早川巧也, 後藤裕介, 南野謙一, 渡邊慶和 (岩手県大)
  - 8 業績評価制度導入効果の理解のためのシミュレータ開発  
○佐々木美紗, 後藤裕介 (岩手県大), 高橋真吾 (早大), 南野謙一, 渡邊慶和 (岩手県大)
  - 9 ブランド・エクイティの法的保護 - 不正競争防止法と民法の交錯および保護範囲に関する一考察 -  
○湯田恵美 (筑波大)

学生セッション [2ZG 会場] (3月6日 (火) 15:00 ~ 17:30)

- 医療・福祉システム 座長 阪田 治 (山梨大)
- 1 相談過去事例を用いた福祉相談業務における育成活動支援システムの構築  
○藤野一也, 植竹俊文, 堀川三好, 菅原光政 (岩手県大)
  - 2 研修医向けの診断推論学習eラーニング教材の開発と実践  
○古谷 将 (東京工科大), Brian Heist (University of Pittsburgh), 長下部寛, 松永信介, 稲葉竹俊 (東京工科大)
  - 3 災害医療を支援するための避難先推定システム  
○川辺顕裕, 仲谷喜雄 (立命館大)
  - 4 在宅医療・看護・介護におけるチームケアを促進する情報流通基盤  
○立田太一, 溝口 航, 榊原宏章, 日比政博, 矢口隆明, 岩田 彰 (名工大)
  - 5 タッチパネル式IP電話を活用した高齢者ライフサポートシステムの開発  
○梶 真人, 山田敬三, 高木正則, 佐々木淳 (岩手県大)
  - 6 自己発信型高齢者安否確認システムにおける自動確認時刻決定アルゴリズムの提案  
○菊池卓秀, 山田敬三, 高木正則, 佐々木淳 (岩手県大), 田中 充 (イワテシガ), 小川晃子 (岩手県大)
  - 7 適切なヘッドライを支援するインタラクティブ・ドライバーの提案  
○藤田真央, 塚田浩二, 椎尾一郎 (お茶の水女子大)
  - 8 トランスセオレティカル・モデルを用いた食事管理システム利用継続支援機能の提案  
○中島裕聡, 伊藤行生, 高木正則, 山田敬三, 佐々木淳 (岩手県大)
  - 9 運用を想定した住民参加型による3次元UDマップの拡張  
○枅内真梨花, 窪田 論, 市川 尚, 阿部昭博 (岩手県大)
- 学生セッション [3ZG 会場] (3月7日 (水) 9:30 ~ 12:00)
- 情報教育 座長 田中 規久雄 (阪大)
- 1 ソースコードの履歴による学習者のデバッグ過程の分析  
○杉山 裕, 養原 隆 (拓大)

- 2 初中等教育向け教育用 CPU シミュレータの開発  
○金 尹悦, 安井浩之, 吉野邦生 (東京都市大)
- 3 プログラミング導入教育におけるコンパイルエラー修正時間の分析  
○榊原康友, 松澤芳昭, 酒井三四郎 (静岡大)
- 4 情報系学生の情報セキュリティ理解度に関する研究  
○糸山修一, 河村 圭, 原田成美 (山口大), 川村 保 (イルボンテ)
- 5 ICT を活用した積分演習の効率化手法に関する検討  
○大前佑斗, 福村好美, 中平勝子 (長岡技科大)
- 6 学習者特性適応型協調スクリプトを活用した CSDL システムの構築と評価  
○高橋秀二, 松永信介, 安藤公彦, 稲葉竹俊 (東京工科大)

- 7 e ポートフォリオ利用促進のための学習環境の提案  
○山上祥多, 菱田隆彰 (愛知工大)
- 8 ソーシャルラーニングにおける相互評価の活用方法  
○山本 努, 矢吹太郎, 佐久田博司 (青学大)
- 9 聴覚障がいと発達障がい併せ有する児童向けの算数学習支援デジタル教材の研究  
○鳥井大幹, 土山将弘, 松永信介, 稲葉竹俊 (東京工科大)

学生セッション [4ZG 会場] (3 月 7 日 (水) 15:30 ~ 17:30)

電力・エネルギー 座長 辻 秀一 (東海大)

- 1 電力融通市場における自動取引エージェント  
○平賀圭祐, 大沢英一 (はこだて未来大)
- 2 電力の有効利用を実現するためのプランニングの検討  
○栗原孝太, 大澤由憲, 菅沼拓夫, 橋本和夫 (東北大)
- 3 太陽光発電と蓄電池の効率的な利用のためのエージェントに基づく電力利用マネジメントモデル  
○水谷信泰, 金森 亮, 伊藤孝行 (名工大)
- 4 SmartGrid シミュレーションシステムにおける EV の活用に向けた一考察  
○唐石景子, 小口正人 (お茶の水女子大)
- 5 消費電力観測値からの生活状況推定手法の提案  
○吉野太郎, 大澤由憲, 菅沼拓夫, 橋本和夫 (東北大)

学生セッション [5ZG 会場] (3 月 8 日 (木) 9:30 ~ 12:00)

教育システム 座長 阿部 圭一 (愛知工大)

- 1 学生の得意不得意を考慮した時間割の自動作成  
○西森友省, 堀 幸雄, 今井慈郎 (香川大)
- 2 学校における個人情報流出保護を考慮した USB メモリ管理システムの運用評価  
○上枝俊太, 納富一宏 (神奈川工科大)
- 3 小学校英語教育へのタブレット端末導入による教育効果に関する研究  
○栗山勇人, 長沢可也, 井上道哉, 鈴木 慧, 藤田恭平 (湘南工科大)
- 4 災害時におけるモバイル出席管理システムの応用方法  
○竹井智彦, 菱田隆彰 (愛知工大)
- 5 テキストとノートの電子化と講義での活用  
○服部裕樹 (北海道情報大)
- 6 教育現場におけるサーバ統合とシンクライアントの検討  
○佐藤耕司, 大場みち子 (はこだて未来大), 小野寺豊 (ソフトアトリエ)
- 7 再利用性を高める教材共有環境の構築  
○安永 航, 大場みち子, 山口 琢 (はこだて未来大)
- 8 地下鉄で e-Learning - 自習支援アプリ【ゆびスタ】 -  
○渡邊渉美, 菱田隆彰 (愛知工大)
- 9 Moodle のテストを楽しくリビングで行う方法  
○奥井上総, 菱田隆彰 (愛知工大)
- 10 アセンブラプログラミング初学者のためのヒント提示システムの実現  
○諸岡尚志, 立岩佑一郎, 山本大介, 高橋直久 (名工大)

学生セッション [6ZG 会場] (3 月 8 日 (木) 14:30 ~ 16:30)

画像応用 座長 田中 雅章 (鈴鹿短大)

- 1 化学実験における危険回避と安全学習の両立に向けた情報提示タイミングの基礎検討  
○内藤理佐, 宗官祥史, 藤波香織 (農工大)

- 2 救命の連鎖モデルによる胸骨圧迫方法と AED 使用方法に関する体験学習支援メディアの開発  
○志村綾華 (釧路工大), 竹内美妃 (日本赤十字北海道看護大), 林 秀彦 (鳴門教育大), 皆月昭則 (釧路工大)
- 3 コンピュータ画面と顔画像を組み合わせた操作履歴の検索  
○杉浦遼一, 梅村恭司, 岡部正幸 (豊橋技科大)
- 4 プレゼンテーション支援のためのジェスチャー入力の一評価  
○榊原宏祐, 服部裕樹, 澤野弘明, 中條直也 (愛知工大)
- 5 プレゼンテーションスライドのデザイン的構成評価  
○前田啓太, 花植康一, 渡邊豊英 (名大)

学生セッション [1ZH 会場] (3 月 6 日 (火) 9:30 ~ 12:00)

地域情報の高度利用 座長 湯瀬 裕昭 (静岡県大)

- 1 浜松市周辺における津波伝承地図データベースの構築とそれに基づいた学習プログラムのデザイン  
○郡 航, 杉山岳弘 (静岡大)
- 2 3D Gis と Google Earth の連携による洪水情報サイトの構築  
○イリツアン, 森 正寿 (近畿大)
- 3 オーラルヒストリーと街並みの 3D データを用いた人々が持つ街の記憶の保存  
○鈴木満里奈, 石川竜之介, 佐藤歩美, 北村拓也, 佐久間容子, 松本 悠, 横山朝子, 渡辺博芳, 佐々木茂, 近藤直樹 (帝京大)
- 4 地域コミュニティにおける郷土文化収集システムの構築  
○小田島瑞希, 竹野健夫, 植竹俊文, 菅原光政 (岩手県大)
- 5 ユーザ参加型ご当地検定システムにおけるコミュニケーション支援機能の提案  
○古舘昌伸, 菅原遼介, 奥津翔太, 高木正則, 山田敬三, 佐々木淳 (岩手県大)
- 6 魚眼カメラを搭載したバルーンによる広域監視システム  
○有村実剛, 柴田義孝 (岩手県大)
- 7 自転車 GPS データによる観光サイクルマップの開発とそのまちづくり応用  
○佐藤遼二, 工藤峻輔, 窪田 諭, 市川 尚, 阿部昭博 (岩手県大)
- 8 屋内外シームレス測位の実現に向けた GPS/IMES 測位統合システムの設計  
○森本修介, 日高正貴, 神武直彦 (慶大)
- 9 運用の簡易性を考慮した RFID 情報管理システム間の拡張に関する研究・開発  
○後藤建二, 松田勝敏 (東北工大)

学生セッション [2ZH 会場] (3 月 6 日 (火) 15:00 ~ 17:30)

学習支援 座長 井上 仁 (九大)

- 1 学習項目オントロジーに基づく情報工学教材の体系化  
○中森慎平, 杉本 徹 (芝浦工大)
- 2 講義コンテンツを用いた学生の自主学習を支援するシステムに関する研究 - シラバスから学習オントロジーを生成する機能について -  
○松本駿佑, 齋藤拓也, 松本 貢, 佐藤久仁哉, 八重樫理人 (香川大)
- 3 論文調査段階に応じた論文整理手法  
○青木政人, 林 佑樹, 渡邊豊英 (名大), 小尻智子 (関西大)
- 4 学生の相互協力に着目した研究活動支援システムの開発と評価  
○田村 亘, 南野謙一, 渡邊慶和, 後藤裕介 (岩手県大)
- 5 コーパスを用いた研究・学習・教育支援を行う支援システム開発のための考察と提案  
○三浦宏太, 坂本泰伸, 藤野玄大 (東北学院大)
- 6 クラウド環境を利用した IP ネットワーク構築演習支援システムの開発  
○北澤友基, 井口信和 (近畿大)
- 7 ロールプレイング手法に基づいた面接練習支援サービスの研究 ~ SNS と改善サイクルによる面接力向上の効果検証 ~  
○井上直大, 高橋大樹, 中村亮太, 上林憲行 (東京工科大)
- 8 タブレット型コンピュータを用いた初心者向け対話的デッサン学習支援システムの開発  
○澤田明宏, 亀田昌志 (岩手県大)
- 9 対戦型ゲームを応用したエージェントシステム学習支援ソフトウェアに関する研究  
○武崎敬太郎, 今野 将 (千葉工大)

学生セッション [3ZH会場] (3月7日(水) 9:30～12:00)

バイオメディカルインフォマティクス 座長 加藤 毅 (群馬大)

- 1 特徴的塩基配列とシステム構造に基づいた DNA からの snoRNA 遺伝子検出法  
○薛 晨, 岩切淳一, 山森一人, 剣持直哉, 吉原郁夫 (宮崎大)
- 2 (講演取消)
- 3 大腸がんの成長シミュレーションシステム開発  
○武内利憲, 岡崎明彦 (中部大), 長嶺共全 (びわこ学院大), 小野謙三 (公立陶生病院)
- 4 論文のアブストラクトを用いることによる生命医学論文の分類  
○吉田貴哉, 大和田勇人 (東理大)
- 5 サポートベクターマシンによる独居高齢者向け危険行動検出法  
○磯谷有毅, 藤野雄一 (はこだて未来大)
- 6 脱水症予防のための水分補給支援システムの開発  
○石原脩大, 斎藤涼一, 菊池 誠, 志村綾華, 皆月昭則 (釧路公大)
- 7 肺結核検出のための順序論理フィルタの効果検証  
○水野杏里, 宗森智央, 杉浦彰彦 (静岡大), 澁谷倫子 (山形県産業技術短大庄内校), 山本真司 (静岡大)
- 8 濃度差を利用したフィルタリングによる肺結核抽出第一段階処理の改善  
○宗森智央, 水野杏里, 杉浦彰彦 (静岡大), 澁谷倫子 (山形県産業技術短大庄内校), 山本真司 (静岡大)
- 9 濃度階調変換処理を用いた  $\alpha$ -LAS による偽陽性陰影削減  
○横山 慎, 杉浦彰彦 (静岡大), 澁谷倫子 (山形県産業技術短大庄内校), 山本真司 (静岡大)

学生セッション [4ZH会場] (3月7日(水) 15:30～17:30)

モバイルエンタテインメント 座長 倉本 到 (京都工繊大)

- 1 簡易距離計測アプリケーションの開発  
○田口 諒, 田中成典 (関西大), 北川悦司 (阪南大), 吉田博哉 (神戸情報大), 中村健二 (立命館大)
- 2 スマートフォンを利用した3Dマンガ作成および表示システムの開発  
○吉田順史, 佐々木茂 (帝京大), 岸茉莉香, 瀧藤 唯, 田中誠一 (文星芸術大)
- 3 デフォルメ顔画像生成アプリケーションの開発  
○上谷弘平, 田中成典 (関西大), 北川悦司 (阪南大), 吉田博哉 (神戸情報大), 中村健二 (立命館大)
- 4 顔画像合成アプリケーションの開発  
○井上晴可, 田中成典 (関西大), 北川悦司 (阪南大), 吉田博哉 (神戸情報大), 中村健二 (立命館大)
- 5 イベント情報収集アプリケーションの開発  
○松田貴寛, 田中成典 (関西大), 北川悦司 (阪南大), 吉田博哉 (神戸情報大), 中村健二 (立命館大)
- 6 「Tweet & Badge」～ツイッターにおけるつぶやき解析を用いたユーザーのグルーピング～  
○野田悠介, 阿原正弥, 杉浦稜介, 横井優斗, 濱川 礼 (中京大)
- 7 万象連鎖アプリケーションの開発  
○吉田俊也, 田中成典 (関西大), 北川悦司 (阪南大), 吉田博哉 (神戸情報大), 中村健二 (立命館大)

学生セッション [5ZH会場] (3月8日(木) 9:30～12:00)

医療支援システム 座長 田部井 靖生 (東工大)

- 1 踵運動の周期性に着目した歩行リハビリ効果の定量化  
○仁昌寺克行, 松田浩一 (岩手県大)
- 2 遠隔リハビリテーション支援システム-マークレス動画認識による片麻痺機能テスト-  
○望月俊克, 伊藤健太, 原山美知子 (岐阜大)
- 3 咀嚼・嚥下連携動作の検出を用いた嚥下障害検査手法の提案  
○宇野修司, 河合 純, 金田重郎 (同志社大)
- 4 医用画像のモダリティ統合のための3次元胸部CT像の構造解析システム  
○岩男悠真, 韋 鶯鶯, 後藤敏行, 影井清一郎 (横浜国大), 岩澤多恵 (神奈川県立循環器呼吸器病センター)
- 5 肺野構造解析に基づく胸部CT像とMR造影像との対応探索法の検討  
○韋 鶯鶯, 岩男悠真, 後藤敏行, 影井清一郎 (横浜国大), 岩澤多恵 (神奈川県立循環器呼吸器病センター)

- 6 (講演取消)
- 7 指尖容積脈波測定によるストレス診断支援システムに関する研究  
○高橋知央 (釧路公大), 林 秀彦 (鳴門教育大), 皆月昭則 (釧路公大)
- 8 妊婦の妊娠中期以降における水分補給支援システムの開発  
○斎藤涼一, 石原脩大, 志村綾華, 菊池 誠 (釧路公大), 名塚優子 (市立釧路総合病院), 皆月昭則 (釧路公大)
- 9 乳幼児の水分補給マネジメントシステムの開発  
○岩崎武史, 小椋宇謙 (釧路公大), 坂本 文 (釧路悠和会), 皆月昭則 (釧路公大)

学生セッション [6ZH会場] (3月8日(木) 14:30～16:30)

教師支援システム 座長 渡辺 博芳 (帝京大)

- 1 より良い授業設計と学びをサポートするKEEP Toolkit日本語版の開発  
○筒井友英, 竹田尚彦 (愛知教育大)
- 2 コミュニティ分割に基づいた友人関係形成のための班分け手法  
○加藤竜丸, 松島 裕, 武藤敦子, 加藤昇平, 犬塚信博 (名工大)
- 3 全員参加型の協調学習のための性格を考慮したグループ編成方法の提案  
○小谷諭史, 池田信一, 勅使河原可海 (創価大)
- 4 英文テキストを利用した英語問題自動生成システム  
○中濱亜耶, 来住伸子, 青柳龍也 (津田塾大)
- 5 ユーザ参加型ご当地検定システムにおける問題形式自動変換機能の開発  
○菅原達介, 奥津翔太, 古館昌伸, 高木正則, 山田敬三, 佐々木淳 (岩手県大)
- 6 レポート作成支援機能付き課題提出システムの開発  
○谷村 祐, 納富一宏 (神奈川工科大)
- 7 野球評価理論に着想を得た新成績評価指標の研究  
○前田翔馬, 奥田隆史, 井手口哲夫, 田 学軍 (愛知県大)
- 8 学習教材推薦者の学習実績と被推薦者の学習効果の関係性  
○栗原隆平 (電機大)
- 9 シリアスゲームの教育利用における効果的なワークシート使用法の検証  
○白坂友香梨, 朝比奈千衣乃, 松永信介, 稲葉竹俊 (東京工科大)

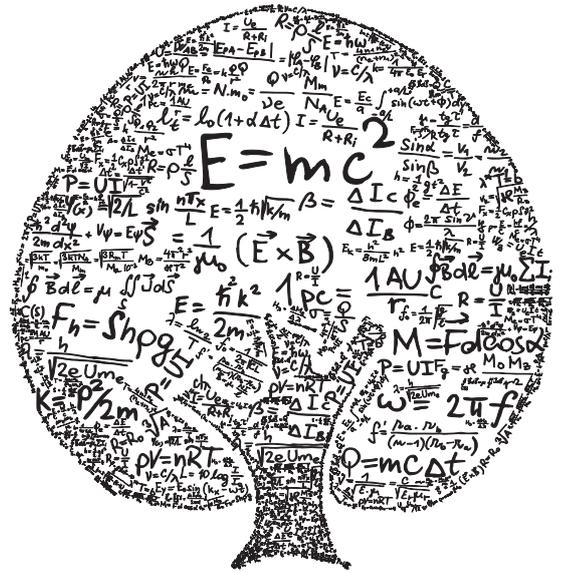
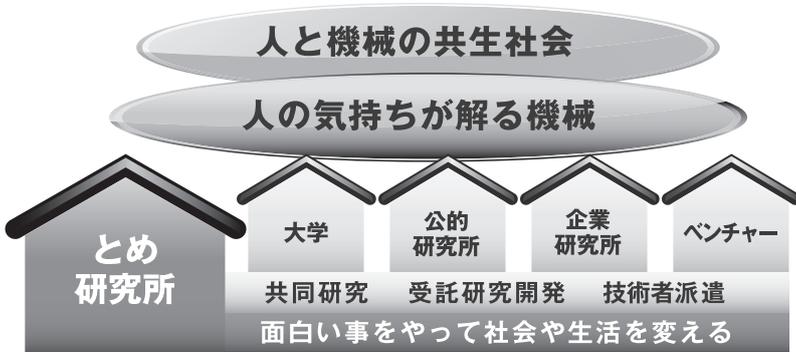
学生セッション [1ZJ会場] (3月6日(火) 9:30～12:00)

医療ITシステム 座長 大川 剛直 (神戸大)

- 1 食事制約条件を考慮した料理推薦システムの開発  
○藤井宏平, 伊藤行生, 高木正則, 山田敬三, 佐々木淳 (岩手県大)
- 2 介護現場で用いる記録用紙の電子データ化システムの構築  
○加藤雄大, 大枝真一 (木更津高専)
- 3 手指消毒支援システム開発における研究  
○山内 慶 (釧路公大), 名塚優子 (市立釧路総合病院), 皆月昭則 (釧路公大)
- 4 患者接遇の質的情報による看護支援システムの一考察  
○菊池 誠, 皆月昭則 (釧路公大)
- 5 携帯端末を利用した在宅医療業務支援システムの提案  
○松浦祐太, 辻 秀一, 小野秀翔 (東海大)
- 6 スマートフォンによる訪問看護記録システムの開発  
○高橋秀拓, 小椋宇謙, 三上智之 (釧路公大), 林 秀彦 (鳴門教育大), 竹内美妃 (日本赤十字看護大), 皆月昭則 (釧路公大)
- 7 スマートフォンを使用した頭痛薬服用タイミングの導出研究  
○三上智之, 西村拓也, 皆月昭則 (釧路公大)
- 8 スマートフォンによる服薬マネジメントシステムの開発  
○小椋宇謙, 岩崎武史, 皆月昭則 (釧路公大)
- 9 スマートフォンにおける陣痛間隔判定システムの開発  
○斎藤涼一, 石原脩大, 志村綾華 (釧路公大), 名塚優子 (市立釧路総合病院), 皆月昭則 (釧路公大)

# とめ 株式会社とめ研究所

知能情報処理技術をコアコンピタンスとした  
研究開発受託会社



知能情報処理技術をコアコンピタンスとし、大学・国家研究機関・企業研究所・ベンチャー等と国家PJ応募・共同研究・受託研究開発・技術者派遣で協創し、来るべき“人と機械の共生社会”の構築に貢献します。

ポスドク相当の技術者が共同研究者のように研究開発の加速推進に貢献します



技術者の6割が博士課程出身、4割が博士号取得者です。

難解な技術課題を解決するアルゴリズムの研究開発や社会を変えるシステムの開発を目指す志の高いエンジニア達です。



情報関連だけではなく、数学、物理学、ロボット関連の研究室出身者なども多く、多様な課題をお客様とともに解決します。

研究開発、システム開発、組込み制御開発までお任せください

画像処理、信号処理、数値解析、ロボティクス、自動化、データマイニング、自然言語処理、ヒューマンインタフェース、組込み制御開発 他



人と機械の共生でもっと生活を楽しく

とめ 株式会社とめ研究所

URL: <http://www.tome.jp> E-mail: [info@tome.jp](mailto:info@tome.jp)

- |                                |                                |                  |                  |
|--------------------------------|--------------------------------|------------------|------------------|
| <input type="checkbox"/> 本社ラボ  | 京都市下京区中堂寺南町134 京都高度技術研究所内7F    | TEL 075-315-0074 | FAX 075-315-0274 |
| <input type="checkbox"/> 京阪奈ラボ | 京都府相楽郡精華町光台1-7 けいはんなプラザラボ棟13F  | TEL 0774-94-4187 | FAX 0774-94-4337 |
| <input type="checkbox"/> 東京ラボ  | 川崎市高津区坂戸3-2-1 かながわサイエンスパーク西棟3F | TEL 044-833-7155 | FAX 044-281-0600 |

# Yahoo! JAPAN デベロッパーネットワーク

<http://developer.yahoo.co.jp/>

## Web API

デベロッパーネットワークでは、「YUI」「OAuth」の他、テキスト解析や地図、震災に関する情報などを提供。Web APIの基本的な使い方や開発に役立つサンプルコードを多数公開。



## テクノロジートレンド

先進的なサービス、新しいテクノロジーの情報に加え、Yahoo! JAPAN で用いられる技術や新しい開発手法、エンジニア向けイベントなどを発信。

**Tech Blog**  
techblog.yahoo.co.jp



Hack  
For  
Japan



## エンジニア向け総合サイト



最先端のクローズアップ情報の他、Yahoo! JAPAN が提供するコンテンツやサービスの利用が可能になる「WebAPI」「Platform」「デベロッパーツール」を公開。新たなアプリケーション開発を可能にする魅力的なプログラム。

## Relations

開発者のコミュニティをサポートし、勉強会や各種セミナーも開催。Yahoo! ビジネスセンターとの連携でクラウド環境も提供。

## Yahoo! ラボ



Yahoo! JAPAN の実験プロダクトを体験！

**NOAH**  
No Other Application & Hardware

IDC フロンティアが提供する安心・信頼の正解標準クラウドセルフポータル型 NOAH 新登場！

NOAH クラウド

検索

# 超高速・高解像度カメラ



## VI-SAI

### 製品特長

- 高解像度**  
25Mpixel (5120×5120) の超高解像度CMOSセンサー搭載。(モノクロ・カラー)
- 高速転送**  
Camera Link モデル例  
フルサイズ (5120×5120) を約31msecで画像転送。(32fps)  
フルハイビジョン(1920×1080)を部分読み出し時約2.7msecで画像転送可能 (370fps)
- インターフェース仕様**  
Camera Linkモデル：FullConfiguration採用 (10TAP、85MHz時、最大800MB/s)  
PCI Express Externalモデル：PCI Express Gen1(×4)
- ROI機能搭載**  
最大32個の部分切出し撮像が可能。
- グローバルシャッター**  
全画素同一タイミングで露光する為、高速に移動する対象にも対応可能。

# オールインワンコントローラ



## All In One Controller AI-CON

### 製品特長

- 画像処理** Vision・軸制御 Motion・シーケンス制御 PLCの機能が1つのユニットに全て集約。
- カメラの切替、画像の取り込みなどの画像処理制御もAI-CON言語で操作。
- アナログ・デジタル・高解像度カメラなど様々なカメラに対応。
- Windowsアプリケーションでは実現不可能な時間管理を厳格に実現。
- ラダー回路の取り込み、表示器の制御などもソフトウェアPLCで実現可能。(開発予定)

〒441-8113

愛知県豊橋市西幸町字浜池 331 番地 9

(株)エデックリンセイシステム

TEL:0532-29-4133 FAX:0532-29-4130

URL: <http://www.edeclinsey.jp/>

E-mail:sales@edeclinsey.jp

# 研究者 募集中



KURUSUGAWA DENSAN

来栖川電算

<http://kurusugawa.jp/>

nagatorostation hodosanshrine 宝登山神社 宝登山神社 宝登山参道 宝登山参道 eaccess 長瀬 fp



## 情景画像文字認識

の研究者を募集しています。次の分野に  
詳しい方はお問い合わせください。

- ・コンピュータビジョン
- ・パターン認識
- ・機械学習
- ・データマイニング
- ・計算理論

【問い合わせ窓口】

[yamaguchi@kurusugawa.jp](mailto:yamaguchi@kurusugawa.jp)

052-731-0511

一緒に研究しよう

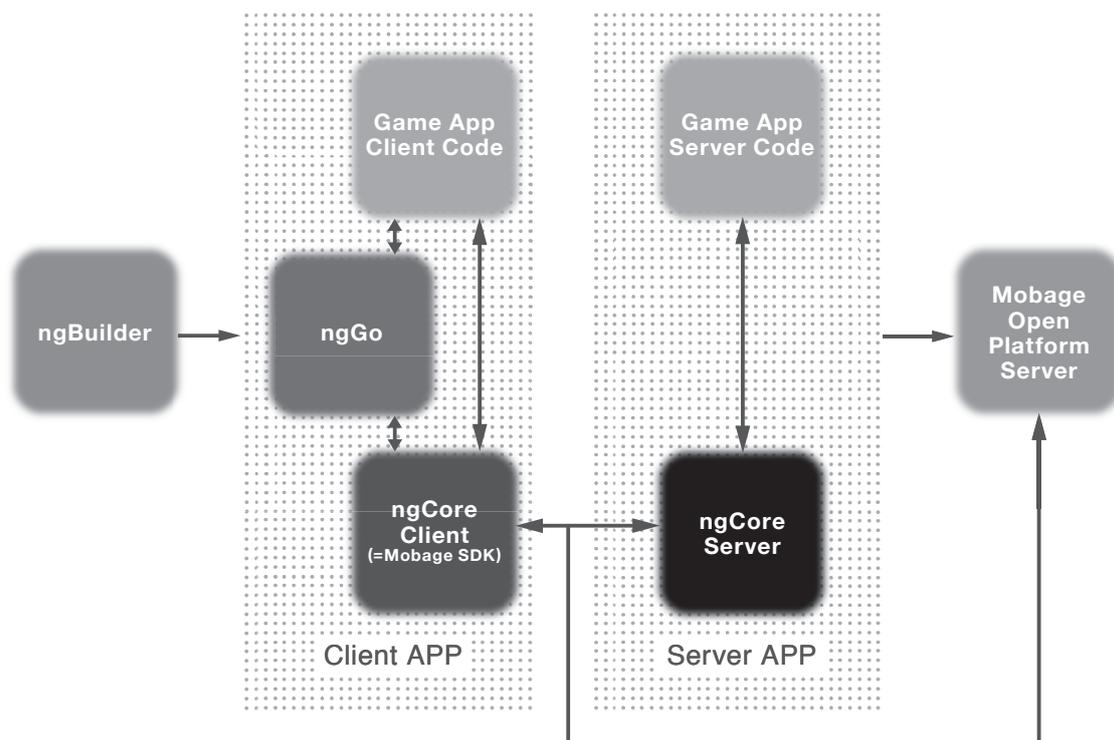


タンゴチュウは情景画像文字認識を研究  
するために作られた実験的サービスです。

TANGOCHU β版  
ワンゴ  
チュウ  
<http://tangochu.jp/>

# ngCore

スマートフォン向けクロスプラットフォームゲームエンジン



## ■ ngCore Client (=Mobage SDK)

ワンソースでAndroid/iOSのゲーム開発ができるゲームエンジンです。JavaScriptベースのプログラミングで、ネイティブアプリ並みの表現を可能にします。Mobageプラットフォームのソーシャル機能との連携や課金などの機能もサポート。

## ■ ngCore Server

ソーシャルゲームのサーバサイド実装を容易にするJavaScriptベースのフレームワークです。クライアント・サーバ間の通信や、Mobageサーバとの通信などもサポート。急なトラフィックに増にも容易にスケールアウトできるアーキテクチャです。

## ■ ngGo

ngCoreでのゲーム開発を簡単にするためのライブラリです。シーン管理、モーション管理、アセット管理、OpenGLベースのUIパーツ等をサポートします。

## ■ ngBuilder

ngCoreでのゲーム開発をサポートする開発環境です。デバッガ、JavaScriptプロファイラ、ngCoreの環境管理などをサポートします。

ngCoreのダウンロードはこちら



<https://developer.mobage.com/>

※ダウンロードにはデベロッパー登録（無料）が必要です。

## 第74回全国大会委員名簿

### 第74回全国大会組織委員会

委員長 水野 忠則(愛知工大) 副委員長 茂木 強(三菱電機)  
委員 井戸上 彰(KDDI研), 岩田 彰(名工大), 奥乃 博(京大), 落谷 亮(富士通研), 関口 智嗣(産総研),  
田坂 修二(名工大), 谷口倫一郎(九大), 寺田 真敏(日立製作所), 西 直樹(NEC), 横田 治夫(東工大)

### 第74回全国大会プログラム委員会

委員長 田坂 修二(名工大)  
委員 天笠 俊之(筑波大), 伊藤 孝行(名工大), 乾 孝司(筑波大), 犬塚 信博(名工大), 岩田 彰(名工大),  
奥乃 博(京大), 小林 亜樹(工学院大), 高瀬 亮(日立製作所), 竹房あつ子(産総研), 長 健太(東芝),  
長尾 確(名大), 橋田 浩一(産総研), 橋本 直(科学技術振興機構), 茂木 強(三菱電機),  
和田山 正(名工大)

### 第74回全国大会現地実行委員会

委員長 岩田 彰(名工大) 副委員長 高橋 直久(名工大) 幹事 犬塚 信博(名工大),  
委員 泉 泰介(名工大), 伊藤 宏隆(名工大), 打矢 隆弘(名工大), 大園 忠親(名工大), 加藤 昇平(名工大),  
黒柳 奨(名工大), 白石 善明(名工大), 白松 俊(名工大), 田口 亮(名工大), 立岩佑一郎(名工大),  
徳田 恵一(名工大), 中村 剛士(名工大), 布目 敏郎(名工大), 武藤 敦子(名工大), 山本 大介(名工大)

### 第74回全国大会プログラム編成WG

委員長 田坂 修二(名工大)  
委員 秋岡 明香(早大), 阿野 茂浩(KDDI研), 石川 孝明(早大), 梅津 高朗(阪大), 大内 一成(東芝),  
川又 武典(三菱電機), 岸場 清悟(広島大), 来嶋 秀治(九大), 北澤 繁樹(三菱電機),  
児玉 公信(情報システム総研), 小向 太郎(情報通信総合研究所), 坂田 祐司(NTTデータ), 佐藤 寿倫(福岡大),  
品川 徳秀(筑波大), 渋谷 哲朗(東大), 高田 明典(フェリス学院大), 高田 哲司(電通大), 立田 ルミ(獨協大),  
鶴岡 慶雅(東大), 寺島 美昭(三菱電機), 長尾 確(名大), 浜中 雅俊(筑波大), 早川 栄一(拓殖大),  
羽山 徹彰(北陸先端大), 藤代 一成(慶大), 藤田 茂(千葉工大),  
船越孝太郎(ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン), 古瀬 慶博(三菱スペースソフトウェア),  
堀 幸雄(香川大), 増原 英彦(東大), 松尾 治夫(日産自動車), 松谷 宏紀(慶大),  
美原 義行(NTTサイバースソリューション研), 村瀬 正名(日本IBM), 本川 敬子(日立製作所),  
山田 太造(人間文化研究機構), 山田 浩史(慶大), 李 晃伸(名工大), 渡辺 知恵美(お茶の水女子大)

### 第74回全国大会 イベント企画協力

#### 情報処理技術遺産認定式・私の詩と真実

発田 弘(沖コンサルティングソリューションズ), 情報処理学会歴史特別委員会

#### 震災復興デザインコンテスト

谷口倫一郎(九大), 情報処理学会震災復興デザインコンテスト実施WG

#### エクサスケールコンピューティングへ向けたソフトウェア技術開発ロードマップ

須田 礼仁(東京大学), 情報処理学会ハイパフォーマンスコンピューティング研究会

#### 論文必勝法 ～傾向と対策～

申田 高幸(日本IBM), 情報処理学会論文誌ジャーナル編集委員会, JIP編集委員会

#### コンピュータ将棋はまだ止まらない

松原 仁(公立はこだて未来大学), 情報処理学会コンピュータ将棋『あから』強化推進委員会

#### スパコンアプリ開発最前線

須田 礼仁(東京大学), 情報処理学会ハイパフォーマンスコンピューティング研究会

#### 私的勉強会と学会の未来

木村 俊也(ミクシィ), 情報処理学会自然言語処理研究会

#### 教育ビジョン2011:変わらなくちゃ, 情報処理学会

久野 靖(筑波大学), 情報処理学会情報処理教育委員会

#### 教育活動は「つけ足し」でいいのか? ～情報処理学会における教育活動～

久野 靖(筑波大学), 情報処理学会情報処理教育委員会

#### 次世代eラーニング研究シンポジウム

筧 捷彦(早稲田大学), 情報処理学会情報処理教育委員会

#### クラウドコンピューティングがもたらす遠隔教育の革新

筧 捷彦(早稲田大学), 情報処理学会情報処理教育委員会

#### 産業界からの学会活動活性化に向けて ～コンシューマ・デバイス&システム研究会の取り組みと期待される今後の活動～

石川 憲洋(駒沢大学), 情報処理学会コンシューマ・デバイス&システム研究会

今大会では、名古屋工業大学様より会場のご提供を頂き誠にありがとうございました。  
ここに厚くお礼申し上げます。

一般社団法人 情報処理学会

# デジタルサイネージ入門

世界の先進事例に学ぶビジネス成功の条件 ◆デジタルサイネージとは、デジタル技術を活用して、従来の印刷ポスターに代わって、映像や情報を表示する新たな広告媒体

●ジミー・シェフラー著/NTTデジタルサイネージビジネス研究会訳  
A5判・296頁 定価3,150円

(電子看板)である。北米における20の事例を取り上げ、歴史やしくみ、トレンド、ビジネスチャンスなどを解説した入門書。

# ユニコード戦記

文字符号の国際標準化バトル

●小林龍生著  
四六判・290頁 定価2,835円

◆世界規格の開発の裏側で繰り広げられた利害対立や厳しい批判に当事者たちはどう立ち向かってきたか。世界の文字符号であるユニコードと日本やアジアの文字符号との整合性をとっていく過程などを赤裸々に告白。

# アマゾン・コム の野望

ジェフ・ベゾスの経営哲学

●脇 英世著 四六判・320頁 定価2,310円

◆いまや世界最大の書店となったアマゾン・コム。このベールに包まれた世界的企業の誕生から現在までを信頼のおける資料を読み込んで克明に解き明かす。電子ブック端末のKindleの開発を通して、アマゾン・コムの将来と電子書籍の今後も見通す。

# 工学倫理

実例で学ぶ  
技術者の  
行動規範

●河村尚登著 A5判・256頁 定価2,730円

# 消費者行動の科学

サービス工学のための理論と実践

●北島宗雄/内藤耕編著 A5判・290頁 定価3,465円

# ネットワークコーディング

●トレイシー・ホー、デズモンド・S・ラン著/河東晴子訳  
A5判・216頁 定価3,465円

# よくわかる 情報通信ネットワーク

●山内雪路著 B5判・152頁 定価1,995円

# 電気の歴史

人と技術の  
ものがたり

●高橋雄造著 A5判・256頁 定価3,150円

# ISO9001:2008を正しく理解しよう

QMSの効果的な運用のために

●加藤重信著 B5判・132頁 定価2,100円

# 学生のための基礎Java

●照井博志著 B5判・144頁 定価1,680円

# 学生のためのPHP言語

基礎からウェブシステムまで

●山本昌弘著 B5判・128頁 定価1,995円

# はじめてのセンサ技術

●増田良介著 A5判・208頁 定価1,995円

# はじめてのVHDL

●坂巻佳壽美著 A5判・196頁 定価2,205円

# はじめての半導体後工程プロセス

●萩本英二著 A5判・260頁 定価2,520円

# はじめての研磨加工

●安永暢男著 A5判・194頁 定価2,415円

# ポイント解説 ジャイロセンサ技術

●多摩川精機株式会社編 A5判・248頁 定価2,730円

# ポイント解説 半導体真空技術

●宇津木勝著 A5判・224頁 定価2,625円



東京電機大学出版局

〒101-8457 東京都千代田区神田錦町2-2 TEL 03-5280-3433 (営業)  
FAX 03-5280-3563 URL <http://www.tdupress.jp/>